

市内学生と地域事業者の就業マッチングを
はじめとした雇用施策等に関する調査研究
資料編

令和6年3月

茨城県 つくば市
一般財団法人 地方自治研究機構

目次

1	事業者アンケート	1
	(1) 調査の概要	3
	(2) 調査票	4
	(3) 回答者の属性	14
	(4) 調査結果	16
2	学生アンケート	53
	(1) 筑波大学	55
	(2) 筑波技術大学 産業技術学部	124
	(3) 筑波技術大学 保健科学部	146
	(4) 筑波学院大学	165

1 事業者アンケート

本調査研究では、就業マッチングの対象である市内事業者と学生の双方に対し、アンケート調査を行った。市内事業者に対するアンケート調査では、採用に関する意識、採用の活動実態等を把握することを目的とし、市内3大学の学生に対するアンケート調査では、就職に関する意識、就職活動の実態等を把握することを目的としている。

本資料では、これらのアンケート調査の結果を記載している。結果の記述については、原則として、まず単純集計の結果を言及し、続いて必要に応じて属性の分類によるクロス集計の結果について言及している¹。

1 事業者アンケート

(1) 調査の概要

本調査研究では、市内事業者へのアンケート調査を以下のように実施した。

- ・ 調査名：労働政策（市内大学生の採用状況）に関するアンケート
- ・ 対象：市内に本店がある事業者
- ・ 調査期間：2023年9月6日(水)～2023年9月29日(金)
- ・ 発送数：1,145
- ・ 回収数：372（回収率：32.5%）
- ・ 回答方法：郵送による回答、インターネットによる回答の併用

¹ クロス集計においては、属性の分類の違いによる選択肢を回答した割合の差に関して、標本理論に基づき一定の確率（95%）以上において差があると判断できるケースにおいて、「有意に多かった」あるいは「有意に少なかった」という表現を用いている場合がある。なお、このような表現は比較の上で多い・少ないを示すもので、数値の大きさそのものから多い・少ないを示すものではない。

＼皆さまのお声をお聞かせください／

労働政策

(市内大学生の採用状況)

に関するアンケート

つくば市では、市内事業者の皆さまから市内大学（筑波大学・筑波技術大学・筑波学院大学）の大学生の雇用状況をお伺いし、若者の雇用・地元定着に必要な制度等を調査研究しています。ぜひアンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

回答方法 下記①～③のいずれかの方法が可能です

- ① スマートフォンで、右のQRコードを読み取り回答
- ② パソコンで、「いばらき電子申請・届出サービス つくば市」を検索の上、検索キーワードに「労働政策」を入力して検索
- ③ 本アンケート用紙に記入の上、同封の返信用郵送で回答



Web上で
回答
できます

【計29～36問】
(所要時間 約10分)

回答期限 令和5年9月29日(金)

問合せ先・送付先

つくば市 経済部 産業振興課
〒305-8555 つくば市研究学園一丁目1番地1
TEL:029-883-1111 FAX:029-868-7616

調査の対象

◇市内に本店を有する法人1,145社

記入に関してのお願い

◇設問によって、回答が1つの場合と複数の場合がありますので、指示に従って回答してください。

◇令和5年9月1日現在の状況を回答してください。

データの取り扱い等

◇お答えいただいた内容は、つくば市の政策検討のための調査研究にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。また、回答いただいた内容が個々に公表されることはありません。

企業情報について

Q1. 貴社の主要な業務が含まれる業種を教えてください。（1つのみ選択）

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| ①農林漁業 | ⑨物品賃貸業 |
| ②建設業、不動産業 | ⑩学術研究、専門・技術サービス業 |
| ③製造業 | ⑪宿泊業、飲食サービス業 |
| ④電気・ガス・熱供給・水道業 | ⑫生活関連サービス業、娯楽業 |
| ⑤情報通信業 | ⑬教育、学習支援業 |
| ⑥運輸業、郵便業 | ⑭医療・福祉 |
| ⑦卸売業、小売業 | ⑮その他のサービス業 |
| ⑧金融業、保険業 | ⑯その他の業種（ ） |

Q2. 貴社の従業員数を教えてください。（1つのみ選択）

- | | |
|---------|-----------|
| ①5人以下 | ⑤31～50人 |
| ②6～10人 | ⑥51～100人 |
| ③11～20人 | ⑦101～300人 |
| ④21～30人 | ⑧301人以上 |

貴社の採用活動について

Q3. 貴社の採用体制を教えてください。（1つのみ選択）

- ①採用専門の部署がある
- ②専任の採用担当者がある
- ③他業務との兼務の採用担当者がある
- ④特に採用を担当する部署や個人はない

Q4. 過去5年間に於いて、貴社は大学生・大学院生のアルバイトを採用していますか。（1つのみ選択）

- ①採用実績がある（Q4-1へ）
- ②採用実績はない（Q5へ）

Q4-1. 貴社でアルバイトの採用実績のある大学・大学院を教えてください。

(該当するもの全て選択)

-
- ①筑波大学・大学院
 - ②筑波技術大学・大学院
 - ③筑波学院大学
 - ④つくば市外の大学・大学院
 - ⑤採用者の所属大学はわからない

Q4-2. 正規社員の採用に当たって、貴社は自社でアルバイト経験がある学生に連絡していますか。(1つのみ選択)

-
- ①連絡がつく学生にはすべて連絡している
 - ②よく働いてくれた学生や優秀そうな学生には連絡している
 - ③連絡していない

Q5. 過去5年間に於いて、貴社は正規社員を採用していますか。(1つのみ選択)

-
- ①採用実績がある (Q6へ)
 - ②採用実績はない (Q5-1へ)

Q5-1. 過去5年間に於いて、貴社が正規社員を採用しなかった理由を教えてください。

(該当するもの全て選択)

-
- ①新たに正規社員を採用するほどの業務量がなかったため
 - ②いまの従業員の残業で業務量に対応できたため
 - ③(パート、アルバイトなど)非正規社員の採用で業務量に対応したため
 - ④採用したいと思う人材が現れなかったため
 - ⑤その他 ()

Q6. 今後5年間に於いて、貴社は正規社員を採用しますか。(1つのみ選択)

-
- ①毎年正規社員を採用したい (Q6-1へ)
 - ②毎年ではないが、機会があれば正規社員を採用したい (Q6-1へ)
 - ③正規社員を採用する予定はない (Q7へ)

Q6-1. 今後5年間に於いて、正規社員を採用する理由を教えてください。

(該当するもの全て選択)

-
- ①定年などの退職予定者の補充のため
 - ②転職などによる退職者の補充のため
 - ③事業拡大などにより業務量の増加が見込まれるため
 - ④経営や業務の中核を担える人材が必要であるため
 - ⑤その他 ()

新卒者（大卒）の採用について

Q7. 過去5年間に於いて、貴社は新卒者（大卒）の正規社員を採用していますか。
（1つのみ選択）

- ①採用実績がある（Q7-1へ）
- ②採用実績はない（Q7-2へ）

Q7-1. 貴社で新卒者（大卒）の採用実績がある大学を教えてください。
（該当するもの全て選択）

- ①筑波大学
 - ②筑波技術大学
 - ③筑波学院大学
 - ④つくば市外の大学
- } (Q8へ)

Q7-2. 過去5年間に於いて、貴社が新卒者（大卒）を正規社員として採用しなかった理由を教えてください。（該当するもの全て選択）

- ①大学生からの応募がない、又は少ないため
- ②新たに新卒者（大卒）を採用するほどの業務量の増加が見込めないため
- ③社内に新卒者（大卒）の専門性に対応できる業務がないため
- ④新卒者（大卒）には高い給与が必要になると思われるため
- ⑤新卒者（大卒）は理屈っぽく接しにくそうな感じがするため
- ⑥採用したいと思う人材が現れなかったため
- ⑦その他（ ）

Q8. 今後5年間に於いて、貴社は新卒者（大卒）の正規社員を採用したいと思いますか。
（1つのみ選択）

- ①毎年新卒者（大卒）を正規社員として採用したい
- ②毎年ではないが、機会があれば新卒者（大卒）を正規社員として採用したい
- ③新卒者（大卒）を正規社員として採用する予定はない

貴社の大学院修了者の採用について

Q9. 過去5年間に於いて、貴社は大学院修了者の正規社員を採用していますか。
（1つのみ選択）

- ①採用実績がある（Q9-1へ）
- ②採用実績はない（Q9-2へ）

Q9-1. 貴社で採用実績のある大学院を教えてください。（該当するもの全て選択）

- ①筑波大学大学院
 - ②筑波技術大学大学院
 - ③つくば市外の大学院
- } (Q10へ)

Q9-2. 過去5年間に於いて、貴社が大学院修了者を正規社員として採用しなかった理由を教えてください。 (該当するもの全て選択)

- ① 大学院生からの応募がない、又は少ないため
- ② 新たに大学院修了者を採用するほどの業務量の増加が見込めないため
- ③ 社内に大学院修了者の専門性に対応できる業務がないため
- ④ 大学院修了者には高い給与が必要になると思われるため
- ⑤ 大学院修了者は理屈っぽく接しにくそうな感じがするため
- ⑥ 採用したいと思う人材が現れなかったため
- ⑦ その他 ()

Q10. 今後5年間に於いて、貴社は大学院修了者の正規社員を採用したいと思いませんか。 (1つのみ選択)

- ① 毎年大学院修了者を正規社員として採用したい
- ② 毎年ではないが、機会があれば大学院修了者を正規社員として採用したい
- ③ 大学院修了者を正規社員として採用する予定はない

障害者の採用について

Q11. 過去5年間に於いて、貴社は障害者を採用したことがありますか。 (1つのみ選択)

- ① 採用実績がある (Q11-1へ)
- ② 採用実績はない (Q11-5へ)

Q11-1. 貴社が採用したことがある障害者の障害区分は以下のうちどれですか。 (該当するもの全て選択)

- ① 身体障害 (聴覚障害、視覚障害を除く)
- ② 聴覚障害
- ③ 視覚障害
- ④ 知的障害
- ⑤ 精神障害

Q11-2. 過去5年間に於いて、貴社が採用した障害者の雇用形態は以下のうちどれですか。 (該当するもの全て選択)

- ① 正規社員
 - ② 契約社員
 - ③ パート・アルバイト
- } (①②を選択した場合はQ11-3へ、③のみ選択の場合はQ11-4へ)

Q11-3. 貴社で障害者の大卒者・大学院修了者の採用実績がある大学・大学院を教えてください。 (該当するもの全て選択)

- ① 筑波大学・大学院
 - ② 筑波技術大学・大学院
 - ③ 筑波学院大学
 - ④ つくば市外の大学・大学院
 - ⑤ 大卒者・大学院修了者ではない
- } (Q12へ)

Q13-1. 貴社で第二新卒の採用実績がある大学・大学院を教えてください。
(該当するもの全て選択)

- ①筑波大学・大学院
 - ②筑波技術大学・大学院
 - ③筑波学院大学
 - ④つくば市外の大学・大学院
 - ⑤高校・専門学校の卒業者である
- (Q14へ)

Q13-2. 過去5年間に於いて、貴社が第二新卒を正規社員として採用しなかった理由を教えてください。 (該当するもの全て選択)

- ①第二新卒からの応募がない、又は少ないため
- ②新たに第二新卒を採用するほどの業務量増加が見込めないため
- ③社内に専門性に対応できる業務(例:退職企業で担当していた業務)がないため
- ④大卒者である第二新卒には高い給与が必要になると思われるため
- ⑤理屈っぽく接しにくそうな感じがするため
- ⑥既に退職経験があることからすぐに辞める懸念があるため
- ⑦その他 ()

Q14. 今後5年間に於いて、貴社は大卒者の第二新卒を採用したいと思いませんか。
(1つのみ選択)

- ①毎年第二新卒を正規社員として採用したい
- ②毎年ではないが、機会があれば第二新卒を正規社員として採用したい
- ③第二新卒を正規社員として採用する予定はない

外国人留学生の採用について

Q15. 過去5年間に於いて、貴社は日本の大学を卒業した外国人留学生を採用していますか。 (1つのみ選択)

- ①採用実績がある (Q15-1へ)
- ②採用実績はない (Q15-2へ)

Q15-1. 貴社で外国人留学生の採用実績がある大学・大学院を教えてください。
(該当するもの全て選択)

- ①筑波大学・大学院
 - ②筑波技術大学・大学院
 - ③筑波学院大学
 - ④つくば市外の大学・大学院
- (Q16へ)

Q15-2. 過去5年間に於いて、貴社が日本の大学を卒業した外国人留学生を採用しなかった理由を教えてください。（該当するもの全て選択）

- ①在留資格等の関係で雇用に至らなかったため
- ②日本人労働者に比べて労務管理が大変なイメージがあるため
- ③外国人留学生からの応募がないため
- ④新たに外国人留学生を採用するほどの業務量増加が見込めないため
- ⑤社内に専門性に対応できる業務（例：海外企業との交渉）がないため
- ⑥外国人留学生には高い給与が必要になると思われるため
- ⑦日本とは価値観が異なり接しにくそうな感じがするため
- ⑧外国人留学生とはコミュニケーションの面で不安があるため
- ⑨外国人留学生の就業に関する手続に労力がかかるため
- ⑩採用したいと思う人材が現れなかったため
- ⑪その他（)

Q16. 今後5年間に於いて、貴社は日本の大学を卒業した外国人を採用したいと思いますか。（1つのみ選択）

- ①毎年日本の大学を卒業した外国人を採用したい
- ②毎年ではないが、機会があれば日本の大学を卒業した外国人を採用したい
- ③日本の大学を卒業した外国人を採用する予定はない

新卒者向けの採用情報について

Q17. 貴社は新卒向けの求人やインターンなどの採用関連情報をどのような媒体、機関に提供していますか。（該当するもの全て選択）

- ①リクナビ
- ②マイナビ
- ③キャリアタス就活
- ④dodaキャンパス
- ⑤あさがくナビ
- ⑥en-courage
- ⑦エンカレッジ
- ⑧Offer Box
- ⑨キミスカ
- ⑩ハローワーク
- ⑪つくば市内の大学の就職支援部署
- ⑫その他（)
- ⑬どこにも求人を掲載していない

Q18. 貴社は第二新卒向けの求人やインターンなどの採用関連情報をどのような媒体、機関に提供していますか。（該当するもの全て選択）

- ①doda
- ②リクナビNEXT
- ③リクルートエージェント
- ④マイナビエージェント
- ⑤エン転職
- ⑥ハローワーク
- ⑦その他（)
- ⑧どこにも求人を掲載していない

会社説明会について

Q19. 貴社は会社説明会に参加したり、開催したりしていますか。（1つのみ選択）

- ①参加・開催したことがある（Q19-1へ）
- ②参加・開催したことがない（Q20へ）

**Q19-1. 貴社はどのような機関が開催した会社説明会に参加しましたか。
（該当するもの全て選択）**

- ①自社単独での開催
- ②採用に関心がある企業が合同で開催
- ③つくば市が主催する就活イベントに参加
- ④茨城県やつくば市以外の自治体主催する就活イベントに参加
- ⑤筑波大学の就活イベントに参加
- ⑥筑波技術大学の就活イベントに参加
- ⑦筑波学院大学の就活イベントに参加
- ⑧就職斡旋会社の就活イベントに参加
- ⑨その他（ ）

インターンシップの開催について

Q20. 貴社はインターンシップを開催したことがありますか。（1つのみ選択）

- ①開催したことがある（Q20-1へ）
- ②開催したことがない（Q21へ）

**Q20-1. 貴社はどのような内容のインターンシップを実施しましたか。
（該当するもの全て選択）**

- ①会社の業務内容の説明
- ②参加者と従業員との懇談・討議
- ③参加者の就業体験
- ④参加者に対する就業や討議などに関するフィードバック
- ⑤その他（ ）

**Q20-2. 貴社はどのくらいの期間のインターンシップを実施しましたか。
（該当するもの全て選択）**

- ①1日
- ②2日
- ③3日
- ④4日
- ⑤5日
- ⑥6～10日
- ⑦11～20日
- ⑧21日以上

その他採用に関することについて

Q21. 大卒・大学院修了者・第二新卒の採用に当たって、貴社はどのような点に苦劳しましたか。（該当するもの全て選択）

- ①自社の知名度が高くなく、インターンシップへの参加や採用への応募が少ない
- ②市内大学との接点がない。（キャンパスに行ったこともない）
- ③自社では多様な業務に従事できるにもかかわらず、一部の業務の情報・イメージしか広まっていない
- ④インターンシップ、説明会のプログラムの作成に多大な労力を必要とする
- ⑤学生が単位を得られる5日以上インターンシップを行うことは困難である
- ⑥求人などの情報を就職サイトに掲載しているが、費用の負担が重い
- ⑦長期インターンシップを企画したいが、参加者に報酬を払う金銭面での余力がない
- ⑧内定を出しても、他社に就職してしまう
- ⑨その他（)
- ⑩苦劳した点はない

Q22.（大学生の採用に限らず）貴社が社員に求める能力・資格等はどうなものがありますか。（該当するもの全て選択）

- ①普通自動車運転免許
- ②普通自動車運転免許以外の運転免許（例：大型自動車第1種、移動式クレーン）
- ③WordやExcelなどの一般的なパソコンスキル
- ④経理系資格（例：日商簿記検定）
- ⑤情報処理・データ分析スキル（例：ITパスポート、CAD利用技術者試験）
- ⑥福祉系資格（例：保育士、社会福祉士、介護福祉士）
- ⑦保健・衛生系資格（例：看護師、歯科衛生士）
- ⑧法律系資格・知識（例：行政書士）
- ⑨語学知識（例：英語、中国語等の外国語経験・知識）
- ⑩不動産系資格（例：不動産鑑定士、土地家屋調査士、宅地建物取引士）
- ⑪その他（)
- ⑫特になし

Q23. 市内大学の大学生・大学院生の採用に当たって、つくば市に支援してほしいことについてご自由にお書きください。（自由回答）

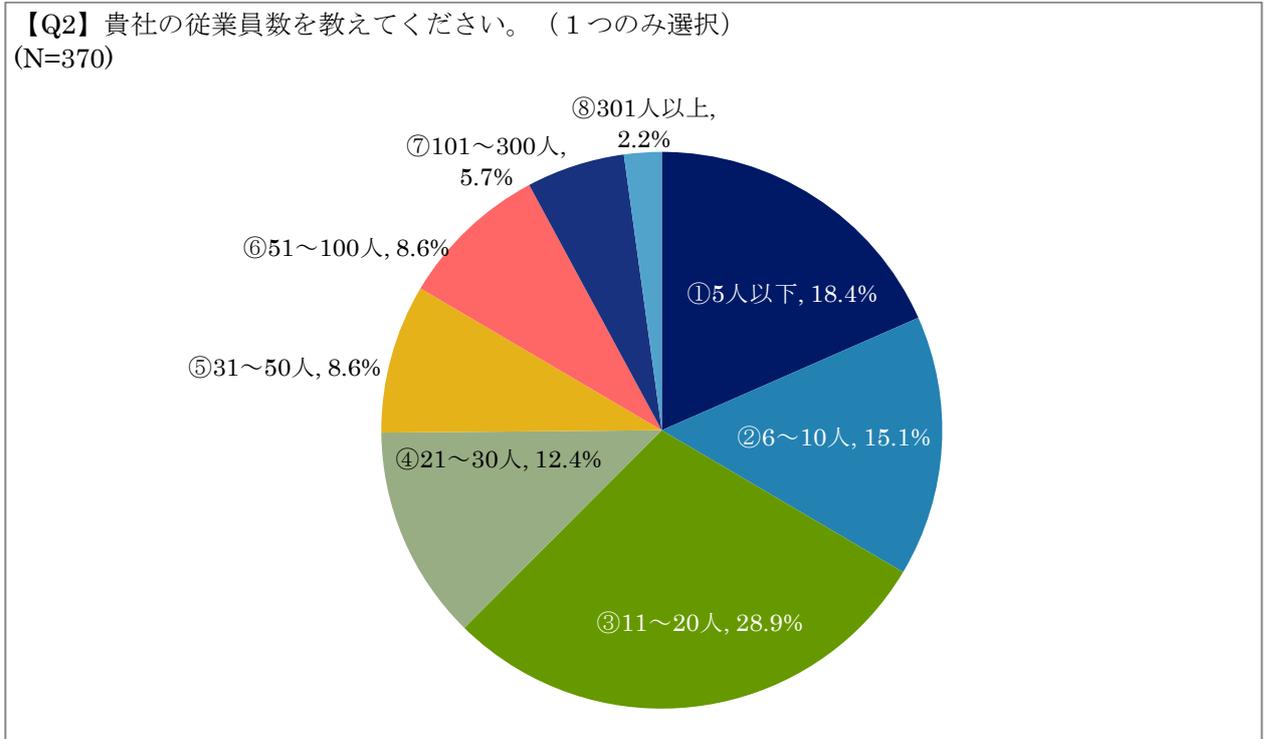
御協力ありがとうございました。

(3) 回答者の属性

ア 従業員数

割合が最も大きい規模は、従業員数「10～20人」(28.9%)であった。「5人以下」(18.4%)、「6～10人以下」(15.1%)、「21～30人」(12.4%)が10%以上で続いていた。

図表 1 市内事業者の従業員数²

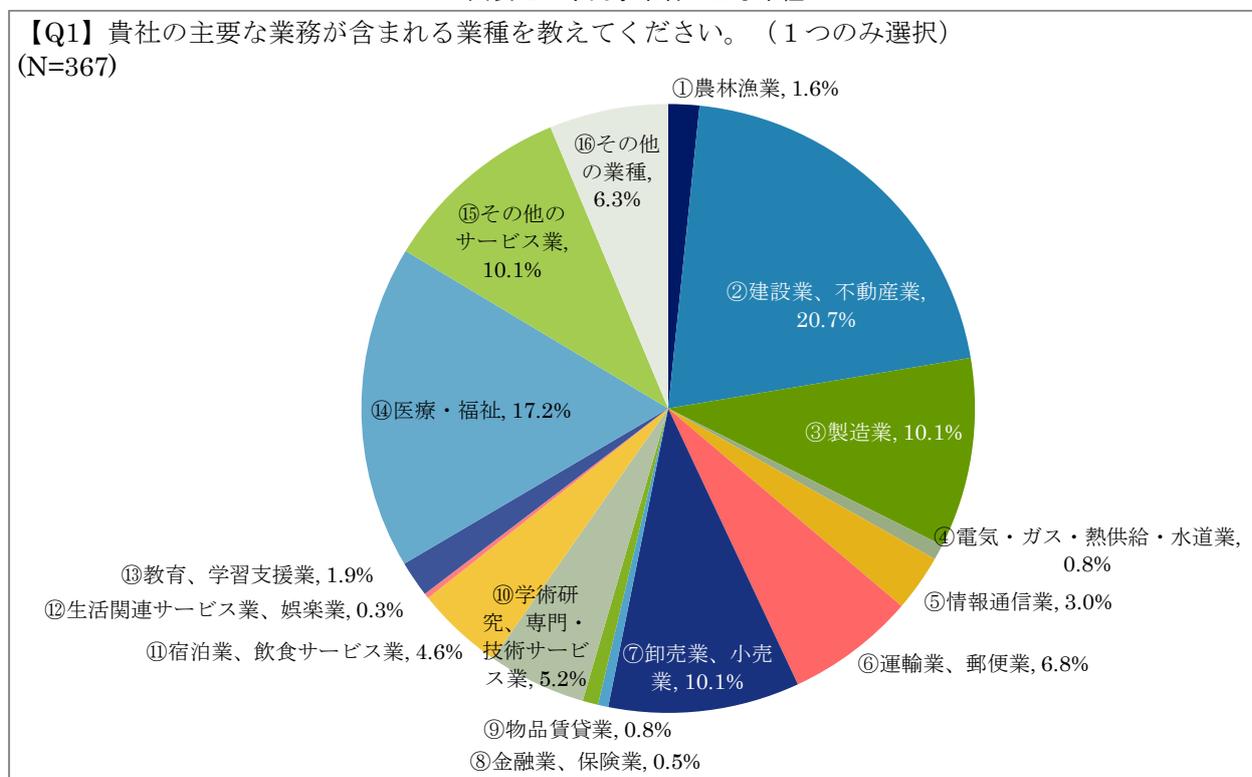


² 以降のグラフあるいは表における各選択肢の割合は小数点第二位を四捨五入したものを表記していることから、数値の合計が100.0%とならない場合がある。

イ 業種

10%以上の割合の業種は、「建設業、不動産業」(20.7%)、「医療・福祉」(17.2%)、「製造業」(10.1%)、「卸売業、小売業」(10.1%)、「その他のサービス業」(10.1%)であった。

図表 2 市内事業者の主な業種



従業員数別³では、「建設業、不動産業」は従業員数の少ない規模（5人以下、6～10人）で有意に多く、「医療・福祉」は従業員数6～10人の市内事業者、従業員数31～50人の市内事業者における割合が有意に多かった。

図表 3 市内事業者の主な業種（従業員数別）（単位：%）

従業員数別	全体 (N数)	農林漁業	建設業、不動産業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療・福祉	その他のサービス業	その他の業種
全体	367	1.6	20.7	10.1	0.8	3.0	6.8	10.1	0.5	0.8	5.2	4.6	0.3	1.9	17.2	10.1	6.3
5人以下	68	-	36.8	8.8	1.5	-	5.9	11.8	-	1.5	7.4	1.5	-	1.5	4.4	10.3	8.8
6～10人	54	1.9	27.8	5.6	1.9	3.7	3.7	9.3	1.9	-	3.7	3.7	-	1.9	24.1	1.9	9.3
11～20人	107	1.9	22.4	15.9	-	4.7	6.5	5.6	-	-	4.7	4.7	-	2.8	17.8	8.4	4.7
21～30人	45	4.4	13.3	4.4	-	2.2	15.6	11.1	2.2	-	8.9	2.2	-	-	17.8	13.3	4.4
31～50人	32	-	3.1	15.6	-	-	6.3	15.6	-	3.1	6.3	6.3	-	-	31.3	9.4	3.1
51～100人	32	3.1	9.4	6.3	3.1	3.1	3.1	12.5	-	-	3.1	12.5	-	3.1	21.9	12.5	6.3
101～300人	21	-	4.8	4.8	-	9.5	4.8	14.3	-	4.8	-	9.5	4.8	4.8	9.5	23.8	4.8
301人以上	8	-	12.5	12.5	-	-	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	12.5	25.0	12.5

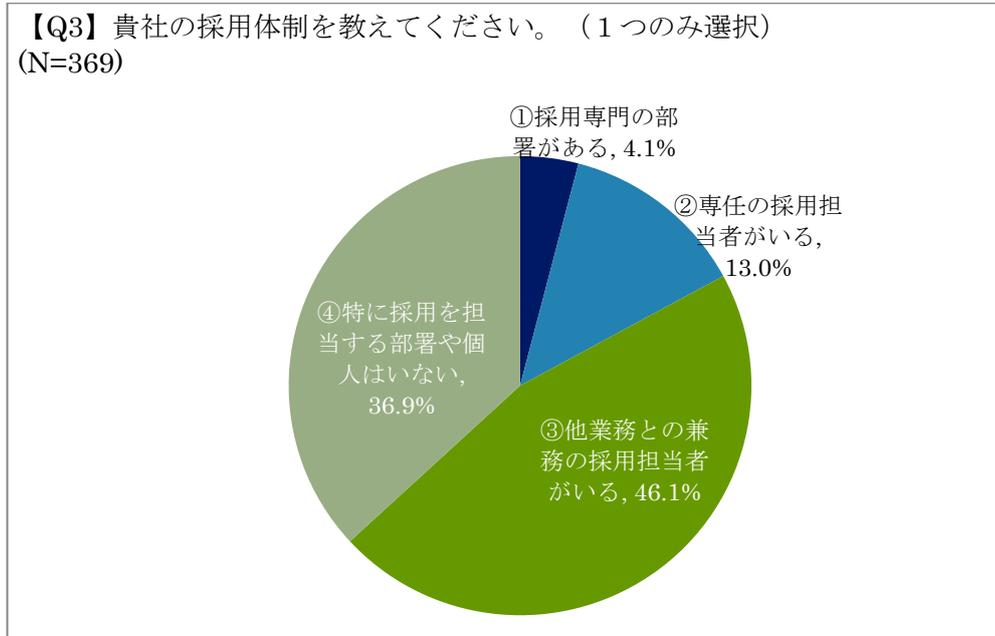
³ 無回答が存在することから、従業員数別のN数はその問いの全回答数と一致しないことがある。

(4) 調査結果

ア 採用体制

採用体制については、「採用専門の部署がある」は4.1%しかなかった。「専任の採用担当がいる」も13.0%であった。

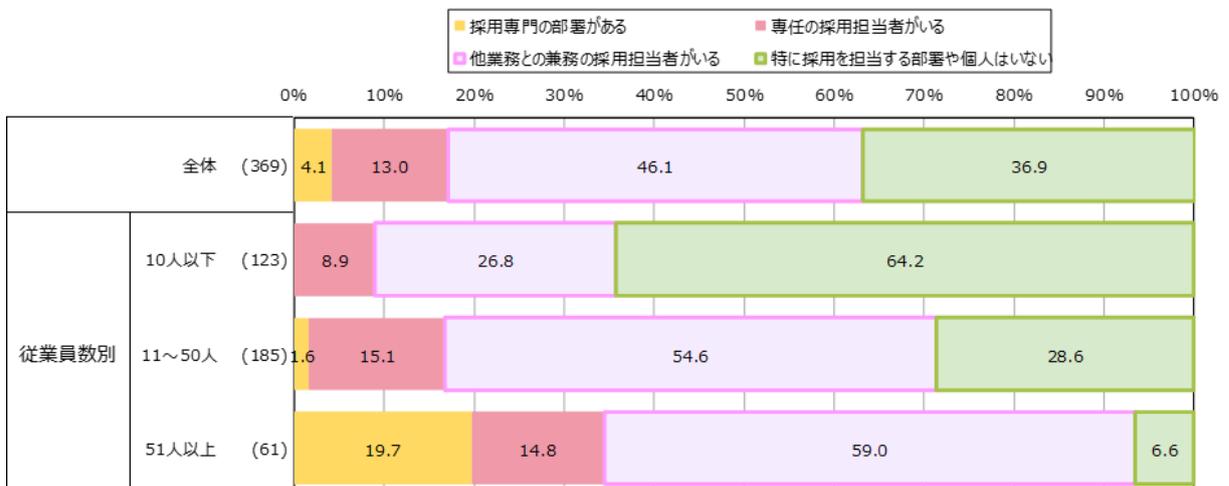
図表 4 市内事業者の大卒（新卒者）の採用に関する意識と活動状況



従業員数別では、「採用専門の部署がある」は従業員数が増えると増加し、従業員数51人以上の市内事業者では19.7%であった。

「専任の担当がいる」と回答した割合は、従業員数51人以上の市内事業者では14.8%であった。最も割合が多い規模は、従業員数11～50人の市内事業者で15.1%であった。

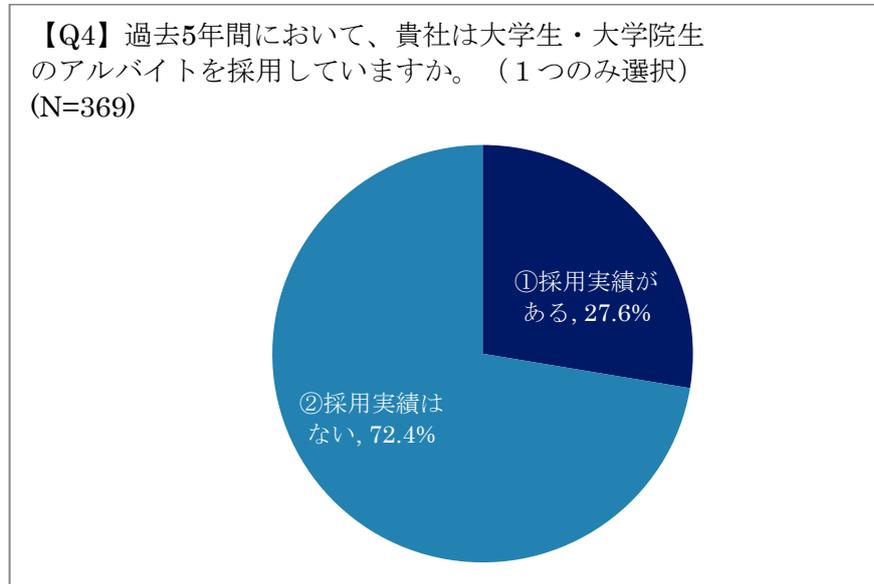
図表 5 市内事業者の大卒（新卒者）の採用に関する意識と活動状況（従業員数別）



イ アルバイト

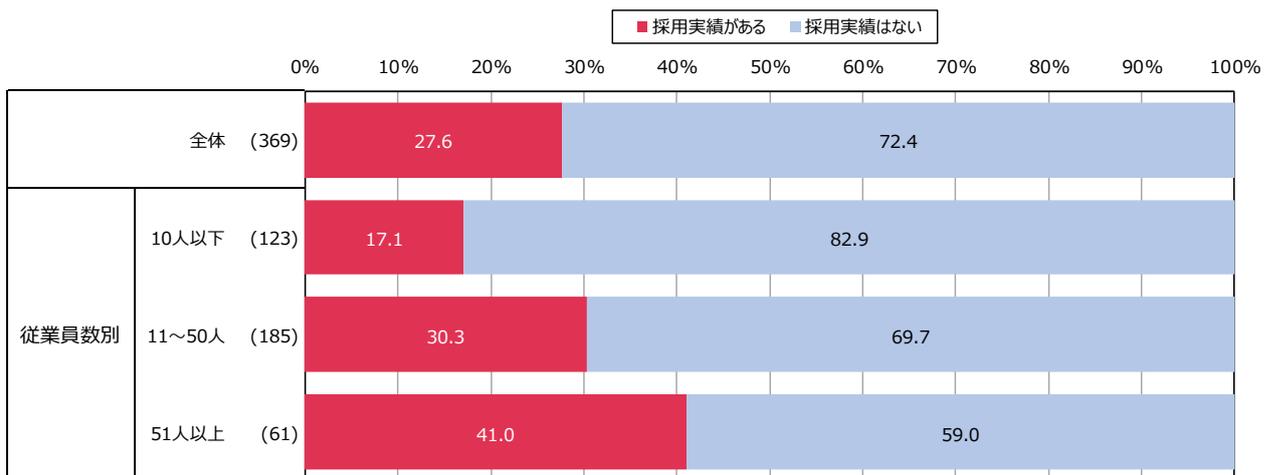
過去5年間におけるアルバイトの「採用実績がある」割合は27.6%であった。

図表 6 過去5年間におけるアルバイトの採用実績



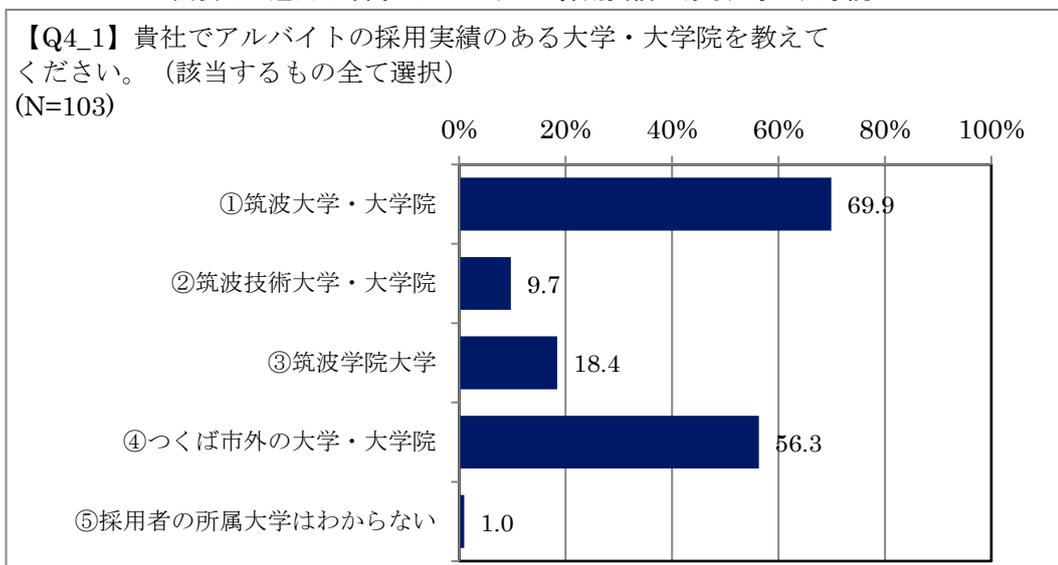
従業員数別では、「採用実績がある」は、従業員数が増えると増加し、従業員数51人以上の市内事業者では41.0%であった。

図表 7 過去5年間におけるアルバイトの採用実績（従業員数別）



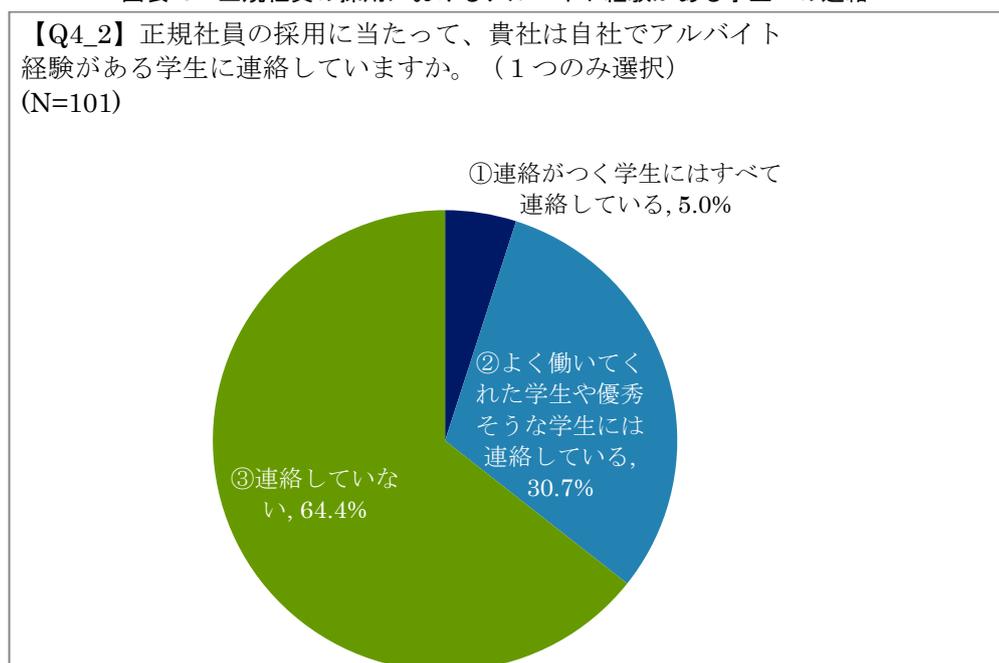
過去5年間に採用実績がある大学については、「筑波大学・大学院」(69.9%)が最も多く、「つくば市外の大学・大学院」(56.3%)、「筑波学院大学」(18.4%)、「筑波技術大学・大学院」(9.7%)が続いていた。

図表 8 過去5年間にアルバイトの採用実績がある大学・大学院



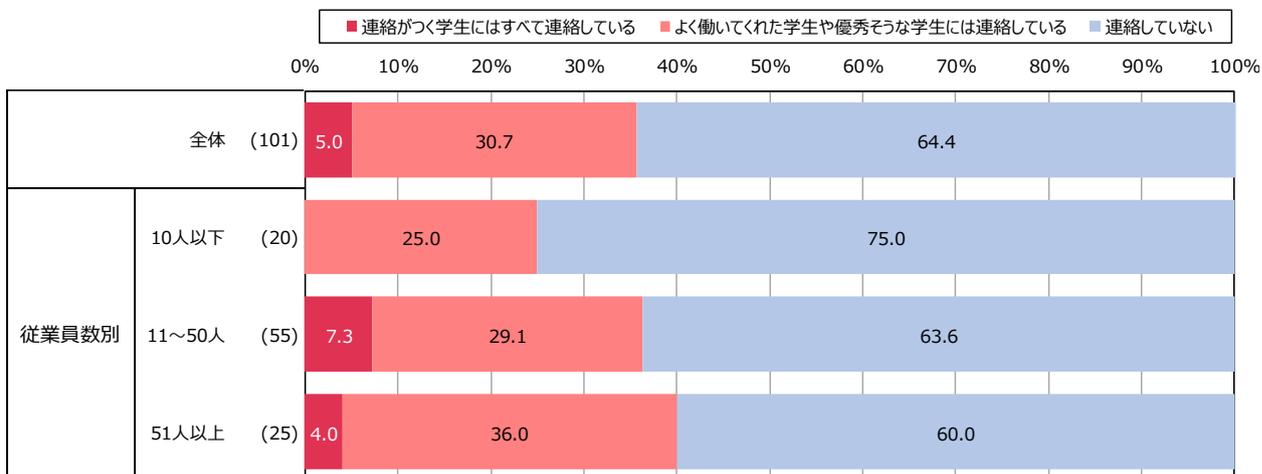
正規社員の採用にあたってアルバイト経験のある学生に連絡したかについては、「連絡がつく学生にはすべて連絡している」が5.0%、「よく働いてくれた学生や優秀そうな学生には連絡している」が30.7%であった。3分の1以上の市内事業者が何らかの連絡をしていた。

図表 9 正規社員の採用におけるアルバイト経験がある学生への連絡



従業員数別では、何らかの連絡している割合（「よく働いてくれた学生や優秀そうな学生には連絡している」と「連絡がつく学生にはすべて連絡している」の合計）は、従業員数が増える
と増加し、従業員数 51 人以上の市内事業者では 40.0%であった。

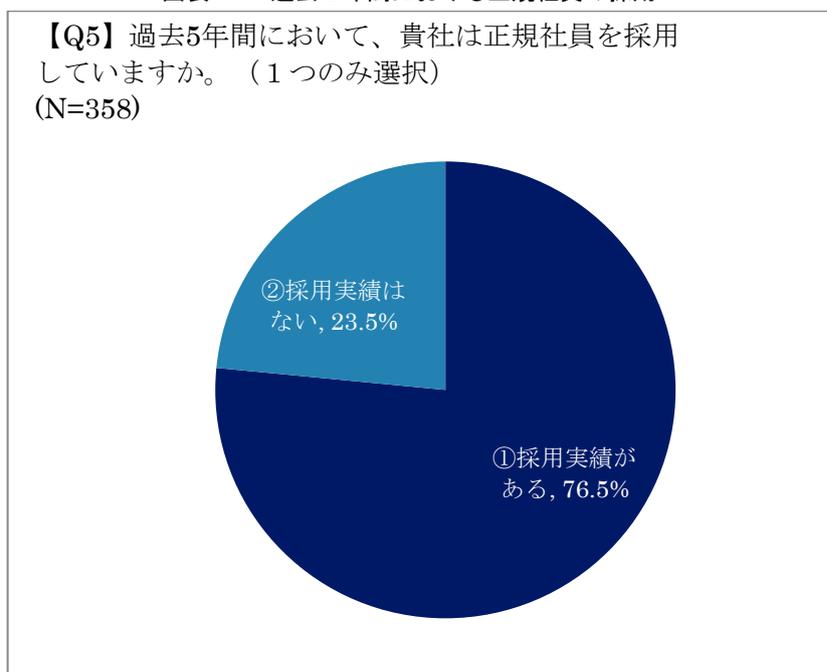
図表 10 正規社員の採用におけるアルバイト経験がある学生への連絡（従業員数別）



ウ 正規社員の採用

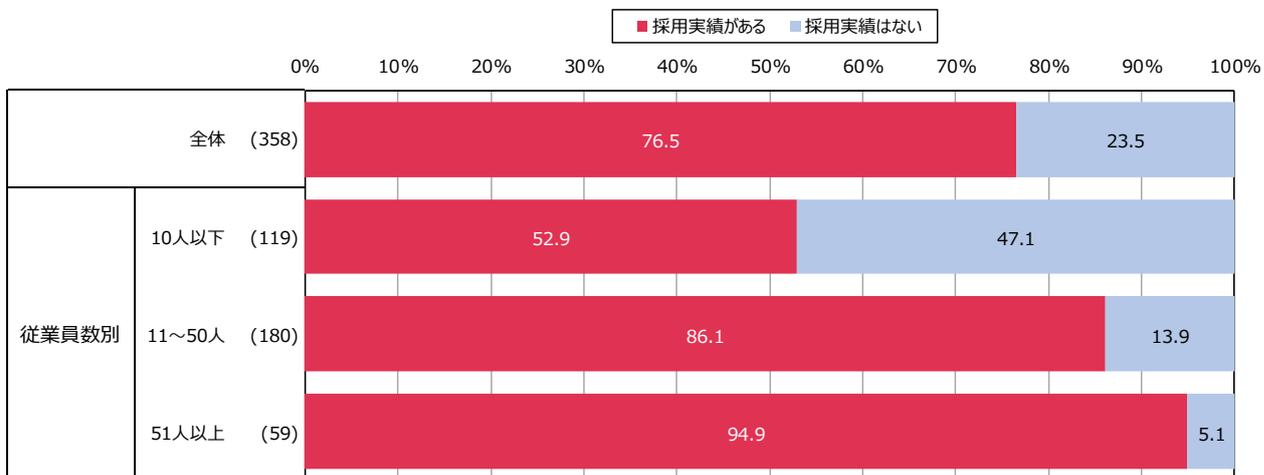
過去 5 年間に於いて、正規社員の「採用実績がある」割合は 76.5%であった。

図表 11 過去 5 年間に於ける正規社員の採用



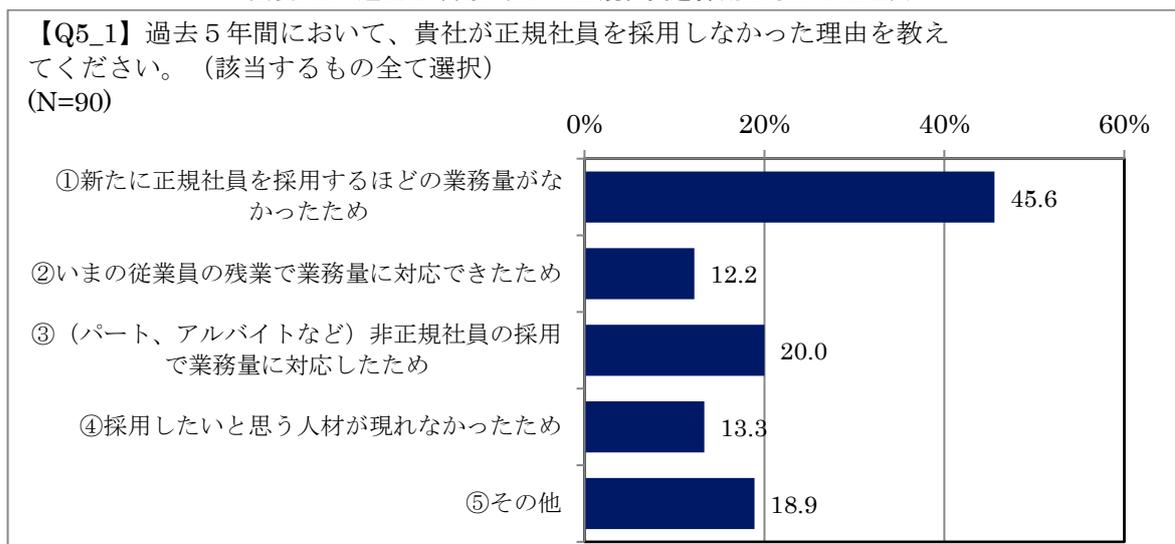
従業員数別では、「採用実績がある」は従業員数が増えると増加し、従業員数 51 人以上の市内事業者では 94.9%であった。

図表 12 過去 5 年間ににおける正規社員の採用（従業員数別）



過去 5 年間に採用しなかった市内事業者にその理由をたずねたところ、「新たに正規社員を採用するほどの業務量がなかったため」(45.6%)が最も多かった。その他の理由では、「(パート、アルバイトなど)非正規社員の採用で業務量に対応したため」(20.0%)、「採用したいと思う人材が現れなかったため」(13.3%)、「いまの従業員の残業で業務量に対応できたため」(12.2%)が続いていた。

図表 13 過去 5 年間ににおいて正規社員を採用しなかった理由



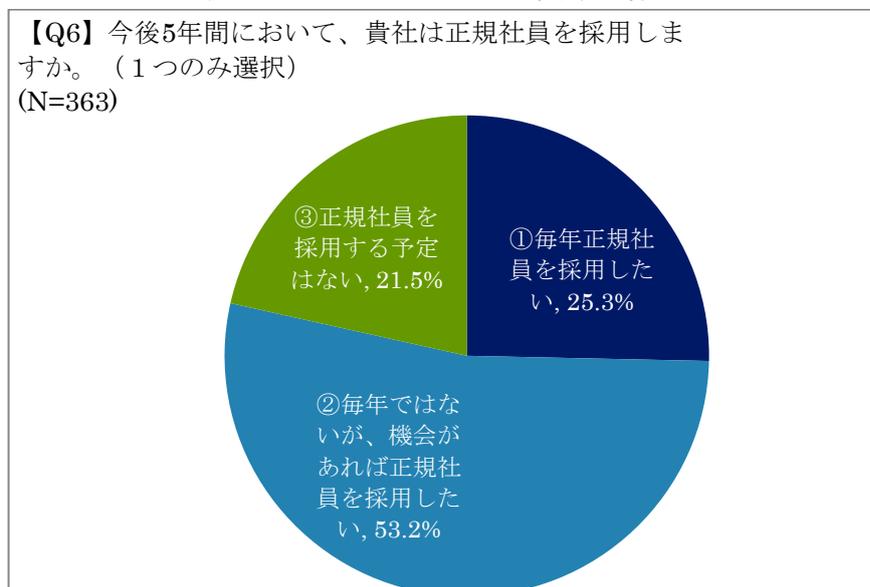
従業員数別では、従業員数 10 人以下の市内事業者では、「新たに正規社員を採用するほどの業務量がなかったため」(55.9%)が有意に多かった。

図表 14 過去 5 年間に於いて正規社員を採用しなかった理由 (従業員数別) (単位:%)

Q2 貴社の従業員数を教えてください。(1つのみ選択)	全体 (N数)	新たに正規社員を採用するほどの業務量がなかったため	いまの従業員の残業で業務量に対応できなかったため	(パート、アルバイトなど)非正規社員の採用で業務量に対応したため	採用したいと思う人材が現れなかったため	その他
全体	90	45.6	12.2	20.0	13.3	18.9
10人以下	59	55.9	13.6	18.6	8.5	16.9
11~50人	26	26.9	11.5	19.2	23.1	23.1
51人~	4	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0

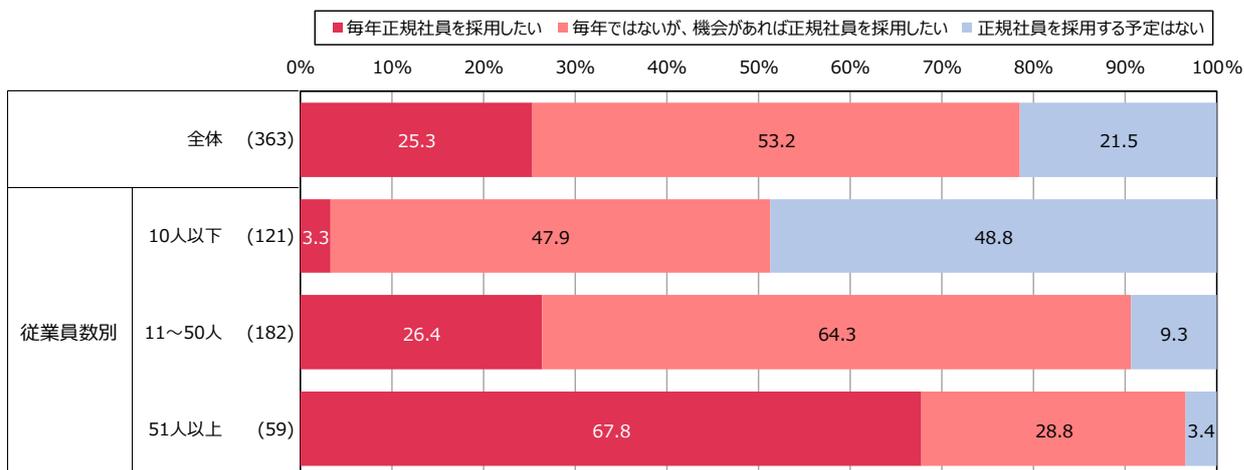
今後 5 年間の正規社員の採用については、「毎年正規社員を採用したい」は 25.3%で、「毎年ではないが、機会があれば正規社員を採用したい」は 53.2%であった。

図表 15 今後 5 年間に於ける正規社員の採用



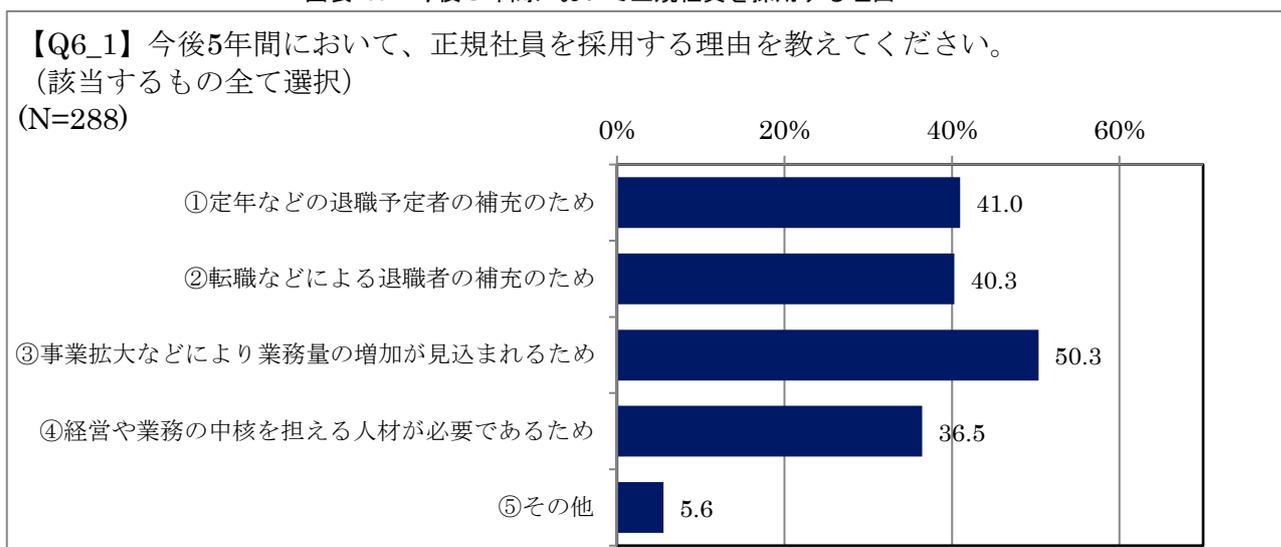
従業員数別では、「毎年正規社員を採用したい」は従業員数が増えると増加し、従業員数 51 人以上の市内事業者では 67.8%であった。「正規社員を採用したい割合（「毎年正規社員を採用したい」と「毎年ではないが、機会があれば正規社員を採用したい」の合計）は、従業員数が増えると増し、従業員数 51 人以上の市内事業者では 96.6%であった。

図表 16 今後 5 年間にける正規社員の採用（従業員数別）



今後 5 年間にいて正規社員を採用する理由としては、「事業拡大などにより業務量の増加が見込まれるため」(50.3%)が最も多く、「定年などの退職予定者の補充のため」(41.0%)、「転職などによる退職者の補充のため」(40.3%)、「経営や業務の中核を担える人材が必要であるため」(36.5%)が続いていた。

図表 17 今後 5 年間にいて正規社員を採用する理由



従業員数別では、従業員数 51 人以上の市内事業者において、「転職などによる退職者の補充のため」(65.5%)、「事業拡大などにより業務量の増加が見込まれるため」(60.3%)、「経営や業務の中核を担える人材が必要であるため」(55.2%)が半数を超えていた。

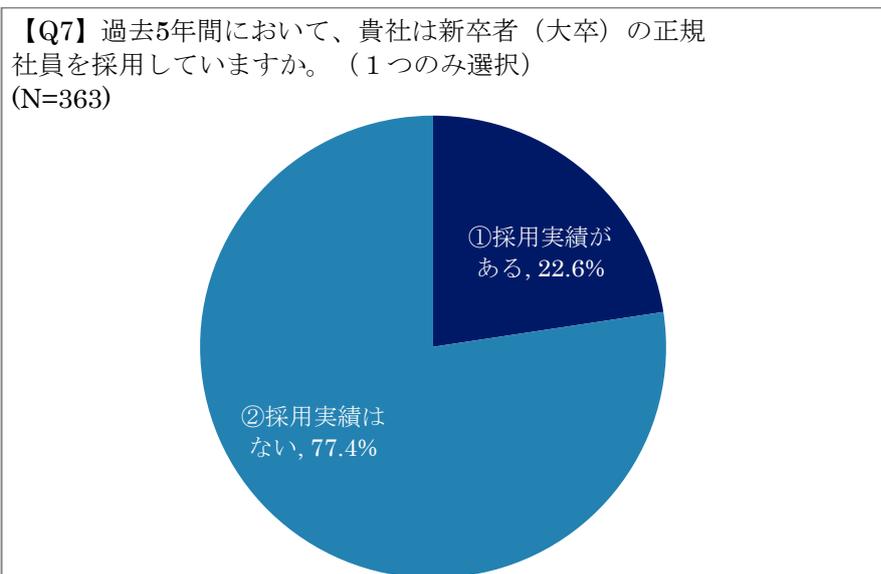
図表 18 今後 5 年間に於いて正規社員を採用する理由(従業員数別)(単位:%)

Q2 貴社の従業員数を教えてください。(1つのみ選択)	全体(N数)	定年などの退職予定者の補充のため	転職などによる退職者の補充のため	事業拡大などにより業務量の増加が見込まれるため	経営や業務の中核を担える人材が必要であるため	その他
全体	287	41.1	40.4	50.2	36.6	5.6
10 人以下	63	34.9	27.0	44.4	27.0	4.8
11~50 人	166	44.0	36.7	48.8	33.7	6.0
51 人~	58	39.7	65.5	60.3	55.2	5.2

エ 新卒者(大卒)の採用

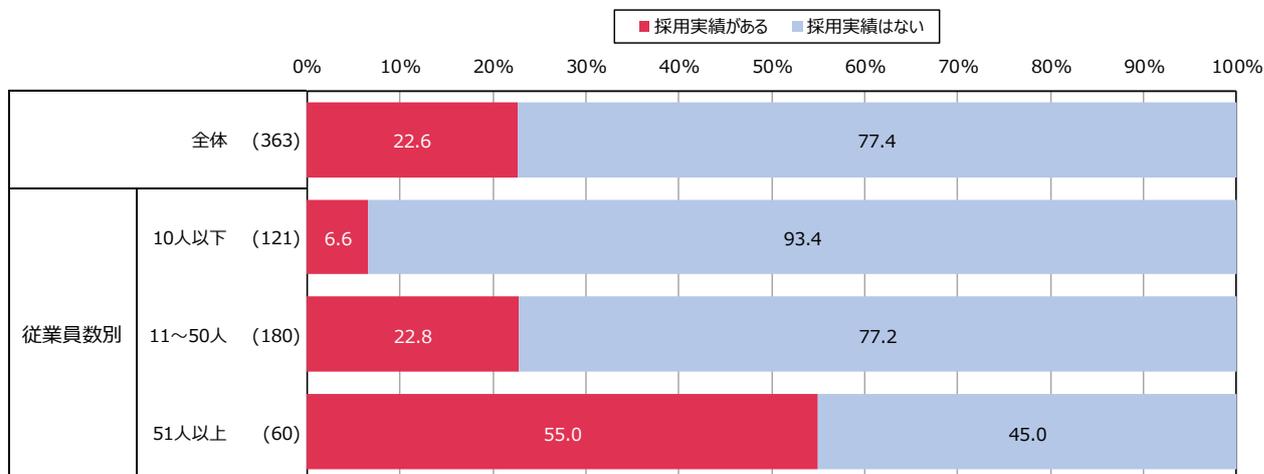
過去 5 年間に「採用実績がある」は 22.6%であった。

図表 19 過去 5 年間に於ける新卒者(大卒)の採用



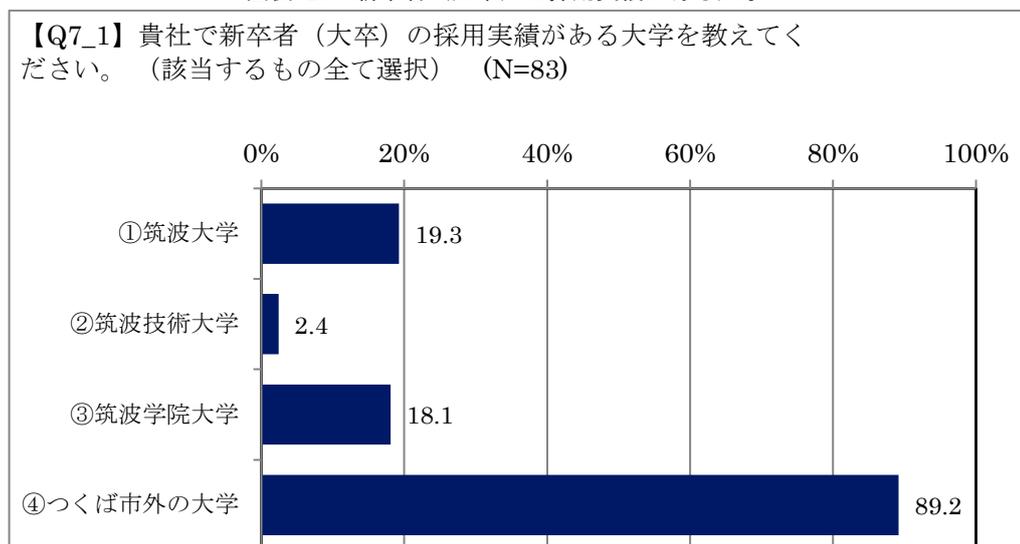
従業員数別では、「採用実績がある」は従業員数が多くなると増加し、従業員数 51 人以上の市内事業者では 55.0%であった。

図表 20 過去 5 年間における新卒者（大卒）の採用（従業員数別）



過去 5 年間において採用実績がある大学については、「つくば市外の大学」(89.2%)が最も多かった。市内の大学では「筑波大学」(19.3%)が最も多く、「筑波学院大学」(18.1%)、「筑波技術大学」(2.4%)が続いていた。

図表 21 新卒者（大卒）の採用実績がある大学



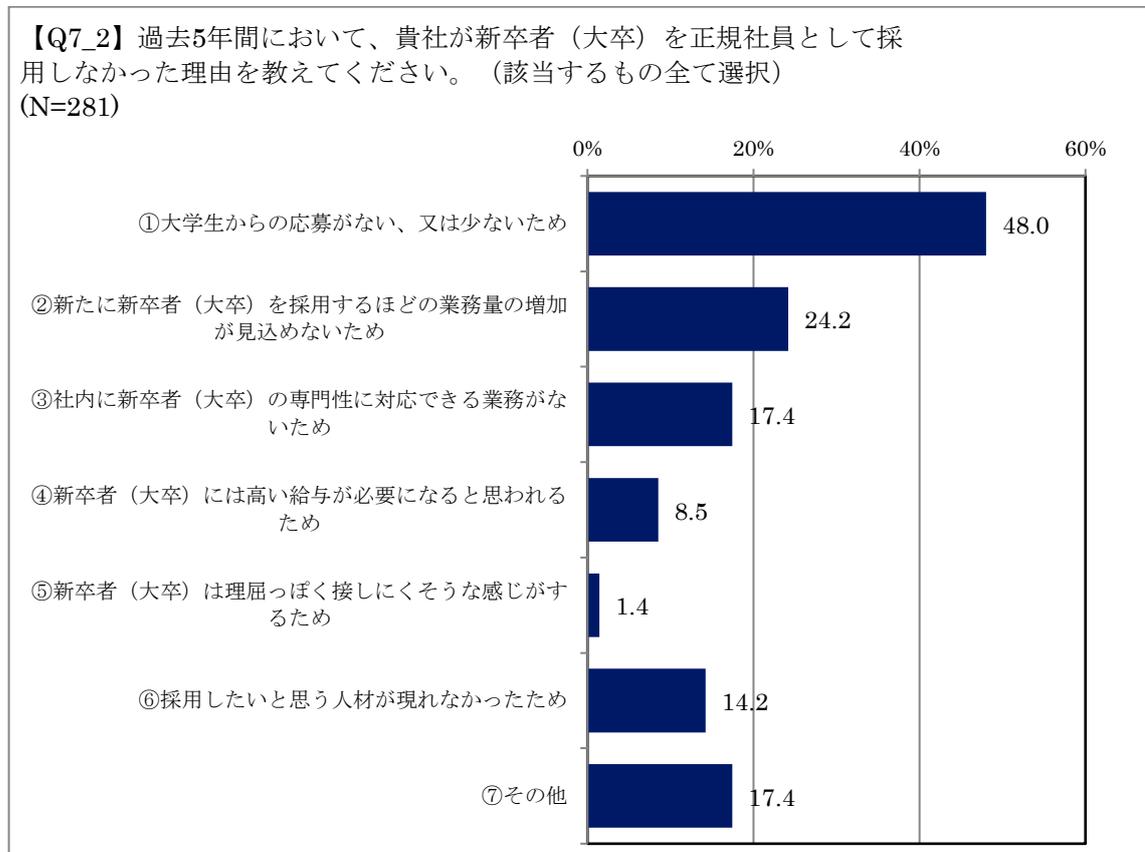
従業員数別では、従業員数 51 人以上の市内事業者において、「筑波大学」(33.3%)、「筑波学院大学」(27.3%)の割合が 20%以上であった。

図表 22 新卒者（大卒）の採用実績がある大学（従業員数別）（単位：%）

Q2 貴社の従業員数を教えてください。（1つのみ選択）	全体（N数）	筑波大学	筑波技術大学	筑波学院大学	つくば市外の大学
全体	83	19.3	2.4	18.1	89.2
10人以下	9	22.2	0.0	11.1	66.7
11～50人	41	7.3	0.0	12.2	90.2
51人～	33	33.3	6.1	27.3	93.9

採用実績がない理由としては、「大学生からの応募がない、又は少ないため」(48.0%)が最も多かった。「新たに新卒者（大卒）を採用するほどの業務量の増加が見込めないため」(24.2%)、「社内に新卒者（大卒）の専門性に対応できる業務がないため」(17.4%)、「採用したいと思う人材が現れなかったため」(14.2%)が続いていた。

図表 23 新卒者（大卒）を採用しなかった理由



従業員数別では、「大学生からの応募がない、又は少ないため」が、従業員数 11～50 人の市内事業者 (60.0%)、従業員数 51 人以上の市内事業者 (65.4%) では 60%以上であった。

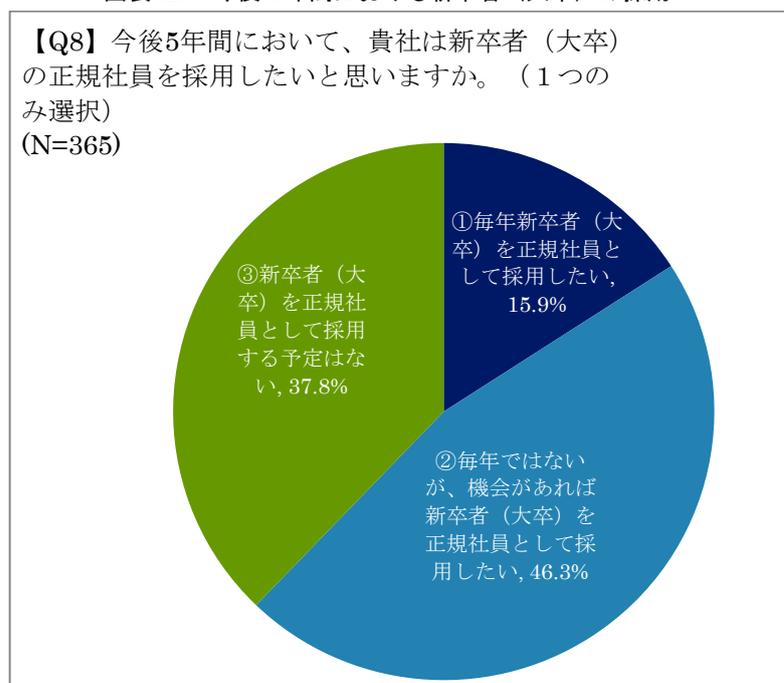
従業員数 10 人以下の市内事業者は、「新たに新卒者 (大卒) を採用するほどの業務量の増加が見込めないため」 (39.8%) で有意に多かった。

図表 24 新卒者 (大卒) を採用しなかった理由 (単位: %)

Q2 貴社の従業員数を教えてください。(1つのみ選択)	全体 (N数)	大学生からの応募がない、又は少ないため	新たに新卒者 (大卒) を採用するほどの業務量の増加が見込めないため	社内に新卒者 (大卒) の専門性に対応できる業務がないため	新卒者 (大卒) には高い給与が必要になると思われるため	新卒者 (大卒) は理屈っぽく接しにくそうな感じがするため	採用したいと思う人材が現れなかったため	その他
全体	281	48.0	24.2	17.4	8.5	1.4	14.2	17.4
10人以下	113	29.2	39.8	17.7	6.2	2.7	12.4	17.7
11～50人	140	60.0	13.6	17.9	12.1	0.7	15.0	15.7
51人～	26	65.4	7.7	15.4	0.0	0.0	19.2	23.1

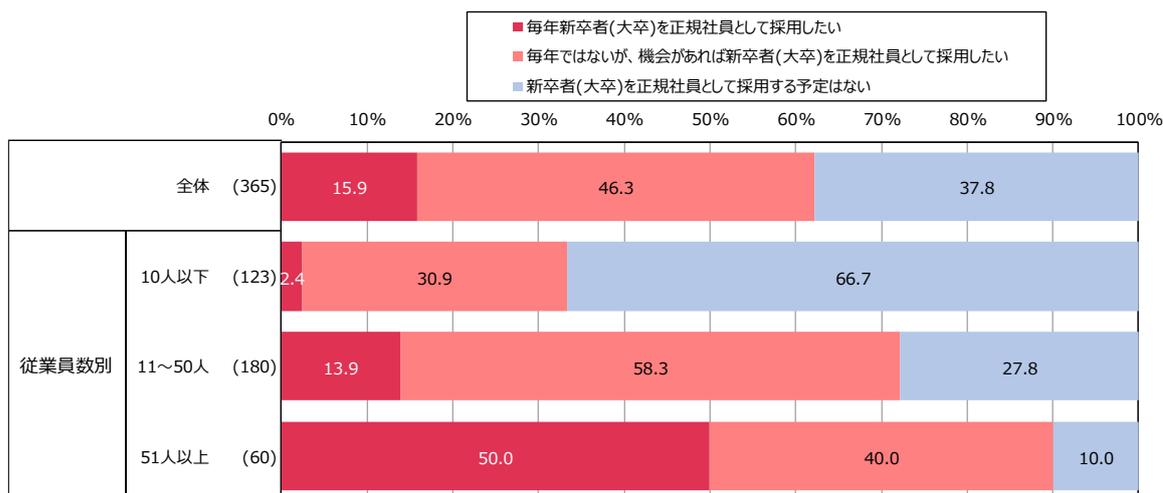
今後 5 年間の採用については、「毎年新卒者 (大卒) を正規社員として採用したい」は 15.9% であった。「毎年ではないが、機会があれば新卒者 (大卒) を正規社員として採用したい」は 46.3% であった。

図表 25 今後 5 年間ににおける新卒者 (大卒) の採用



従業員数別では、従業員数が多くなるにつれて、「毎年新卒者（大卒）を正規社員として採用したい」が増加する傾向にあり、従業員数 51 人以上では 50.0%であった。新卒者（大卒）を正規社員として採用したい割合（「毎年新卒者（大卒）を正規社員として採用したい」と「毎年ではないが、機会があれば新卒者（大卒）を正規社員として採用したい」の合計）は、従業員数が増えると増加し、従業員数 51 人以上では 90.0%であった。

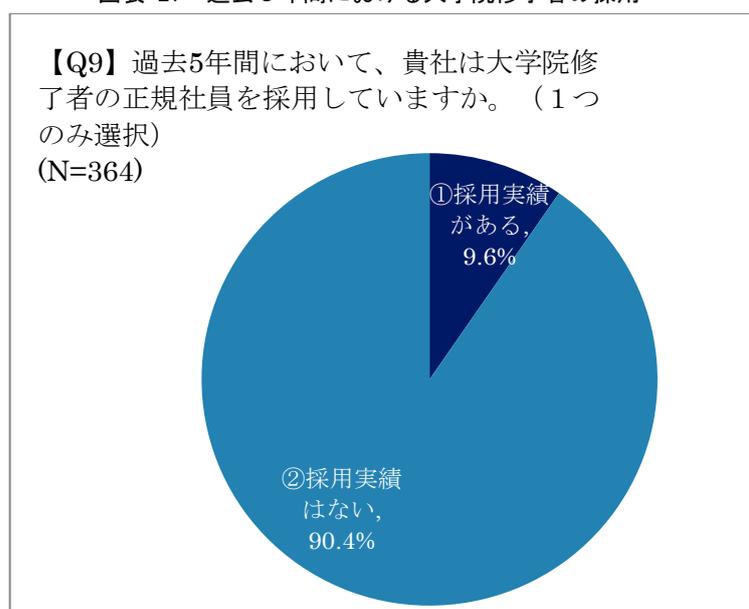
図表 26 今後 5 年間ににおける新卒者（大卒）の採用（従業員数別）



オ 大学院修了者

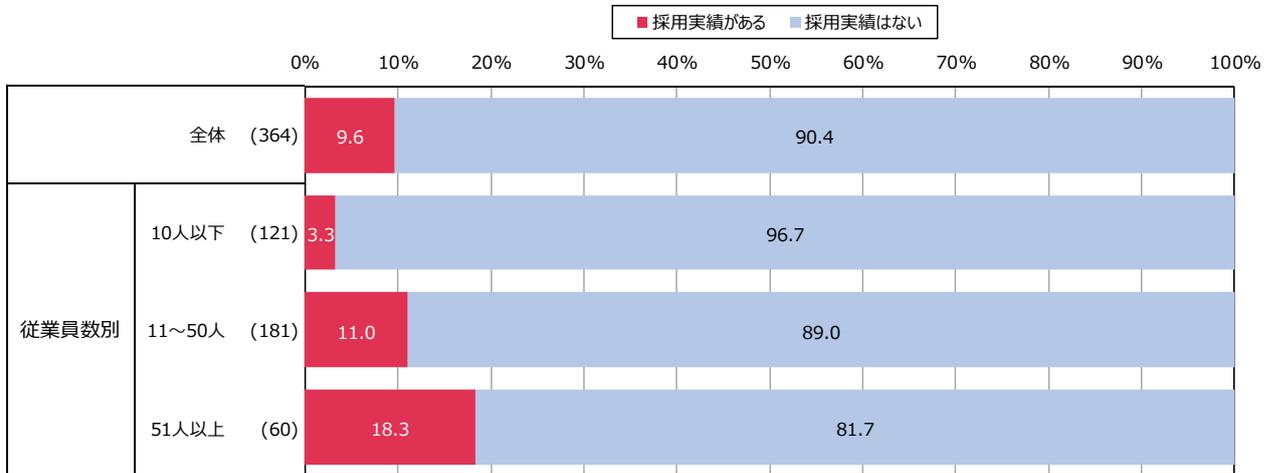
過去 5 年間に「採用実績がある」は 9.6%であった。

図表 27 過去 5 年間ににおける大学院修了者の採用



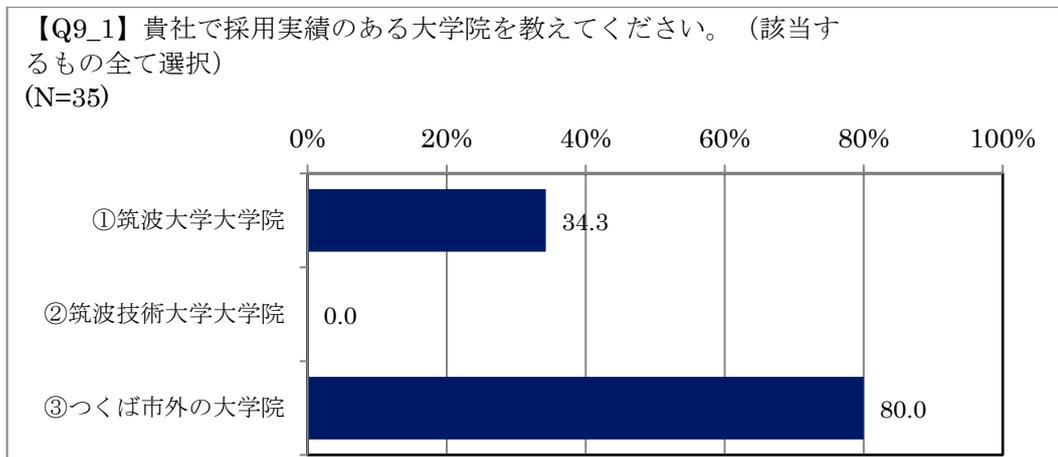
従業員数別では、「採用実績がある」は従業員数が多くなると増加し、従業員数 51 人以上の市内事業者においては 18.3%であった。

図表 28 過去 5 年間における大学院修了者の採用（従業員数別）



採用実績がある大学院については、「つくば市外の大学院」(80.0%)が最も多かった。つくば市内の大学院では、「筑波大学大学院」(34.3%)が最も多かった。

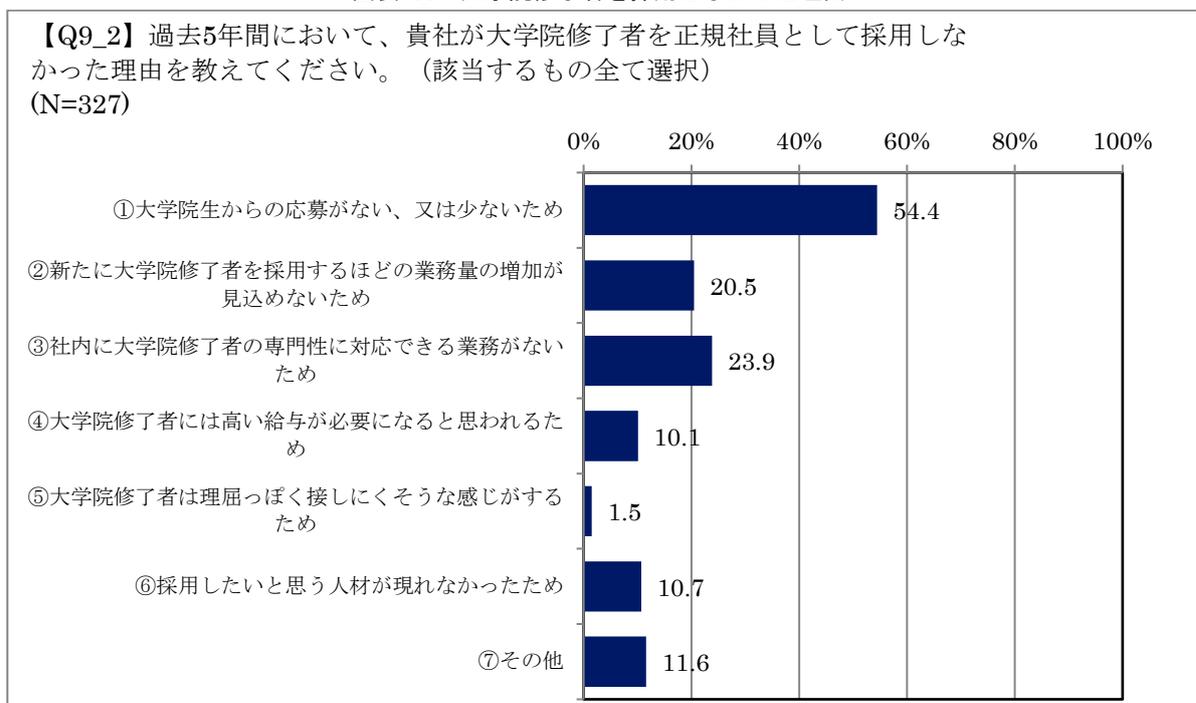
図表 29 採用実績がある大学院



採用実績がない理由としては、「大学院生からの応募がない、又は少ないため」(54.4%)が最も多かった。

「社内に大学院修了者の専門性に対応できる業務がないため」(23.9%)、「新たに大学院修了者を採用するほどの業務量の増加が見込めないため」(20.5%)も20%以上であった。

図表 30 大学院修了者を採用しなかった理由



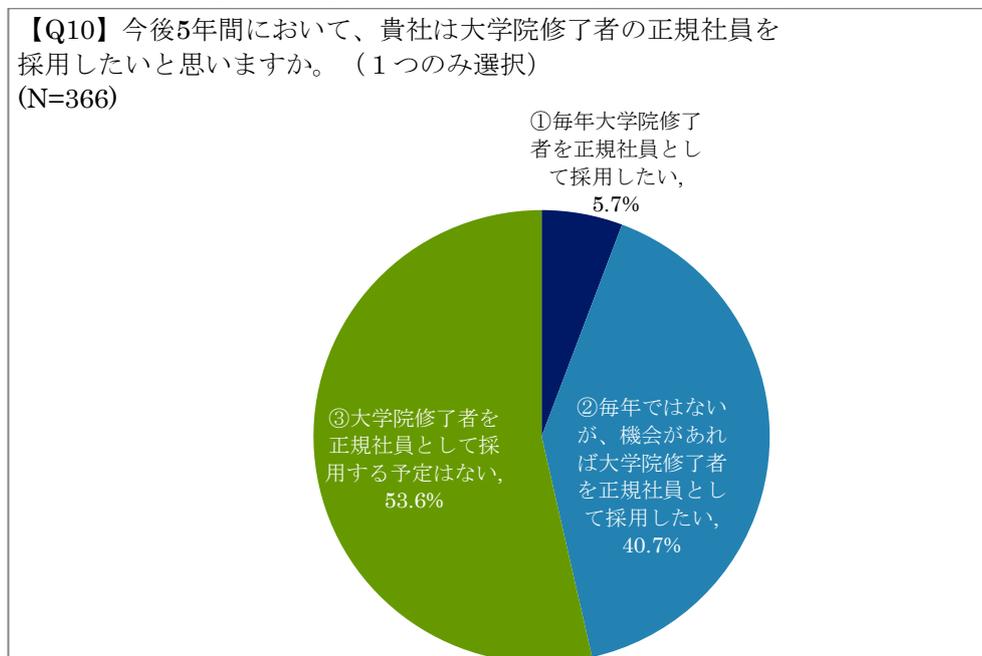
従業員数別では、「大学院生からの応募がない、又は少ないため」が60%以上であったのは、従業員数11～50人の市内事業者(62.3%)、従業員数51以上の市内事業者(75.5%)であった。従業員数10人以下の市内事業者では、「新たに大学院修了者を採用するほどの業務量の増加が見込めないため」(38.6%)、「大学院生からの応募がない、又は少ないため」(34.2%)、「社内に大学院修了者の専門性に対応できる業務がないため」(31.6%)が30%以上であった。

図表 31 大学院修了者を採用しなかった理由(従業員数別)(単位:%)

Q2 貴社の従業員数を教えてください。(1つのみ選択)	全体(N数)	大学院生からの応募がない、又は少ないため	新たに大学院修了者を採用するほどの業務量の増加が見込めないため	社内に大学院修了者の専門性に対応できる業務がないため	大学院修了者には高い給与が必要になると思われるため	大学院修了者は理屈っぽく接しにくそうな感じがするため	採用したいと思う人材が現れなかったため	その他
全体	327	54.4	20.5	23.9	10.1	1.5	10.7	11.6
10人以下	114	34.2	38.6	31.6	7.0	0.9	9.6	13.2
11～50人	162	62.3	11.7	20.4	14.2	2.5	10.5	9.9
51人～	49	75.5	6.1	18.4	4.1	0.0	14.3	12.2

「毎年大学院修了者を正規社員として採用したい」は5.7%、「毎年ではないが、機会があれば大学院修了者を正規社員として採用したい」は40.7%であった。

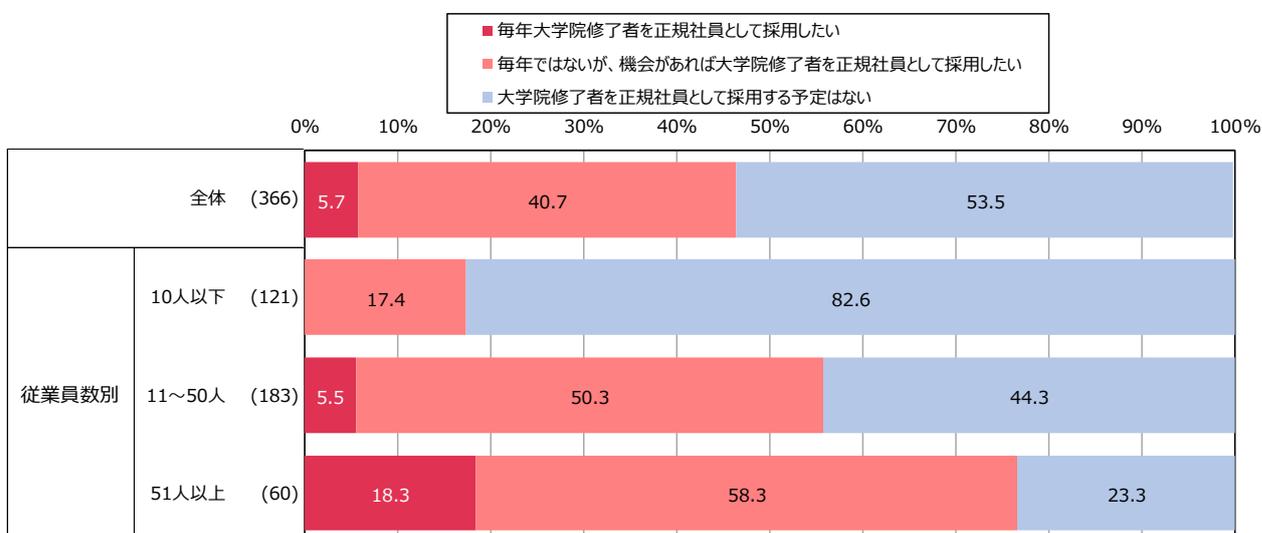
図表 32 今後5年間における大学院修了者の採用希望



従業員数別では、従業員数が多くなるにつれて、「毎年大学院修了者を正規社員として採用したい」が増加し、従業員数51人以上の市内事業者では18.3%であった。

大学院修了者を正規社員として採用したい割合（「毎年大学院修了者を正規社員として採用したい」と「毎年ではないが、機会があれば大学院修了者を採用したい」の合計）は、従業員数が増えると増加し、従業員数51人以上の市内事業者では76.7%であった。

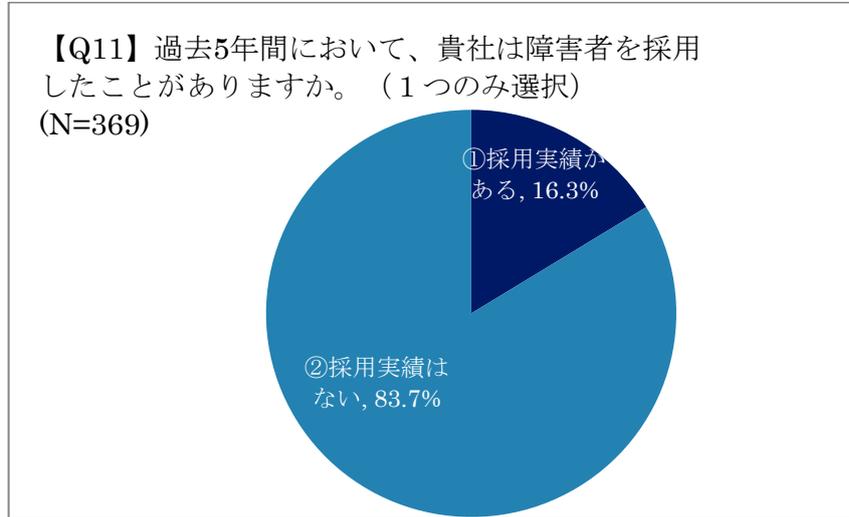
図表 33 今後5年間における大学院修了者の採用希望（従業員数別）



カ 障害者

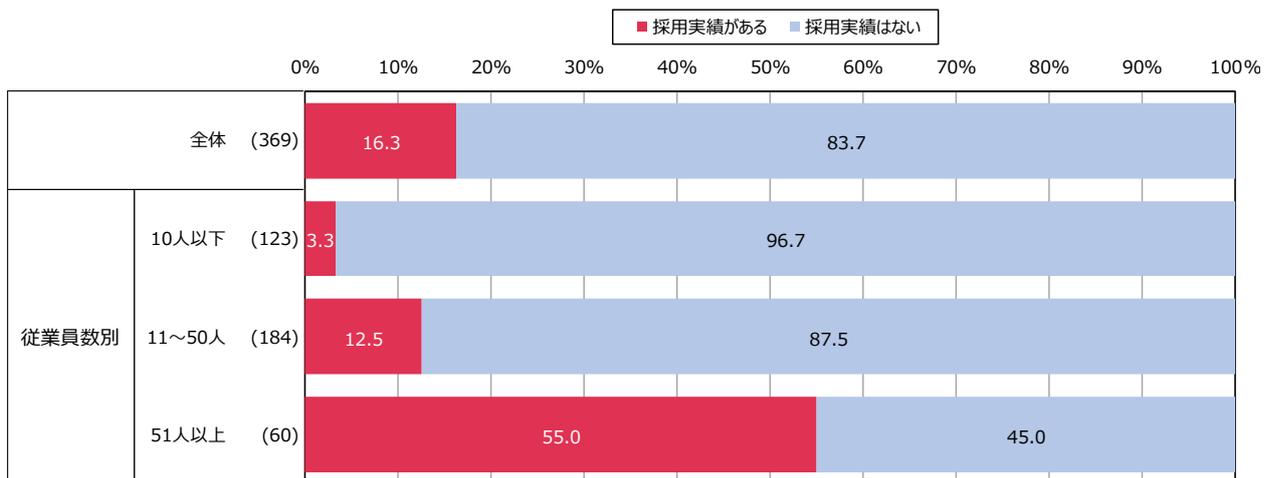
過去5年間に於いて障害者を採用したことがある割合は16.3%であった。

図表 34 過去5年間に於ける障害者の採用



従業員数別では、従業員数が多くなるにつれて「採用実績がある」が増加し、従業員数51人以上の市内事業者では55.0%であった。

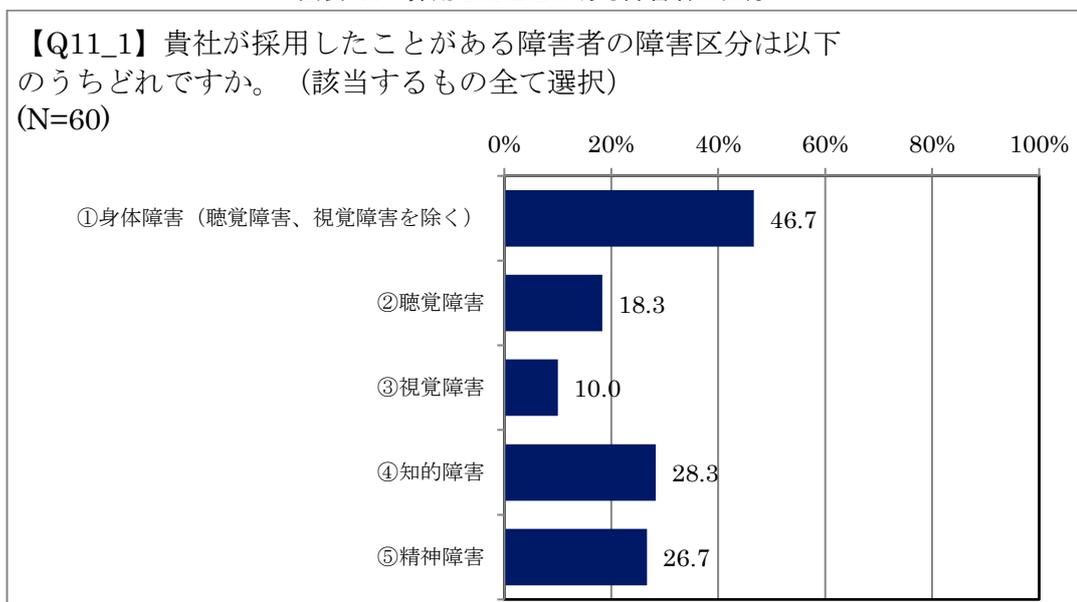
図表 35 過去5年間に於ける障害者の採用（従業員数別）



採用したことがある障害者の区分については、「身体障害（聴覚障害、視覚障害を除く）」(46.7%)が最も多かった。

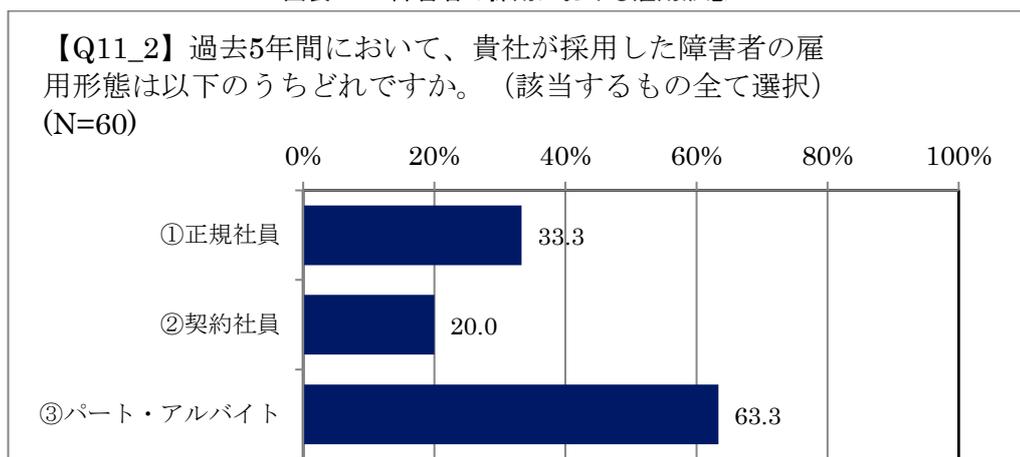
「知的障害」(28.3%)、「精神障害」(26.7%)が20%台で続いていた。「聴覚障害」(18.3%)、「視覚障害」(10.0%)は10%台であった。

図表 36 採用したことがある障害者の区分



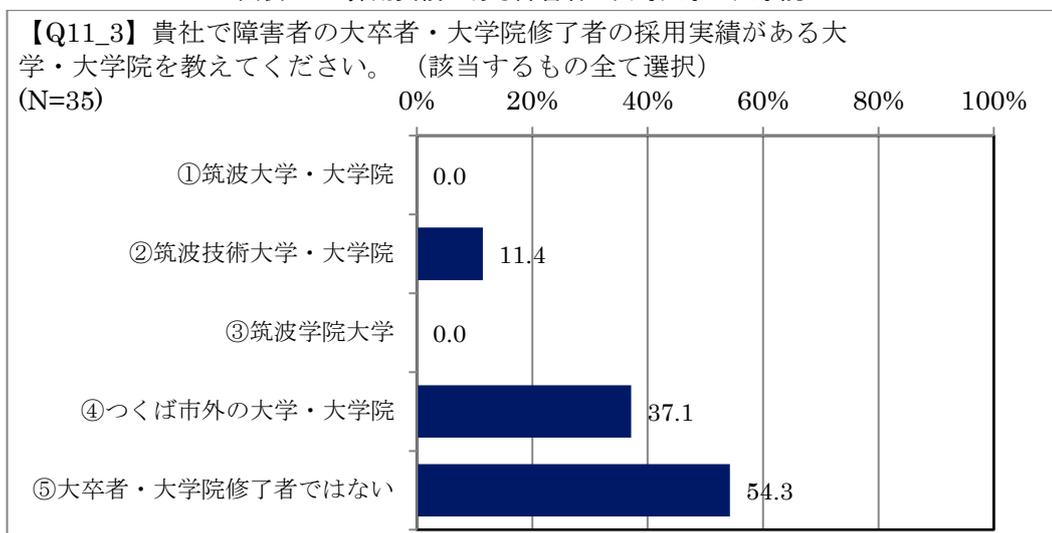
採用したことがある雇用形態については、「パート・アルバイト」(63.3%)が最も多かった。「正規社員」(33.3%)、「契約社員」(20.0%)が続いていた。

図表 37 障害者の採用における雇用形態



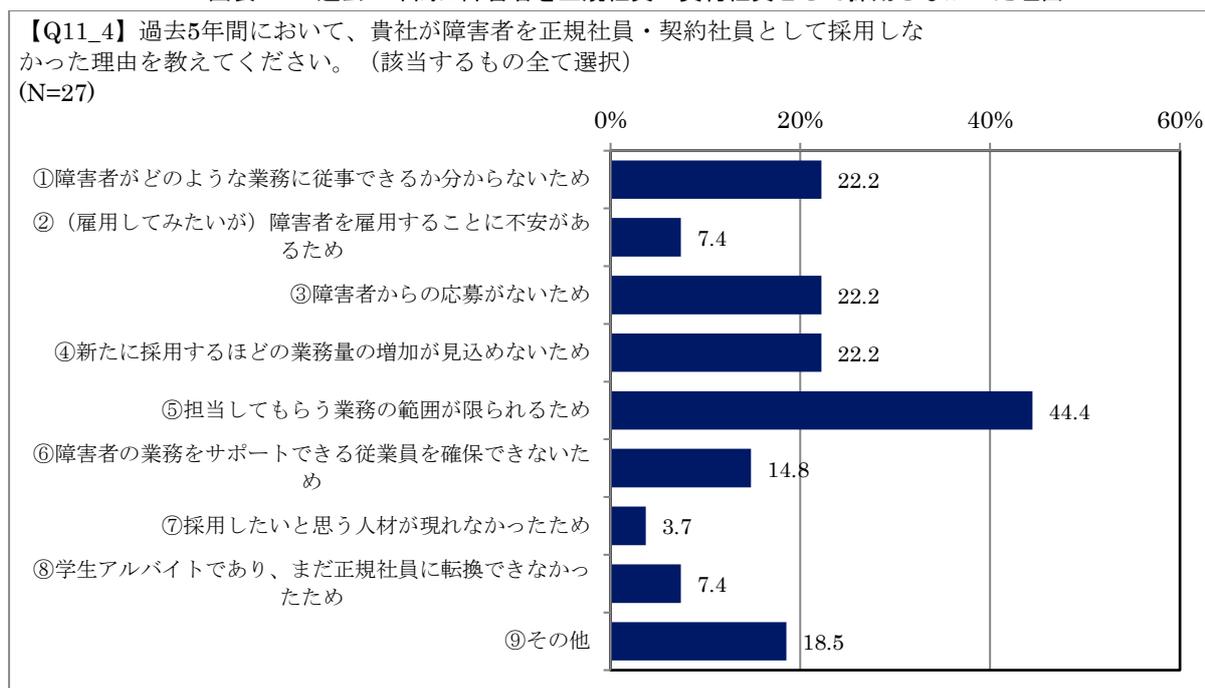
採用実績がある障害者の出身については、「大卒者・大学院修了者ではない」(54.3%)が最も多かった。「つくば市外の大学・大学院」(37.1%)が続いており、つくば市内では「筑波技術大学・大学院」(11.4%)の採用実績があった。

図表 38 採用実績がある障害者の出身大学・大学院



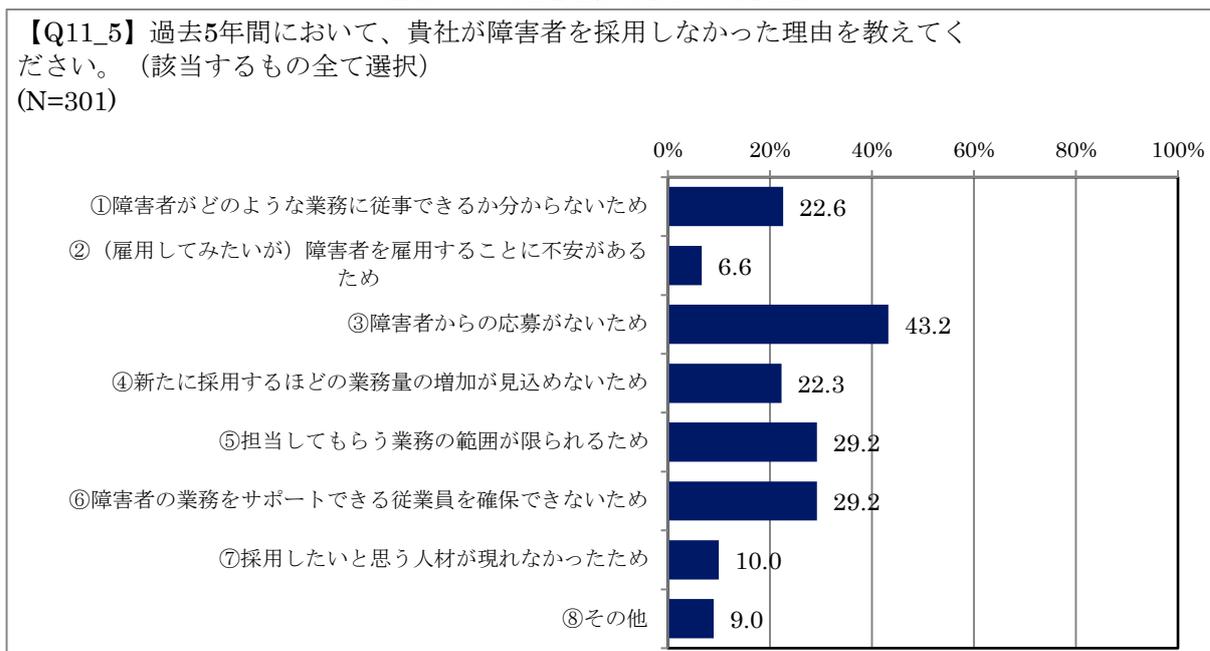
過去5年間に障害者を正規社員・契約社員として採用しなかった理由としては、「担当してもら業務の範囲が限られるため」(44.4%)が最も多かった。「障害者がどのような業務に従事できるか分からないため」、「障害者からの応募がないため」、「新たに採用するほどの業務量の増加が見込めないため」がいずれも22.2%で続いていた。

図表 39 過去5年間に障害者を正規社員・契約社員として採用しなかった理由



過去5年間において障害者を採用しなかった理由としては、「障害者からの応募がないため」(43.2%)が最も多かった。「担当してもらう業務の範囲が限られるため」(29.2%)、「障害者の業務をサポートできる従業員を確保できないため」(29.2%)、「障害者がどのような業務に従事できるか分からないため」(22.6%)、「新たに採用するほどの業務量の増加が見込めないため」(22.3%)がいずれも20%台であった。

図表 40 障害者を採用しなかった理由



従業員数別では、「障害者からの応募がないため」が50%以上の規模は、従業員数11～50人の市内事業者(53.8%)、51人以上の市内事業者(51.9%)であった。これに対し、従業員数10人以下の市内事業者では、「新たに採用するほどの業務量の増加が見込めないため」(40.4%)が最も多かった。

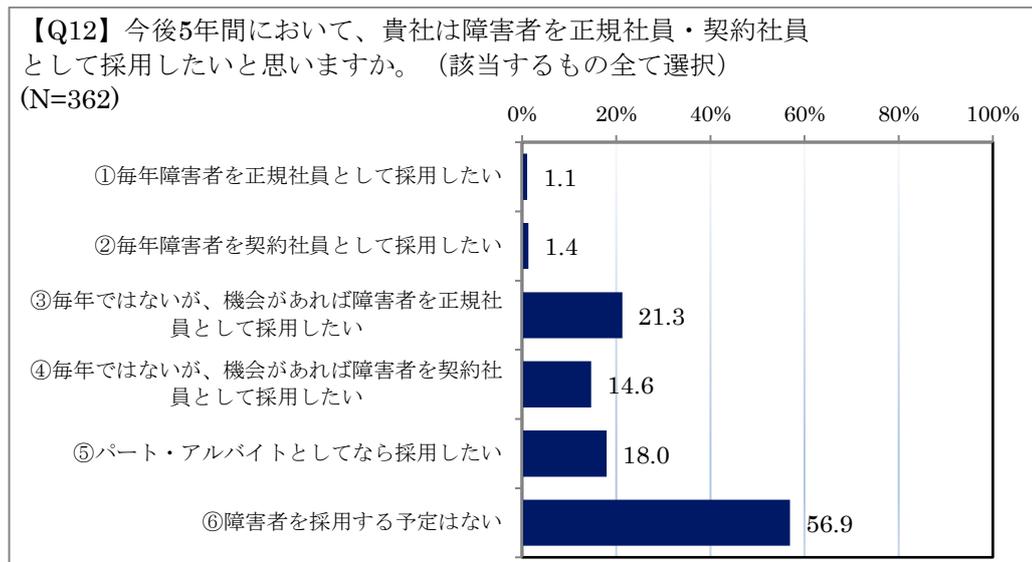
図表 41 障害者を採用しなかった理由（従業員数別）（単位：%）

Q2 貴社の従業員数を教えてください。（1つのみ選択）	全体（N数）	障害者がどのような業務に従事できるか分からないため	（雇用してみたいが）障害者を雇用することに不安があるため	障害者からの応募がないため	新たに採用するほどの業務量の増加が見込めないため	担当してもらう業務の範囲が限られるため	障害者の業務をサポートできる従業員を確保できないため	採用したいと思う人材が現れなかったため	その他
全体	299	22.7	6.7	43.1	22.4	29.4	29.4	10.0	8.7
10人以下	114	18.4	3.5	26.3	40.4	29.8	30.7	7.0	12.3
11～50人	158	23.4	7.6	53.8	12.0	26.6	24.1	10.8	7.6
51人～	27	37.0	14.8	51.9	7.4	44.4	55.6	18.5	0.0

今後5年間における障害者の採用希望については、「毎年ではないが、機会があれば障害者を正規社員として採用したい」(21.3%)、「毎年ではないが、機会があれば障害者を契約社員として採用したい」(14.7%)という毎年ではないが機会があれば採用するという割合が多かった。

さらに、「パート・アルバイトとしてなら採用したい」(18.0%)、「毎年ではないが、機会があれば障害者を契約社員として採用したい」(14.6%)が10%台であった。

図表 42 今後5年間における障害者の採用希望



従業員数別では、従業員数51人以上の市内事業者において「毎年ではないが、機会があれば障害者を正規社員として採用したい」(40.7%)、「毎年ではないが、機会があれば障害者を契約社員として採用したい」(35.6%)が30%以上であった。毎年の採用希望は多くなかったが、「毎年障害者を正規社員として採用したい」は6.8%、「毎年障害者を契約社員として採用したい」は6.8%であった。

「障害者を採用する予定はない」の割合は従業員数が少ない市内事業者ほど多く、従業員数10人以下の市内事業者では80.8%であった。

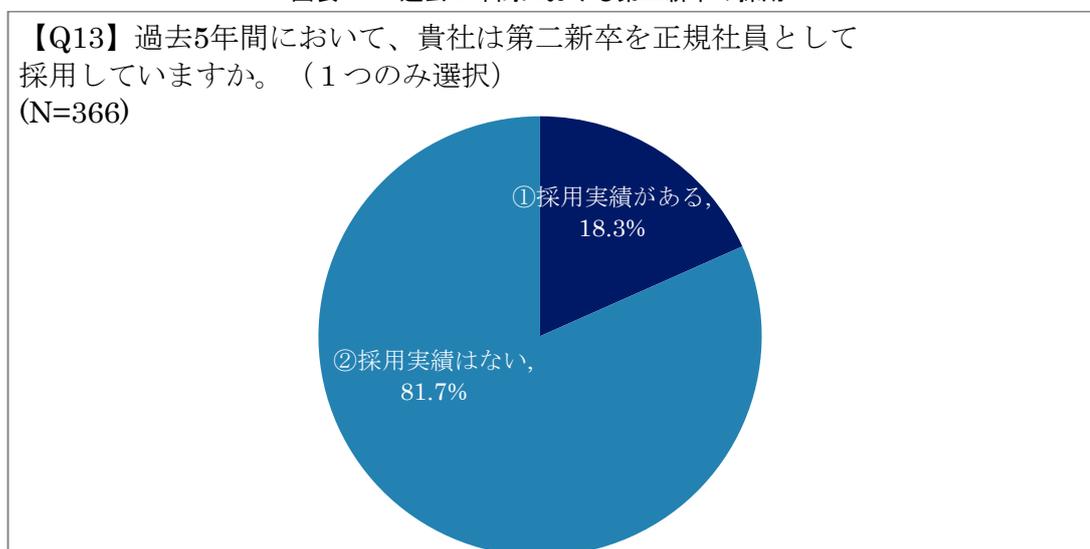
図表 43 今後5年間における障害者の採用希望(従業員数別)(単位:%)

Q2 貴社の従業員数を教えてください。(1つのみ選択)	全体(N数)	毎年障害者を正規社員として採用したい	毎年障害者を契約社員として採用したい	毎年ではないが、機会があれば障害者を正規社員として採用したい	毎年ではないが、機会があれば障害者を契約社員として採用したい	パート・アルバイトとしてなら採用したい	障害者を採用する予定はない
全体	362	1.1	1.4	21.3	14.6	18.0	56.9
10人以下	120	0.0	0.0	5.8	7.5	11.7	80.8
11~50人	182	0.0	0.5	25.3	12.6	19.8	52.7
51人~	59	6.8	6.8	40.7	35.6	25.4	20.3

キ 第二新卒

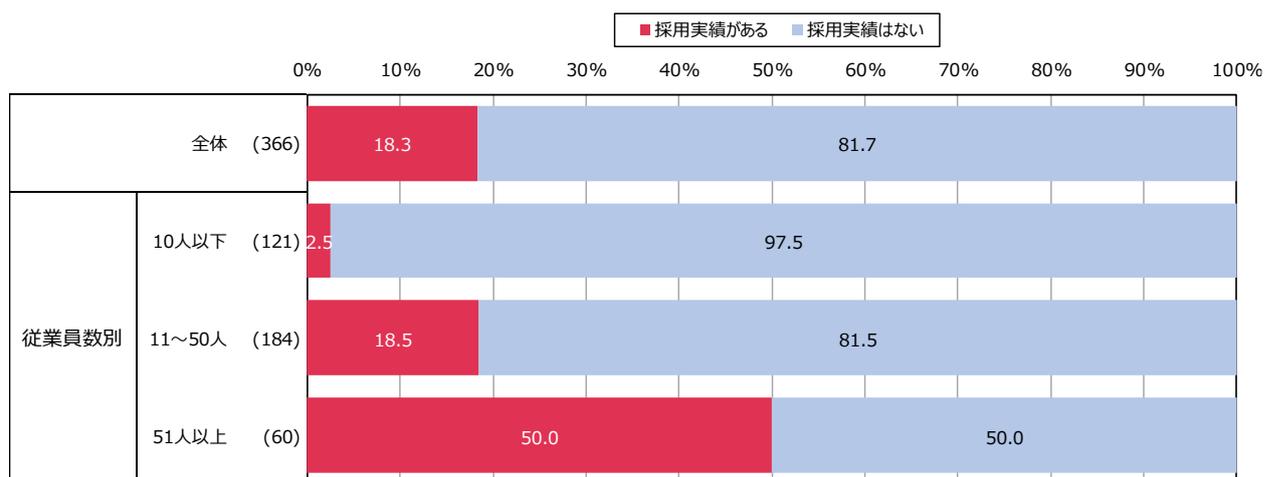
過去5年間に第二新卒の正規社員としての「採用実績がある」は18.3%であった。

図表 44 過去5年間ににおける第二新卒の採用



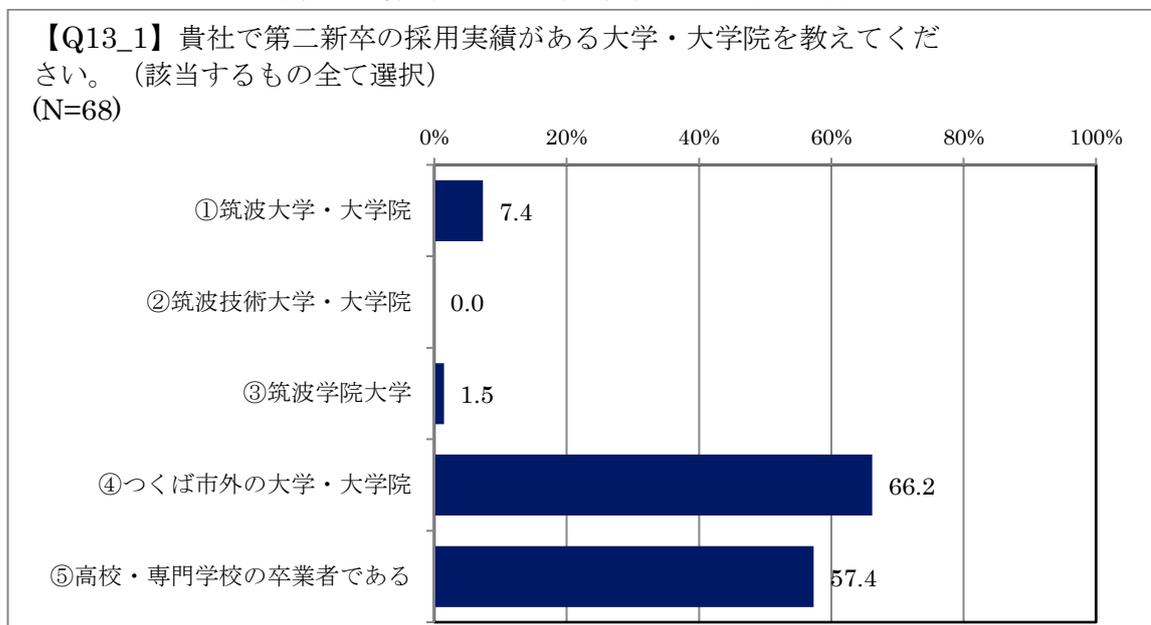
従業員数別では、「採用実績がある」は従業員数が多くなると増加し、従業員数51人以上の市内事業者では50.0%であった。

図表 45 過去5年間ににおける第二新卒の採用（従業員数別）



第二新卒の採用実績がある大学・大学院は「つくば市外の大学・大学院」(66.2%)が最も多かった。次に、「高校・専門学校の卒業者」(57.4%)が続いていた。

図表 46 採用実績がある第二新卒の出身大学・大学院



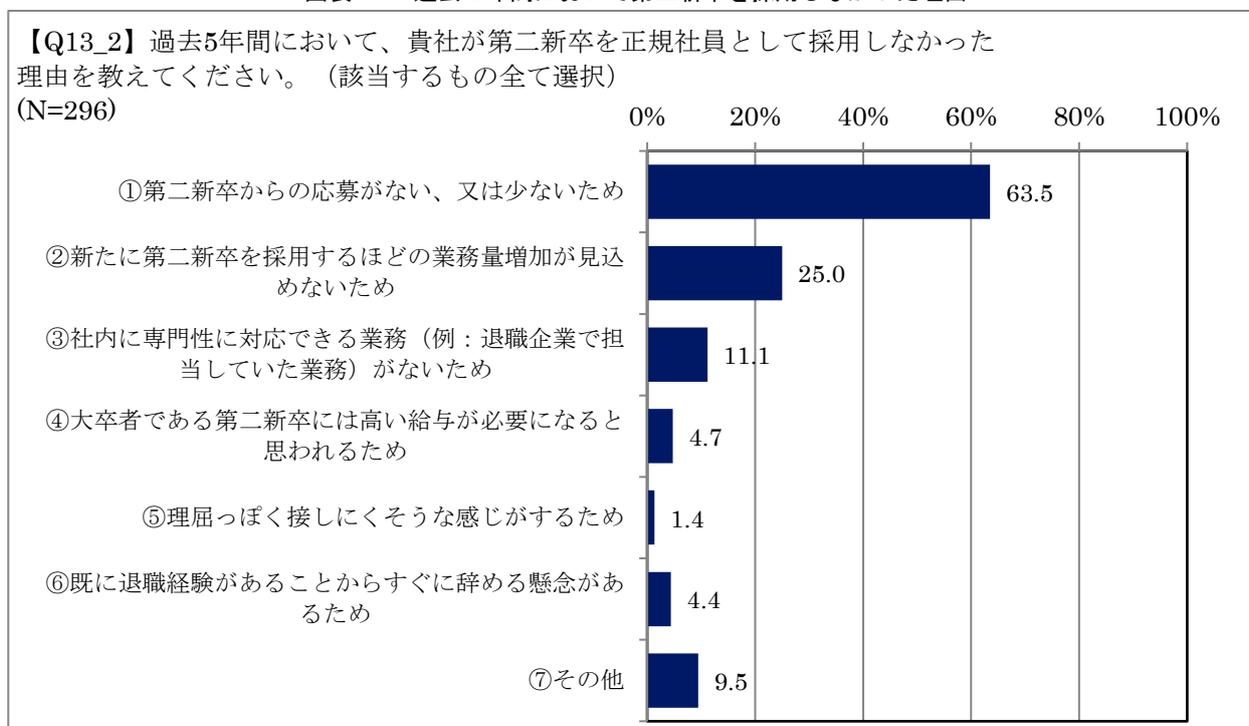
従業員数別では、第二新卒の「つくば市外の大学・大学院」の採用実績は、従業員数 51 人以上の市内事業者で多く 83.3%であった。

図表 47 採用実績がある第二新卒の出身大学・大学院 (従業員数別) (単位:%)

Q2 貴社の従業員数を教えてください。(1つのみ選択)	全体 (N数)	筑波大学・大学院	筑波技術大学・大学院	筑波学院大学	つくば市外の大学・大学院	高校・専門学校の卒業者である
全体	68	7.4	0.0	1.5	66.2	56.4
10人以下	3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
11~50人	34	8.8	0.0	0.0	58.8	41.2
51人~	30	6.7	0.0	3.3	83.3	70.0

過去5年間において採用しなかった理由については「第二新卒からの応募がない、又は少ないため」(63.5%)が最も多かった。「新たに第二新卒を採用するほどの業務量の増加が見込めないため」(25.0%)、「社内に第二新卒の専門性に対応できる業務がないため」(11.1%)が続いていた。

図表 48 過去5年間において第二新卒を採用しなかった理由



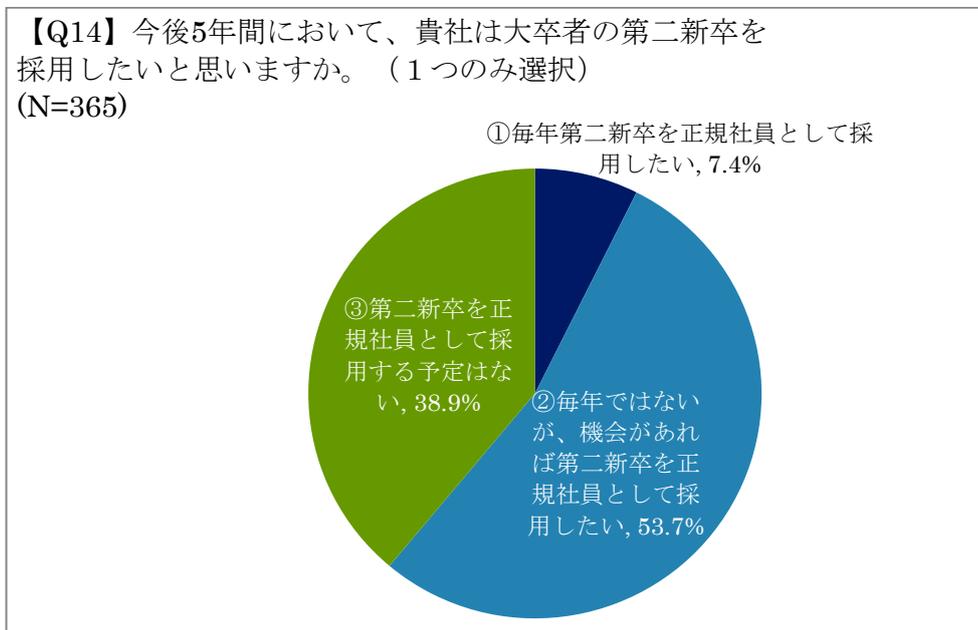
従業員数別では、「第二新卒からの応募がない、又は少ないため」は従業員数が多くなるにつれ多くなり、従業員数51人以上の市内事業者では86.7%であった。「新たに第二新卒を採用するほどの業務量の増加が見込めないため」は従業員数が少なくなるにつれ多くなり、従業員数10人以下の市内事業者では43.0%であった。

図表 49 過去5年間において第二新卒を採用しなかった理由(従業員数別)(単位:%)

Q2 貴社の従業員数を教えてください。(1つのみ選択)	全体(N数)	第二新卒からの応募がない、又は少ないため	新たに第二新卒を採用するほどの業務量増加が見込めないため	社内に専門性に対応できる業務(例:退職企業で担当していた業務)がないため	大卒者である第二新卒には高い給与が必要になると思われるため	理屈っぽく接しにくそうな感じがするため	既に退職経験があることからすぐに辞める懸念があるため	その他
全体	294	63.6	24.5	11.2	4.8	1.4	4.4	9.5
10人以下	114	41.2	43.0	12.3	2.6	0.0	2.6	13.2
11~50人	150	76.0	14.7	9.3	7.3	2.7	6.7	6.0
51人~	30	86.7	3.3	16.7	0.0	0.0	0.0	13.3

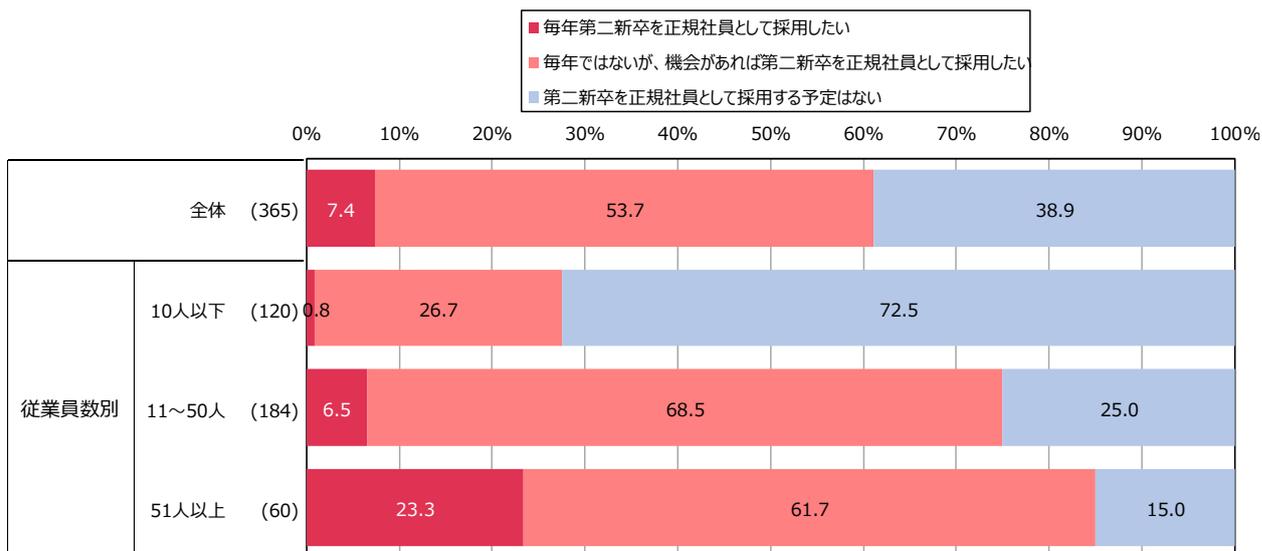
「毎年第二新卒を正規社員として採用したい」は7.4%であった。「毎年ではないが、機会があれば第二新卒を正規社員として採用したい」は53.7%であった。

図表 50 今後5年間における第二新卒の採用希望



従業員数別では、「毎年第二新卒を正規社員として採用したい」は従業員数が増加すると増加し、従業員数51人以上の市内事業者では23.3%であった。

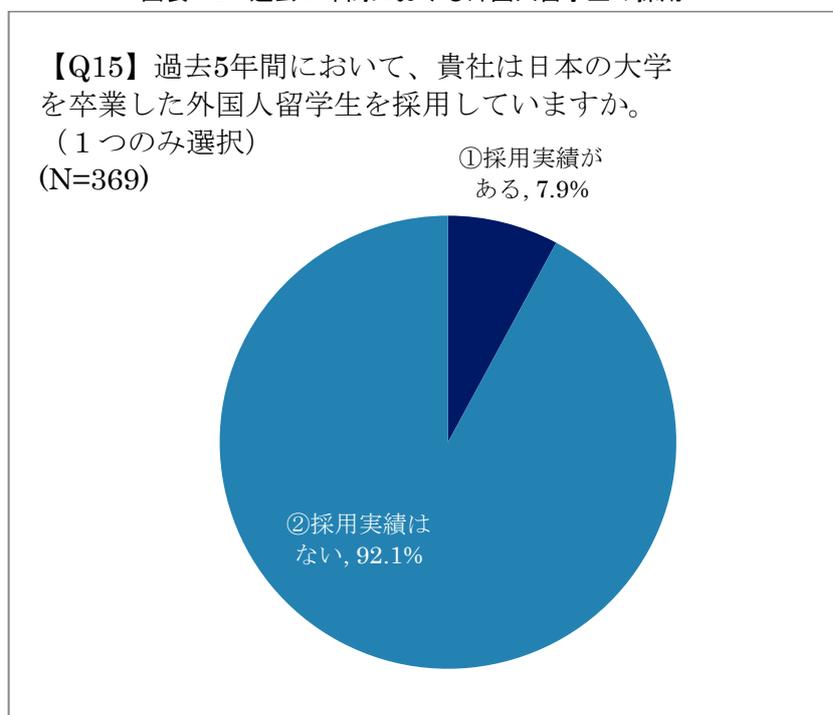
図表 51 今後5年間における第二新卒の採用希望（従業員数別）



ク 外国人留学生

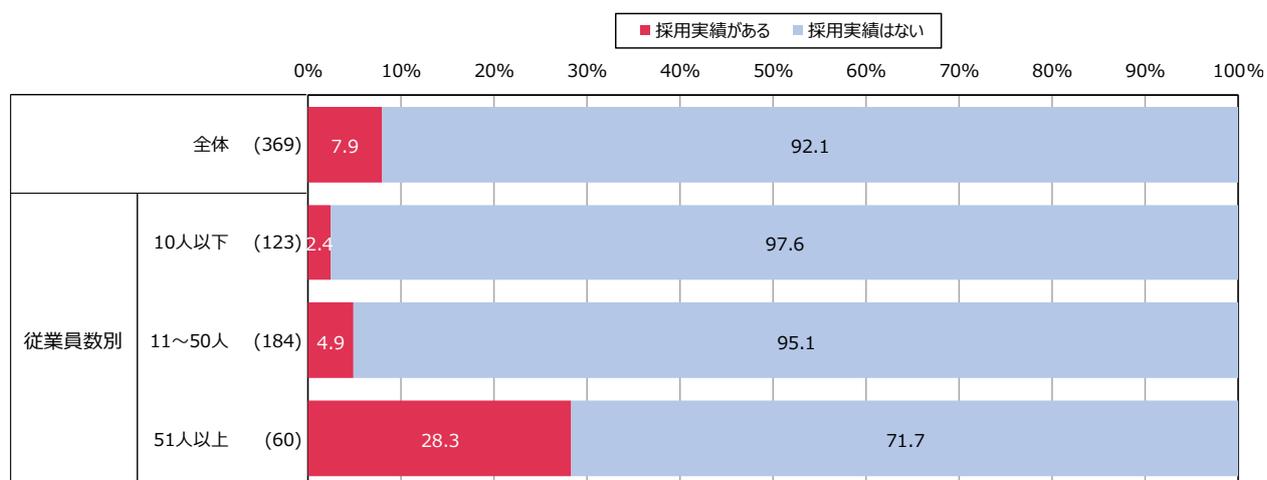
過去5年間において外国人留学生を採用したことがある割合は、7.9%であった。

図表 52 過去5年間における外国人留学生の採用



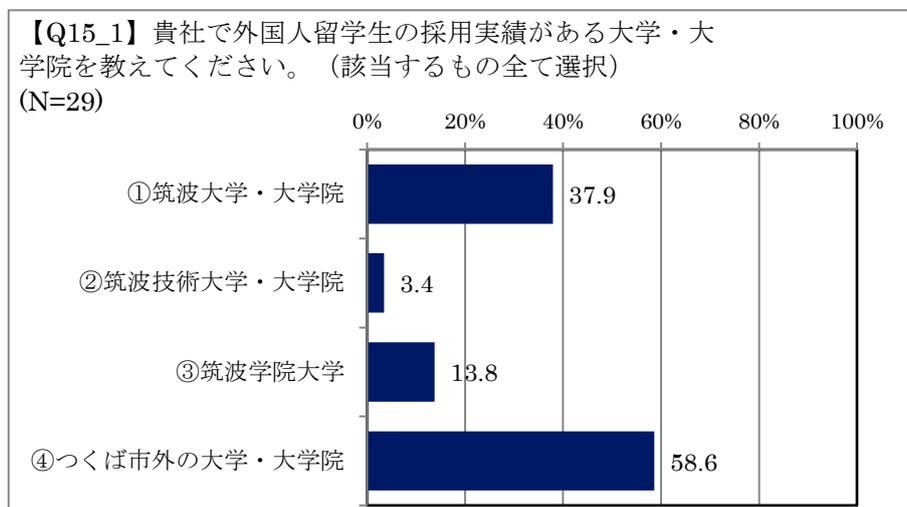
従業員数別では、「採用実績がある」は従業員数が多くなると増加し、従業員数51人以上の市内事業者では28.3%であった。

図表 53 過去5年間における外国人留学生の採用（従業員数別）



採用実績がある大学・大学院は「つくば市外の大学・大学院」(58.6%)が最も多かった。つくば市内では「筑波大学・大学院」(37.9%)が最も多かった。

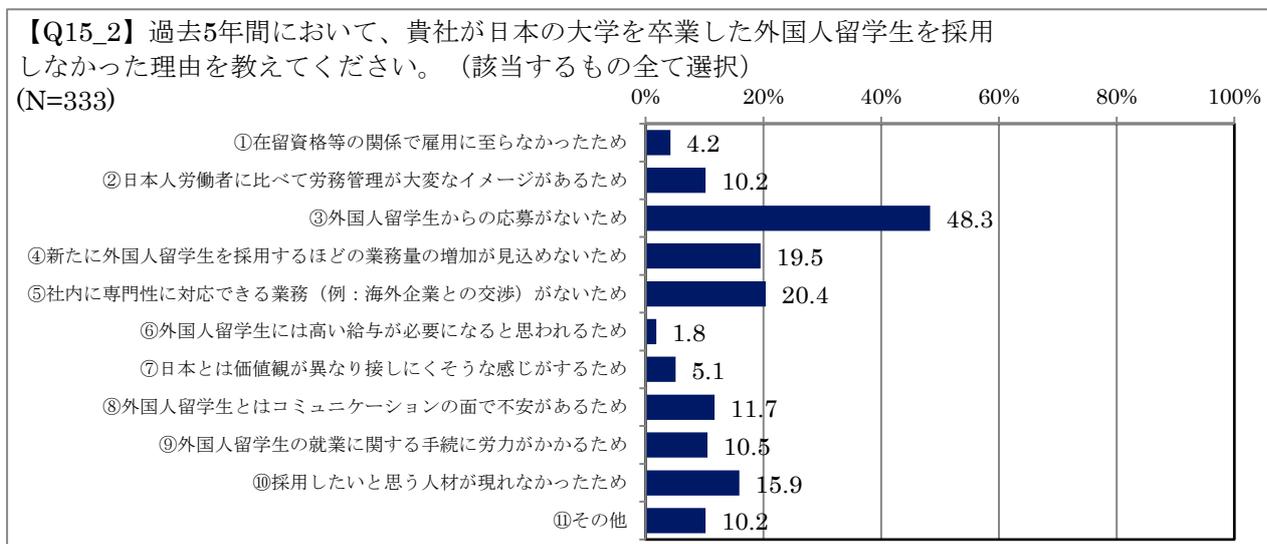
図表 54 採用実績がある外国人留学生の出身大学・大学



外国人留学生を採用しなかった理由としては、「外国人留学生からの応募がないため」(48.3%)が最も多かった。次に、「社内に専門性に対応できる業務(例:海外企業との交渉)がないため」(20.4%)が続いていた。

「新たに外国人留学生を採用するほどの業務量の増加が見込めないため」(19.5%)、「採用したいと思う人材が現れなかったため」(15.9%)、「外国人留学生とはコミュニケーションの面で不安があるため」(11.7%)、「外国人留学生の就業に関する手続に労力がかかるため」(10.5%)、「日本人労働者に比べて労務管理が大変なイメージがあるため」(10.2%)は10%台であった。

図表 55 外国人留学生を採用しなかった理由



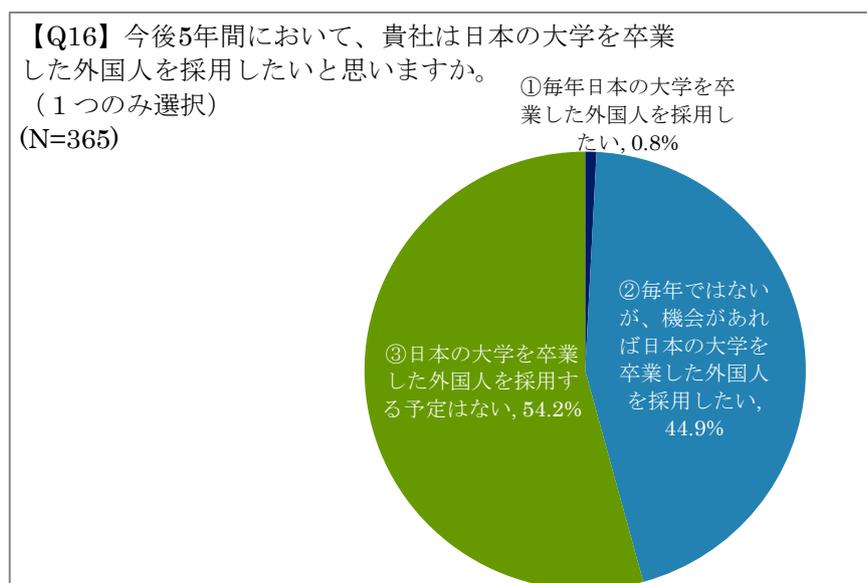
従業員数別では、「外国人留学生からの応募がないため」と回答した割合は、従業員数 11～50 人の市内事業者 (55.2%)、従業員数 51 人以上の市内事業者 (56.8%) が、50%以上であった。「新たに外国人留学生を採用するほどの業務量の増加が見込めないため」は、従業員数 10 人以下の市内事業者では 34.8%であった。

図表 56 外国人留学生を採用しなかった理由 (従業員数別) (単位:%)

Q2 貴社の従業員数を教えてください。(1つのみ選択)	全体 (N数)	在留資格等の関係で雇用に至らなかったため	日本人労働者に比べて労務管理が大変なイメージがあるため	外国人留学生からの応募がないため	新たに外国人留学生を採用するほどの業務量の増加が見込めないため	社内に専門性に対応できる業務 (例: 海外企業との交渉) がないため	外国人留学生には高い給与が必要になると思われるため	日本とは価値観が異なり接しにくい感じがするため	外国人留学生とはコミュニケーションの面で不安があるため	外国人留学生の就業に関する手続きに労力がかかるため	採用したいと思う人材が現れなかったため	その他
全体	333	4.2	10.2	48.3	19.6	20.4	1.8	5.1	11.7	10.5	15.9	10.2
10人以下	115	0.0	9.6	34.8	34.8	19.1	0.9	6.1	9.6	10.4	10.4	13.9
11～50人	172	5.2	11.0	55.2	12.8	18.6	2.3	4.7	14.0	11.0	18.6	7.6
51人～	44	11.4	9.1	56.8	6.8	31.8	2.3	4.5	9.1	9.1	20.5	9.1

今後 5 年間における外国人の採用については、「毎年日本の大学を卒業した外国人を採用したい」は 0.8%に過ぎなかったが、「毎年ではないが、機会があれば大学を卒業した外国人を採用したい」は 44.9%であった。

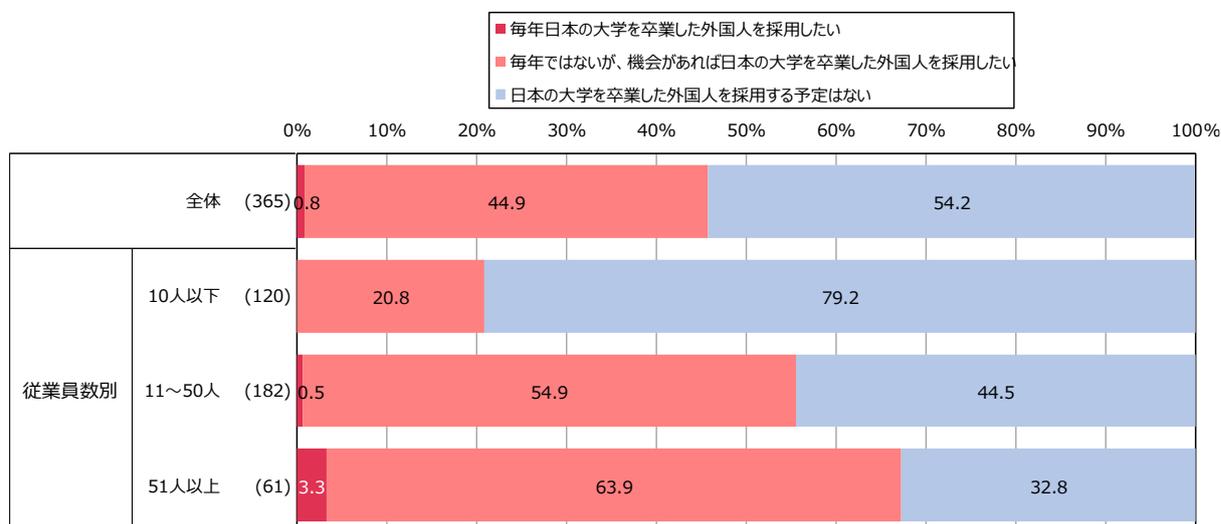
図表 57 今後 5 年間における外国人留学生の採用希望



従業員数別では、「毎年日本の大学を卒業した外国人を採用したい」はどの従業員数の規模でも少なく、従業員数 51 人以上の市内事業者でも 3.3%にとどまった。

なお、「毎年ではないが、機会があれば日本の大学を卒業した外国人を採用したい」と回答した割合が50%以上の規模は、従業員数11～50人の市内事業者(54.9%)、従業員数51人以上の市内事業者(63.9%)であった。

図表 58 今後5年間にける外国人留学生の採用希望（従業員数別）

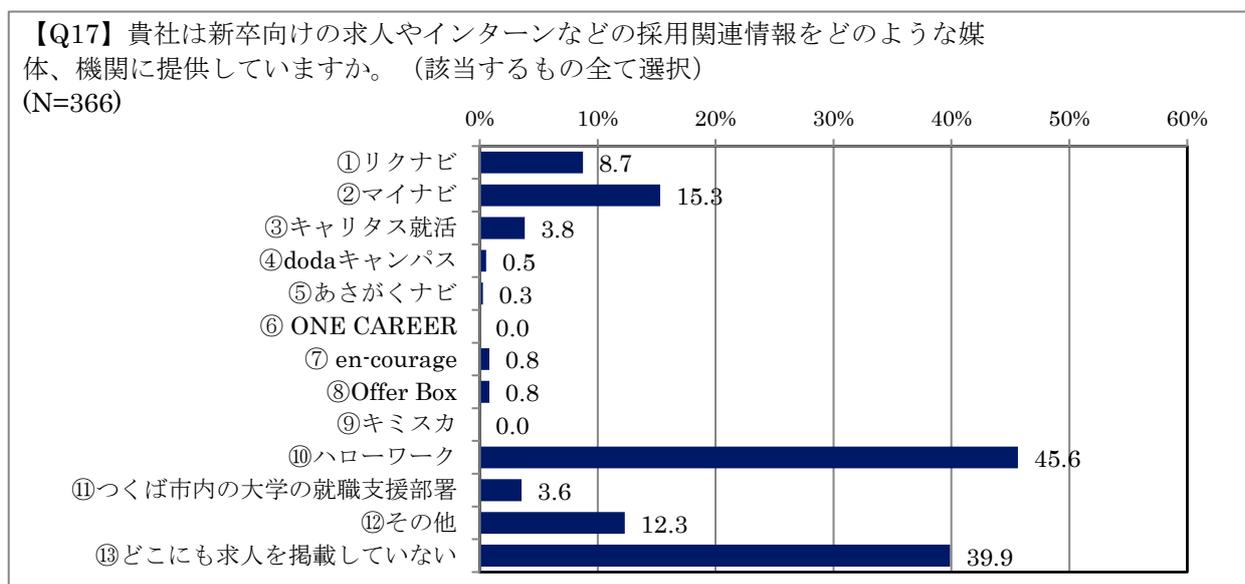


ケ 採用関連情報提供する媒体・機関

新卒向けの採用関連情報を提供する媒体・機関としては、「ハローワーク」(45.6%)が最も多かった。次は、「どこにも求人掲載していない」(39.9%)であった。

就活サイトでは、「マイナビ」(15.3%)が最も多く、「リクナビ」(8.7%)、「キャリアタス就活」(3.8%)が続いていた。

図表 59 新卒向けの採用関連情報提供する媒体、機関



従業員数別では、「マイナビ」、「リクナビ」等の就活サイトは従業員数が多くなると利用している割合が増加し、従業員数 51 人以上の市内事業者では「マイナビ」(44.3%)、「リクナビ」(19.7%)、キャリアス就活(18.0%)の利用が 10%以上であった。「ハローワーク」も従業員数が多くなると利用している割合が増加し、従業員数 51 人以上の市内事業者では 59.0%であった。

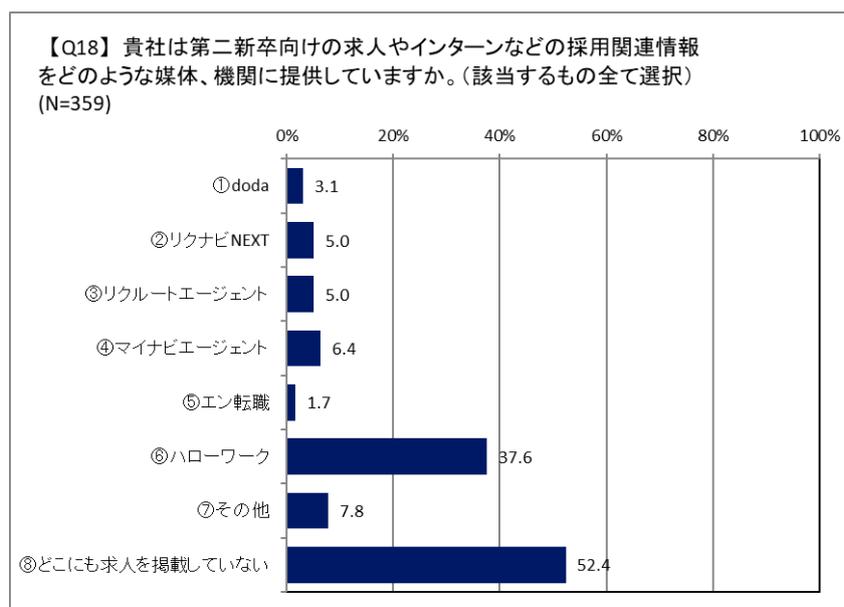
「どこにも求人を掲載していない」は従業員数が少なくなると割合が大きくなり、従業員数 10 人以下の市内事業者では 60.8%であった。

図表 60 採用関連情報提供する媒体、機関（従業員数別）（単位：%）

従業員数別	全体 (N数)	リクナビ	マイナビ	キャリアス就活	dodaキャンパス	あさがくナビ	ONE CAREER	en-courage	Offer Box	キミスカ	ハローワーク	つくば市内大学の就職支援部	その他	どこにも求人を掲載していない
全体	365	8.7	15.3	3.8	0.5	0.3	0.0	0.8	0.8	0.0	45.8	3.6	12.3	40.0
10人以下	120	1.7	3.3	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.8	6.7	60.8
11~50人	184	9.2	13.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	49.5	3.3	14.7	35.3
51人~	61	19.7	44.3	18.0	1.6	1.6	0.0	3.3	4.9	0.0	59.0	9.8	16.4	13.1

第二新卒向けの採用関連情報を提供する媒体・機関としては、「どこにも求人を掲載していない」(52.4%)が最も多かった。次に「ハローワーク」(37.6%)であった。なお、他の媒体はいずれも 10%未満であった。

図表 61 第二新卒向けの採用関連情報提供する媒体、機関



従業員数別では、従業員数 51 人以上の市内事業者においては、「ハローワーク」が 50.0%で最も多く、「マイナビエージェント」(25.0%)、「リクナビNEXT」(15.0%)、「リクルートエージェント」(11.7%)といった就活サイトを活用している割合は 10%以上であった。

「どこにも求人を掲載していない」は従業員数が少なくなると割合が大きくなり、従業員数 10 人以下の市内事業者では 75.6%であった。

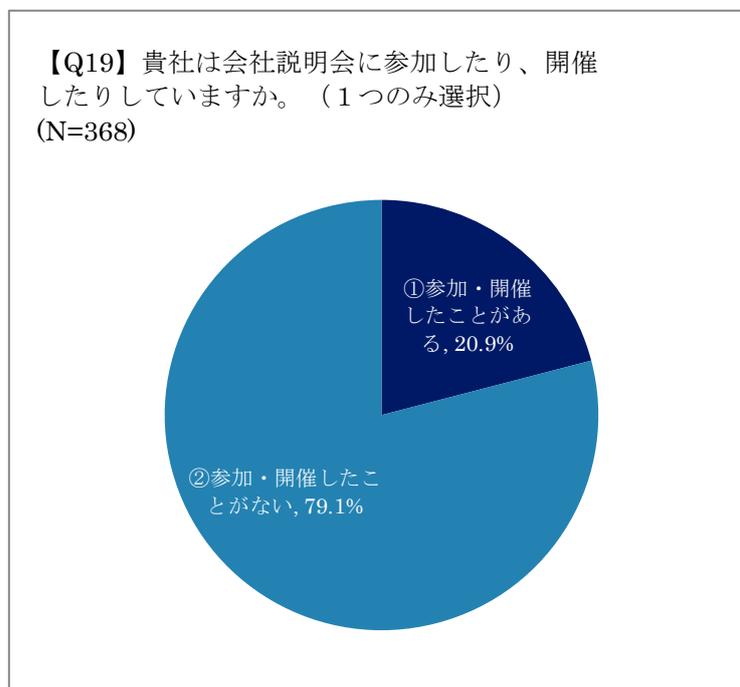
図表 62 第二新卒向けの採用関連情報を提供する媒体、機関（従業員数別）（単位：%）

Q2 貴社の従業員数を教えてください。（1つのみ選択）	全体（N数）	doda	リクナビNEXT	リクルートエージェント	マイナビエージェント	エン転職	ハローワーク	その他	どこにも求人を掲載していない
全体	359	3.1	5.0	5.0	6.4	1.7	37.6	7.8	52.4
10 人以下	119	0.8	0.8	0.8	0.8	0.0	24.4	0.0	75.6
11～50 人	179	2.2	3.9	5.0	3.4	1.1	42.5	10.1	45.3
51 人～	60	8.3	15.0	11.7	25.0	5.0	50.0	16.7	28.3

コ 説明会・インターンシップ

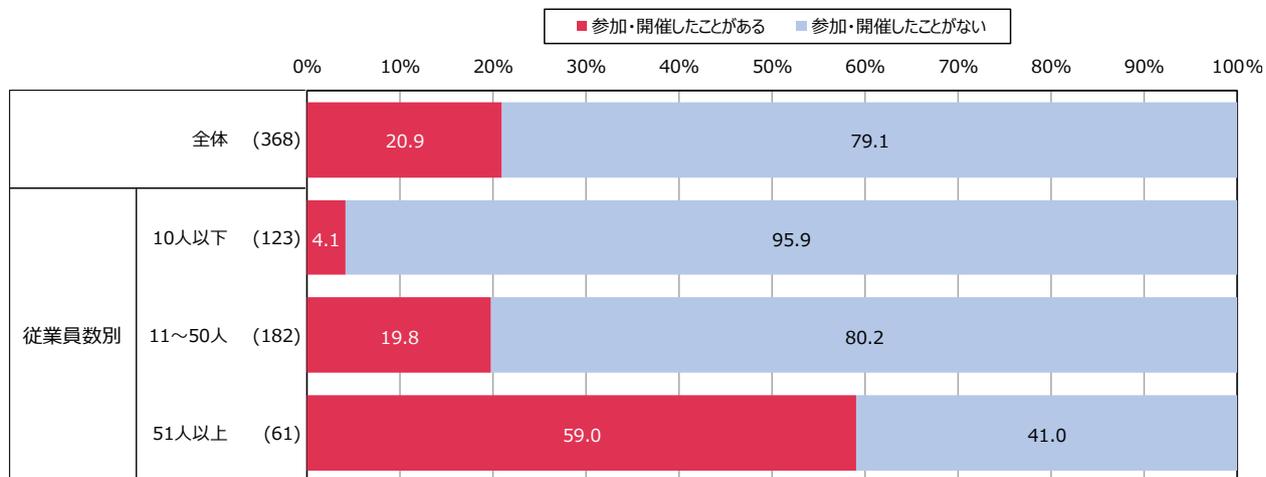
会社説明会に「参加・開催したことがある」市内事業者の割合は 20.9%であった。

図表 63 会社説明会の参加・開催



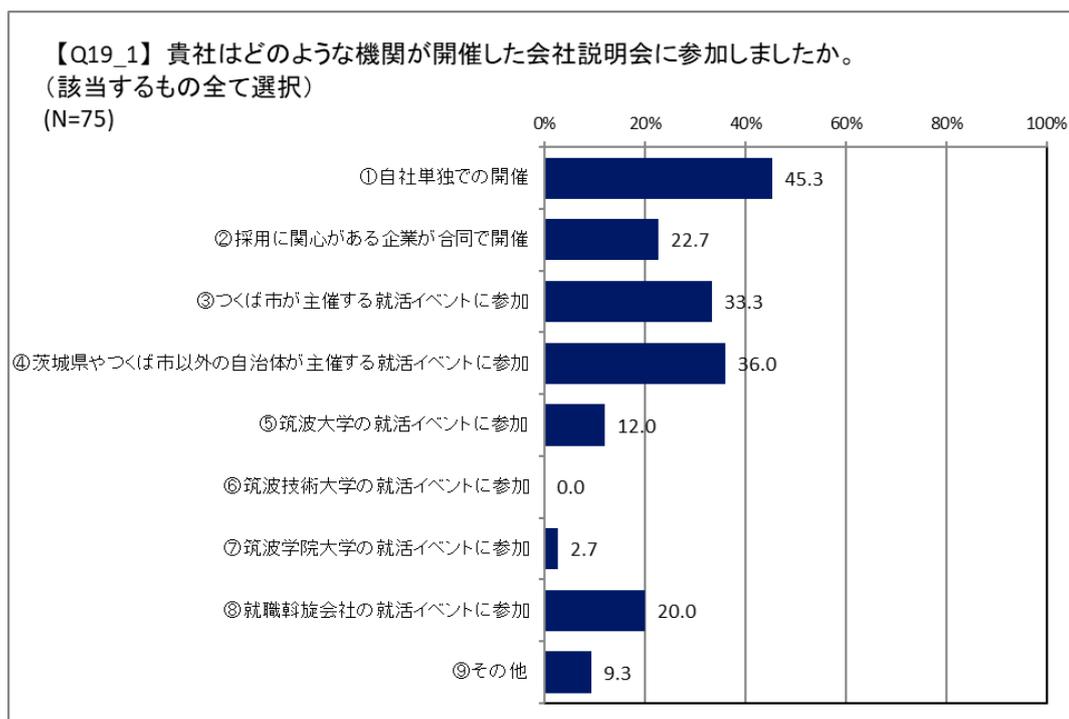
従業員数別では、従業員数の規模が大きくなると、「参加・開催したことがある」割合が増加し、従業員数 51 人以上の市内事業者では 59.0%であった。

図表 64 会社説明会の参加・開催（従業員数別）



「自社単独で開催」（45.3%）が最も多く、「茨城県やつくば市以外の自治体が主催する就活イベントに参加」（36.0%）、「つくば市が主催する就活イベントに参加」（33.3%）が 30%台で続いていた。さらに、「採用に関心がある企業が合同で開催」（22.7%）、「就職斡旋会社の就活イベントに参加」（20.0%）が 20%台であった。

図表 65 参加した会社説明会を開催した機関



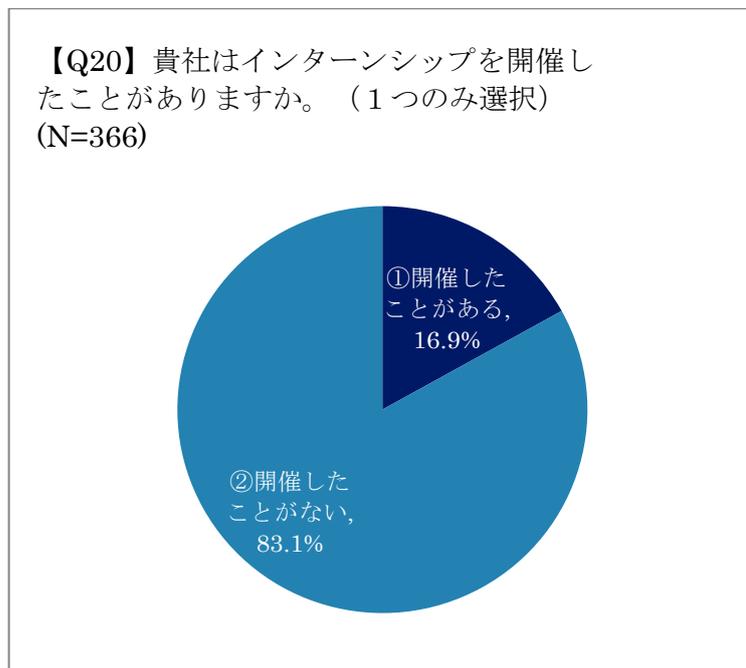
従業員数別では、従業員数 51 人以上の市内事業者においては、「自社単独で開催」(61.1%)が最も多かった。「茨城県やつくば市以外の自治体が主催する就活イベントに参加」(41.7%)、「採用に関心がある企業が合同で開催」(36.1%)、「つくば市が主催する就活イベントに参加」(36.1%)も 30%以上であった。

図表 66 参加した会社説明会を開催した機関（従業員数別）（単位：%）

Q2 貴社の従業員数を教えてください。(1つのみ選択)	全体(N数)	自社単独での開催	採用に関心がある企業が合同で開催	つくば市が主催する就活イベントに参加	茨城県やつくば市以外の自治体が主催する就活イベントに参加	筑波大学の就活イベントに参加	筑波技術大学の就活イベントに参加	筑波学院大学の就活イベントに参加	就職斡旋会社の就活イベントに参加	その他
全体	75	45.3	22.7	33.3	36.0	12.0	0.0	2.7	20.0	9.3
10人以下	5	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11~50人	34	32.4	8.8	29.4	32.4	5.9	0.0	0.0	5.9	14.7
51人~	36	61.1	36.1	36.1	41.7	19.4	0.0	5.6	36.1	5.6

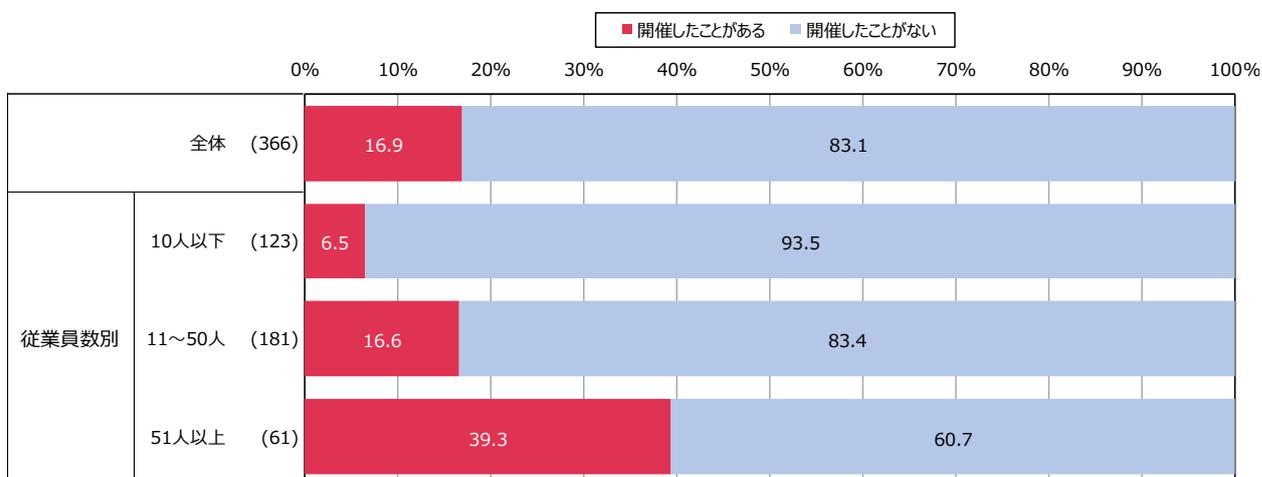
インターンシップについては、「開催したことがある」市内事業者が 16.9%であった。

図表 67 インターンシップの開催



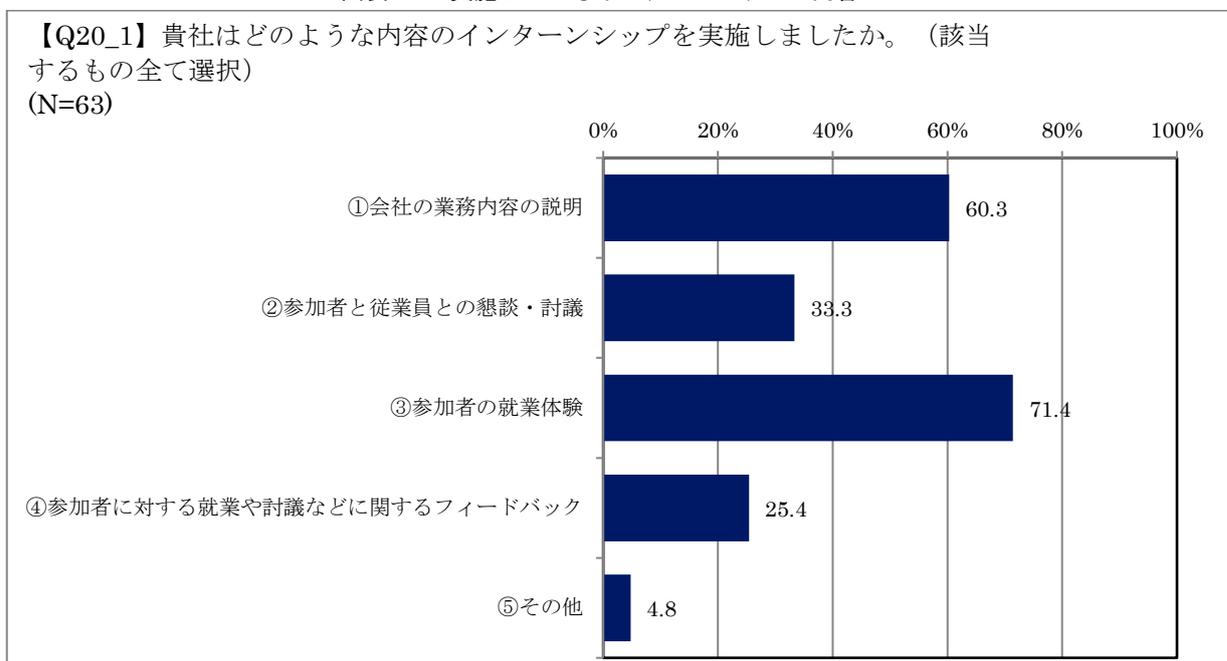
「開催したことがある」は従業員数が多くなると増加し、従業員数 51 人以上の市内事業者では 39.3%であった。

図表 68 インターンシップの開催（従業員数別）



インターンシップの内容としては、「参加者の就業体験」(71.4%)、「会社の業務内容の説明」(60.3%)が、開催している企業の半数以上で実施されていた。「参加者と従業員との懇談・討議」(33.3%)、「参加者に対する就業や討議などに関するフィードバック」(25.4%)が続いていた。

図表 69 実施しているインターンシップの内容



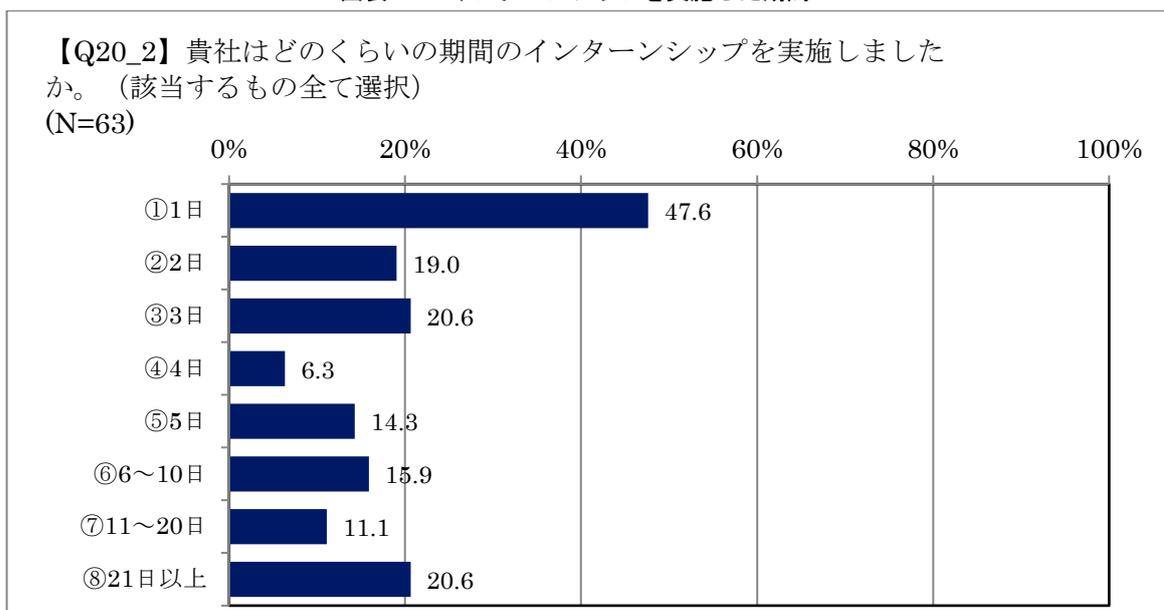
従業員数 51 人以上の市内事業者では、「会社の業務内容の説明」(87.5%)、「参加者と従業員との懇談・討議」(75.0%)を行っている割合が 70%以上であった。

図表 70 実施しているインターンシップの内容 (従業員数別) (単位:%)

Q2 貴社の従業員数を教えてください。(1つのみ選択)	全体 (N数)	会社の業務内容の説明	参加者と従業員との懇談・討議	参加者の就業体験	参加者に対する就業や討議などに関するフィードバック	その他
全体	63	60.3	33.3	71.4	25.4	4.8
10人以下	8	37.5	12.5	87.5	0.0	0.0
11~50人	30	46.7	6.7	76.7	13.3	0.0
51人~	24	87.5	75.0	62.5	50.0	8.3

インターンシップを実施した期間については、「1日」(47.6%)が最も多く、「3日」(20.6%)、「21日以上」(20.6%)が続いていた。

図表 71 インターンシップを実施した期間



従業員数 51 人以上の市内事業者では、「1 日」(79.2%)が有意に多かった。

従業員数 10 人以下、11~20 人の市内事業者では、「21 日以上」の割合がそれぞれ 25.0%、25.8%であった。(ただし、従業員数 10 人以下のN数は 8)

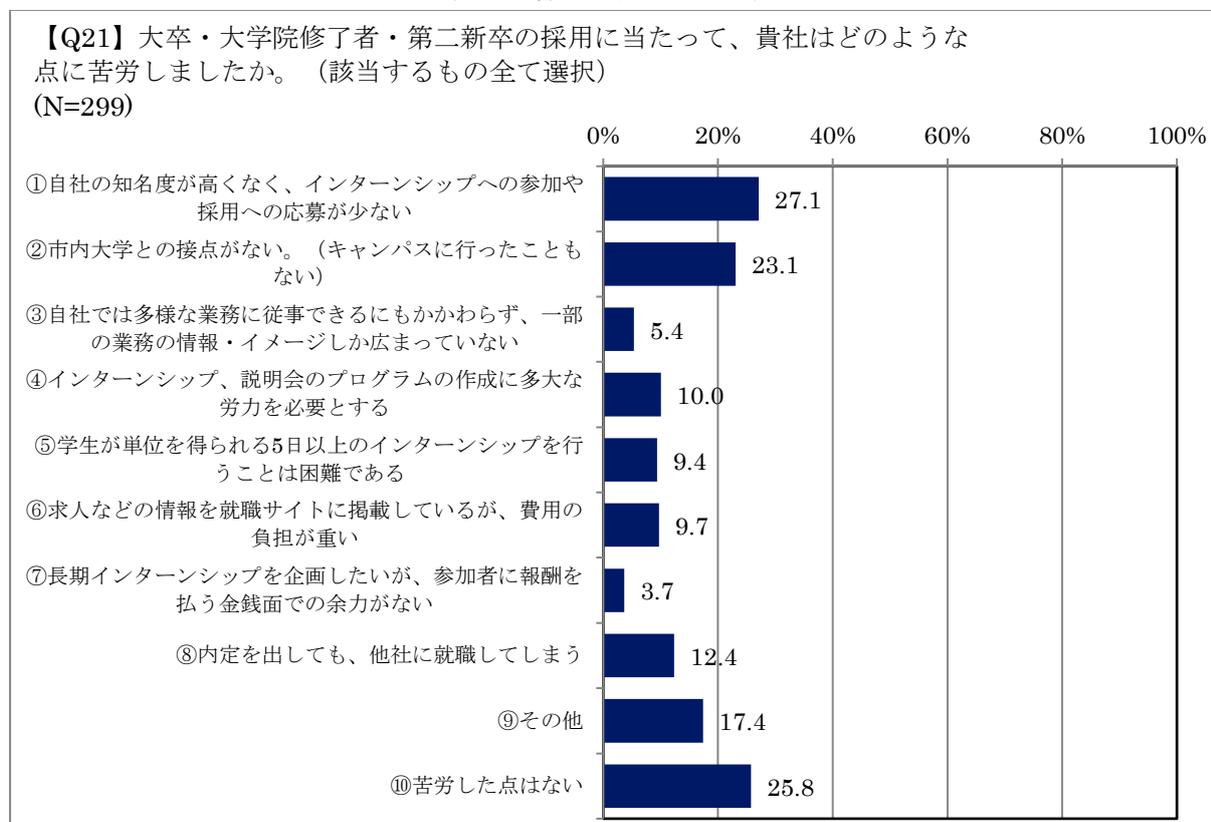
図表 72 インターンシップを実施した期間 (従業員数別) (単位: %)

Q2 貴社の従業員数を教えてください。(1つのみ選択)	全体 (N数)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6~10 日	11~20 日	21 日以上
全体	63	47.6	19.0	20.6	6.3	14.3	15.9	11.1	20.6
10 人以下	8	25.0	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5	37.5	25.0
11~50 人	31	29.0	9.7	19.4	3.2	12.9	16.1	9.7	25.8
51 人~	24	79.2	29.2	29.2	12.5	16.7	16.7	4.2	12.5

サ 苦勞した点

採用活動において苦勞した点では、「自社の知名度が高くなく、インターンシップへの参加や採用への応募が少ない」(27.1%)「市内大学との接点がない。(キャンパスに行ったこともない)」(23.1%)が 20%以上であった。

図表 73 採用活動において苦勞した点



従業員数別では、従業員数 51 人以上の市内事業者においては、「内定を出しても、他社に就職してしまう」(39.3%)が最も多く、「自社の知名度が高くなく、インターンシップへの参加や採用への応募が少ない」(37.5%)、「市内大学との接点がない。(キャンパスに行ったこともない)」(26.8%)、「インターンシップ、説明会のプログラムの作成に多大な労力を必要とする」(21.4%)が 20%以上で続いていた。

従業員数 50 人以下の市内事業者で集計すると、「苦勞した点はない」(28.0%)が最も多かった。「自社の知名度が高くなく、インターンシップへの参加や採用への応募が少ない」(24.7%)、「市内大学との接点がない。(キャンパスに行ったこともない)」(22.2%)が 20%以上で続いていた。

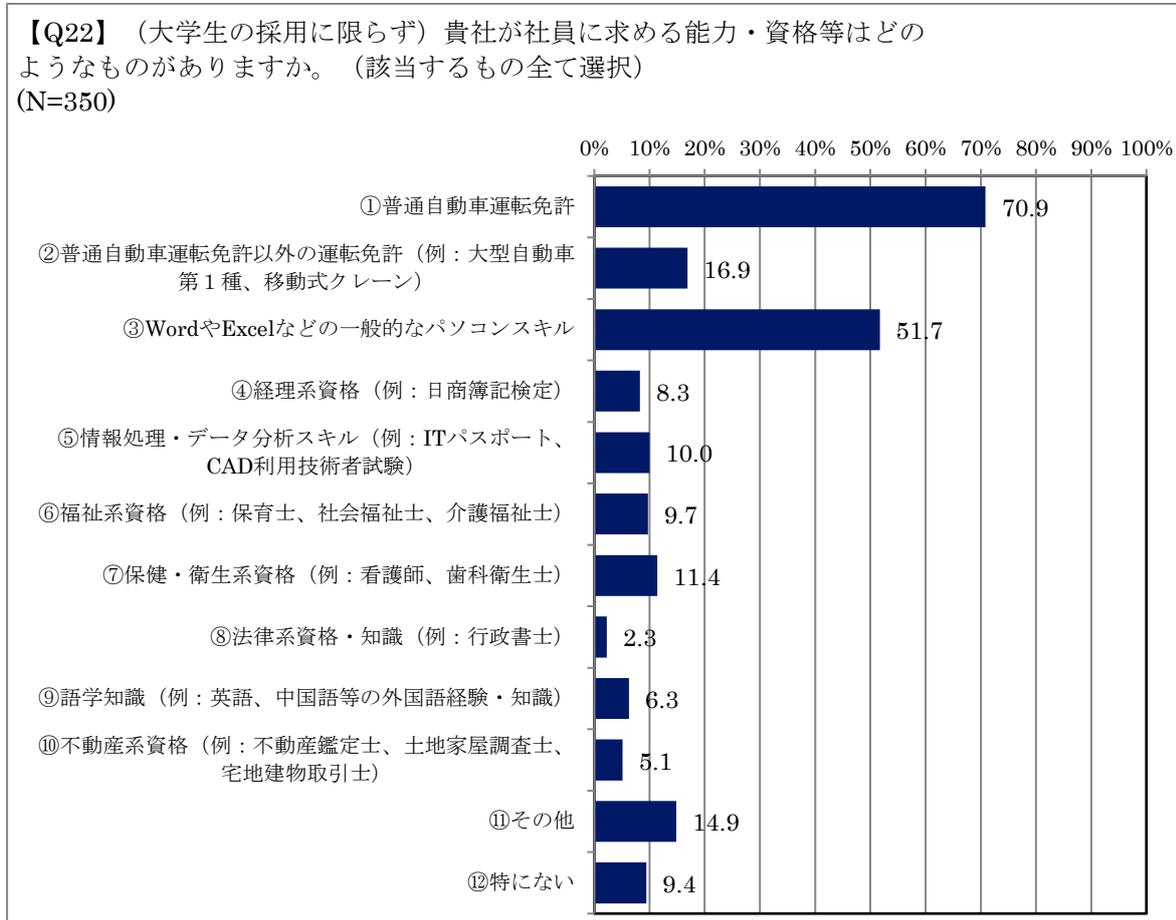
図表 74 採用活動で苦勞した点（従業員数別）（単位：%）

従業員数別	全体 (N数)	自社の知名度が高くなく、インターンシップへの参加や採用への応募が少ない	市内大学との接点がない。(キャンパスに行ったこともない)	自社では多様な業務に従事できるにもかかわらず、一部の業務の情報・イメージしか広まっていない	インターンシップ、説明会のプログラムの作成に多大な労力を必要とする	学生が単位を得られる5日以上インターンシップを行うことは困難である	求人などの情報を就職サイトに掲載しているが、費用の負担が重い	長期インターンシップを企画したいが、参加者に報酬を払う金銭面での余力がない	内定を出しても、他社に就職してしまう	その他	苦勞した点はない
全体	299	27.1	23.1	5.4	10.0	9.4	9.7	3.7	12.4	17.4	25.8
10人以下	85	18.8	17.6	1.2	5.9	4.7	4.7	4.7	3.5	20.0	37.6
11～50人	158	27.8	24.7	4.4	8.2	8.9	8.9	3.2	7.6	18.4	22.8
51人～	56	37.5	26.8	14.3	21.4	17.9	19.6	3.6	39.3	10.7	16.1

シ 求める能力・資格等

社員に求める能力・資格等については、「普通自動車運転免許」(70.9%)が最も多かった。次は、「WordやExcelなどの一般的なパソコンスキル」(51.7%)であった。

図表 75 求める能力・資格等



2 学生アンケート

2 学生アンケート

(1) 筑波大学

ア 調査の概要

本調査研究では、筑波大学の学生へのアンケート調査を以下のように実施した。

- ・ 調査名：学生アンケート（筑波大学）
- ・ 対象者⁴：3年、4年、修士1年、修士2年、博士課程
- ・ 調査期間：2023年9月26日(火)～2023年10月31日(火)
- ・ 回収数：487
- ・ 回答方法：インターネットによる回答

⁴ 本アンケート調査の問の選択肢において、大学3年を「3年」、大学4年を「4年」としていることから、対象者についてこのような表記にした。

イ 調査票

Q1. あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)

【大学生】

1. 人文・文化学群
2. 社会・国際学群
3. 人間学群
4. 生命環境学群
5. 理工学群
6. 情報学群
7. 医学群
8. 体育専門学群
9. 芸術専門学群

【大学院生】

10. 人文社会科学研究群
11. ビジネス科学研究群
12. 数理物質科学研究群
13. システム情報工学研究群
14. 生命地球科学研究群
15. 人間総合科学研究群
16. その他 ()

Q2. あなたの学年を教えてください。(単一回答)

1. 3年
2. 4年
3. 修士1年
4. 修士2年
5. 博士課程

Q3. あなたの性別を教えてください。(単一回答)

1. 男
2. 女
3. その他

Q4. あなたは、日本人学生ですか？ それとも外国人留学生ですか？ (単一回答)

1. 日本人学生
2. 外国人留学生

Q5. あなたが高校時代に住んでいた地域を教えてください。(単一回答)

1. つくば市
2. つくば市以外の茨城県
3. 茨城県以外の関東(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、群馬県、栃木県、山梨県)
4. 北海道
5. 東北
6. 中部(新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)
7. 関西(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県)
8. 中国・四国
9. 九州・沖縄
10. 海外
11. その他()

Q6. あなたは大学入学後にアルバイトをしたことがありますか。(単一回答)

1. 経験がある(Q6-1へ)
2. 経験はない(Q7へ)

Q6-1. あなたはどのようなアルバイトをしたことがありますか。(複数回答)

1. スーパー、コンビニなどの小売
2. 飲食店、喫茶店
3. 工場や倉庫など
4. 塾講師、家庭教師
5. その他()

Q6-2. あなたはどこでアルバイトをしましたか。(複数回答)

1. つくば市内
2. つくば市以外の茨城県
3. 首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)
4. 首都圏以外の日本の地域()
5. 海外
6. オンライン会議システムやメールなどにより非対面で実施

Q6-3. あなたはアルバイトをした企業に就職したいですか。(単一回答)

1. 就職しても良いと思う(Q6-4へ)
2. 就職したくない(Q7へ)

Q6-4. あなたはどのような理由から就職しても良いと思いましたか。(複数回答)

1. 仕事にやりがいを感じたから
2. 発注や店舗管理などの経営に関することを教えてくれたから
3. 裁量を与えてくれ自主的な行動ができたから
4. 職場の雰囲気良かったから
5. 企業がアルバイトでの働きぶりを評価してくれたから
6. 企業から就職の誘いを受けたから
7. 将来起業・独立する際に役に立つから
8. その他 ()

Q7. あなたは学部卒業後、あるいは大学院修了後の進路をどのように考えていますか。(単一回答)

1. 就職(教員・公務員を含む)を検討している(Q7-1へ)
2. 就職(教員・公務員を含む)も進学も検討している(Q7-1へ)
3. 進学を検討している(Q8へ)

Q7-1. あなたはどのような業種の企業などに入社したいですか。(3つまで回答)

1. 農林漁業
2. 建設業、不動産業
3. 製造業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業
5. 情報通信業
6. 運輸業、郵便業
7. 卸売業、小売業
8. 金融業、保険業
9. 物品賃貸業
10. 学術研究、専門・技術サービス業
11. 宿泊業、飲食サービス業
12. 生活関連サービス業、娯楽業
13. 教育、学習支援業(教員を含む)
14. 医療・福祉
15. その他のサービス業
16. 公務(国家公務員や地方公務員を含む)
17. その他の業種 ()
18. 特に決まっていない

Q7-2. あなたはどのような職種についてみたいですか。(3 つまで回答)

1. 管理的職種
2. 研究・技術の職種
3. 法務・経営等の専門的職業
4. 文化芸術等の専門的職業
5. 医療・看護・保健の職業
6. 保育・教育の職業（教員を含む）
7. 事務的職業
8. 販売・営業の職業
9. 福祉・介護の職業
10. サービスの職業
11. 警備・保安の職業
12. 農林漁業の職業
13. 製造・修理・塗装・製図等の職業
14. 配送・輸送・機械運転の職業
15. 建設・土木・電気工事の職業
16. 運搬・清掃・包装・選別等の職業
17. その他の業種（ ）
18. 特に決まっていない

Q7-3. あなたは、就職する際にどのような点を重視しますか。(複数回答)

1. やりたい仕事ができること
2. 自分の能力・専門性を活かせること
3. 有意義な経験、知識等を得ることができること
4. 報酬がよいこと
5. 会社としての成長性が期待できること
6. 規模が大きく安定性があること
7. 知名度が高いこと
8. 社風が良いこと
9. 休日・休暇が多い・とりやすいこと
10. 勤務制度、住宅等の福利厚生が良いこと
11. 転勤がないこと
12. 現在住んでいるところから通勤しやすいこと
13. 海外にも展開していること
14. 親などの家族の希望に沿っていること
15. その他（ ）

Q7-4. あなたは、どの地域に就職したいですか。(複数回答)

1. つくば市 (Q7-5 へ)
2. つくば市以外の茨城県 (Q7-6 へ)
3. 両親の居住地 (Q7-6 へ)
4. 東京圏 (東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県) (Q7-6 へ)
5. 中京圏 (愛知県、岐阜県、三重県) (Q7-6 へ)
6. 関西圏 (大阪府、兵庫県、京都府) (Q7-6 へ)
7. その他の日本の地域 (Q7-6 へ)
8. 海外 (Q7-6 へ)
9. 就職できれば特に地域の条件はない (Q7-6 へ)

Q7-5. あなたがつくば市に就職するとすれば、どのような理由からですか。(複数回答)

1. 就職したいと思う企業がつくば市内にあるから
2. 大学に通い、親しんだ地域だから
3. 知人や仲の良い人が多い地域だから
4. 自然に恵まれているから
5. 東京圏にも通いやすいから
6. 居住に関する費用が安いから
7. 研究機関などが多く、知的な地域だから
8. 親などの家族が希望するから
9. その他 ()

Q7-6. あなたは、どのような理由からつくば市内に就職しないのですか。(複数回答)

1. 正規社員として採用してくれそうなつくば市内にある企業を知らないから
2. どのような企業があるか知っているが、自身の希望とは合わないから
3. 他の地域で就職したいから
4. その他 ()

Q8. あなたは、就職活動において必要な情報をどこから入手していますか。(複数回答)

1. リクナビ
2. マイナビ
3. キャリタス就活
4. doda キャンパス
5. あさがくナビ
6. ONE CAREER
7. en-courage
8. Offer Box
9. キミスカ
10. ハローワーク
11. 大学に寄せられた求人票
12. 大学の先輩 (OB、OG)
13. 学内のエンパワーメント推進局
14. 学群内の就職支援部署
15. その他 ()

Q8-1. あなたは、ヒューマンエンパワーメント推進局(BHE)や就職支援の部署を利用したことがありますか。(単一回答)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用したことがある (Q8-2 へ) 2. 存在は知っているが、利用したことはない (Q9 へ) 3. そのような機関を知らなかった (Q9 へ) |
|--|

Q8-2. あなたは、ヒューマンエンパワーメント推進局(BHE)や就職支援の部署をどのように活用していますか。(複数回答)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 就職に関する学内のイベントの確認 2. 就職に関する学内のイベントへの参加 3. インターシップの連絡の確認 4. アルバイトの求人の確認 5. 就職の求人の確認 6. エントリーシートの作成の指導 7. 面接に関する指導 8. 進路に関する相談 9. その他 () |
|---|

Q9. あなたは、就職に関して、誰の意見を参考にしますか。(各対象への参考の度合いについて単一回答) なお、就職に関連した事柄での接触が無く、意見を聞いたことがない属性の方については、「参考にしない」を選択してください。

	参考に する	どちらか と 言えば 参考に する	どちらか と 言えば 参考に しない	参考に しない
就職関連のメンター、コンサルタントなど	1	2	3	4
大学の教員 (ゼミの担当教員など)	1	2	3	4
BHE 等の就職担当の職員	1	2	3	4
大学の先輩 (OB、OG)	1	2	3	4
大学のゼミ、部活、サークルなどの友人	1	2	3	4
兄や姉などの年上の兄弟、年上のいとこなど	1	2	3	4
父親、母親	1	2	3	4
SNS における知り合い	1	2	3	4

Q10. あなたは、インターンシップに応募や参加したことが（参加予定を含む）ありますか。（単一回答）

1. 応募したことがあるが、参加したことはない（選考の結果が出ていない場合も含む）（Q10-1 へ）
2. 応募し、一つあるいはいくつかのインターンシップに参加したことがある（Q10-1 へ）
3. 応募したことがない（Q11 へ）

Q10-1. あなたが最初にインターンシップに参加した（参加予定を含む）時期はいつですか。（単一回答）

1. 1年、2年時にはじめて参加
2. 3年時にはじめて参加
3. 4年時にはじめて参加
4. 修士1年時にはじめて参加
5. 修士2年時にはじめて参加
6. 博士課程時にはじめて参加

Q10-2. あなたは、インターンシップにどのようなことを期待しますか（あるいは、期待しましたか）。（複数回答）

1. 業務内容に関する詳しい説明があること
2. 業務を実際に体験できること
3. 現役の社員・役員と接することができること
4. 採用にも関連していること
5. 参加後にフィードバックが得られること
6. 報酬が支払われること
7. 参加しやすい時期であること
8. 適切な日数であること
9. 単位をとれること
10. その他（ ）

Q10-3. あなたは、インターンシップについてはどのくらいの長さを希望しますか（あるいは、希望していましたか）。（単一回答）

1. 1日
2. 2日
3. 3、4日
4. 5日
5. 6～10日
6. 11～20日
7. 21日以上

Q10-4. あなたがインターシップに参加した（参加予定を含む）企業は何社ですか。（単一回答）

1. 0社
2. 1社
3. 2社
4. 3社
5. 4、5社
6. 6～10社
7. 11～15社
8. 16～20社
9. 21社以上

Q10-5. あなたが参加した（参加予定を含む）インターシップを開催された（あるいは開催が予定されている）場所はどこですか。（複数回答）

1. つくば市内
2. つくば市以外の茨城県
3. 首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）
4. その他の日本の地域（ ）
5. 海外
6. オンラインで参加

Q10-6. あなたはインターシップにおいてどのようなことに苦労していますか。（複数回答）

1. 応募しても参加できないことがあったこと
2. エントリーシートの作成に労力がかかること
3. 面接の対策に労力がかかること
4. スケジュールが合わないこと
5. インターンにおける集団討議などの対策に労力がかかること
6. 毎日、業務日誌の記入などが必要なこと
7. 大学に実施報告書などの提出が必要なこと
8. その他（ ）
9. 特になし

Q11. あなたの就職活動の現状を教えてください。（単一回答）

1. 就職に関する活動は特に何も行っていない（Q11-1へ）
2. 来年度以降の就職に向け情報収集等を行っている（インターシップへの参加を含む）（Q11-1へ）
3. 筆記試験の受験や面接などの就職活動やその準備を行っている（Q11-1へ）
4. 民間企業に就職でき、就職活動を終了した（Q11-1へ）
5. 自治体や中央官庁などに就職でき、就職活動を終了した（Q11-1へ）
6. 内定はあるが、まだ就職活動を行っている（Q11-1へ）
7. 内定をとれず、まだ就職活動を行っている（Q11-1へ）
8. 内定をとれなかったが、就職活動を中止した（Q12へ）
9. その他（ ）

Q11-1. あなたが就職した企業、あるいは就職しようとしている企業には、どのくらい勤めたいですか。(単一回答)

1. 定年まで勤めたい
2. できるだけ長く勤めたい
3. 3年後くらいまでに機会があれば積極的に転職したい
4. より条件の良い企業があればすぐに転職したい
5. その他 ()
6. 特に決めていない

Q12. あなたは就職活動全般においてどのようなことに苦労していますか。(複数回答)

1. 就職したい業種、職種、企業をなかなか決めることができなかったこと
2. 採用に応募しても面談などに参加できないことがあったこと
3. エントリーシートの作成に労力がかかること
4. 面接の対策に労力がかかること
5. スケジュールが合わないこと
6. 集団討議などの対策に労力がかかること
7. 就職先、勤務地などについて、家族との意見の違いに対応すること
8. その他 ()
9. 特にない
10. 大学院等への進学を考えているため就職活動を行っていない

Q13. あなたはつくば市内で営業している企業を知っていますか。

1. 知っている (Q13-1 へ)
2. 知らない (Q14 へ)

Q13-1. つくば市内企業を知っている方は、正社員で働いてみようと思う企業名を1つ以上3つ以内記入してください。ない場合は、企業名1のところに「なし」と記入してください。

正社員：
企業名1：
企業名2：
企業名3：

Q14. もし、キャリア支援に関する授業の中に、「地域の産業・企業について学ぶ」というような授業があったら履修したいですか。(単一回答)

1. 履修したい (Q14-1 へ)
2. 履修しない (Q14-2 へ)

Q14-1. 履修してみたいと思ったのは、どのような理由からですか。(複数回答)

1. 地域の産業・企業に興味があるため
2. 就職活動の参考になるため
3. 広く社会や世界の視座からの多様な考え方・生き方に触れることができると感じたため
4. 単位認定されるため
5. その他 ()

Q14-2. 履修しないのは、どのような理由からですか。(複数回答)

1. 他に魅力的な授業があるので履修しない
2. 興味がないので履修しない
3. その他 ()

Q15. 地域の企業へのインターンシップに参加することで単位認定される制度があったら参加したいですか。(単一回答)

1. 参加したい (Q15-1 へ)
2. 参加しない (Q15-2 へ)

Q15-1. 参加したいと思ったのは、どのような理由からですか。(複数回答)

1. 地域の産業・企業に興味があるため
2. 就職活動の参考になるため
3. 近いので、他の地域におけるインターンシップよりも参加しやすいため
4. 単位認定されるため
5. その他 ()

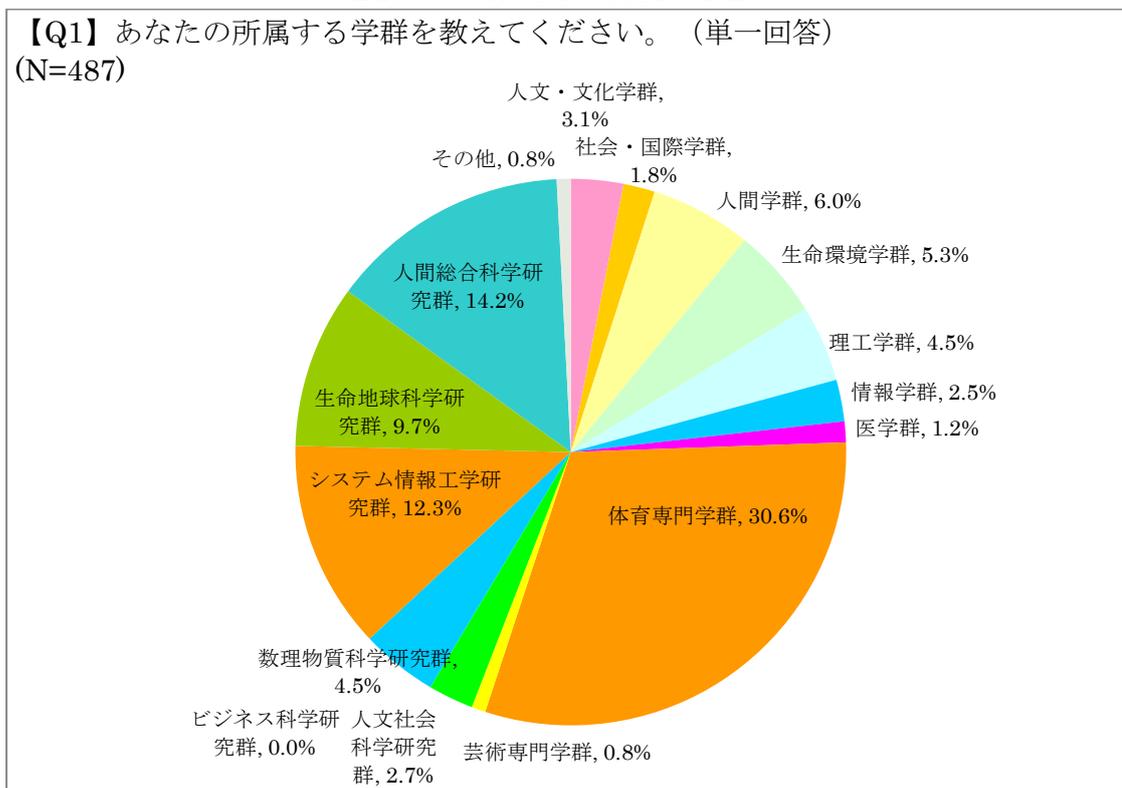
Q15-2. 参加しないのは、どのような理由からですか。(複数回答)

1. 地域の企業をよく知らないため
2. 地域に希望する業種がないため
3. 地域に希望する規模の企業がないため
4. 授業や研究、部活動が多忙でありインターンシップに参加する余裕がないため
5. 進学等を考えており就職を希望していないため
6. その他 ()

ウ 回答者の属性

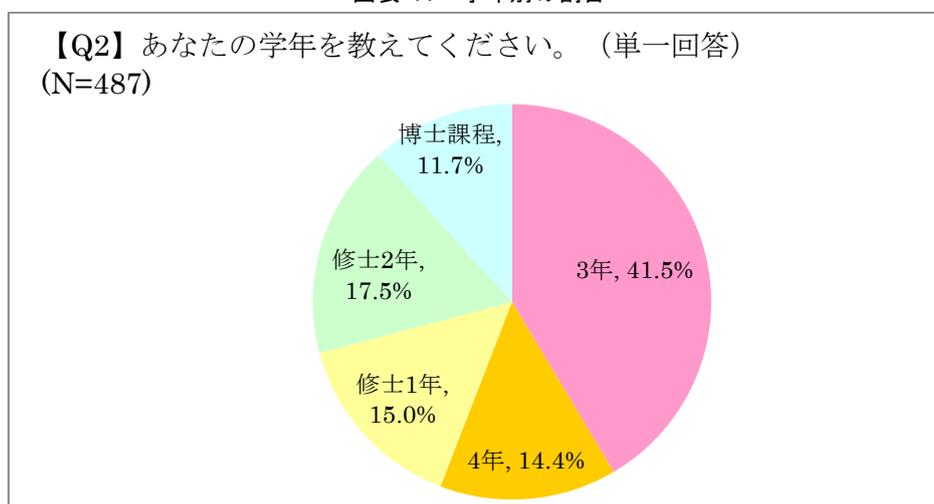
所属する学群・研究群については、「体育専門学群」(30.6%)、「人間総合科学研究群」(14.2%)、「システム情報工学研究群」(12.3%)、「生命地球科学研究群」(9.7%)、「人間学群」(6.0%)、「生命環境学群」(5.3%)が5%以上であった。

図表 76 所属の学群・研究群の割合



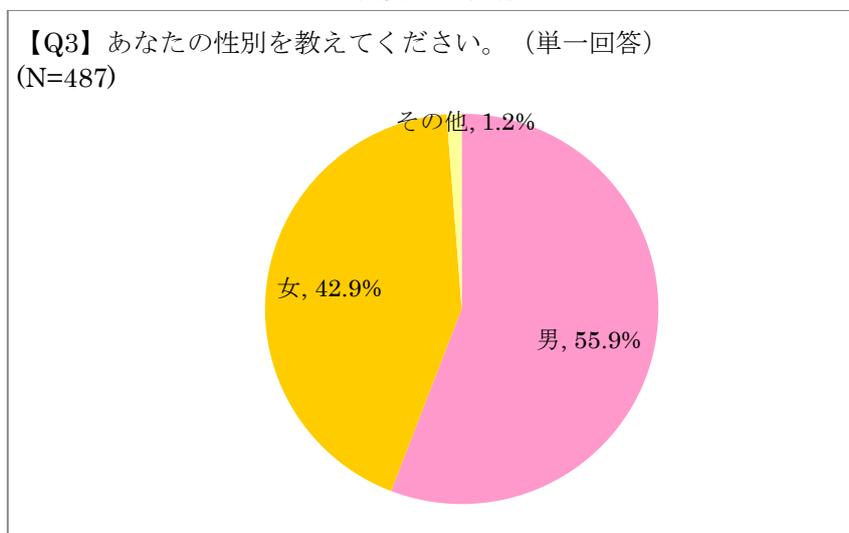
学年については、「3年」が41.5%、「4年」が14.4%、「修士1年」が15.0%、「修士2年」が17.5%、「博士課程」が11.7%であった。

図表 77 学年別の割合



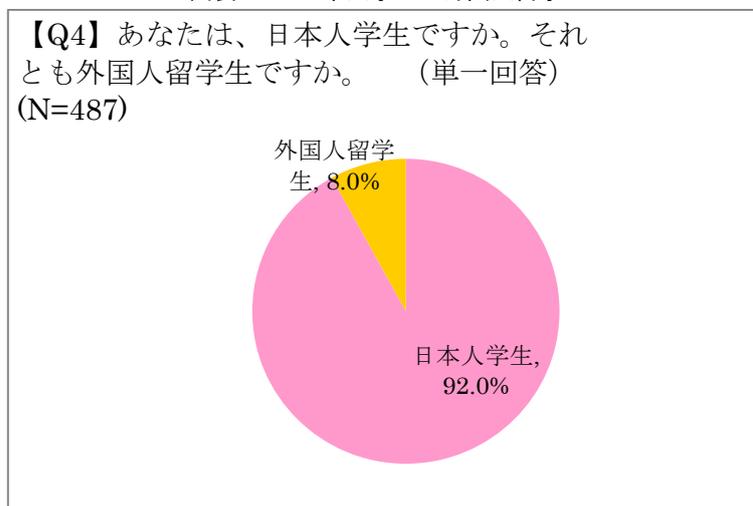
性別については、「男」が 55.9%、「女」が 42.9%、「その他」が 1.2%であった。

図表 78 性別



日本人・外国人別については、「日本人学生」が 92.0%、「外国人留学生」が 8.0%であった。

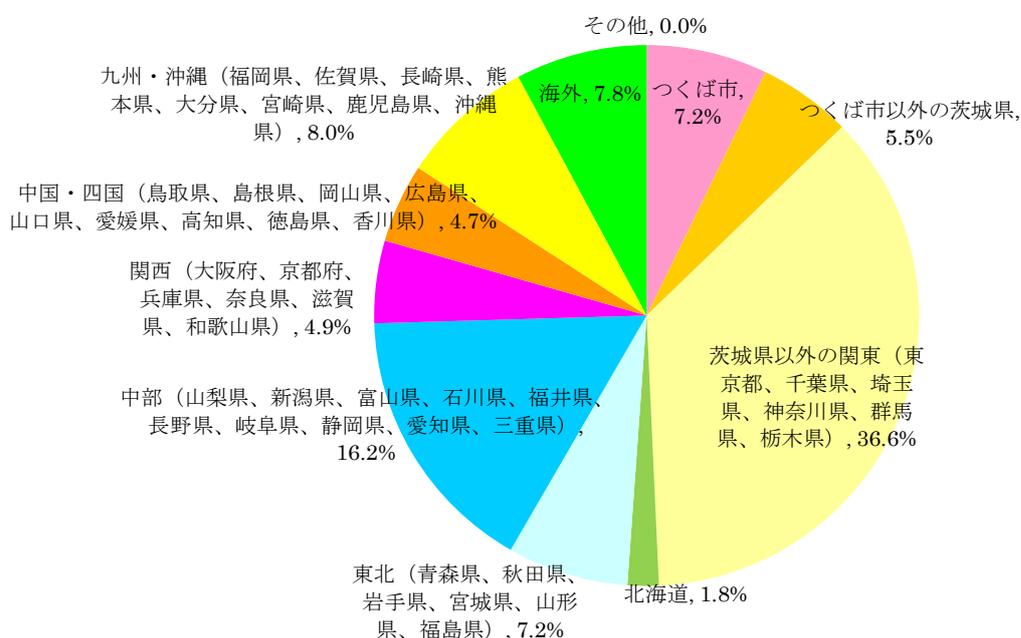
図表 79 日本人学生／外国人留学生



高校時代に住んでいた地域は、「茨城県以外の関東（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、群馬県、栃木県）」(36.6%)、「中部（山梨県、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）」(16.2%)、「九州・沖縄（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）」(8.0%)、「海外」(7.8%)、「つくば市」(7.2%)、「東北（青森県、秋田県、岩手県、宮城県、山形県、福島県）」(7.2%)、「つくば市以外の茨城県」(5.5%)が5%以上であった。

図表 80 高校時代に住んでいた地域

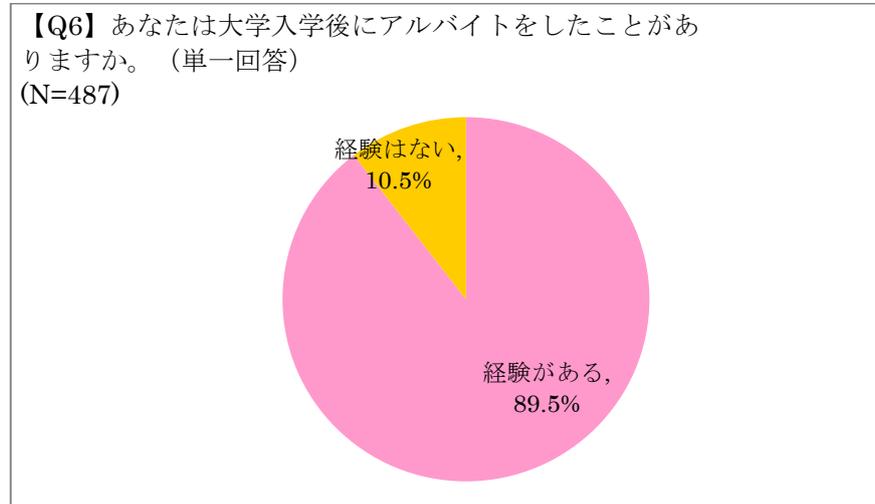
【Q5】あなたが高校時代に住んでいた地域を教えてください。（単一回答）
(N=487)



エ 調査結果

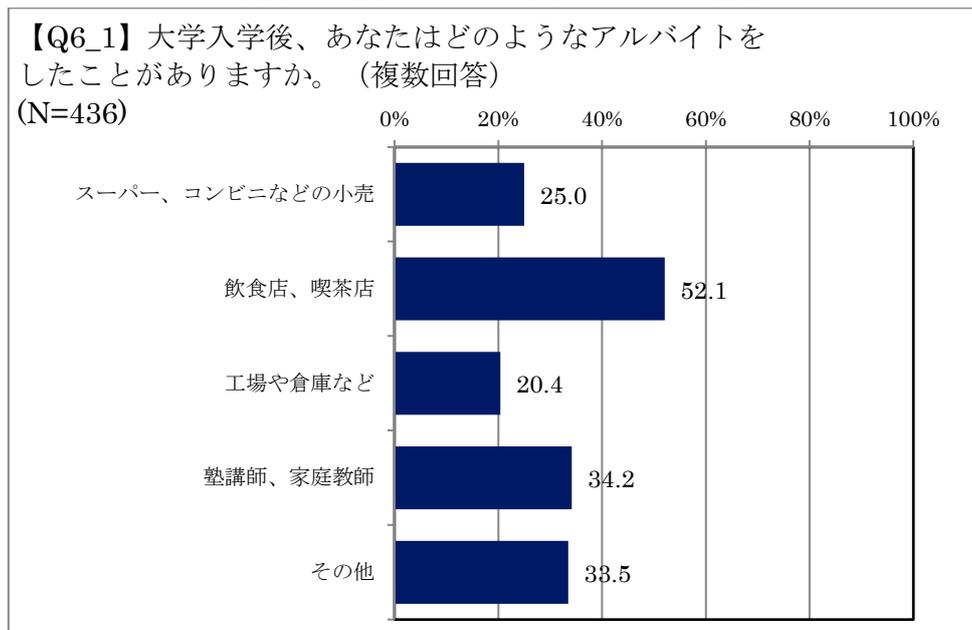
大学入学後にアルバイトの経験がある割合は89.5%であった。

図表 81 大学入学後のアルバイトの経験



アルバイトの種類では、「飲食店、喫茶店」(52.1%)が最も多かった。「塾講師、家庭教師」(34.2%)、「スーパー、コンビニなどの小売」(25.0%)、「工場や倉庫など」(20.4%)が続いていた。「その他」は33.5%あり、自由回答では警備員、研究、プログラミング、語学系など上記以外の多様な種類のアルバイトが記載されていた。

図表 82 経験したことがあるアルバイトの種類



学年別⁵では、「塾講師、家庭教師」は、博士課程(55.8%)、修士2年(43.4%)、4年(42.4%)が有意に多かった。

図表 83 経験したことがあるアルバイトの種類(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	スーパー、コンビニなどの小売	飲食店、喫茶店	工場や倉庫など	塾講師、家庭教師	その他
全体	436	25.0	52.1	20.4	34.2	33.5
3年	174	19.5	59.2	20.7	19.5	28.2
4年	66	34.8	43.9	28.8	42.4	37.9
修士1年	68	25.0	44.1	14.7	36.8	41.2
修士2年	76	34.2	53.9	23.7	43.4	28.9
博士課程	52	17.3	46.2	11.5	55.8	42.3

学群・研究群別では、体育学群は「飲食店、喫茶店」(71.2%)が有意に多かった。

人間総合科学研究群は「塾講師、家庭教師」(53.8%)が有意に多かった。

図表 84 経験したことがあるアルバイトの種類(学群・研究群別)(単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	スーパー、コンビニなどの小売	飲食店、喫茶店	工場や倉庫など	塾講師、家庭教師	その他
全体	436	25.0	52.1	20.4	34.2	33.5
人文・文化学群	15	46.7	53.3	40.0	33.3	40.0
社会・国際学群	8	25.0	12.5	12.5	75.0	37.5
人間学群	28	25.0	42.9	25.0	50.0	39.3
生命環境学群	25	20.0	28.0	12.0	36.0	48.0
理工学群	20	30.0	45.0	25.0	60.0	30.0
情報学群	10	40.0	20.0	30.0	20.0	30.0
医学群	6	16.7	50.0	50.0	66.7	16.7
体育専門学群	125	20.0	71.2	20.0	7.2	24.8
芸術専門学群	3	-	-	66.7	-	33.3
人文社会科学研究群	10	40.0	20.0	20.0	60.0	30.0
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	20	30.0	35.0	20.0	60.0	20.0
システム情報工学研究群	53	30.2	47.2	17.0	32.1	47.2
生命地球科学研究群	44	27.3	52.3	15.9	38.6	36.4
人間総合科学研究群	65	20.0	56.9	18.5	53.8	33.8
その他	4	25.0	50.0	-	25.0	50.0

⁵ 本章の学年別のクロス集計表及びそれに関連する文章では、3年、4年のように、本アンケート調査における学年の間の選択肢にあわせて表記している。筑波学院大学のアンケート調査についても同様に表記している。

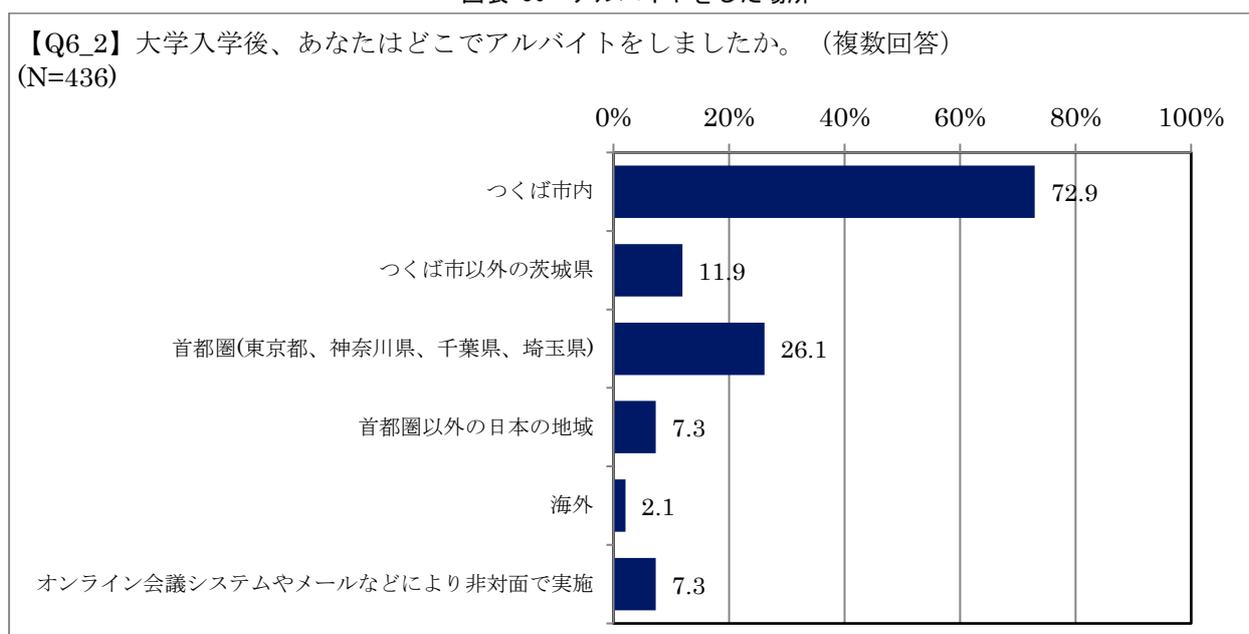
日本人・外国人別では、外国人留学生においては、「飲食店、喫茶店」(36.7%)、「工場や倉庫など」(10.0%)が有意に少なかった。

図表 85 経験したことがあるアルバイトの種類（日本人・外国人別）（単位：％）

Q4 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。（単一回答）	全体（N数）	スーパー、コンビニなどの小売	飲食店、喫茶店	工場や倉庫など	塾講師、家庭教師	その他
全体	436	25.0	52.1	20.4	34.2	33.5
日本人学生	406	24.9	53.2	21.2	34.5	34.7
外国人留学生	30	26.7	36.7	10.0	30.0	16.7

アルバイトをした場所については、「つくば市内」(72.9%)が最も多かった。「首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)」(26.1%)、「つくば市以外の茨城県」(11.9%)が続いていた。

図表 86 アルバイトをした場所



学年別では、「つくば市」は、3年(91.4%)、4年(80.3%)が有意に多かった。「首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)」は、修士2年(51.3%)、博士課程(38.5%)が有意に多かった。

図表 87 アルバイトをした場所（学年別）（単位：%）

Q2 あなたの学年を教えてください。（単一回答）	全体（N数）	つくば市内	つくば市以外の茨城県	首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）	首都圏以外の日本の地域	海外	オンライン会議システムやメールなどにより非対面で実施
全体	436	72.9	11.9	26.1	7.3	2.1	7.3
3年	174	91.4	9.8	10.9	0.6	0.6	5.2
4年	66	80.3	15.2	24.2	7.6	-	6.1
修士1年	68	54.4	10.3	29.4	16.2	7.4	14.7
修士2年	76	57.9	11.8	51.3	3.9	1.3	6.6
博士課程	52	48.1	17.3	38.5	23.1	3.8	7.7

学群・研究群別では、体育学群は「つくば市」（94.4%）が有意に多かった。

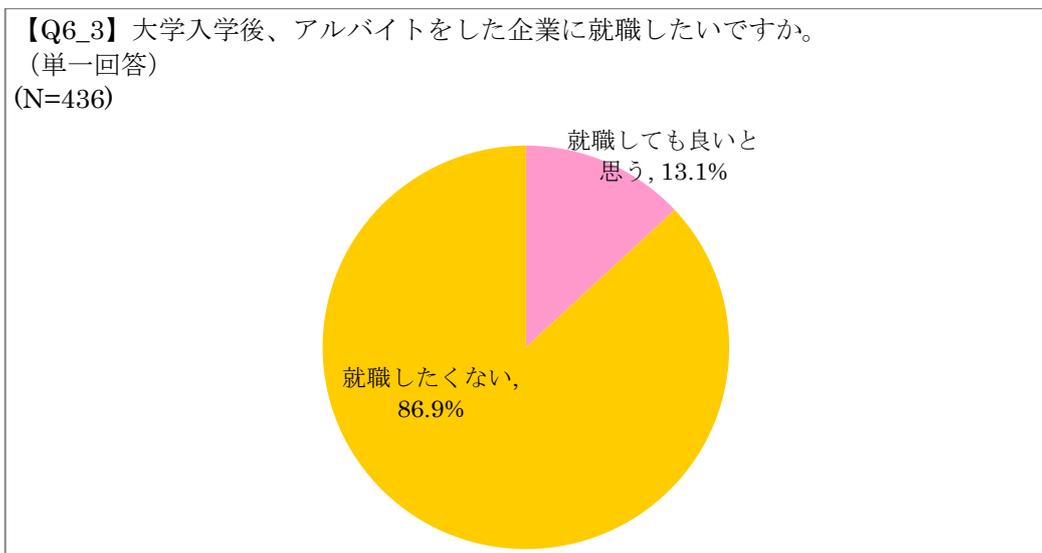
「首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）」と回答した割合が有意に多かったのは、システム情報工学研究群（45.3%）、生命地球科学研究群（40.9%）、人間総合科学研究群（35.4%）であった。

図表 88 アルバイトをした場所（学群・研究群別）（単位：%）

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。（単一回答）	全体（N数）	つくば市内	つくば市以外の茨城県	首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）	首都圏以外の日本の地域	海外	オンライン会議システムやメールなどにより非対面で実施
全体	436	72.9	11.9	26.1	7.3	2.1	7.3
人文・文化学群	15	93.3	20.0	6.7	6.7	-	-
社会・国際学群	8	100.0	12.5	12.5	-	-	-
人間学群	28	75.0	28.6	21.4	3.6	-	10.7
生命環境学群	25	72.0	4.0	28.0	4.0	-	20.0
理工学群	20	70.0	20.0	40.0	5.0	-	5.0
情報学群	10	100.0	-	10.0	-	-	-
医学群	6	100.0	33.3	33.3	16.7	-	-
体育専門学群	125	94.4	6.4	7.2	0.8	0.8	3.2
芸術専門学群	3	100.0	-	-	-	-	-
人文社会科学研究群	10	40.0	30.0	50.0	10.0	-	10.0
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	20	70.0	10.0	35.0	10.0	-	5.0
システム情報工学研究群	53	58.5	7.5	45.3	5.7	3.8	20.8
生命地球科学研究群	44	43.2	4.5	40.9	20.5	6.8	9.1
人間総合科学研究群	65	53.8	21.5	35.4	16.9	3.1	3.1
その他	4	75.0	-	50.0	-	25.0	-

アルバイトした企業に就職してもよいと思う割合は13.1%であった。

図表 89 アルバイトした企業への就職



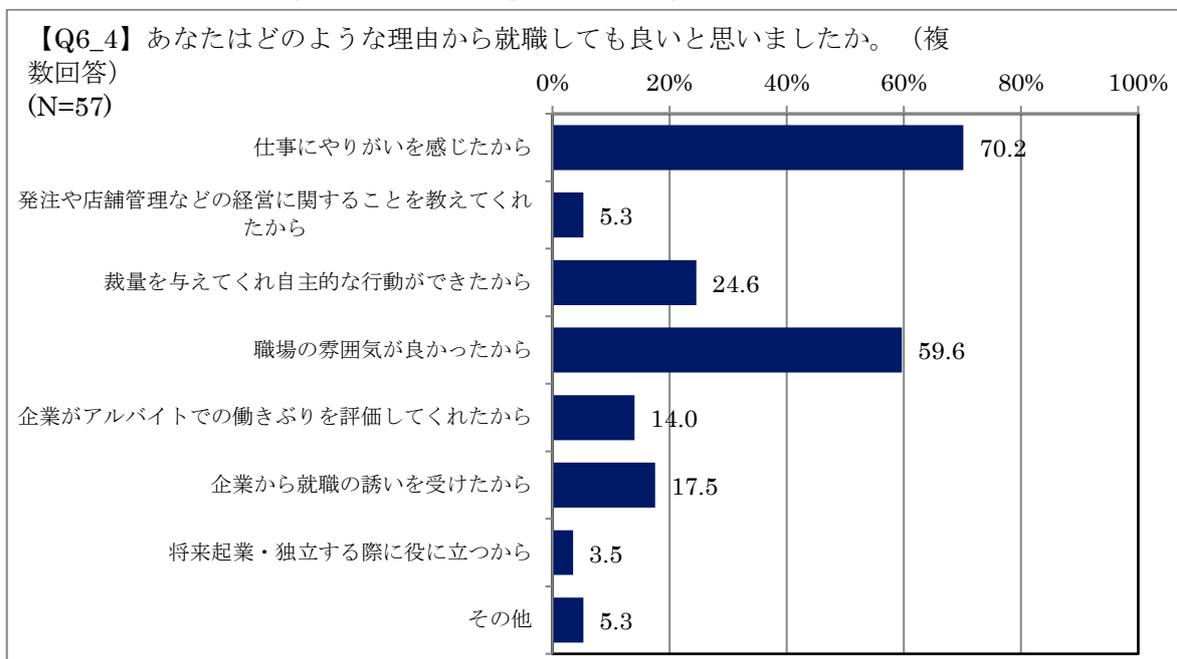
学年別では、4年は「就職しても良いと思う」(22.7%)が有意に多かった。

図表 90 アルバイトをした企業への就職(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	就職しても良いと思う	就職したくない
全体	436	13.1	86.9
3年	174	8.6	91.4
4年	66	22.7	77.3
修士1年	68	19.1	80.9
修士2年	76	9.2	90.8
博士課程	52	13.5	86.5

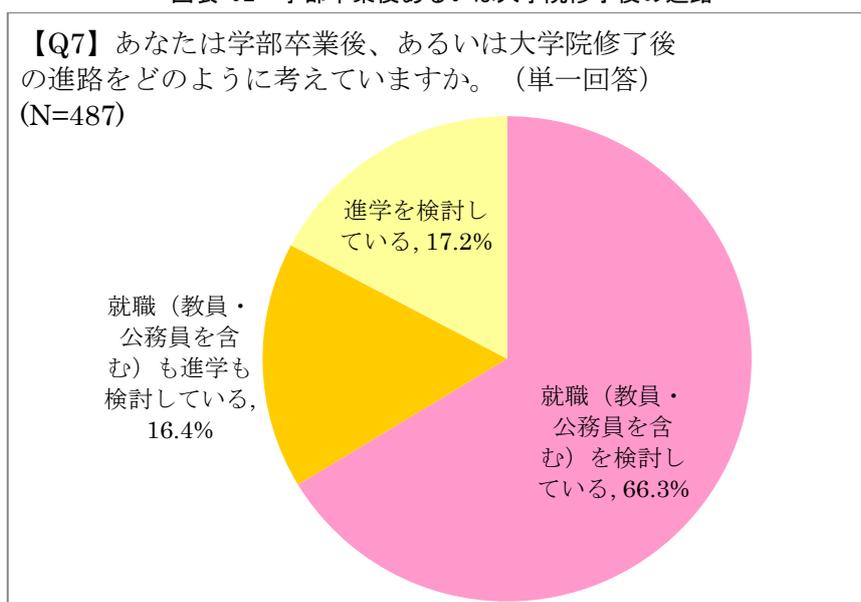
アルバイトした企業に就職しても良いと思う理由については、「仕事にやりがいを感じたから」(70.2%)、「職場の雰囲気が良かったから」(59.6%)が半数を超えていた。

図表 91 アルバイトをした企業に就職してもよいと思う理由



学部卒業後あるいは大学院修了後の進路については、「就職(教員・公務員を含む)を検討している」(66.3%)が最も多かった。「進学を検討している」(17.2%)、「就職(教員・公務員を含む)も進学も検討している」(16.4%)が続いていた。

図表 92 学部卒業後あるいは大学院修了後の進路



学年別では、「就職（教員・公務員を含む）を検討している」と回答した割合が有意に多かったのは、修士2年(84.7%)、博士課程(82.5%)であった。

図表 93 学部卒業後あるいは大学院修了後の進路（学年別）（単位：%）

Q2 あなたの学年を教えてください。（単一回答）	全体 (N数)	就職（教員・公務員を含む）を検討している	就職（教員・公務員を含む）も進学も検討している	進学を検討している
全体	487	66.3	16.4	17.2
3年	202	59.4	20.8	19.8
4年	70	52.9	8.6	38.6
修士1年	73	64.4	28.8	6.8
修士2年	85	84.7	4.7	10.6
博士課程	57	82.5	12.3	5.3

学群・研究群別では、「就職（教員・公務員を含む）を検討している」と回答した割合が有意に多かったのは、システム情報工学研究群(85.0%)、生命地球科学研究群(78.7%)、人間総合科学研究群(75.4%)であった。

図表 94 学部卒業後あるいは大学院修了後の進路（学群・研究群別）（単位：%）

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。（単一回答）	全体 (N数)	就職（教員・公務員を含む）を検討している	就職（教員・公務員を含む）も進学も検討している	進学を検討している
全体	487	66.3	16.4	17.2
人文・文化学群	15	86.7	13.3	-
社会・国際学群	9	66.7	22.2	11.1
人間学群	29	65.5	10.3	24.1
生命環境学群	26	19.2	11.5	69.2
理工学群	22	40.9	13.6	45.5
情報学群	12	25.0	25.0	50.0
医学群	6	33.3	33.3	33.3
体育専門学群	149	64.4	20.8	14.8
芸術専門学群	4	75.0	-	25.0
人文社会科学研究群	13	76.9	23.1	-
ビジネス科学研究群	0	-	-	-
数理物質科学研究群	22	68.2	13.6	18.2
システム情報工学研究群	60	85.0	10.0	5.0
生命地球科学研究群	47	78.7	17.0	4.3
人間総合科学研究群	69	75.4	15.9	8.7
その他	4	50.0	-	50.0

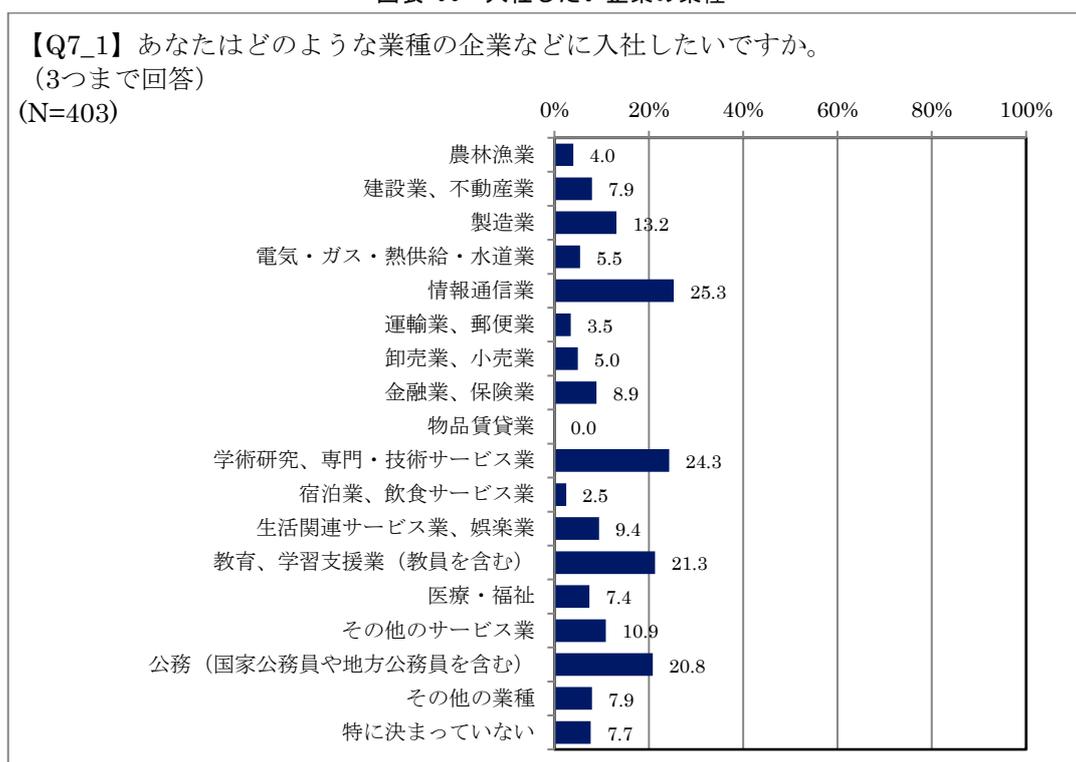
日本人・外国人別では、外国人留学生は「就職（教員・公務員を含む）を検討している」（51.3%）が有意に少なかった。

図表 95 学部卒業後あるいは大学院修了後の進路（学年別、日本人・外国人別）（単位：%）

Q4 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。（単一回答）	全体（N数）	就職（教員・公務員を含む）を検討している	就職（教員・公務員を含む）も進学も検討している	進学を検討している
全体	487	66.3	16.4	17.2
日本人学生	448	67.6	15.0	17.4
外国人留学生	39	51.3	33.3	15.4

入社したい企業の業種については、「情報通信業」（25.3%）、「学術研究、専門・技術サービス業」（24.3%）、「教育、学習支援業（教員を含む）」（21.3%）、「公務（国家公務員や地方公務員を含む）」（20.8%）が20%台であった。

図表 96 入社したい企業の業種



学年別では、3年は「特にきまっていない」(14.2%)が有意に多かった。

修士1年は「情報通信業」(44.1%)、「学術研究、専門・技術サービス業」(36.8%)が有意に多かった。修士2年は「情報通信業」(36.8%)、「製造業」(27.6%)が有意に多かった。

博士課程は、「学術研究、専門・技術サービス業」(64.8%)、「教育、学習支援業(教員を含む)」(37.0%)が有意に多かった。

図表 97 入社したい企業の業種(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	農林漁業	建設業、不動産業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業(教員を含む)	医療・福祉	その他のサービス業	公務(国家公務員や地方公務員を含む)	その他の業種	特に決まっていない
全体	403	4.0	7.9	13.2	5.5	25.3	3.5	5.0	8.9	-	24.3	2.5	9.4	21.3	7.4	10.9	20.8	7.9	7.7
3年	162	4.3	8.0	10.5	8.0	14.2	2.5	9.9	13.0	-	8.6	4.9	11.7	19.8	5.6	17.9	22.8	13.0	14.2
4年	43	4.7	4.7	7.0	2.3	25.6	4.7	4.7	4.7	-	14.0	2.3	16.3	18.6	14.0	9.3	23.3	4.7	7.0
修士1年	68	1.5	8.8	10.3	4.4	44.1	4.4	2.9	10.3	-	36.8	1.5	8.8	23.5	5.9	5.9	22.1	4.4	2.9
修士2年	76	5.3	10.5	27.6	5.3	36.8	6.6	-	5.3	-	23.7	-	6.6	13.2	6.6	7.9	19.7	2.6	-
博士課程	54	3.7	5.6	9.3	1.9	18.5	-	-	3.7	-	64.8	-	1.9	37.0	11.1	1.9	13.0	7.4	5.6

学群・研究群別では、システム情報工学研究群は「情報通信業」(63.2%)が有意に多かった。生命地球科学研究群は「学術研究、専門・技術サービス業」(57.8%)が有意に多かった。人間総合科学研究群は、「学術研究、専門・技術サービス業」(36.5%)、「教育、学習支援業(教員を含む)」(41.3%)が有意に多かった。

図表 98 入社したい企業の業種(学群・研究群別)(単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	農林漁業	建設業、不動産業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業(教員を含む)	医療・福祉	その他のサービス業	公務(国家公務員や地方公務員を含む)	その他の業種	特に決まっていない
全体	403	4.0	7.9	13.2	5.5	25.3	3.5	5.0	8.9	-	24.3	2.5	9.4	21.3	7.4	10.9	20.8	7.9	7.7
人文・文化学群	15	-	13.3	6.7	-	13.3	6.7	13.3	6.7	-	20.0	6.7	33.3	6.7	6.7	26.7	20.0	20.0	-
社会・国際学群	8	-	-	12.5	-	12.5	-	-	12.5	-	-	12.5	-	-	-	-	50.0	12.5	12.5
人間学群	22	4.5	-	13.6	-	27.3	4.5	4.5	-	-	4.5	-	4.5	45.5	22.7	13.6	31.8	4.5	4.5
生命環境学群	8	37.5	-	12.5	-	12.5	-	25.0	12.5	-	37.5	-	-	25.0	-	-	12.5	12.5	12.5
理工学群	12	-	25.0	8.3	25.0	33.3	-	-	25.0	-	25.0	-	-	8.3	-	-	33.3	-	8.3
情報学群	6	-	-	33.3	16.7	100.0	-	-	16.7	-	16.7	-	16.7	16.7	-	16.7	16.7	-	-
医学群	4	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	100.0	25.0	-	-	-
体育専門学群	127	3.9	7.9	7.1	7.9	10.2	3.1	10.2	12.6	-	5.5	5.5	14.2	20.5	3.9	18.9	20.5	12.6	17.3
芸術専門学群	3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	-
人文社会科学研究群	13	-	-	-	-	38.5	7.7	-	-	-	23.1	7.7	7.7	53.8	-	15.4	15.4	7.7	7.7
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	18	-	-	33.3	11.1	33.3	-	-	11.1	-	50.0	-	-	16.7	-	-	22.2	5.6	-
システム情報工学研究群	57	1.8	17.5	15.8	5.3	63.2	10.5	-	5.3	-	29.8	-	3.5	5.3	-	7.0	14.0	3.5	-
生命地球科学研究群	45	13.3	6.7	26.7	6.7	26.7	-	2.2	6.7	-	57.8	-	4.4	13.3	4.4	4.4	20.0	8.9	2.2
人間総合科学研究群	63	-	6.3	11.1	-	11.1	1.6	1.6	6.3	-	36.5	-	11.1	41.3	20.6	4.8	22.2	1.6	4.8
その他	2	-	-	-	-	100.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-

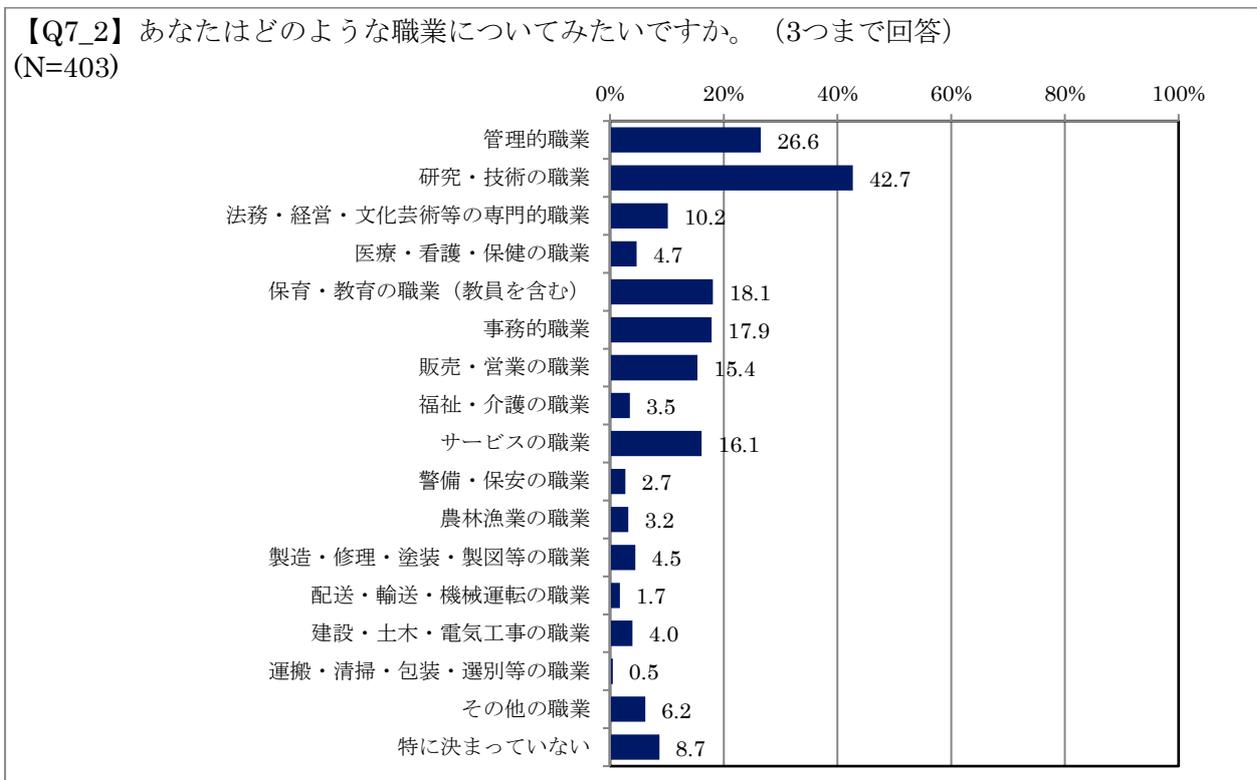
日本人・外国人別では、外国人留学生は「学術研究、専門・技術サービス業」(39.4%)、「教育、学習支援業（教員を含む）」(27.3%)が有意に多かった。

図表 99 入社したい企業の業種(日本人・外国人別) (単位:%)

Q4 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	農林漁業	建設業、不動産業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業(教員を含む)	医療・福祉	その他のサービス業	公務員(国家公務員や地方公務員を含む)	その他の業種	特に決まっていない
全体	403	4.0	7.9	13.2	5.5	25.3	3.5	5.0	8.9	-	24.3	2.5	9.4	21.3	7.4	10.9	20.8	7.9	7.7
日本人学生	370	3.5	8.1	13.2	5.7	24.9	3.5	5.4	9.2	-	23.0	2.4	9.7	20.8	7.8	11.4	22.2	8.1	7.6
外国人留学生	33	9.1	6.1	12.1	3.0	30.3	3.0	-	6.1	-	39.4	3.0	6.1	27.3	3.0	6.1	6.1	6.1	9.1

ついでに、管理職的職業(26.6%)であった。「保育・教育の職業(教員を含む)」(18.1%)、「事務的職業」(17.9%)、「サービスの職業」(16.1%)、「販売・営業の職業」(15.4%)、「法務・経営・文化芸術等の専門的職業」(10.2%)が10%台で続いていた。

図表 100 ついてみたい職業



学年別では、「研究・技術の職業」と回答した割合が有意に多かったのは、修士1年(69.1%)、修士2年(53.9%)、博士課程(87.0%)であった。「管理的職業」と回答した割合が有意に多かったのは、4年(39.5%)、修士2年(31.6%)であった。

図表 101 ついてみたい職業(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	管理的職業	研究・技術の職業	法務・経営・文化芸術等の専門的職業	医療・看護・保健の職業	保育・教育の職業(教員を含む)	事務的職業	販売・営業の職業	福祉・介護の職業	サービスの職業	警備・保安の職業	農林漁業の職業	製造・修理・塗装・製図等の職業	配送・輸送・機械運転の職業	建設・土木・電気工事の職業	運搬・清掃・包装・選別等の職業	その他の職業	特に決まっていない
全体	403	26.6	42.7	10.2	4.7	18.1	17.9	15.4	3.5	16.1	2.7	3.2	4.5	1.7	4.0	0.5	6.2	8.7
3年	162	26.5	14.8	13.0	4.3	18.5	23.5	27.2	2.5	24.1	2.5	1.9	2.5	1.2	3.1	1.2	7.4	14.2
4年	43	39.5	30.2	16.3	2.3	23.3	18.6	18.6	11.6	16.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	-	4.7	4.7
修士1年	68	26.5	69.1	10.3	2.9	17.6	13.2	7.4	1.5	19.1	5.9	2.9	7.4	-	5.9	-	5.9	8.8
修士2年	76	31.6	53.9	5.3	5.3	13.2	19.7	6.6	2.6	5.3	2.6	5.3	6.6	5.3	5.3	-	5.3	1.3
博士課程	54	9.3	87.0	3.7	9.3	20.4	3.7	-	3.7	3.7	-	5.6	5.6	-	3.7	-	5.6	5.6

学群・研究群別では、体育学群は「販売・営業の職業」(31.5%)、「サービスの職業」(25.2%)が有意に多かった。

システム情報工学研究群は「研究・技術の職業」(71.9%)、「管理的職業」(38.6%)が有意に多かった。

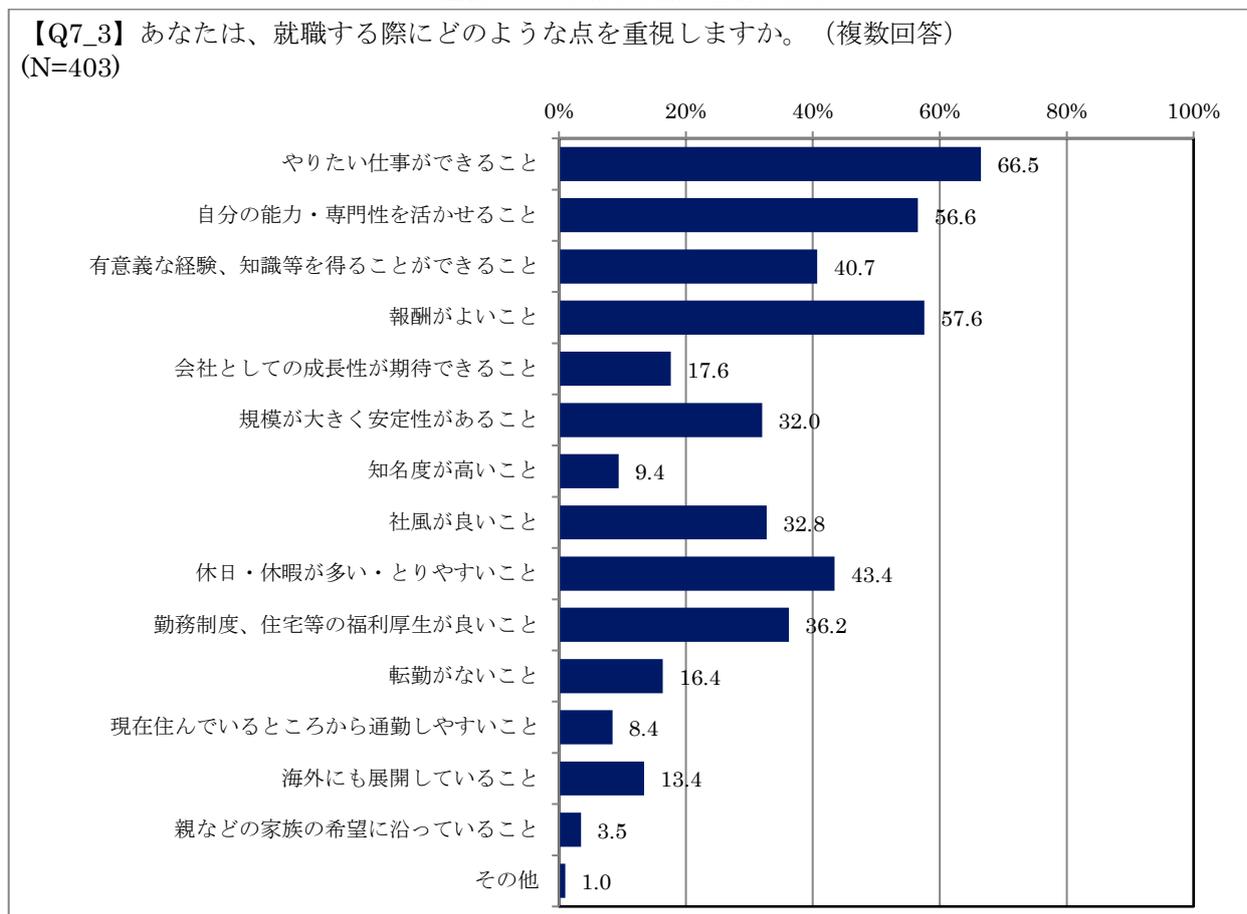
人間総合科学研究群は「研究・技術の職業」(60.3%)、「保育・教育の職業(教員を含む)」(33.3%)が有意に多かった。

図表 102 ついてみたい職業(学群・研究群別)(単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	管理的職業	研究・技術の職業	法務・経営・文化芸術等の専門的職業	医療・看護・保健の職業	保育・教育の職業(教員を含む)	事務的職業	販売・営業の職業	福祉・介護の職業	サービスの職業	警備・保安の職業	農林漁業の職業	製造・修理・塗装・製図等の職業	配送・輸送・機械運転の職業	建設・土木・電気工事の職業	運搬・清掃・包装・選別等の職業	その他の職業	特に決まっていない
全体	403	26.6	42.7	10.2	4.7	18.1	17.9	15.4	3.5	16.1	2.7	3.2	4.5	1.7	4.0	0.5	6.2	8.7
人文・文化学群	15	66.7	20.0	20.0	-	6.7	40.0	40.0	6.7	13.3	-	-	-	-	-	-	6.7	6.7
社会・国際学群	8	25.0	12.5	37.5	-	-	50.0	12.5	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
人間学群	22	36.4	13.6	18.2	4.5	40.9	18.2	13.6	18.2	9.1	4.5	-	-	-	-	-	9.1	9.1
生命環境学群	8	62.5	37.5	12.5	-	12.5	25.0	25.0	-	12.5	-	25.0	12.5	-	12.5	-	12.5	-
理工学群	12	33.3	75.0	-	-	16.7	33.3	-	8.3	25.0	-	-	8.3	-	16.7	-	-	8.3
情報学群	6	33.3	66.7	33.3	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
医学群	4	25.0	25.0	-	75.0	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
体育専門学群	127	21.3	10.2	10.2	3.1	21.3	18.1	31.5	1.6	25.2	3.1	1.6	2.4	2.4	2.4	1.6	7.1	16.5
芸術専門学群	3	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
人文社会科学研究群	13	30.8	30.8	15.4	-	38.5	30.8	15.4	7.7	7.7	-	7.7	-	-	-	-	7.7	15.4
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	18	16.7	66.7	-	-	16.7	5.6	5.6	-	11.1	5.6	-	11.1	-	-	-	-	11.1
システム情報工学研究群	57	38.6	71.9	3.5	-	1.8	15.8	1.8	-	12.3	1.8	-	7.0	7.0	14.0	-	5.3	3.5
生命地球科学研究群	45	31.1	84.4	8.9	2.2	6.7	8.9	8.9	-	2.2	17.8	13.3	-	2.2	-	4.4	2.2	-
人間総合科学研究群	63	6.3	60.3	7.9	14.3	33.3	12.7	3.2	6.3	14.3	4.8	-	1.6	-	1.6	-	7.9	4.8
その他	2	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

就職する際に重視する点については、「やりたい仕事ができること」(66.5%)、「報酬がよいこと」(57.6%)、「自分の能力・専門性を活かせること」(56.6%)で半数を超えていた。「休日・休暇が多い・とりやすいこと」(43.4%)、「有意義な経験、知識等を得ることができること」(40.7%)が40%台で続いていた。

図表 103 就職する際に重視する点



学年別では、4年は「勤務制度、住宅等の福利厚生が良いこと」(48.8%)が有意に多かった。

修士1年は「有意義な経験、知識等を得ることができること」(51.5%)が有意に多かった。

博士課程は「自分の能力・専門性を活かせること」(74.1%)、「有意義な経験、知識等を得ることができること」(61.1%)が有意に多かった。

図表 104 就職する際に重視する点(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	やりた い仕事 ができ ること	自分の 能力・ 専門性 を活か せるこ と	有意義 な経 験、知 識等 を得 るこ と	報酬が よいこ と	会社と しての 成長性 が期待 できる こと	規模が 大きく 安定性 がある こと	知名度 が高い こと	社風が 良いこ と	休日・ 休暇が 多い・ とりや すいこ と	勤務制 度、住 宅等の 福利厚 生が良 いこと	転職が ないこ と	現在住 んでい るところ から 通勤し やすい こと	海外に も展開 してい ること	親など の家族 の希望 に沿っ ている こと	その他
全体	403	66.5	56.6	40.7	57.6	17.6	32.0	9.4	32.8	43.4	36.2	16.4	8.4	13.4	3.5	1.0
3年	162	71.0	51.9	28.4	58.0	14.2	32.7	8.0	29.6	43.8	29.0	16.7	6.2	9.3	2.5	0.6
4年	43	62.8	48.8	39.5	60.5	18.6	39.5	7.0	39.5	46.5	48.8	23.3	11.6	9.3	2.3	-
修士1年	68	69.1	55.9	51.5	58.8	22.1	35.3	14.7	41.2	38.2	42.6	13.2	8.8	19.1	7.4	2.9
修士2年	76	61.8	59.2	43.4	51.3	19.7	35.5	14.5	34.2	43.4	38.2	14.5	6.6	17.1	1.3	-
博士課程	54	59.3	74.1	61.1	61.1	18.5	14.8	1.9	24.1	46.3	37.0	16.7	14.8	16.7	5.6	1.9

学群・研究群別では、体育学群は「やりたい仕事ができること」(72.4%)が有意に多かった。

システム情報工学研究群は「有意義な経験、知識等を得ることができること」(56.1%)、「社風がよいこと」(45.6%)が有意に多かった。

生命地球科学研究群は「自分の能力・専門性を活かせること」(66.7%)、「有意義な経験、知識等を得ることができること」(51.1%)が有意に多かった。

人間総合科学研究群は「自分の能力・専門性を活かせること」(65.1%)、「休日・休暇が多い・とりやすいこと」(54.0%)、「有意義な経験、知識等を得ることができること」(49.2%)が有意に多かった。

図表 105 就職する際に重視する点(学群・研究群別)(単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	やりたい仕事ができること	自分の能力・専門性を活かせること	有意義な経験、知識等を得ることができること	報酬がよいこと	会社としての成長性が期待できること	規模が大きく安定性があること	知名度が高いこと	社風が良いこと	休日・休暇が多い・とりやすいこと	勤務制度、住宅等の福利厚生が良いこと	転職がないこと	現在住んでいるところから通勤しやすいこと	海外にも展開していること	親などの家族の希望に沿っていること	その他
全体	403	66.5	56.6	40.7	57.6	17.6	32.0	9.4	32.8	43.4	36.2	16.4	8.4	13.4	3.5	1.0
人文・文化学群	15	60.0	33.3	20.0	66.7	6.7	46.7	13.3	46.7	66.7	53.3	6.7	20.0	20.0	-	-
社会・国際学群	8	50.0	50.0	50.0	37.5	25.0	37.5	12.5	25.0	25.0	25.0	12.5	-	12.5	-	-
人間学群	22	77.3	59.1	36.4	31.8	22.7	36.4	-	45.5	36.4	31.8	22.7	13.6	13.6	4.5	4.5
生命環境学群	8	62.5	37.5	50.0	75.0	12.5	37.5	12.5	37.5	62.5	62.5	37.5	12.5	12.5	-	-
理工学群	12	50.0	50.0	16.7	75.0	8.3	50.0	-	25.0	58.3	50.0	33.3	8.3	-	8.3	-
情報学群	6	66.7	66.7	83.3	66.7	33.3	66.7	33.3	66.7	50.0	83.3	-	16.7	-	16.7	-
医学群	4	75.0	75.0	75.0	50.0	50.0	25.0	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-	25.0	-	-
体育専門学群	127	72.4	52.0	26.8	62.2	13.4	29.9	7.9	26.0	40.9	25.2	16.5	4.7	8.7	1.6	-
芸術専門学群	3	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-	-
人文社会科学研究群	13	46.2	69.2	30.8	46.2	30.8	7.7	7.7	23.1	46.2	46.2	7.7	7.7	23.1	7.7	-
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	18	55.6	61.1	55.6	55.6	22.2	22.2	-	50.0	44.4	44.4	27.8	22.2	11.1	5.6	-
システム情報工学研究群	57	70.2	54.4	56.1	57.9	24.6	38.6	17.5	45.6	33.3	33.3	10.5	7.0	21.1	1.8	3.5
生命地球科学研究群	45	55.6	66.7	51.1	55.6	22.2	33.3	11.1	33.3	35.6	37.8	15.6	4.4	17.8	6.7	2.2
人間総合科学研究群	63	71.4	65.1	49.2	55.6	12.7	27.0	9.5	22.2	54.0	44.4	15.9	12.7	12.7	4.8	-
その他	2	-	50.0	50.0	100.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-

日本人・外国人別では、外国人留学生は「自分の能力・専門性を活かせること」(75.8%)が有意に多かった。

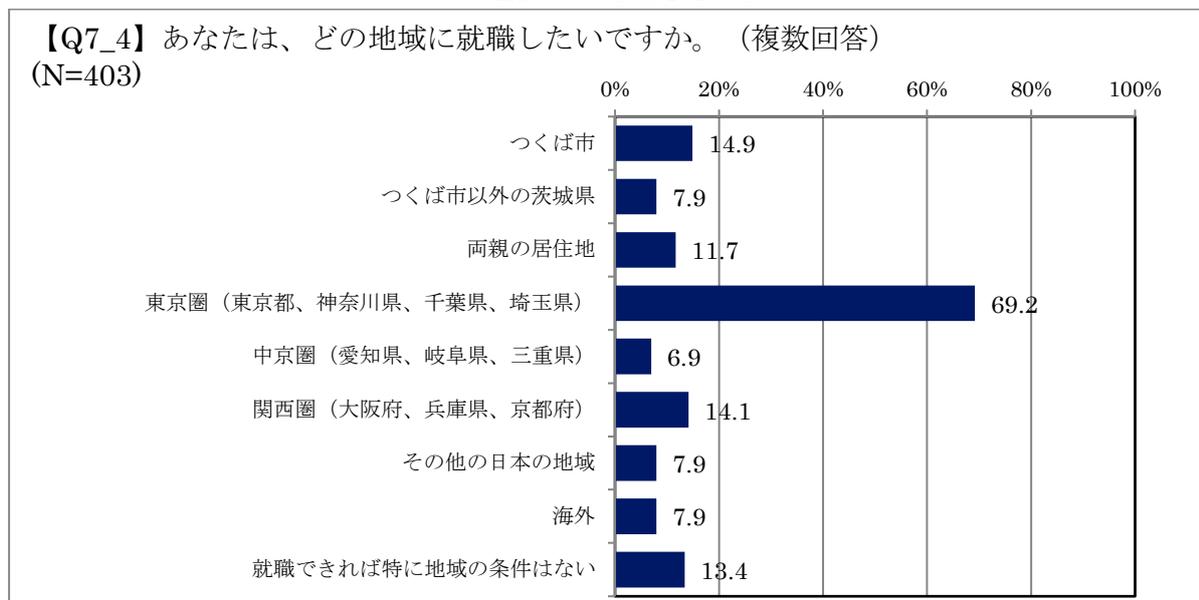
図表 106 就職する際に重視する点(日本人・外国人別)(単位:%)

Q4 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	やりたい仕事ができること	自分の能力・専門性を活かせること	有意義な経験、知識等を得ることができること	報酬がよいこと	会社としての成長性が期待できること	規模が大きく安定性があること	知名度が高いこと	社風が良いこと	休日・休暇が多い・とりやすいこと	勤務制度、住宅等の福利厚生が良いこと	転職がないこと	現在住んでいるところから通勤しやすいこと	海外にも展開していること	親などの家族の希望に沿っていること	その他
全体	403	66.5	56.6	40.7	57.6	17.6	32.0	9.4	32.8	43.4	36.2	16.4	8.4	13.4	3.5	1.0
日本人学生	370	67.6	54.9	40.5	56.8	17.0	32.7	8.9	33.5	43.0	36.5	17.3	8.9	10.0	3.2	1.1
外国人留学生	33	54.5	75.8	42.4	66.7	24.2	24.2	15.2	24.2	48.5	33.3	6.1	3.0	51.5	6.1	-

就職したい地域については、「東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）」（69.2%）が最も多かった。次は、「つくば市」（14.9%）であった。

「関西圏（大阪府、兵庫県、京都府）」（14.1%）、「就職できれば特に地域の条件はない」（13.4%）、「両親の居住地」（11.7%）が10%台であった。

図表 107 就職したい地域



学年別では、修士1年は「東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）」（80.9%）、「つくば市」（23.5%）が有意に多かった。修士2年は「東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）」（80.3%）が有意に多かった。博士課程は「つくば市」（33.3%）が有意に多かった。

図表 108 就職したい地域(学年別) (単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体 (N数)	つくば市	つくば市以外の茨城県	両親の居住地	東京圏 (東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)	中京圏 (愛知県、岐阜県、三重県)	関西圏 (大阪府、兵庫県、京都府)	その他の日本の地域	海外	就職できれば特に地域の条件はない
全体	403	14.9	7.9	11.7	69.2	6.9	14.1	7.9	7.9	13.4
3年	162	7.4	5.6	18.5	63.6	6.2	14.2	9.3	6.2	14.8
4年	43	14.0	7.0	18.6	62.8	2.3	16.3	4.7	2.3	16.3
修士1年	68	23.5	11.8	4.4	80.9	5.9	11.8	5.9	8.8	11.8
修士2年	76	10.5	6.6	3.9	80.3	10.5	14.5	2.6	7.9	6.6
博士課程	54	33.3	13.0	5.6	61.1	9.3	14.8	16.7	16.7	18.5

学群・研究群別では、体育専門学群は「両親の居住地」(20.5%)が有意に多かった。

システム情報工学研究群は「東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)」(86.0%)が有意に多かった。

生命地球科学研究群は「つくば市」(28.9%)が有意に多かった。

図表 109 就職したい地域(学群・研究群別)(単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	つくば市	つくば市以外の茨城県	両親の居住地	東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)	中京圏(愛知県、岐阜県、三重県)	関西圏(大阪府、兵庫県、京都府)	その他の日本の地域	海外	就職できれば特に地域の条件はない
全体	403	14.9	7.9	11.7	69.2	6.9	14.1	7.9	7.9	13.4
人文・文化学群	15	6.7	13.3	13.3	73.3	6.7	20.0	13.3	6.7	20.0
社会・国際学群	8	12.5	12.5	25.0	87.5	12.5	12.5	-	-	-
人間学群	22	9.1	9.1	9.1	59.1	-	13.6	9.1	4.5	22.7
生命環境学群	8	25.0	12.5	12.5	50.0	-	25.0	37.5	12.5	-
理工学群	12	16.7	8.3	16.7	66.7	8.3	-	-	-	8.3
情報学群	6	-	-	33.3	100.0	16.7	16.7	-	-	-
医学群	4	25.0	25.0	-	75.0	-	-	-	25.0	-
体育専門学群	127	7.1	3.1	20.5	59.1	5.5	15.7	7.9	6.3	16.5
芸術専門学群	3	33.3	-	33.3	66.7	-	-	33.3	-	33.3
人文社会科学研究群	13	7.7	15.4	7.7	76.9	-	7.7	7.7	15.4	-
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	18	33.3	-	11.1	66.7	16.7	22.2	11.1	-	22.2
システム情報工学研究群	57	14.0	3.5	5.3	86.0	7.0	8.8	3.5	1.8	10.5
生命地球科学研究群	45	28.9	13.3	2.2	73.3	11.1	20.0	6.7	15.6	13.3
人間総合科学研究群	63	20.6	15.9	3.2	69.8	7.9	12.7	9.5	15.9	11.1
その他	2	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-

日本人・外国人別では、外国人留学生は「つくば市」(30.3%)が有意に多かった。

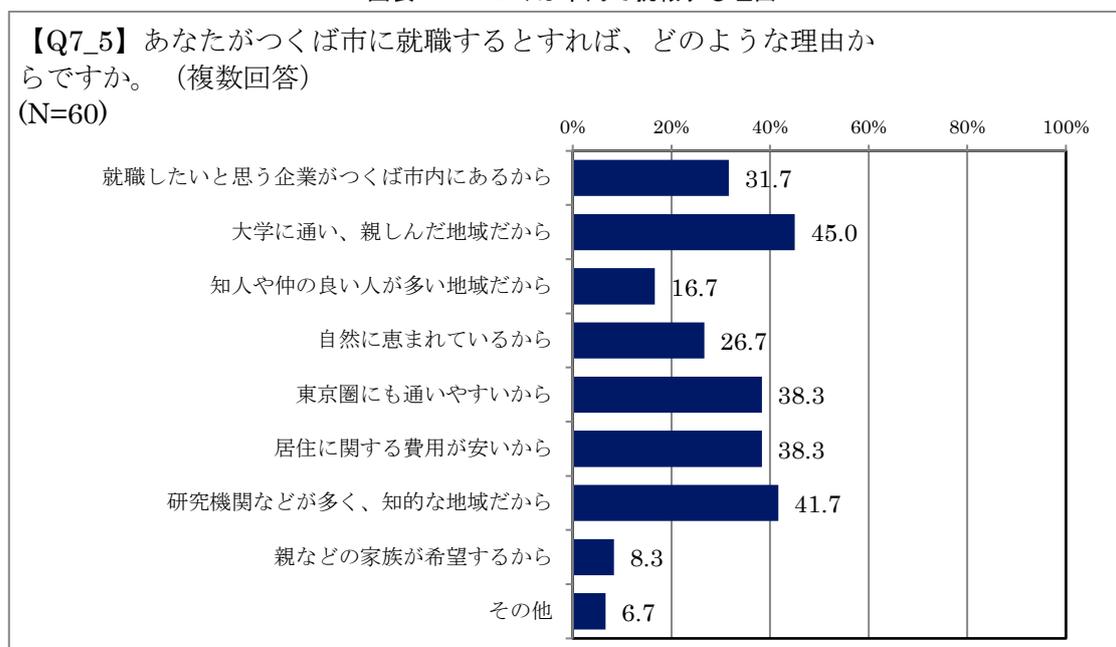
図表 110 就職したい地域(学年別、日本人・外国人別)(単位:%)

Q4 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	つくば市	つくば市以外の茨城県	両親の居住地	東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)	中京圏(愛知県、岐阜県、三重県)	関西圏(大阪府、兵庫県、京都府)	その他の日本の地域	海外	就職できれば特に地域の条件はない
全体	403	14.9	7.9	11.7	69.2	6.9	14.1	7.9	7.9	13.4
日本人学生	370	13.5	7.6	12.7	69.2	6.8	13.2	7.6	5.7	14.1
外国人留学生	33	30.3	12.1	-	69.7	9.1	24.2	12.1	33.3	6.1

つくば市内で就職する理由としては、「大学に通い、親しんだ地域だから」(45.0%)、「研究機関などが多く、知的な地域だから」(41.7%)が40%台であった。

「東京圏にも通いやすいから」(38.3%)、「居住に関する費用が安いから」(38.3%)、「就職したいと思う企業がつくば市にあるから」(31.7%)で続いていた。

図表 111 つくば市内で就職する理由



学年別では、「研究機関などが多く、知的な地域だから」を理由とする割合が多かったのは、修士1年(56.3%)と博士課程(61.1%)であった。

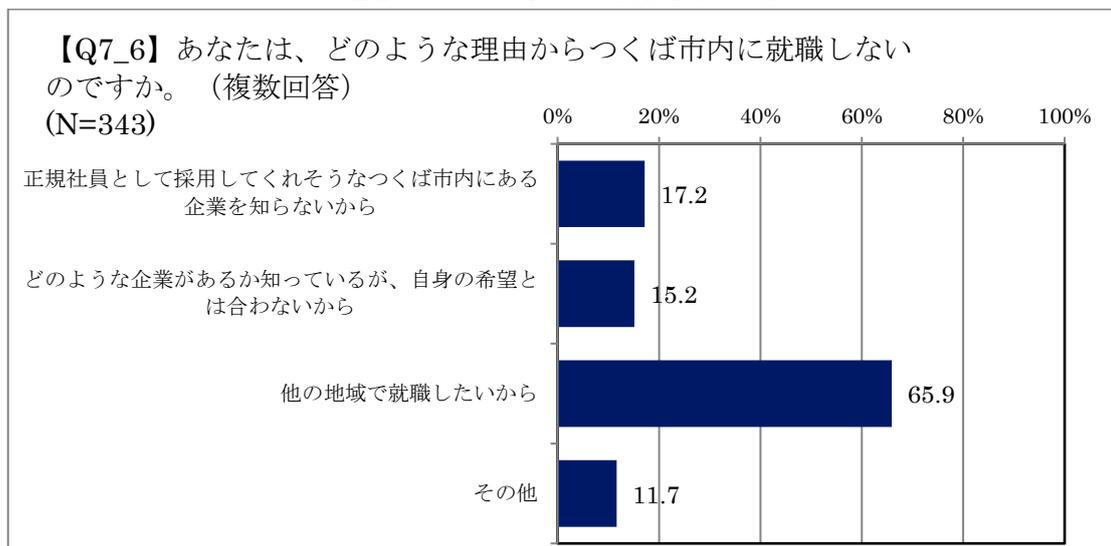
図表 112 つくば市内で就職する理由(学年別) (単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体 (N数)	就職したいと思う企業がつくば市にあるから	大学に通い、親しんだ地域だから	知人や仲の良い人が多い地域だから	自然に恵まれているから	東京圏にも通いやすいから	居住に関する費用が安いから	研究機関などが多く、知的な地域だから	親などの家族が希望するから	その他
全体	60	31.7	45.0	16.7	26.7	38.3	38.3	41.7	8.3	6.7
3年	12	41.7	50.0	33.3	8.3	16.7	25.0	8.3	-	8.3
4年	6	50.0	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	16.7	-
修士1年	16	18.8	62.5	-	37.5	37.5	43.8	56.3	6.3	6.3
修士2年	8	62.5	12.5	12.5	37.5	37.5	50.0	25.0	12.5	-
博士課程	18	16.7	33.3	5.6	22.2	55.6	38.9	61.1	11.1	11.1

つくば市内で就職しない理由としては、「他の地域で就職したいから」(65.9%)が最も多かった。

「正規社員として採用してくれそうなくつくば市内にある企業を知らないから」(17.2%)、「どのような企業があるか知っているが、自身の希望とは合わないから」(15.2%)が10%台で続いていた。

図表 113 つくば市内で就職しない理由



学年別では、「他の地域で就職したいから」と回答した割合が有意に多かったのは、3年(71.3%)、修士2年(72.1%)であった。

「正規社員として採用してくれそうなくつくば市内にある企業を知らないから」と回答した割合が有意に多かったのは、4年(32.4%)であった。

「どのような企業があるか知っているが、自身の希望とは合わないから」と回答した割合が有意に多かったのは修士2年(23.5%)であった。

図表 114 つくば市内で就職しない理由(学年別) (単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体 (N数)	正規社員として採用してくれそうなくつくば市内にある企業を知らないから	どのような企業があるか知っているが、自身の希望とは合わないから	他の地域で就職したいから	その他
全体	343	17.2	15.2	65.9	11.7
3年	150	15.3	10.0	71.3	10.0
4年	37	32.4	18.9	56.8	8.1
修士1年	52	19.2	15.4	61.5	13.5
修士2年	68	13.2	23.5	72.1	8.8
博士課程	36	13.9	16.7	47.2	25.0

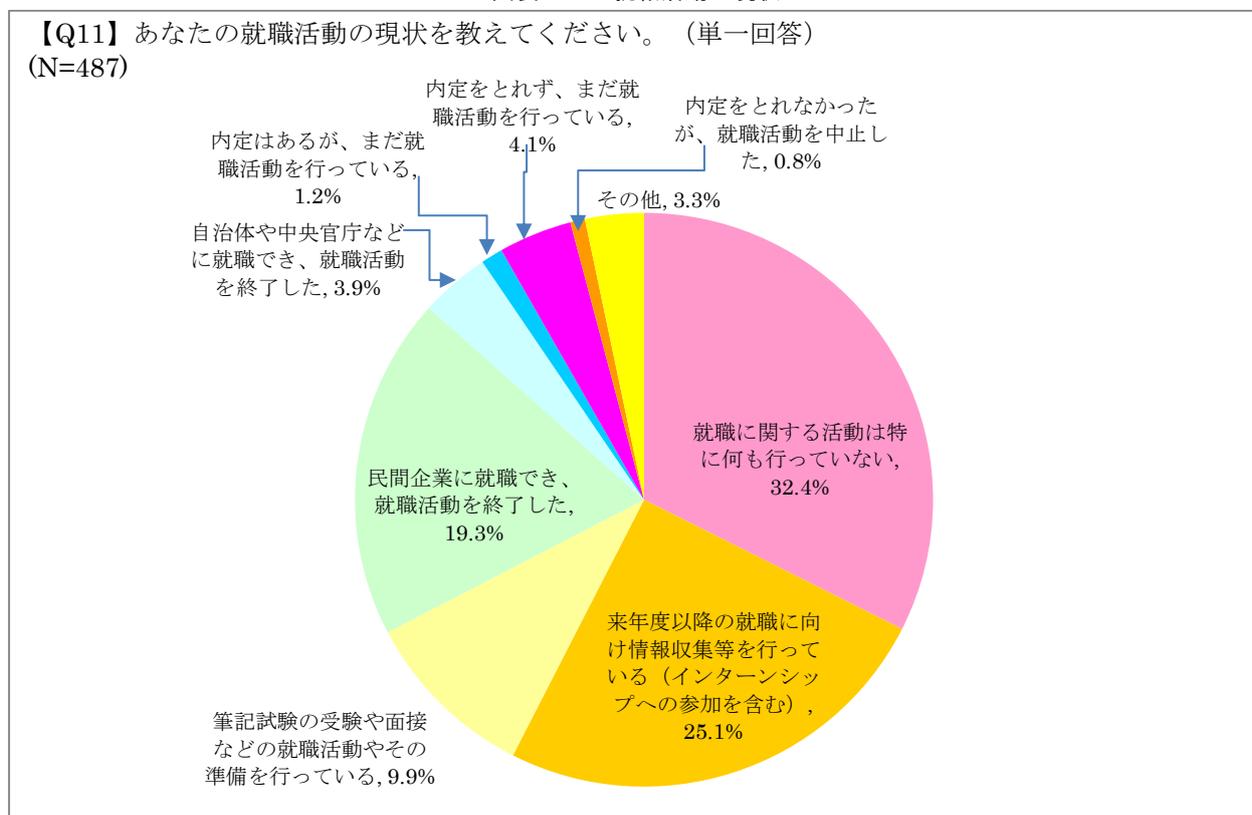
学群・研究群別では、「他の地域で就職したいから」と回答した割合が有意に多かったのは、体育専門学群(74.6%)、生命地球科学研究群(74.0%)であった。

図表 115 つくば市内で就職しない理由(学群・研究群別) (単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体 (N数)	正規社員として採用してくれそうなくつくば市内にある企業を知らないから	どのような企業があるか知っているが、自身の希望とは合わないから	他の地域で就職したいから	その他
全体	343	17.2	15.2	65.9	11.7
人文・文化学群	14	42.9	28.6	57.1	7.1
社会・国際学群	7	14.3	-	57.1	28.6
人間学群	20	30.0	10.0	65.0	5.0
生命環境学群	6	-	16.7	66.7	16.7
理工学群	10	50.0	10.0	40.0	10.0
情報学群	6	-	16.7	100.0	-
医学群	3	33.3	33.3	33.3	-
体育専門学群	118	12.7	9.3	74.6	9.3
芸術専門学群	2	50.0	-	-	50.0
人文社会科学研究群	12	8.3	8.3	66.7	25.0
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-
数理物質科学研究群	12	50.0	8.3	25.0	25.0
システム情報工学研究群	49	18.4	26.5	65.3	12.2
生命地球科学研究群	32	15.6	18.8	53.1	15.6
人間総合科学研究群	50	6.0	18.0	74.0	10.0
その他	2	-	50.0	50.0	-

就職活動の現状については、「就職に関する活動は特に何も行ってない」(32.4%)が最も多かった。「来年度以降の就職に向け情報収集等を行っている(インターンシップへの参加を含む)」(25.1%)、「民間企業に就職でき、就職活動を終了した」(19.3%)が続いていた。

図表 116 就職活動の現状



学年別では、3年は「就職に関する活動は特に何も行ってない」(40.1%)、「来年度以降の就職に向け情報収集等を行っている(インターンシップへの参加を含む)」(33.2%)が有意に多かった。

4年は「民間企業に就職でき、就職活動を終了した」(38.6%)が有意に多かった。

修士1年は「来年度以降の就職に向け情報収集等を行っている(インターンシップへの参加を含む)」(43.8%)が有意に多かった。

修士2年は「民間企業に就職でき、就職活動を終了した」(61.2%)が有意に多かった。

博士課程は「就職に関する活動は特に何も行ってない」(38.6%)が有意に多かった。

図表 117 就職活動の現状(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	就職に関する活動は特に何も行ってない	来年度以降の就職に向け情報収集等を行っている(インターンシップへの参加を含む)	筆記試験の受験や面接などの就職活動やその準備を行っている	民間企業に就職でき、就職活動を終了した	自治体や中央官庁などに就職でき、就職活動を終了した	内定はあるが、まだ就職活動を行っている	内定をとれず、まだ就職活動を行っている	内定をとれなかったが、就職活動を中止した	その他
全体	487	32.4	25.1	9.9	19.3	3.9	1.2	4.1	0.8	3.3
3年	202	40.1	33.2	14.9	2.5	-	1.5	4.0	1.5	2.5
4年	70	37.1	10.0	7.1	38.6	5.7	-	-	-	1.4
修士1年	73	19.2	43.8	15.1	1.4	2.7	4.1	9.6	-	4.1
修士2年	85	17.6	1.2	1.2	61.2	12.9	-	3.5	-	2.4
博士課程	57	38.6	26.3	1.8	15.8	3.5	-	3.5	1.8	8.8

学群・研究群別では、体育専門学群は「就職に関する活動は特に何も行ってない」(41.6%)が有意に多かった。

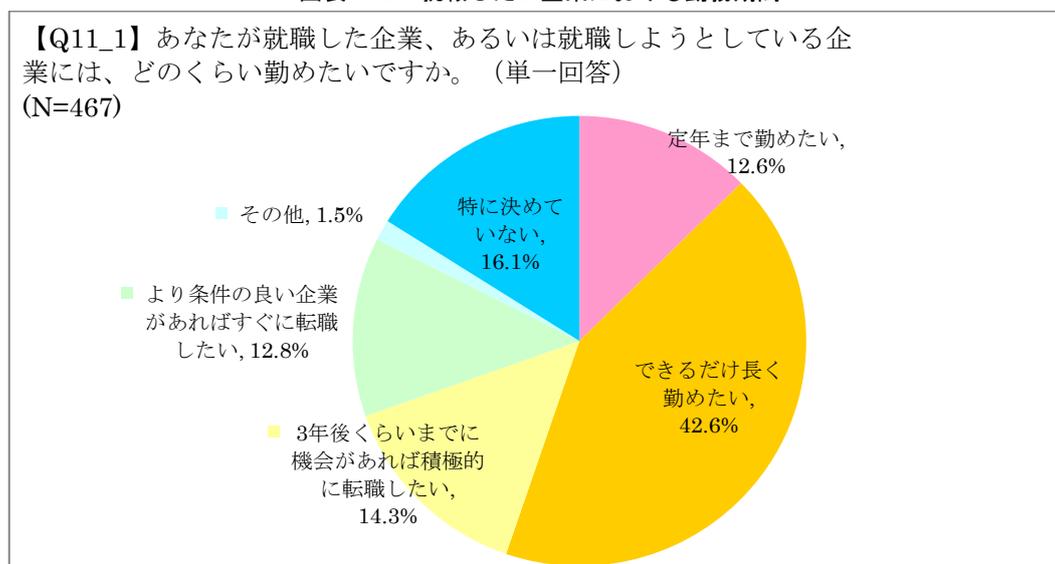
システム情報工学研究群は「民間企業に就職でき、就職活動を終了した」(43.3%)が有意に多かった。生命地球科学研究群も「民間企業に就職でき、就職活動を終了した」(34.0%)が有意に多かった。

図表 118 就職活動の現状(学群・研究群別)(単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	就職に関する活動は特に何も行ってない	来年度以降の就職に向け情報収集等を行っている(インターシップへの参加を含む)	筆記試験の受験や面接などの就職活動やその準備を行っている	民間企業に就職でき、就職活動を終了した	自治体や中央官庁などに就職でき、就職活動を終了した	内定はあるが、まだ就職活動を行っている	内定をとれず、まだ就職活動を行っている	内定をとれなかったが、就職活動を中止した	その他
全体	487	32.4	25.1	9.9	19.3	3.9	1.2	4.1	0.8	3.3
人文・文化学群	15	6.7	33.3	6.7	46.7	6.7	-	-	-	-
社会・国際学群	9	11.1	44.4	11.1	22.2	11.1	-	-	-	-
人間学群	29	34.5	13.8	13.8	27.6	6.9	-	3.4	-	-
生命環境学群	26	46.2	34.6	11.5	3.8	-	-	-	3.8	-
理工学群	22	54.5	18.2	9.1	13.6	-	-	-	-	4.5
情報学群	12	50.0	-	16.7	25.0	-	-	8.3	-	-
医学群	6	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-
体育専門学群	149	41.6	28.9	13.4	4.7	-	2.0	4.0	2.0	3.4
芸術専門学群	4	25.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-
人文社会科学研究群	13	46.2	15.4	-	-	7.7	-	23.1	-	7.7
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	22	27.3	18.2	-	40.9	4.5	-	4.5	-	4.5
システム情報工学研究群	60	11.7	26.7	8.3	43.3	1.7	3.3	5.0	-	-
生命地球科学研究群	47	23.4	17.0	6.4	34.0	8.5	-	4.3	-	6.4
人間総合科学研究群	69	29.0	24.6	7.2	14.5	11.6	1.4	4.3	-	7.2
その他	4	25.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-

就職したい企業における勤務期間については、「できるだけ長く勤めたい」(42.6%)が最も多かった。次は、「特に決めていない」(16.1%)であった。「3年後くらいまでに機会があれば積極的に転職したい」(14.3%)、「より条件の良い企業があればすぐに転職したい」(12.8%)、「定年まで勤めたい」(12.6%)は10%台であった。

図表 119 就職したい企業における勤務期間



学年別では、修士1年は「より条件の良い企業があればすぐに転職したい」(21.4%)が有意に多かった。

図表 120 就職したい企業における勤務期間(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	定年まで勤めたい	できるだけ長く勤めたい	3年後くらいまでに機会があれば積極的に転職したい	より条件の良い企業があればすぐに転職したい	その他	特に決めていない
全体	467	12.6	42.6	14.3	12.8	1.5	16.1
3年	194	14.4	39.2	11.3	14.9	1.0	19.1
4年	69	15.9	46.4	17.4	4.3	1.4	14.5
修士1年	70	7.1	44.3	12.9	21.4	1.4	12.9
修士2年	83	13.3	45.8	18.1	8.4	3.6	10.8
博士課程	51	7.8	43.1	17.6	11.8	-	19.6

学群・研究群別では、システム情報工学研究群は「できるだけ長く勤めたい」(48.3%)が有意に多かった。生命地球科学研究群は「できるだけ長く勤めたい」(52.3%)が有意に多かった。

図表 121 就職したい企業における勤務期間(学群・研究群別)(単位:%)

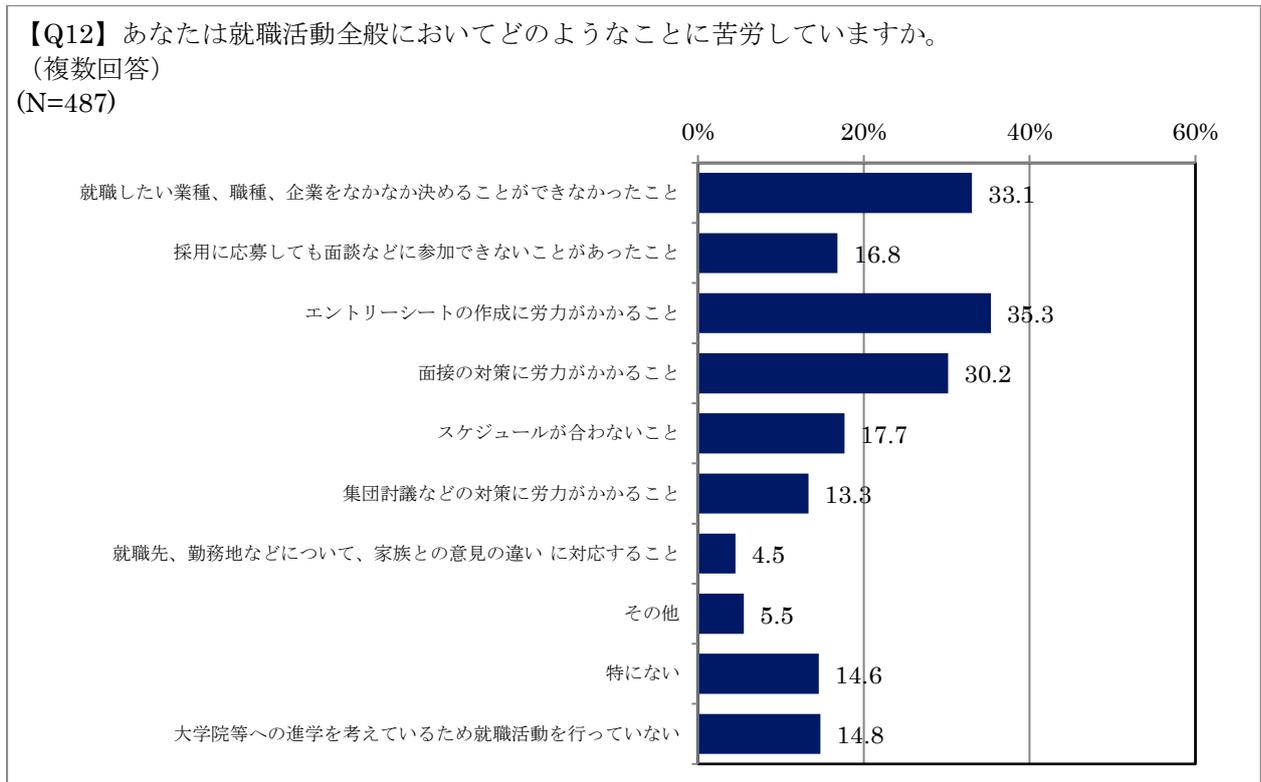
Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	定年まで勤めたい	できるだけ長く勤めたい	3年後くらいまでに機会があれば積極的に転職したい	より条件の良い企業があればすぐに転職したい	その他	特に決めていない
全体	467	12.6	42.6	14.3	12.8	1.5	16.1
人文・文化学群	15	13.3	46.7	13.3	13.3	6.7	6.7
社会・国際学群	9	-	66.7	11.1	-	-	22.2
人間学群	29	6.9	34.5	20.7	6.9	-	31.0
生命環境学群	25	24.0	40.0	8.0	-	-	28.0
理工学群	21	9.5	57.1	14.3	14.3	-	4.8
情報学群	12	8.3	50.0	16.7	16.7	-	8.3
医学群	6	-	33.3	16.7	-	-	50.0
体育専門学群	141	17.7	38.3	11.3	15.6	1.4	15.6
芸術専門学群	4	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0
人文社会科学研究群	12	8.3	33.3	25.0	16.7	-	16.7
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	21	23.8	33.3	9.5	14.3	-	19.0
システム情報工学研究群	60	8.3	48.3	16.7	15.0	3.3	8.3
生命地球科学研究群	44	9.1	52.3	9.1	15.9	-	13.6
人間総合科学研究群	64	9.4	43.8	18.8	9.4	3.1	15.6
その他	4	-	-	50.0	25.0	-	25.0

就職活動全般において苦労した点については、「エントリーシートの作成に労力がかかること」(35.3%)、「就職したい業種、職種、企業をなかなか決めることができなかったこと」(33.1%)、「面接の対策に労力がかかること」(30.2%)が30%台であった。

「スケジュールが合わないこと」(17.7%)、「採用に応募しても面談などに参加できないことがあったこと」(16.8%)、「大学院等への進学を考えているため就職活動を行っていない」(14.8%)、「集団討議などの対策に労力がかかること」(13.3%)が10%台であった。

「特にない」は14.6%であった。

図表 122 就職活動全般において苦労した点



学年別では、3年は「就職したい業種、職種、企業をなかなか決めることができなかったこと」(38.1%)、「スケジュールが合わないこと」(25.7%)、「大学院等への進学を考えているため就職活動を行っていない」(20.8%)が有意に多かった。

4年は「面接の対策に労力がかかること」(41.4%)、「大学院等への進学を考えているため就職活動を行っていない」(25.7%)が有意に多かった。

修士1年は「エントリーシートの作成に労力がかかること」(42.5%)が有意に多かった。

修士2年は「エントリーシートの作成に労力がかかること」(62.4%)、「面接の対策に労力がかかること」(56.5%)、「集団討議などの対策に労力がかかること」(20.0%)が有意に多かった。

博士課程は「特にない」(28.1%)が有意に多かった。

図表 123 就職活動全般において苦労した点(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	就職したい業種、職種、企業をなかなか決めることができなかったこと	採用に応募しても面談などに参加できないことがあったこと	エントリーシートの作成に労力がかかること	面接の対策に労力がかかること	スケジュールが合わないこと	集団討議などの対策に労力がかかること	就職先、勤務地などについて、家族との意見の違いに対応すること	その他	特にない	大学院等への進学を考えているため就職活動を行っていない
全体	487	33.1	16.8	35.3	30.2	17.7	13.3	4.5	5.5	14.6	14.8
3年	202	38.1	15.3	20.8	17.8	25.7	9.9	2.5	2.5	14.9	20.8
4年	70	25.7	18.6	40.0	41.4	14.3	14.3	5.7	2.9	15.7	25.7
修士1年	73	37.0	17.8	42.5	32.9	20.5	16.4	4.1	11.0	13.7	5.5
修士2年	85	30.6	20.0	62.4	56.5	5.9	20.0	10.6	4.7	4.7	7.1
博士課程	57	22.8	14.0	31.6	17.5	7.0	10.5	1.8	14.0	28.1	3.5

学群・研究群では、体育専門学群は「就職したい業種、職種、企業をなかなか決めることができなかったこと」(38.3%)が有意に多かった。

システム情報工学研究群は「エントリーシートの作成に労力がかかること」(61.7%)、「面接の対策に労力がかかること」(43.3%)、「就職したい業種、職種、企業をなかなか決めることができなかったこと」(41.7%)が有意に多かった。

生命地球科学研究群は「エントリーシートの作成に労力がかかること」(48.9%)、「面接の対策に労力がかかること」(36.2%)が有意に多かった。

人間総合科学研究群は「エントリーシートの作成に労力がかかること」(40.6%)、「面接の対策に労力がかかること」(39.1%)が有意に多かった。

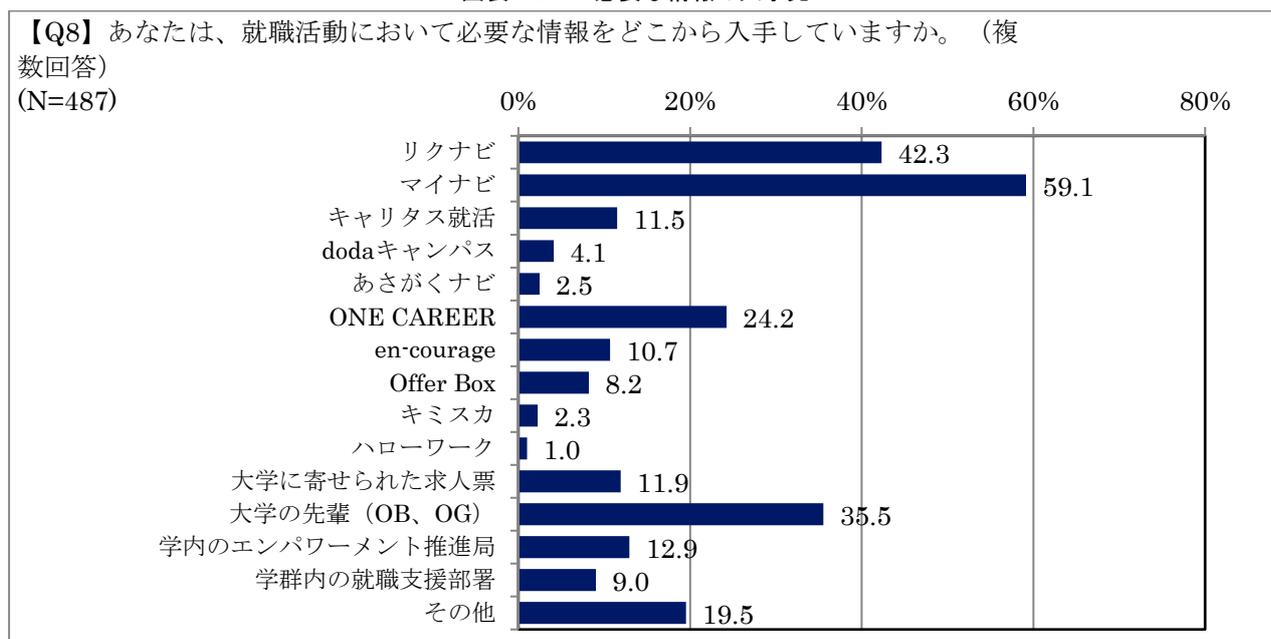
図表 124 就職活動全般において苦労した点(学群・研究群別)(単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	就職したい業種、企業をなかなか決めできなかったこと	採用に応募しても面接などに参加できなかったこと	エントリーシートの作成に労力がかかること	面接の対策に労力がかかること	スケジュールが合わないこと	集団討議などの対策に労力がかかること	就職先、勤務地などについて、家族との意見の違いに対応すること	その他	特になし	大学院等への進学を考えているため就職活動を行っていない
全体	487	33.1	16.8	35.3	30.2	17.7	13.3	4.5	5.5	14.6	14.8
人文・文化学群	15	40.0	53.3	53.3	33.3	13.3	13.3	-	6.7	13.3	6.7
社会・国際学群	9	33.3	33.3	55.6	55.6	-	11.1	-	33.3	11.1	-
人間学群	29	31.0	24.1	41.4	51.7	27.6	24.1	13.8	-	10.3	17.2
生命環境学群	26	23.1	3.8	19.2	23.1	15.4	7.7	-	-	7.7	50.0
理工学群	22	31.8	22.7	36.4	36.4	18.2	18.2	-	-	4.5	45.5
情報学群	12	16.7	16.7	25.0	16.7	8.3	8.3	-	-	25.0	41.7
医学群	6	33.3	-	-	33.3	50.0	-	-	-	-	16.7
体育専門学群	149	38.3	10.7	18.1	14.1	26.8	8.7	3.4	1.3	19.5	16.8
芸術専門学群	4	75.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-
人文社会科学研究群	13	15.4	23.1	15.4	23.1	15.4	7.7	-	-	46.2	-
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	22	36.4	9.1	45.5	36.4	9.1	9.1	-	4.5	9.1	18.2
システム情報工学研究群	60	41.7	25.0	61.7	43.3	13.3	25.0	8.3	8.3	13.3	1.7
生命地球科学研究群	47	34.0	19.1	48.9	36.2	8.5	17.0	6.4	6.4	8.5	2.1
人間総合科学研究群	69	20.3	14.5	40.6	39.1	10.1	13.0	5.8	15.9	13.0	8.7
その他	4	25.0	-	50.0	25.0	-	-	25.0	-	25.0	-

必要な情報の入手先としては、「マイナビ」(59.1%)、「リクナビ」(42.3%)の就活サイトが上位2位を占め、「大学の先輩(OB、OG)」(35.5%)、「ONE CAREER」(24.2%)が続いていた。

「学内のエンパワーメント推進局」(12.9%)、「大学に寄せられた求人票」(11.9%)、「キャリアタス就活」(11.5%)、「en-courage」(10.7%)が10%台であった。「その他」の回答における自由記入では、「LabBase」「JREC-IN」「アカリク」「外資系就活」といった多様な回答があった。

図表 125 必要な情報の入手先



学年別では、4年は「マイナビ」(70.0%)、「リクナビ」(54.3%)が有意に多かった。

修士2年も「マイナビ」(68.2%)、「リクナビ」(48.2%)、「ONE CAREER」(36.5%)が有意に多かった。修士1年は「ONE CAREER」(32.9%)が有意に多かった。

図表 126 必要な情報の入手先(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	リクナビ	マイナビ	キャリアタス就活	dodaキャンパス	あさがくナビ	ONE CAREER	en-courage	Offer Box	キミスカ	ハローワーク	大学に寄せられた求人票	大学の先輩(OB、OG)	学内のエンパワーメント推進局	学群内の就職支援部署	その他
全体	487	42.3	59.1	11.5	4.1	2.5	24.2	10.7	8.2	2.3	1.0	11.9	35.5	12.9	9.0	19.5
3年	202	42.1	62.9	16.8	5.0	5.0	19.8	9.4	7.9	2.0	1.0	5.4	37.1	8.9	5.4	12.9
4年	70	54.3	70.0	14.3	7.1	1.4	28.6	17.1	14.3	4.3	1.4	11.4	35.7	5.7	8.6	18.6
修士1年	73	35.6	52.1	5.5	1.4	-	32.9	6.8	8.2	1.4	-	13.7	35.6	16.4	9.6	27.4
修士2年	85	48.2	68.2	8.2	4.7	1.2	36.5	18.8	8.2	3.5	2.4	20.0	31.8	17.6	16.5	18.8
博士課程	57	28.1	28.1	1.8	-	-	5.3	-	1.8	-	-	21.1	35.1	24.6	10.5	35.1

学群・研究群別では、体育専門学群は「大学の先輩（OB、OG）」（42.3%）が有意に多かった。

システム情報工学研究群は、「マイナビ」（71.7%）、「ONE CAREER」（45.0%）、「大学の先輩（OB、OG）」（45.0%）が有意に多かった。

生命地球科学研究群は、「ONE CAREER」（36.2%）が有意に多かった。

図表 127 必要な情報の入手先(学群・研究群別) (単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	リクナビ	マイナビ	キャリアタス就活	dodaキャンパス	あさがくナビ	ONE CAREER	en-courage	Offer Box	キミスカ	ハローワーク	大学に寄せられた求人票	大学の先輩(OB、OG)	学内のエンパワーメント推進局	学群内の就職支援部署	その他
全体	487	42.3	59.1	11.5	4.1	2.5	24.2	10.7	8.2	2.3	1.0	11.9	35.5	12.9	9.0	19.5
人文・文化学群	15	60.0	86.7	20.0	13.3	-	46.7	33.3	40.0	6.7	-	-	6.7	6.7	6.7	20.0
社会・国際学群	9	55.6	66.7	22.2	11.1	-	22.2	22.2	-	11.1	-	-	11.1	-	-	22.2
人間学群	29	69.0	72.4	27.6	3.4	10.3	27.6	24.1	13.8	3.4	3.4	17.2	41.4	17.2	3.4	6.9
生命環境学群	26	50.0	57.7	7.7	-	3.8	11.5	11.5	19.2	3.8	-	3.8	53.8	15.4	15.4	15.4
理工学群	22	50.0	68.2	9.1	4.5	-	18.2	9.1	-	-	-	13.6	36.4	-	13.6	13.6
情報学群	12	33.3	75.0	16.7	25.0	8.3	33.3	8.3	16.7	8.3	-	25.0	-	16.7	16.7	41.7
医学群	6	50.0	66.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	16.7	33.3	-	16.7
体育専門学群	149	36.9	59.7	16.8	4.0	4.0	20.8	7.4	6.7	1.3	1.3	4.0	42.3	6.0	3.4	12.8
芸術専門学群	4	75.0	75.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-
人文社会科学研究群	13	30.8	38.5	-	-	-	-	-	-	-	-	15.4	30.8	23.1	15.4	30.8
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	22	31.8	54.5	4.5	-	-	9.1	13.6	4.5	-	-	22.7	13.6	18.2	9.1	27.3
システム情報工学研究群	60	45.0	71.7	1.7	5.0	-	45.0	20.0	8.3	1.7	-	18.3	45.0	18.3	16.7	23.3
生命地球科学研究群	47	48.9	59.6	14.9	-	2.1	36.2	4.3	4.3	4.3	-	21.3	29.8	17.0	8.5	21.3
人間総合科学研究群	69	29.0	33.3	4.3	2.9	-	17.4	5.8	7.2	1.4	2.9	14.5	33.3	18.8	13.0	30.4
その他	4	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	50.0	25.0	-	25.0

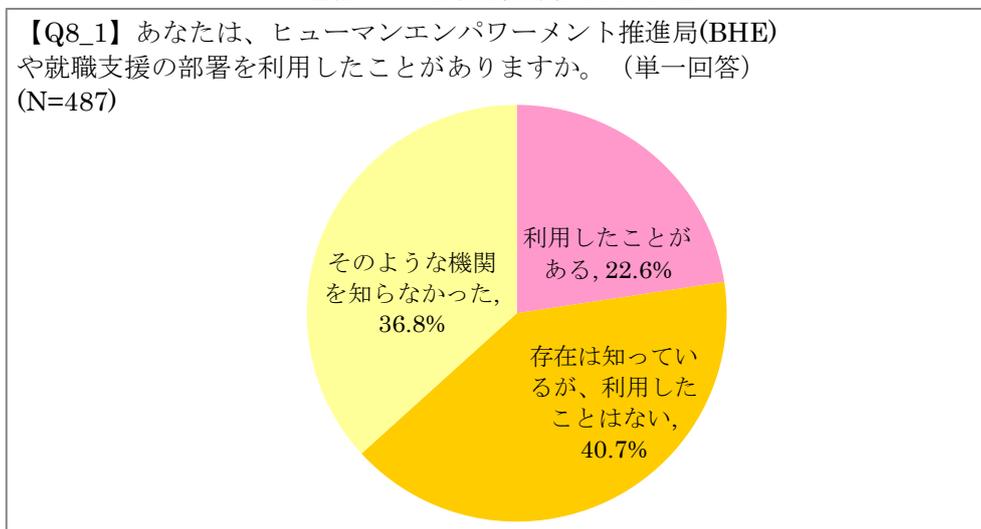
日本人・外国人別では、外国人留学生は「大学の先輩（OB、OG）」（46.2%）、「大学に寄せられた求人票」（35.9%）、「学群内の就職支援部署」（28.2%）、「学内のエンパワーメント推進局」（25.6%）といった大学に集まった情報や学内の就職支援部署を活用していた。

図表 128 必要な情報の入手先(日本人・外国人別) (単位:%)

Q4 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	リクナビ	マイナビ	キャリアタス就活	dodaキャンパス	あさがくナビ	ONE CAREER	en-courage	Offer Box	キミスカ	ハローワーク	大学に寄せられた求人票	大学の先輩(OB、OG)	学内のエンパワーメント推進局	学群内の就職支援部署	その他
全体	487	42.3	59.1	11.5	4.1	2.5	24.2	10.7	8.2	2.3	1.0	11.9	35.5	12.9	9.0	19.5
日本人学生	448	44.0	60.9	11.6	4.2	2.7	25.4	11.4	8.3	2.2	1.1	9.8	34.6	11.8	7.4	19.9
外国人留学生	39	23.1	38.5	10.3	2.6	-	10.3	2.6	7.7	2.6	-	35.9	46.2	25.6	28.2	15.4

学内の就職支援部署の利用状況については、「存在は知っているが、利用したことはない」(40.7%)が最も多かった。「そのような機関を知らなかった」(36.8%)、「利用したことがある」(22.6%)が続いていた。

図表 129 就職支援部署の利用状況



学年別では、「利用したことがある」と回答した割合が有意に多かったのは、4年(28.6%)、修士2年(38.8%)であった。

図表 130 就職支援部署の利用状況(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	利用したことがある	存在は知っているが、利用したことはない	そのような機関を知らなかった
全体	487	22.6	40.7	36.8
3年	202	16.8	45.0	38.1
4年	70	28.6	41.4	30.0
修士1年	73	16.4	46.6	37.0
修士2年	85	38.8	25.9	35.3
博士課程	57	19.3	38.6	42.1

学群・研究群では、体育専門学群は「存在は知っているが、利用したことはない」(49.0%)が有意に多かった。

システム情報工学研究群は「利用したことがある」(35.0%)が有意に多かった。

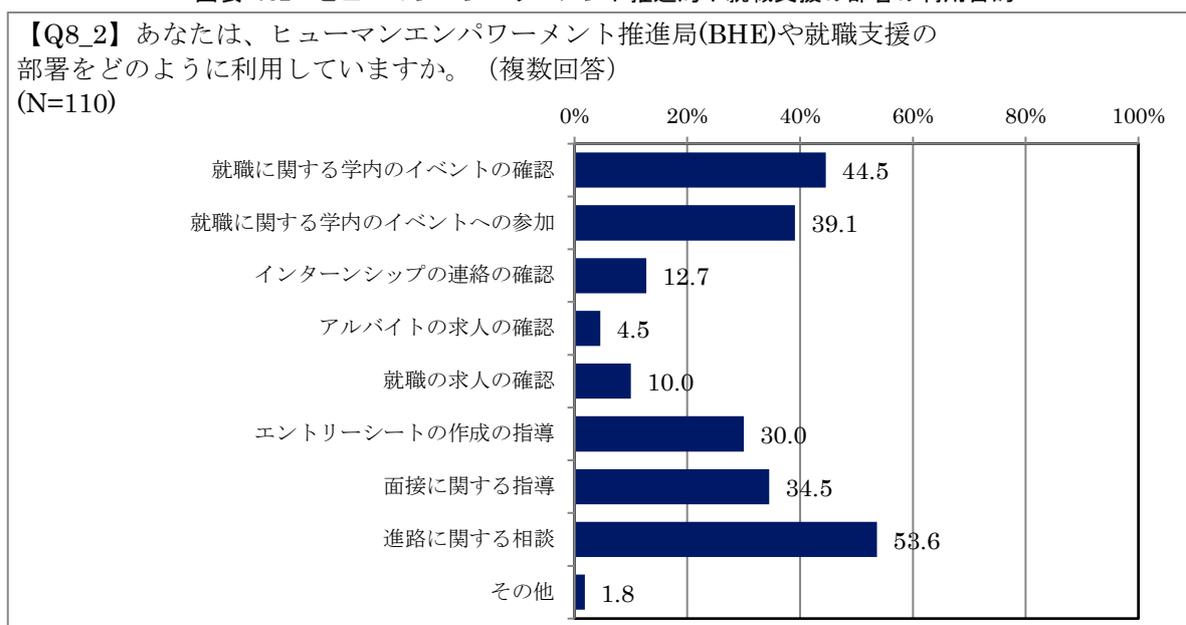
図表 131 就職支援部署の利用状況(学群・研究群別)(単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体 (N数)	利用したことがある	存在は知っているが、利用したことはない	そのような機関を知らなかった
全体	487	22.6	40.7	36.8
人文・文化学群	15	46.7	40.0	13.3
社会・国際学群	9	66.7	11.1	22.2
人間学群	29	31.0	44.8	24.1
生命環境学群	26	30.8	34.6	34.6
理工学群	22	18.2	45.5	36.4
情報学群	12	25.0	33.3	41.7
医学群	6	33.3	50.0	16.7
体育専門学群	149	10.1	49.0	40.9
芸術専門学群	4	-	-	100.0
人文社会科学研究群	13	15.4	30.8	53.8
ビジネス科学研究群	0	-	-	-
数理物質科学研究群	22	22.7	36.4	40.9
システム情報工学研究群	60	35.0	40.0	25.0
生命地球科学研究群	47	23.4	36.2	40.4
人間総合科学研究群	69	21.7	34.8	43.5
その他	4	50.0	50.0	-

ヒューマンエンパワーメント推進局(BHE)や就職支援の部署の利用目的については、「進路に関する相談」(53.6%)が最も多く、「就職に関する学内のイベントの確認」(44.5%)が続いていた。

「就職に関する学内のイベントへの参加」(39.1%)、「面接に関する指導」(34.5%)、「エントリーシートの作成の指導」(30.0%)が30%台であった。

図表 132 ヒューマンエンパワーメント推進局や就職支援の部署の利用目的



学年別では、3年は「就職に関する学内のイベントの確認」(52.9%)が有意に多かった。

修士1年は「就職に関する学内のイベントの確認」(58.3%)、「エントリーシートの作成の指導」(50.0%)が有意に多かった。

修士2年は「エントリーシートの作成の指導」(51.5%)、「面接に関する指導」(48.5%)が有意に多かった。

図表 133 ヒューマンエンパワーメント推進局や就職支援の部署の利用目的(学年別)(単位:%)

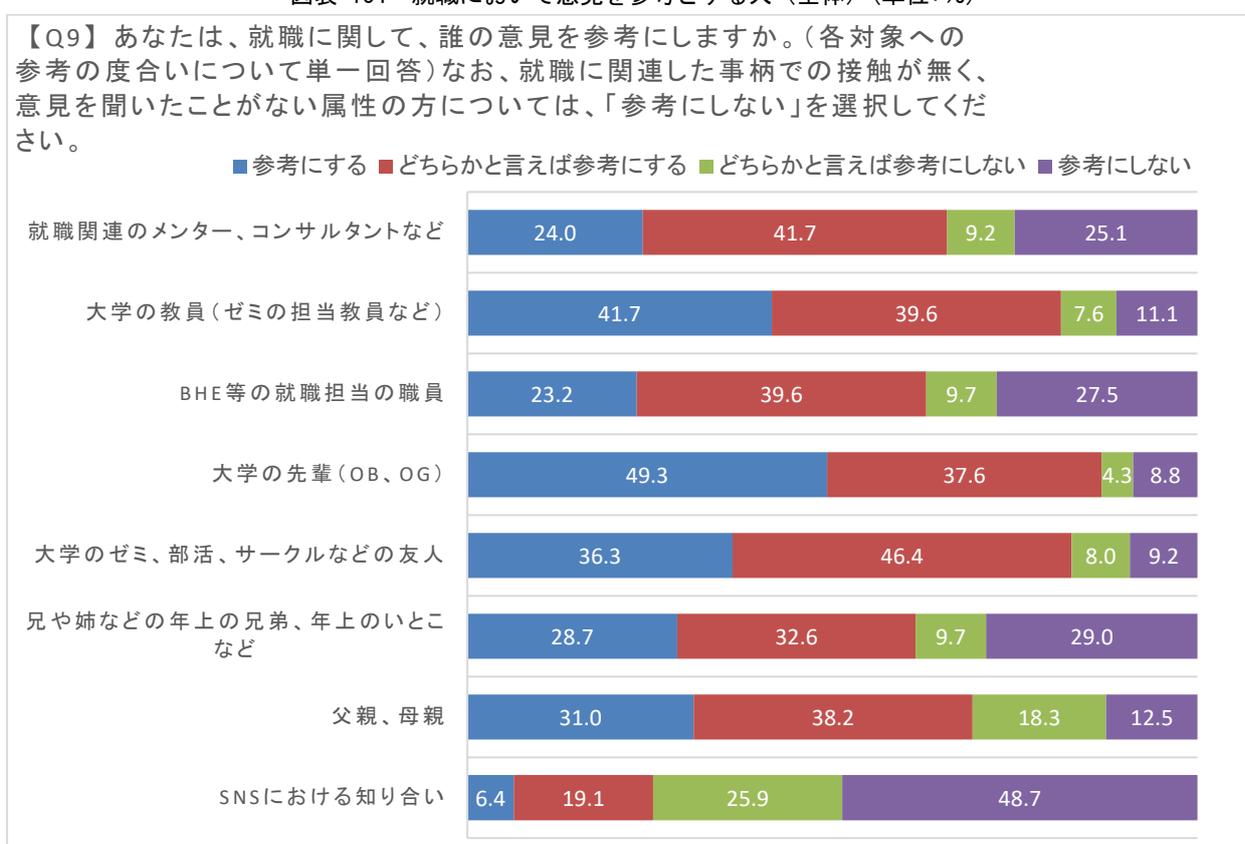
Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	就職に関する学内のイベントの確認	就職に関する学内のイベントへの参加	インターンシップの連絡の確認	アルバイトの求人の確認	就職の求人の確認	エントリーシートの作成の指導	面接に関する指導	進路に関する相談	その他
全体	110	44.5	39.1	12.7	4.5	10.0	30.0	34.5	53.6	1.8
3年	34	52.9	35.3	14.7	5.9	8.8	17.6	17.6	55.9	-
4年	20	30.0	25.0	-	5.0	10.0	15.0	45.0	70.0	5.0
修士1年	12	58.3	41.7	16.7	-	16.7	50.0	41.7	50.0	-
修士2年	33	33.3	42.4	9.1	3.0	9.1	51.5	48.5	36.4	3.0
博士課程	11	63.6	63.6	36.4	9.1	9.1	9.1	18.2	72.7	-

就職活動において「意見を参考にする人」については、「大学の先輩（OB、OG）」（49.3%）、「大学の教員（ゼミの担当教員など）」（41.7%）、「大学のゼミ、部活、サークルなどの友人」（36.3%）が3位までを占めており、大学関連でつながりのある人の意見を参考にして

いた。
 「父親、母親」（31.0%）、「兄や姉などの年上の兄弟、年上のいとこなど」（28.7%）が続いており、家族や親戚が挙げられた。

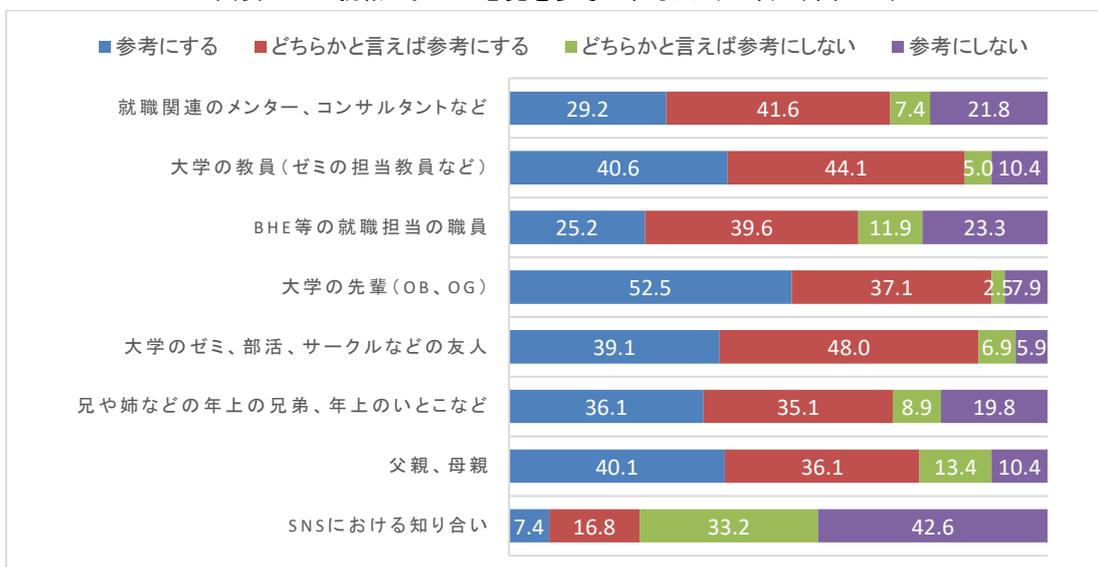
就職に関連する「就職関連のメンター、コンサルタントなど」（24.0%）、「BHE等の就職担当の職員」（23.2%）は20%台であった。

図表 134 就職において意見を参考とする人（全体）（単位：%）



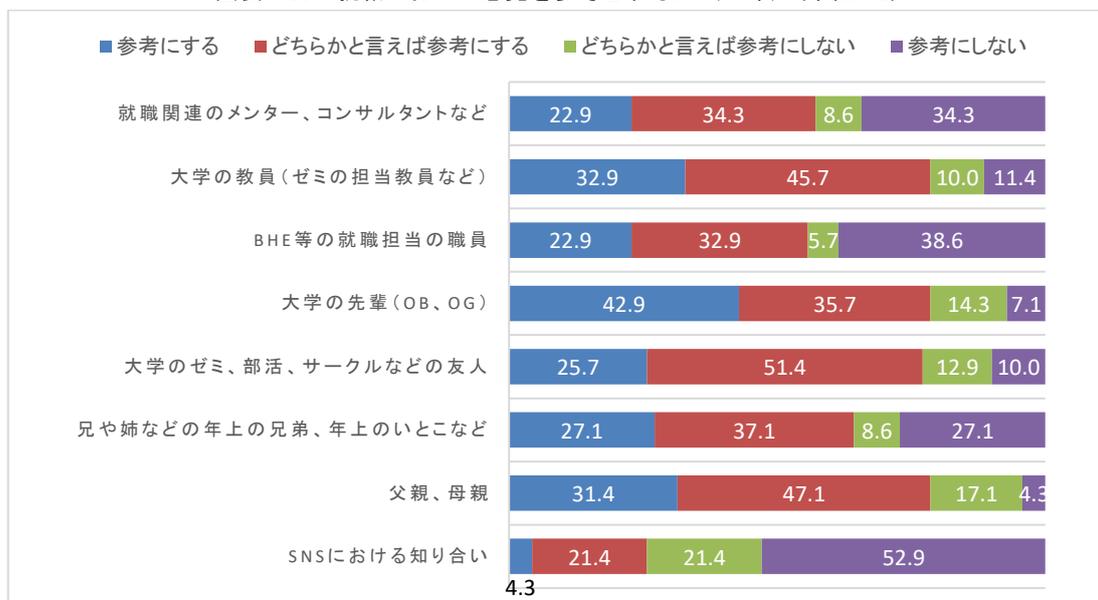
学年別にみると3年では、「大学の先輩（OB、OG）」（52.5%）、「大学の教員（ゼミの担当教員）」（40.6%）の大学関連が上位2位を占め、「父親、母親」（40.1%）が続いていた。

図表 135 就職において意見を参考とする人（3年）（単位：%）



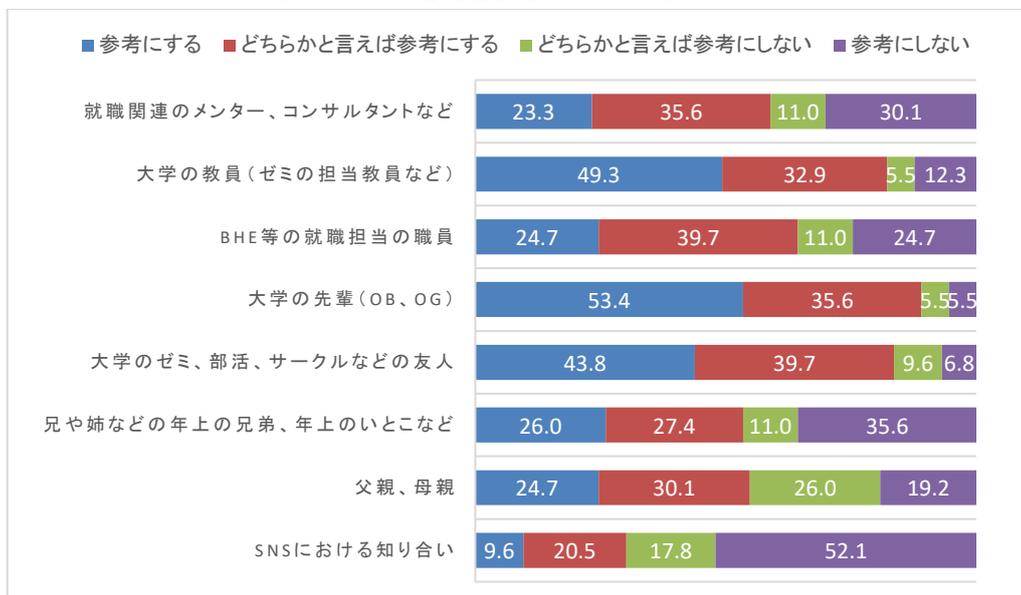
4年では、「大学の先輩（OB、OG）」（42.9%）、「大学の教員（ゼミの担当教員）」（32.9%）の大学関連が上位2位を占め、「父親、母親」（31.4%）が続いていた。

図表 136 就職において意見を参考とする人（4年）（単位：%）



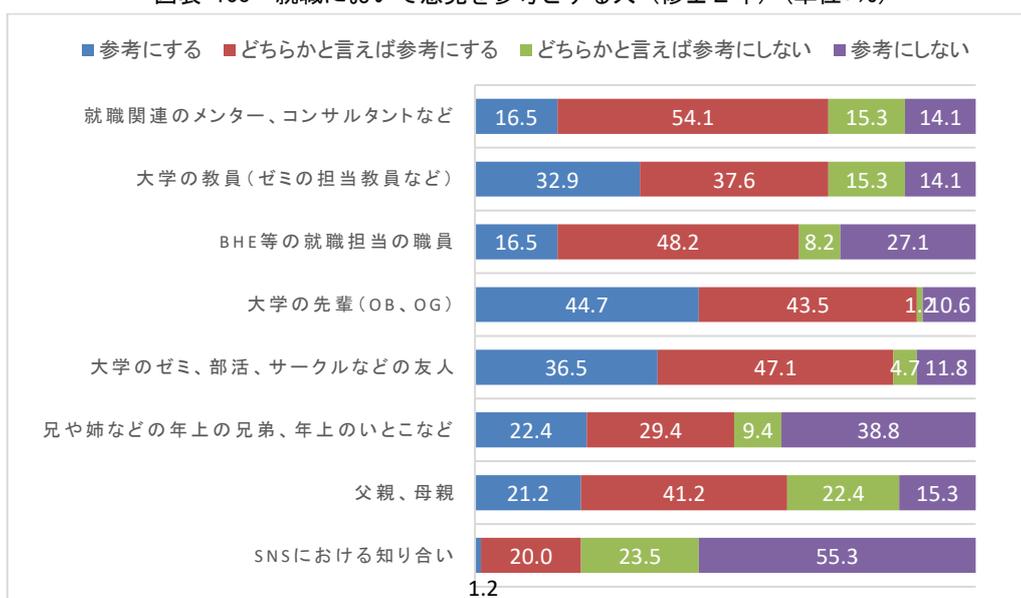
修士1年では、「大学の先輩（OB、OG）」（53.4%）、「大学の教員（ゼミの担当教員）」（49.3%）、「大学のゼミ、部活、サークルなどの友人」（43.8%）と3位まで大学関連でつながりのある人が占めていた。

図表 137 就職において意見を参考とする人（修士1年）（単位：%）



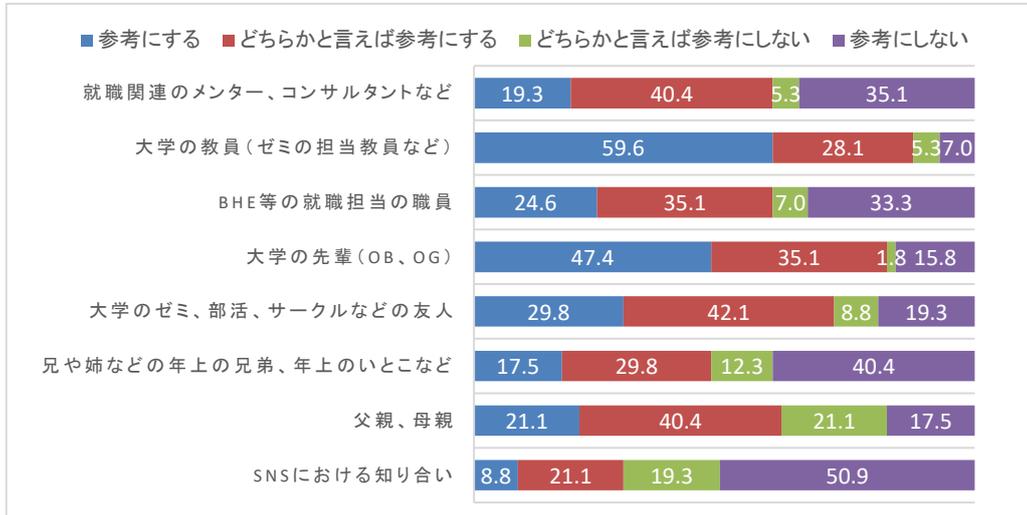
修士2年でも、「大学の先輩（OB、OG）」（44.7%）、「大学のゼミ、部活、サークルなどの友人」（36.5%）、「大学の教員（ゼミの担当教員）」（32.9%）が3位まで大学関連でつながりのある人が占めていた。

図表 138 就職において意見を参考とする人（修士2年）（単位：%）



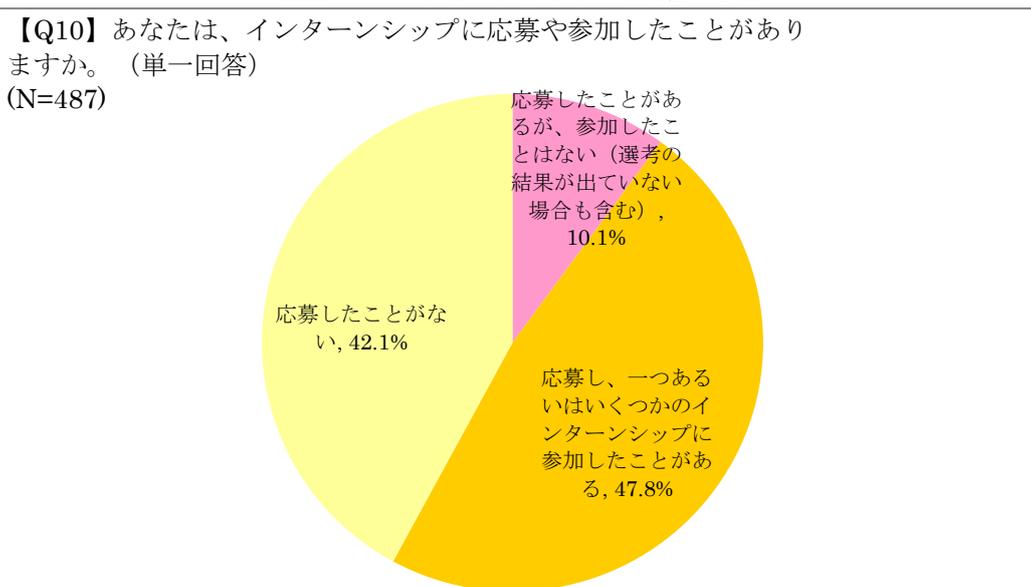
博士課程では、「大学の教員（ゼミの担当教員）」（59.6%）、「大学の先輩（OB、OG）」（47.4%）、「大学のゼミ、部活、サークルなどの友人」（29.8%）が3位まで大学関連でつながりのある人が占めていた。トップは、「大学の教員（ゼミの担当教員）」であった。

図表 139 就職において意見を参考とする人（博士課程）（単位：%）



インターンシップへの応募・参加については、「応募し、一つあるいはいくつかのインターンシップに参加したことがある」（47.8%）が最も多かった。これに対し、「応募したことがない」（42.1%）が続いていた。「応募したことがあるが、参加したことはない（選考の結果が出ていないものも含む）」は10.1%であった。

図表 140 インターンシップへの応募・参加



学年別では、「応募し、一つあるいはいくつかのインターンシップに参加したことがある」と回答した割合が有意に多かったのは、4年(57.1%)、修士1年(60.3%)、修士2年(64.7%)であった。

図表 141 インターンシップへの応募・参加(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	応募したことがあるが、参加したことはない(選考の結果が出ていない場合も含む)	応募し、一つあるいはいくつかのインターンシップに参加したことがある	応募したことがない
全体	487	10.1	47.8	42.1
3年	202	13.9	34.2	52.0
4年	70	2.9	57.1	40.0
修士1年	73	11.0	60.3	28.8
修士2年	85	8.2	64.7	27.1
博士課程	57	7.0	43.9	49.1

学群・研究群別では、「応募し、一つあるいはいくつかのインターンシップに参加したことがある」と回答した割合が有意に多かったのは、システム情報工学研究群(78.3%)、生命地球科学研究群(61.7%)であった。

図表 142 インターンシップへの応募・参加(学群・研究群別)(単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	応募したことがあるが、参加したことはない(選考の結果が出ていない場合も含む)	応募し、一つあるいはいくつかのインターンシップに参加したことがある	応募したことがない
全体	487	10.1	47.8	42.1
人文・文化学群	15	13.3	86.7	-
社会・国際学群	9	-	100.0	-
人間学群	29	10.3	48.3	41.4
生命環境学群	26	-	34.6	65.4
理工学群	22	4.5	54.5	40.9
情報学群	12	-	58.3	41.7
医学群	6	-	33.3	66.7
体育専門学群	149	15.4	26.2	58.4
芸術専門学群	4	-	100.0	-
人文社会科学研究群	13	-	30.8	69.2
ビジネス科学研究群	0	-	-	-
数理物質科学研究群	22	4.5	54.5	40.9
システム情報工学研究群	60	6.7	78.3	15.0
生命地球科学研究群	47	8.5	61.7	29.8
人間総合科学研究群	69	15.9	40.6	43.5
その他	4	-	100.0	-

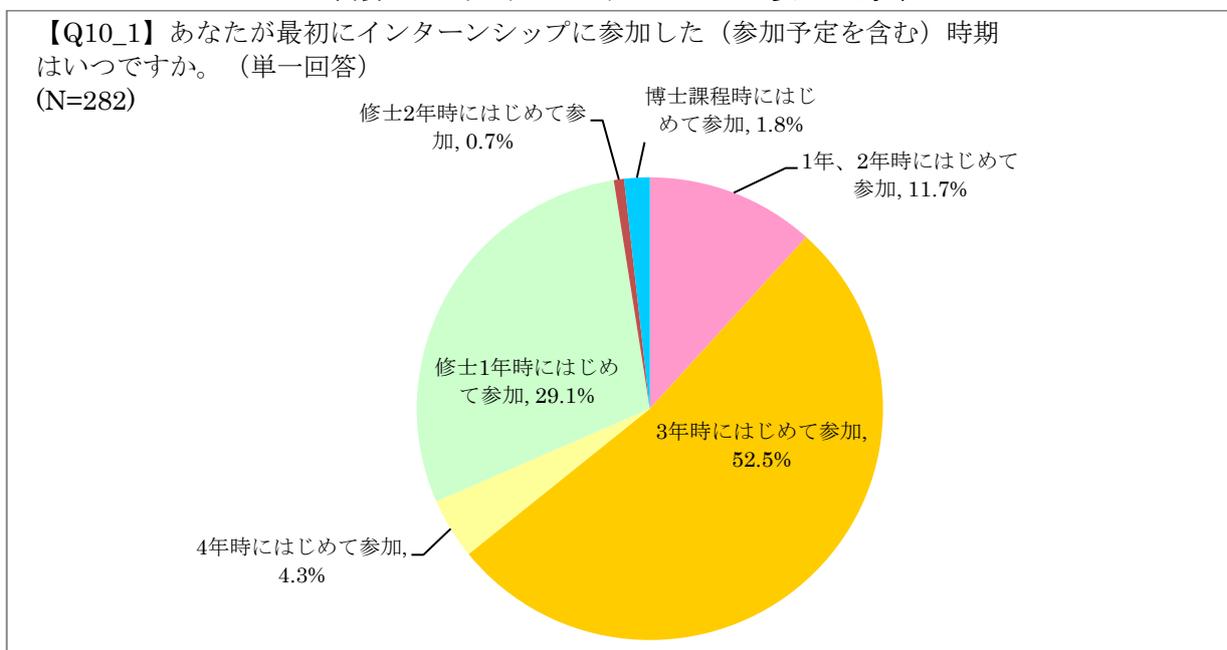
日本人・外国人別では、外国人留学生は「応募し、一つあるはいくつかのインターンシップに参加したことがある」(20.5%)が有意に少なかった。また、「応募したことがない」(59.0%)が有意に多かった。

図表 143 インターンシップへの応募・参加(日本人・外国人別) (単位:%)

Q4 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	応募したことがあるが、参加したことはない(選考の結果が出ていない場合も含む)	応募し、一つあるはいくつかのインターンシップに参加したことがある	応募したことがない
全体	487	10.1	47.8	42.1
日本人学生	448	9.2	50.2	40.6
外国人留学生	39	20.5	20.5	59.0

インターンシップにはじめて参加した学年については、「3年時にはじめて参加」(52.5%)が最も多かった。「修士1年時にはじめて参加」(29.1%)であった。「1年、2時にはじめて参加」(11.7%)が続いていた。

図表 144 インターンシップにはじめて参加した学年



学群の学生では、「3年時にはじめて参加」と回答した割合が有意に多かったのは、3年(84.5%)、4年(81.0%)であった。

修士の学生では、「修士1年時にはじめて参加」と回答した割合が有意に多かったのは、修士1年(59.6%)、修士2年(71.0%)であった。

図表 145 インターンシップにはじめて参加した学年(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	1年、2年時にはじめて参加	3年時にはじめて参加	4年時にはじめて参加	修士1年時にはじめて参加	修士2年時にはじめて参加	博士課程時にはじめて参加
全体	282	11.7	52.5	4.3	29.1	0.7	1.8
3年	97	13.4	84.5	2.1	-	-	-
4年	42	11.9	81.0	7.1	-	-	-
修士1年	52	11.5	23.1	5.8	59.6	-	-
修士2年	62	9.7	14.5	3.2	71.0	1.6	-
博士課程	29	10.3	37.9	6.9	24.1	3.4	17.2

学群・研究群別では、「3年時にはじめて参加」が有意に多かったのは、体育専門学群(88.7%)であった。

「修士1年時にはじめて参加」が有意に多かったのは、システム情報工学研究群(54.9%)、生命地球科学研究群(75.8%)、人間総合科学研究群(51.3%)であった。

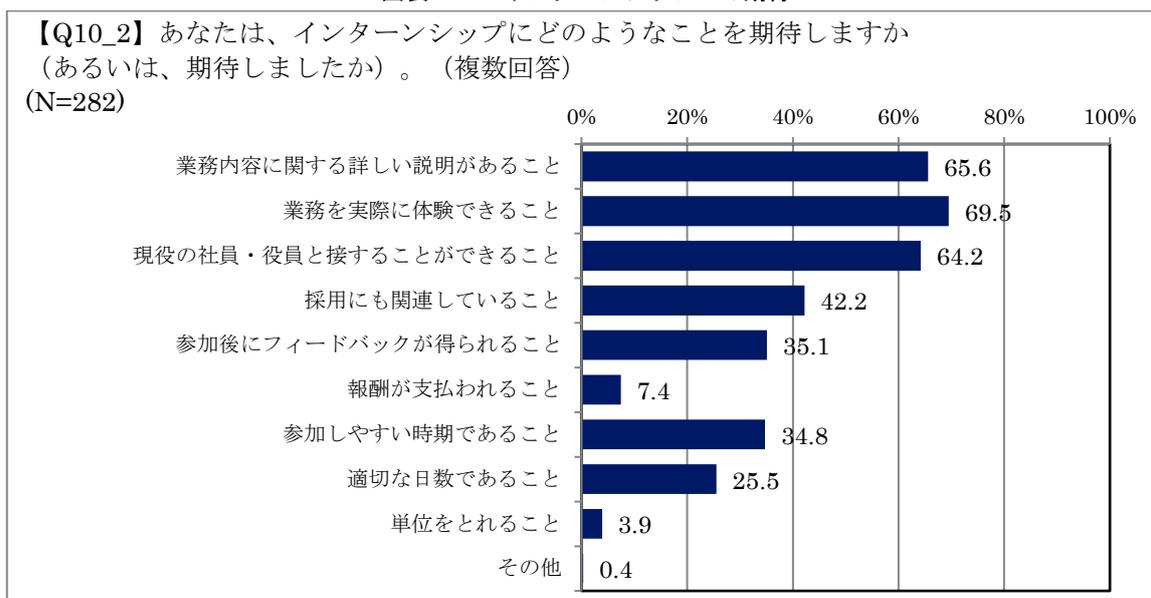
図表 146 インターンシップにはじめて参加した学年(学年別)(単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	1年、2年時にはじめて参加	3年時にはじめて参加	4年時にはじめて参加	修士1年時にはじめて参加	修士2年時にはじめて参加	博士課程時にはじめて参加
全体	282	11.7	52.5	4.3	29.1	0.7	1.8
人文・文化学群	15	13.3	80.0	6.7	-	-	-
社会・国際学群	9	-	100.0	-	-	-	-
人間学群	17	23.5	76.5	-	-	-	-
生命環境学群	9	11.1	66.7	22.2	-	-	-
理工学群	13	-	92.3	7.7	-	-	-
情報学群	7	28.6	71.4	-	-	-	-
医学群	2	-	100.0	-	-	-	-
体育専門学群	62	9.7	88.7	1.6	-	-	-
芸術専門学群	4	75.0	25.0	-	-	-	-
人文社会科学研究群	4	-	25.0	25.0	25.0	25.0	-
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	13	7.7	38.5	-	53.8	-	-
システム情報工学研究群	51	15.7	23.5	3.9	54.9	-	2.0
生命地球科学研究群	33	3.0	15.2	-	75.8	-	6.1
人間総合科学研究群	39	10.3	25.6	10.3	51.3	2.6	-
その他	4	25.0	-	-	25.0	-	50.0

インターンシップへの期待については、「業務を実際に体験できること」(69.5%)、「業務内容に関する詳しい説明があること」(65.6%)、「現役の社員・役員と接することができること」(64.2%)が60%台であった。

「採用にも関連していること」(42.2%)、「参加後にフィードバックが得られること」(35.1%)、「参加しやすい時期であること」(34.8%)、「適切な日数であること」(25.5%)は25%以上であった。

図表 147 インターンシップへの期待



学年別においては、4年は「業務内容に関する詳しい説明があること」(76.2%)、「現役の社員・役員と接することができること」(76.2%)、「参加しやすい時期であること」(47.6%)、適切な日数であること」(33.3%)が有意に多かった。

修士2年は「現役の社員・役員と接することができること」(71.0%)、「適切な日数であること」(30.6%)が有意に多かった。

図表 148 インターンシップへの期待(学年別) (単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N)	業務内容に関する詳しい説明があること	業務を実際に体験できること	現役の社員・役員と接することができること	採用にも関連していること	参加後にフィードバックが得られること	報酬が支払われること	参加しやすい時期であること	適切な日数であること	単位をとれること	その他
全体	282	65.6	69.5	64.2	42.2	35.1	7.4	34.8	25.5	3.9	0.4
3年	97	64.9	68.0	57.7	45.4	36.1	7.2	37.1	22.7	3.1	1.0
4年	42	76.2	66.7	76.2	42.9	40.5	11.9	47.6	33.3	2.4	-
修士1年	52	67.3	71.2	65.4	44.2	32.7	7.7	26.9	17.3	5.8	-
修士2年	62	67.7	71.0	71.0	40.3	33.9	6.5	35.5	30.6	4.8	-
博士課程	29	44.8	72.4	51.7	31.0	31.0	3.4	20.7	27.6	3.4	-

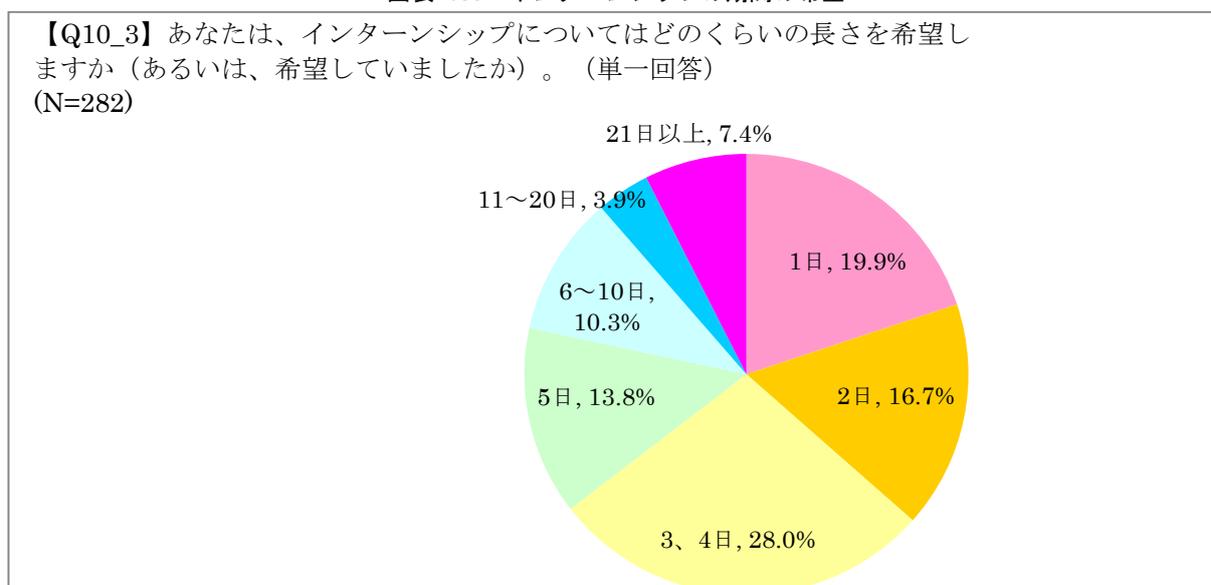
学群・研究群別については、システム情報工学研究群は「業務内容に関する詳しい説明があること」(82.4%)、「現役の社員・役員と接することができること」(72.5%)が有意に多かった。

図表 149 インターンシップへの期待(学群・研究群別)(単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	業務内容に関する詳しい説明があること	業務を実際に体験できること	現役の社員・役員と接することができること	採用にも関連していること	参加後にフィードバックが得られること	報酬が支払われること	参加しや適切な時期であること	適切な日数であること	単位をとれること	その他
全体	282	65.6	69.5	64.2	42.2	35.1	7.4	34.8	25.5	3.9	0.4
人文・文化学群	15	86.7	66.7	73.3	46.7	53.3	6.7	40.0	20.0	-	-
社会・国際学群	9	66.7	66.7	77.8	44.4	55.6	11.1	44.4	22.2	-	-
人間学群	17	88.2	82.4	82.4	35.3	52.9	23.5	70.6	47.1	-	-
生命環境学群	9	55.6	55.6	77.8	77.8	33.3	-	77.8	33.3	22.2	-
理工学群	13	69.2	76.9	69.2	46.2	30.8	7.7	30.8	23.1	7.7	-
情報学群	7	71.4	85.7	42.9	28.6	57.1	14.3	57.1	57.1	14.3	-
医学群	2	100.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-
体育専門学群	62	61.3	59.7	53.2	45.2	29.0	6.5	29.0	21.0	-	1.6
芸術専門学群	4	25.0	100.0	75.0	50.0	-	-	25.0	-	-	-
人文社会科学研究群	4	25.0	100.0	50.0	50.0	-	-	25.0	-	-	-
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	13	76.9	53.8	53.8	46.2	23.1	-	38.5	23.1	-	-
システム情報工学研究群	51	68.6	82.4	72.5	43.1	35.3	9.8	27.5	29.4	7.8	-
生命地球科学研究群	33	66.7	63.6	66.7	36.4	33.3	3.0	27.3	21.2	3.0	-
人間総合科学研究群	39	53.8	69.2	56.4	33.3	35.9	5.1	30.8	28.2	2.6	-
その他	4	50.0	50.0	75.0	50.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-

インターンシップの長さの希望については、「3日、4日」(28.0%)が最も多く、「1日」(19.9%)、「2日」(16.7%)、「5日」(13.8%)、「6～10日」(10.3%)が10%台で続いていた。

図表 150 インターンシップの期間の希望



学年別では、3年は「1日」(28.9%)、「2日」(24.7%)の短い日数が有意に多かった。
 修士1年は「3、4日」(34.6%)が有意に多かった。
 修士2年は「5日」(21.0%)、「6～10日」(17.7%)の長めの日数が有意に多かった。

図表 151 インターンシップの期間の希望（学年別）（単位：%）

Q2 あなたの学年を教えてください。（単一回答）	全体(N数)	1日	2日	3、4日	5日	6～10日	11～20日	21日以上
全体	282	19.9	16.7	28.0	13.8	10.3	3.9	7.4
3年	97	28.9	24.7	25.8	8.2	4.1	3.1	5.2
4年	42	23.8	21.4	26.2	11.9	9.5	2.4	4.8
修士1年	52	15.4	9.6	34.6	15.4	7.7	7.7	9.6
修士2年	62	16.1	8.1	32.3	21.0	17.7	1.6	3.2
博士課程	29	-	13.8	17.2	17.2	20.7	6.9	24.1

学群・研究群別では、体育専門学群は「1日」(38.7%)、「2日」(22.6%)の短い日数の希望が有意に多かった。システム情報工学研究群は「5日」(27.5%)、「6～10日」(19.6%)の長めの日数が有意に多かった。生命地球科学研究群は「1日」(27.3%)が有意に多く、人間総合科学研究群は「3、4日」(38.5%)が有意に多かった。

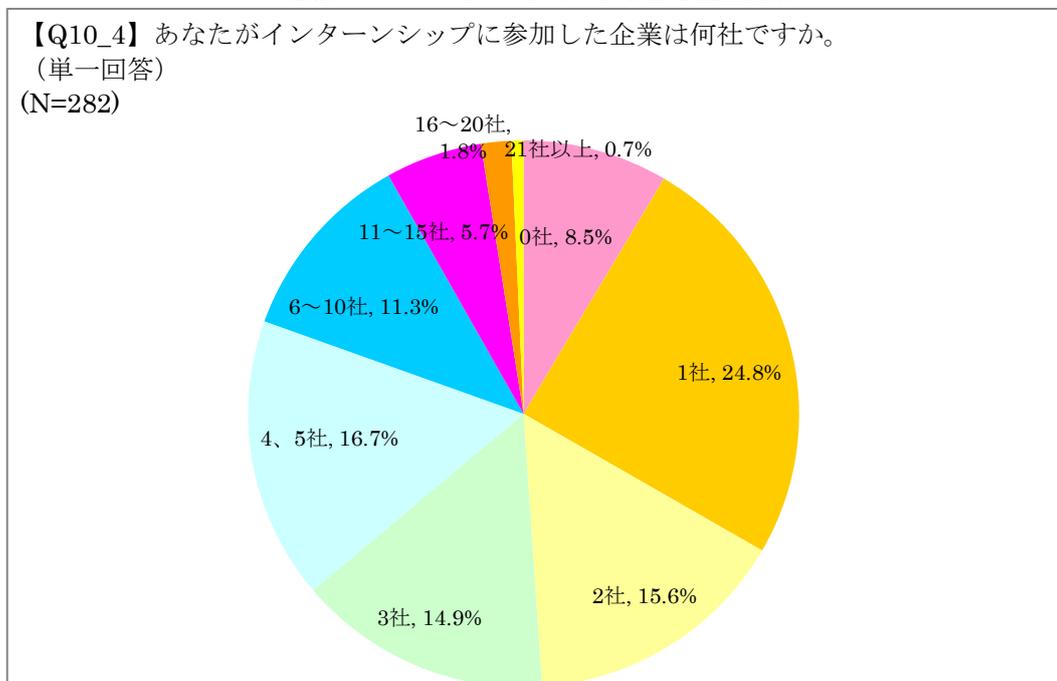
図表 152 インターンシップの期間の希望（学群・研究群別）（単位：%）

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。（単一回答）	全体(N数)	1日	2日	3、4日	5日	6～10日	11～20日	21日以上
全体	282	19.9	16.7	28.0	13.8	10.3	3.9	7.4
人文・文化学群	15	26.7	26.7	26.7	20.0	-	-	-
社会・国際学群	9	22.2	33.3	22.2	-	-	11.1	11.1
人間学群	17	23.5	17.6	35.3	17.6	-	-	5.9
生命環境学群	9	22.2	33.3	22.2	11.1	-	11.1	-
理工学群	13	7.7	30.8	30.8	15.4	15.4	-	-
情報学群	7	-	-	28.6	-	42.9	14.3	14.3
医学群	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-
体育専門学群	62	38.7	22.6	24.2	4.8	1.6	1.6	6.5
芸術専門学群	4	-	-	25.0	25.0	50.0	-	-
人文社会科学研究群	4	-	-	75.0	-	-	25.0	-
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	13	15.4	23.1	23.1	23.1	7.7	7.7	-
システム情報工学研究群	51	2.0	5.9	27.5	27.5	19.6	7.8	9.8
生命地球科学研究群	33	27.3	18.2	24.2	9.1	12.1	-	9.1
人間総合科学研究群	39	15.4	2.6	38.5	15.4	15.4	2.6	10.3
その他	4	-	50.0	-	-	-	-	50.0

インターシップに参加した企業数については、「1社」(24.8%)が最も多かった。

「4、5社」(16.7%)、「2社」(15.6%)、「3社」(14.9%)、「6～10社」(11.3%)が10%台で続いていた。

図表 153 インターンシップに参加した企業数



学年別では、「1社」と回答した割合が有意に多かったのは、3年(29.9%)、4年(33.3%)であった。

修士1年は「2社」(26.9%)、「6～10社」(17.3%)が有意に多かった。

修士2年は「4、5社」(22.6%)、「6～10社」(17.7%)が有意に多かった。

図表 154 インターンシップに参加した企業数(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	0社	1社	2社	3社	4、5社	6～10社	11～15社	16～20社	21社以上
全体	282	8.5	24.8	15.6	14.9	16.7	11.3	5.7	1.8	0.7
3年	97	13.4	29.9	13.4	15.5	13.4	8.2	4.1	2.1	-
4年	42	-	33.3	19.0	9.5	19.0	4.8	9.5	2.4	2.4
修士1年	52	5.8	11.5	26.9	13.5	19.2	17.3	3.8	-	1.9
修士2年	62	9.7	14.5	4.8	17.7	22.6	17.7	9.7	3.2	-
博士課程	29	6.9	41.4	20.7	17.2	6.9	6.9	-	-	-

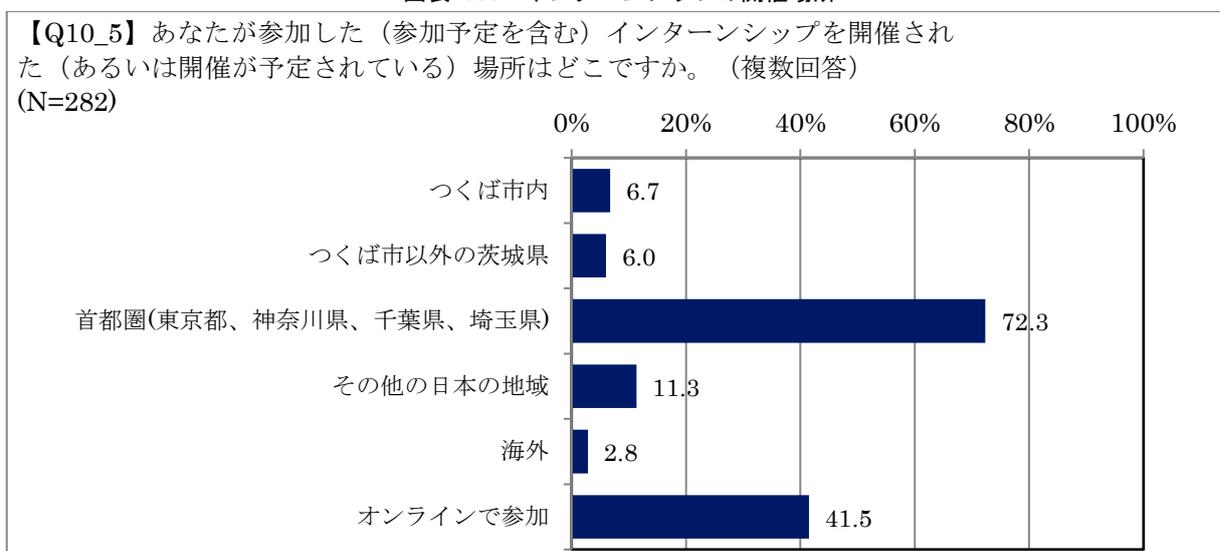
学群・研究群別では、体育専門学群は「0社」(17.7%)が有意に多かった。システム情報工学研究群は「4、5社」(23.5%)、「6～10社」(19.6%)が有意に多かった。生命地球科学研究群は「6～10社」(18.2%)が有意に多かった。

図表 155 インターンシップに参加した企業数(学群・研究群別)(単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	0社	1社	2社	3社	4、5社	6～10社	11～15社	16～20社	21社以上
全体	282	8.5	24.8	15.6	14.9	16.7	11.3	5.7	1.8	0.7
人文・文化学群	15	6.7	33.3	6.7	6.7	13.3	20.0	6.7	6.7	-
社会・国際学群	9	-	33.3	22.2	33.3	-	11.1	-	-	-
人間学群	17	5.9	23.5	17.6	11.8	17.6	11.8	5.9	5.9	-
生命環境学群	9	-	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	-	-
理工学群	13	-	38.5	-	15.4	23.1	-	15.4	-	7.7
情報学群	7	-	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	-	-	-
医学群	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-
体育専門学群	62	17.7	27.4	17.7	14.5	14.5	3.2	3.2	1.6	-
芸術専門学群	4	-	25.0	25.0	-	50.0	-	-	-	-
人文社会科学研究群	4	-	-	50.0	-	25.0	25.0	-	-	-
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	13	-	23.1	23.1	30.8	7.7	15.4	-	-	-
システム情報工学研究群	51	5.9	13.7	11.8	15.7	23.5	19.6	7.8	2.0	-
生命地球科学研究群	33	12.1	15.2	18.2	12.1	18.2	18.2	3.0	3.0	-
人間総合科学研究群	39	10.3	30.8	12.8	15.4	12.8	7.7	7.7	-	2.6
その他	4	-	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-

インターンシップの開催場所については、「首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)」(72.3%)が最も多かった。次は、「オンラインで参加」(41.5%)であった。「つくば市内」(6.7%)で10%未満であった。

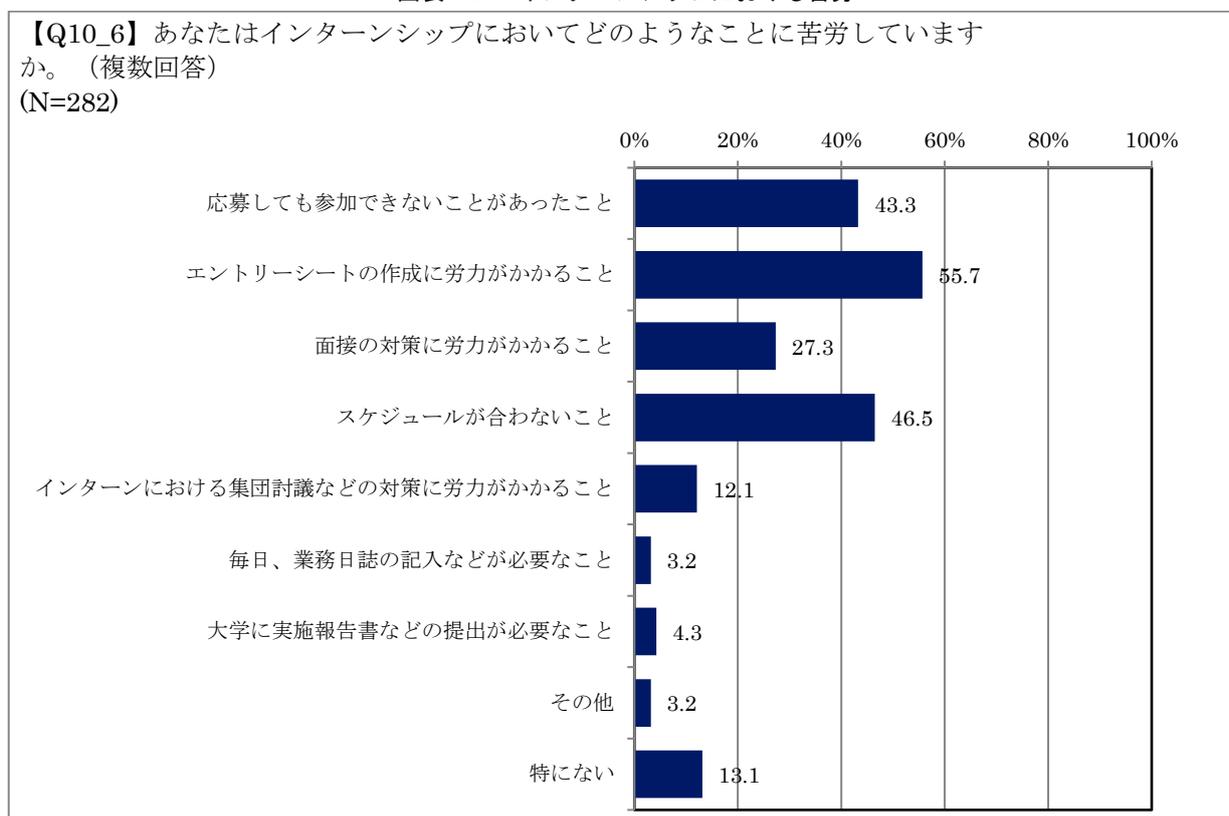
図表 156 インターンシップの開催場所



インターンシップにおける苦勞については、「エントリーシートの作成に勞力がかかること」(55.7%)、「スケジュールが合わないこと」(46.5%)、「応募しても参加できないことがあったこと」(43.3%)、「面接の対策に勞力がかかること」(27.3%)が3位までを占めた。

なお、「特にない」は13.1%であった。

図表 157 インターンシップにおける苦勞



学年別では、3年は「スケジュールが合わないこと」(68.0%)が有意に多かった。修士2年は「エントリーシートの作成に勞力がかかること」(66.1%)、「面接の対策に勞力がかかること」(37.1%)が有意に多かった。

図表 158 インターンシップにおける苦勞(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	応募しても参加できないことがあったこと	エントリーシートの作成に勞力がかかること	面接の対策に勞力がかかること	スケジュールが合わないこと	インターンにおける集団討議などの対策に勞力がかかること	毎日、業務日誌の記入などが必要なこと	大学に実施報告書などの提出が必要なこと	その他	特にない
全体	282	43.3	55.7	27.3	46.5	12.1	3.2	4.3	3.2	13.1
3年	97	44.3	52.6	26.8	68.0	13.4	2.1	1.0	-	7.2
4年	42	47.6	54.8	26.2	38.1	16.7	-	-	-	16.7
修士1年	52	42.3	59.6	25.0	36.5	5.8	3.8	7.7	9.6	9.6
修士2年	62	48.4	66.1	37.1	33.9	12.9	1.6	4.8	4.8	14.5
博士課程	29	24.1	37.9	13.8	31.0	10.3	13.8	13.8	3.4	31.0

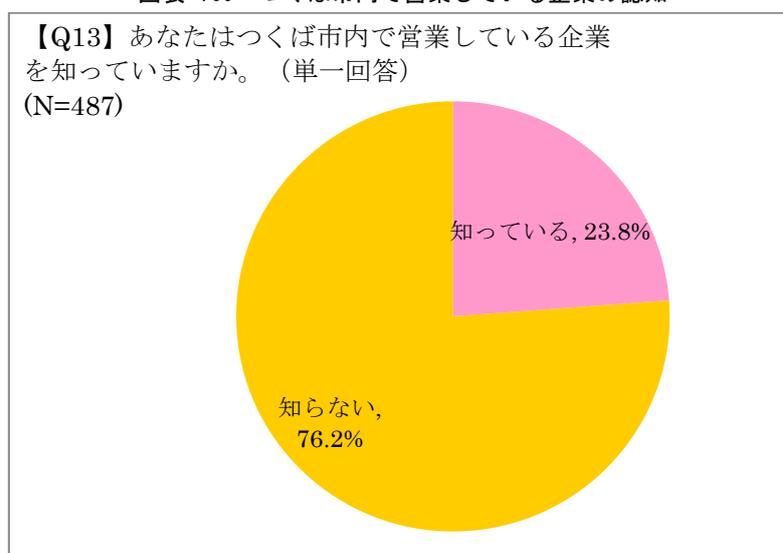
学群・研究群別では、体育専門学群は「スケジュールが合わないこと」(66.1%)が有意に多かった。システム情報工学研究群は「エントリーシートの作成に労力がかかること」(66.7%)、「面接の対策に労力がかかること」(37.3%)が有意に多かった。

図表 159 インターンシップにおける苦勞(単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	応募しても参加できないことがあったこと	エントリーシートの作成に労力がかかること	面接の対策に労力がかかること	スケジュールが合わないこと	インターンにおける集団討議などの対策に労力がかかること	毎日、業務日誌の記入などが必要なこと	大学に実施報告書などの提出が必要なこと	その他	特になし
全体	282	43.3	55.7	27.3	46.5	12.1	3.2	4.3	3.2	13.1
人文・文化学群	15	66.7	53.3	26.7	53.3	-	-	-	-	13.3
社会・国際学群	9	44.4	66.7	22.2	55.6	11.1	-	-	-	-
人間学群	17	52.9	58.8	17.6	58.8	35.3	-	-	-	5.9
生命環境学群	9	33.3	66.7	11.1	66.7	11.1	-	-	-	11.1
理工学群	13	46.2	53.8	53.8	30.8	30.8	-	7.7	-	7.7
情報学群	7	28.6	57.1	28.6	57.1	28.6	-	-	-	14.3
医学群	2	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
体育専門学群	62	38.7	46.8	25.8	66.1	8.1	3.2	-	-	12.9
芸術専門学群	4	100.0	100.0	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-
人文社会科学研究群	4	50.0	25.0	-	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	13	46.2	69.2	38.5	30.8	15.4	7.7	7.7	15.4	15.4
システム情報工学研究群	51	49.0	66.7	37.3	33.3	9.8	2.0	5.9	7.8	15.7
生命地球科学研究群	33	42.4	48.5	18.2	42.4	3.0	-	3.0	3.0	12.1
人間総合科学研究群	39	33.3	56.4	25.6	33.3	10.3	7.7	10.3	5.1	17.9
その他	4	-	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	-	50.0

つくば市内で営業している事業者の認知については、「知っている」割合は23.8%であった。

図表 160 つくば市内で営業している企業の認知



知っているとは回答した学生に企業名を記載してもらったが、市内本店の事業者を記載した割合は、いずれの学年でも3%未満であった。

図表 161 つくば市内で営業している企業の認知(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	知っている		知らない
			市内本店の事業者を記載した割合	
全体	487	23.8		76.2
3年	202	16.8	0.5	83.2
4年	70	25.7	2.9	74.3
修士1年	73	23.3	2.7	76.7
修士2年	85	37.6	2.4	62.4
博士課程	57	26.3	1.8	73.7

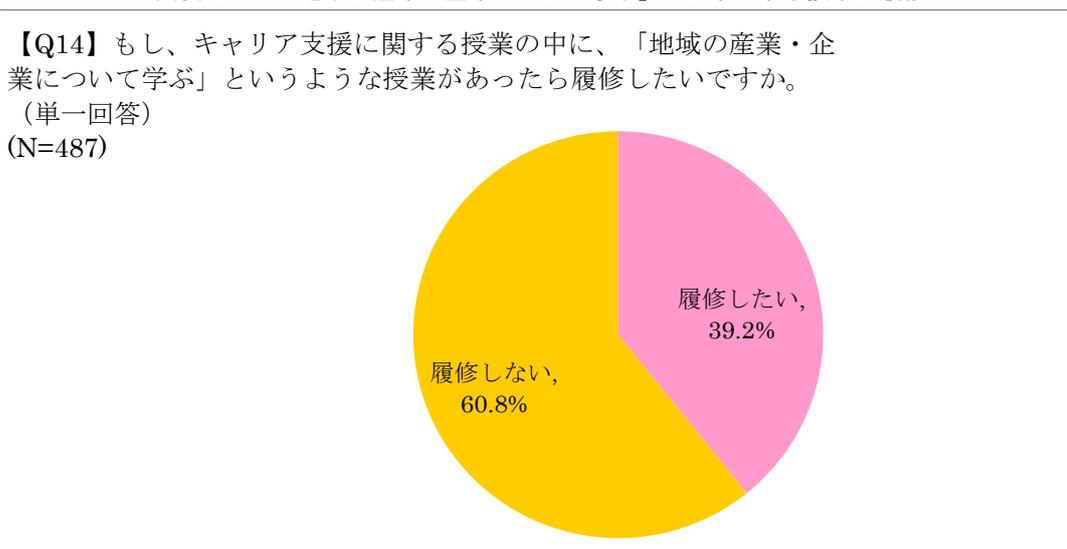
日本人・外国人別では、外国人留学生は「知らない」(89.7%)が有意に多かった。

図表 162 つくば市内で営業している企業の認知(日本人・外国人別)(単位:%)

Q4 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	知っている		知らない
			市内本店の事業者を記載した割合	
全体	487	23.8	2.3	76.2
日本人学生	448	25.0	2.2	75.0
外国人留学生	39	10.3	2.6	89.7

「地域の産業・企業について学ぶ」というような授業を「履修したい」割合は39.2%であった。

図表 163 「地域の産業・企業について学ぶ」というような授業の履修



学年別では、4年は「履修したい」(47.1%)が有意に多かった。

図表 164 「地域の産業・企業について学ぶ」というような授業の履修（学年別）（単位：%）

Q2 あなたの学年を教えてください。（単一回答）	全体 (N数)	履修したい	履修しない
全体	487	39.2	60.8
3年	202	42.6	57.4
4年	70	47.1	52.9
修士1年	73	42.5	57.5
修士2年	85	31.8	68.2
博士課程	57	24.6	75.4

日本人・外国人別では、「履修したい」において日本人学生(39.3%)と外国人留学生(38.5%)との間に有意な差はなかった。

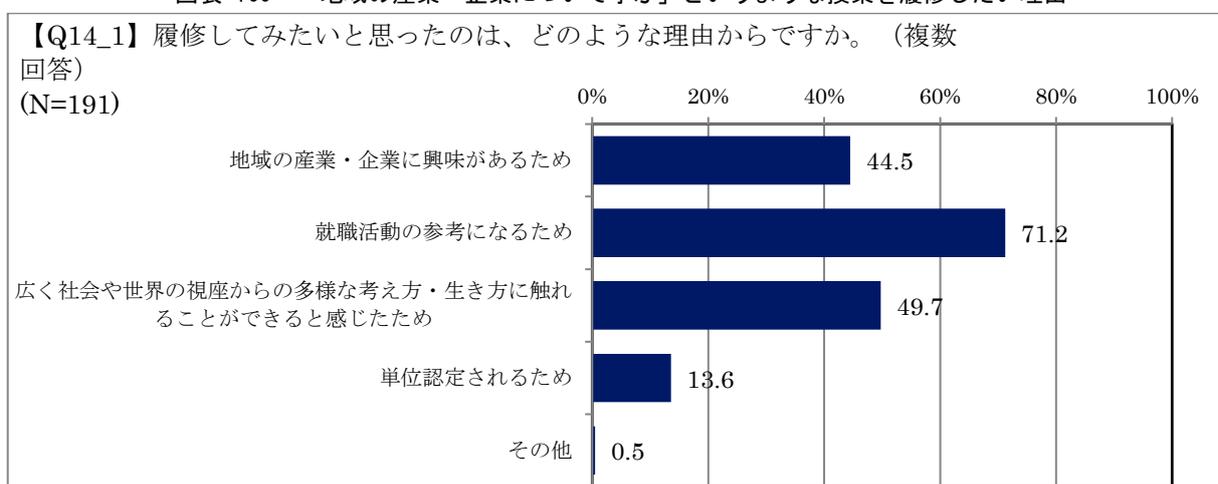
図表 165 「地域の産業・企業について学ぶ」というような授業の履修（日本人・外国人別）（単位：%）

Q4 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。（単一回答）	全体 (N数)	履修したい	履修しない
全体	487	39.2	60.8
日本人学生	448	39.3	60.7
外国人留学生	39	38.5	61.5

「地域の産業・企業について学ぶ」というような授業を履修したい理由については、「就職活動の参考になるため」(71.2%)が最も多かった。

「広く社会や世界の視座からの多様な考え方・生き方に触れることができると感じたため」(49.7%)、「地域の産業・企業に興味があるため」(44.5%)が続いていた。「単位認定されるため」(13.6%)は10%台であった。

図表 166 「地域の産業・企業について学ぶ」というような授業を履修したい理由



学年別では、「広く社会や世界の視座からの多様な考え方・生き方に触れることができると感じたため」を理由とした割合が有意に多かったのは、修士2年(70.4%)、博士課程(71.4%)でいずれも70%以上であった。

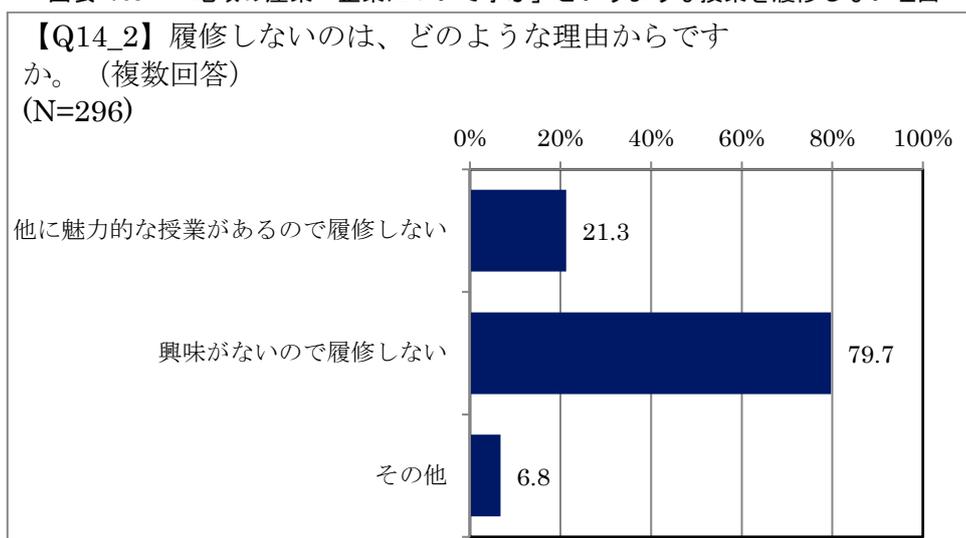
「地域の産業・企業に興味があるため」を理由とした割合が有意に多かったのは、4年(51.5%)、修士1年(54.8%)であった。

図表 167 「地域の産業・企業について学ぶ」というような授業を履修したい理由(学年別) (単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体 (N数)	地域の産業・企業に興味があるため	就職活動の参加者になるため	広く社会や世界の視座からの多様な考え方・生き方に触れることができると感じたため	単位認定されるため	その他
全体	191	44.5	71.2	49.7	13.6	0.5
3年	86	36.0	74.4	31.4	12.8	-
4年	33	51.5	63.6	60.6	27.3	3.0
修士1年	31	54.8	74.2	61.3	12.9	-
修士2年	27	48.1	59.3	70.4	7.4	-
博士課程	14	50.0	85.7	71.4	-	-

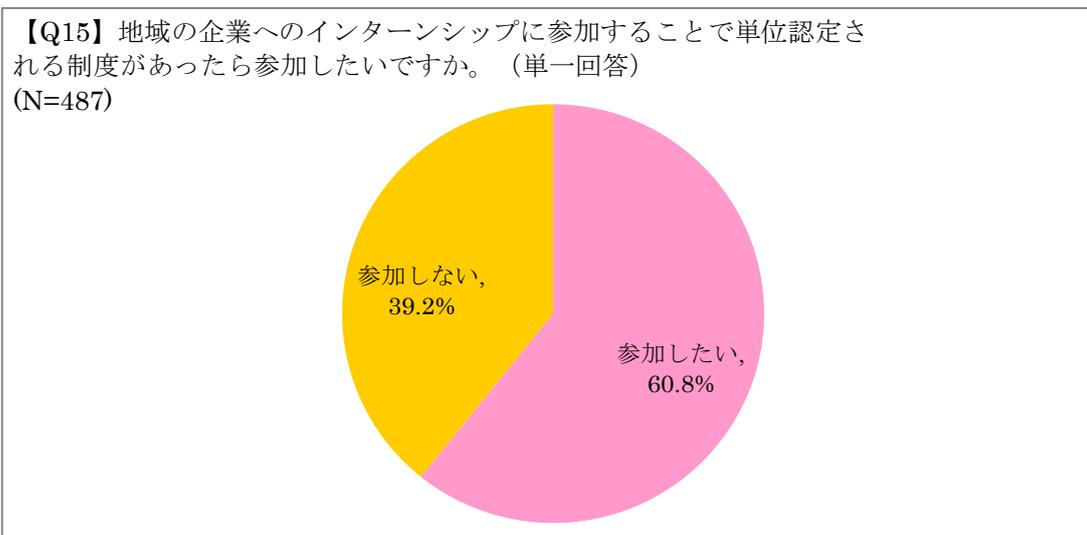
「地域の産業・企業について学ぶ」というような授業を履修しない理由については、「興味が無いので履修しない」(79.7%)が最も多かった。

図表 168 「地域の産業・企業について学ぶ」というような授業を履修しない理由



地域企業のインターンシップについては、「参加したい」(60.8%)が半数を超えていた。

図表 169 地域企業のインターンシップへの参加



学年別では、3年は「参加したい」(70.3%)が有意に多かった。

図表 170 地域企業のインターンシップへの参加(学年別) (単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体 (N数)	参加したい	参加しない
全体	487	60.8	39.2
3年	202	70.3	29.7
4年	70	65.7	34.3
修士1年	73	58.9	41.1
修士2年	85	48.2	51.8
博士課程	57	42.1	57.9

学群・研究群別では、体育専門学群は「参加したい」(72.5%)が有意に多かった。

図表 171 地域企業のインターンシップへの参加(学群・研究群別) (単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体 (N数)	参加したい	参加しない
全体	487	60.8	39.2
人文・文化学群	15	73.3	26.7
社会・国際学群	9	66.7	33.3
人間学群	29	75.9	24.1
生命環境学群	26	50.0	50.0
理工学群	22	72.7	27.3
情報学群	12	41.7	58.3
医学群	6	66.7	33.3
体育専門学群	149	72.5	27.5
芸術専門学群	4	75.0	25.0
人文社会科学研究群	13	30.8	69.2
ビジネス科学研究群	0	-	-
数理物質科学研究群	22	45.5	54.5
システム情報工学研究群	60	50.0	50.0
生命地球科学研究群	47	48.9	51.1
人間総合科学研究群	69	56.5	43.5
その他	4	50.0	50.0

日本人・外国人別では、外国人留学生在が「参加したい」(69.2%)が有意に多かった。

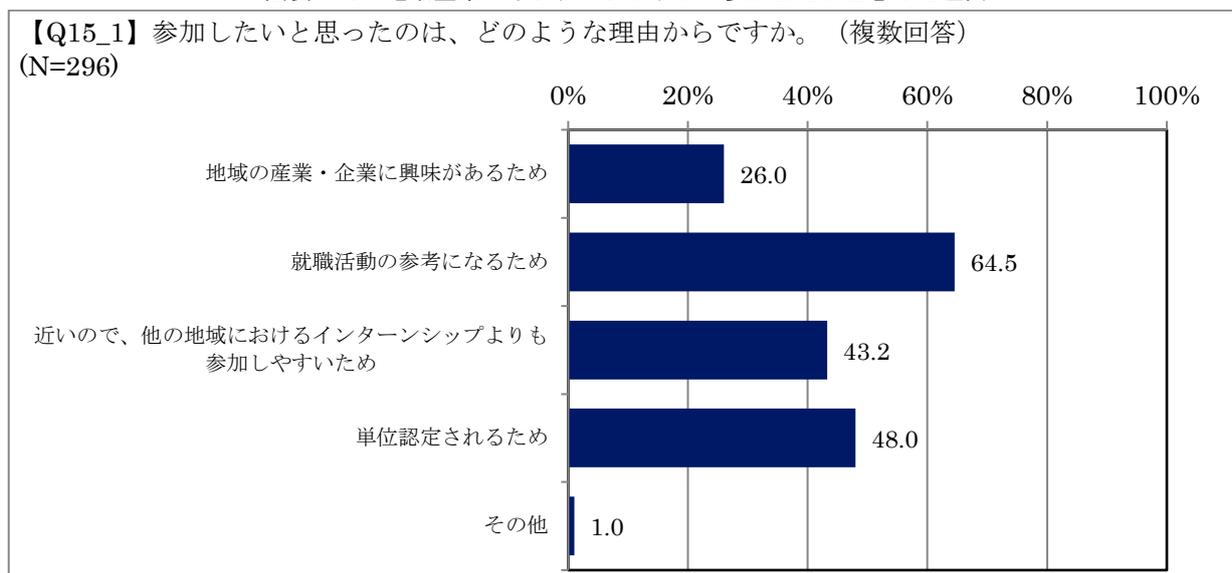
図表 172 地域企業のインターンシップへの参加(日本人・外国人別) (単位:%)

Q4 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留學生ですか。(単一回答)	全体 (N数)	参加したい	参加しない
全体	487	60.8	39.2
日本人学生	448	60.0	40.0
外国人留學生	39	69.2	30.8

インターンシップに参加したいと思った理由としては、「就職活動の参考になるため」(64.5%)が最も多かった。「単位認定されるため」(48.0%)、「近いので、他の地域におけるインターンシップよりも参加しやすいため」(43.2%)が続いていた。

「地域の産業・企業に興味があるため」は26.0%であった。

図表 173 地域企業のインターンシップへ参加したいと思った理由



学年別では、4年は「単位認定されるため」(60.9%)、「近いので、他の地域におけるインターンシップよりも参加しやすいため」(54.3%)、「地域の産業・企業に興味があるため」(34.8%)が有意に多かった。

修士1年は「近いので、他の地域におけるインターンシップよりも参加しやすいため」(48.8%)、「地域の産業・企業に興味があるため」(34.9%)が有意に多かった。

修士2年は「地域の産業・企業に興味があるため」(36.6%)が有意に多かった。

図表 174 インターンシップに参加したいと思った理由(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体 (N数)	地域の産業・企業に興味があるため	就職活動の参考になるため	近いので、他の地域におけるインターンシップよりも参加しやすいため	単位認定されるため	その他
全体	296	26.0	64.5	43.2	48.0	1.0
3年	142	19.0	65.5	34.5	47.2	1.4
4年	46	34.8	67.4	54.3	60.9	-
修士1年	43	34.9	65.1	48.8	46.5	-
修士2年	41	36.6	61.0	46.3	46.3	2.4
博士課程	24	16.7	58.3	58.3	33.3	-

学群・研究群別では、人間総合科学研究群は「就職活動の参考になるため」(74.4%)、「近いので、他の地域におけるインターンシップよりも参加しやすいため」(48.7%)、「地域の産業・企業に興味があるため」(33.3%)が有意に多かった。

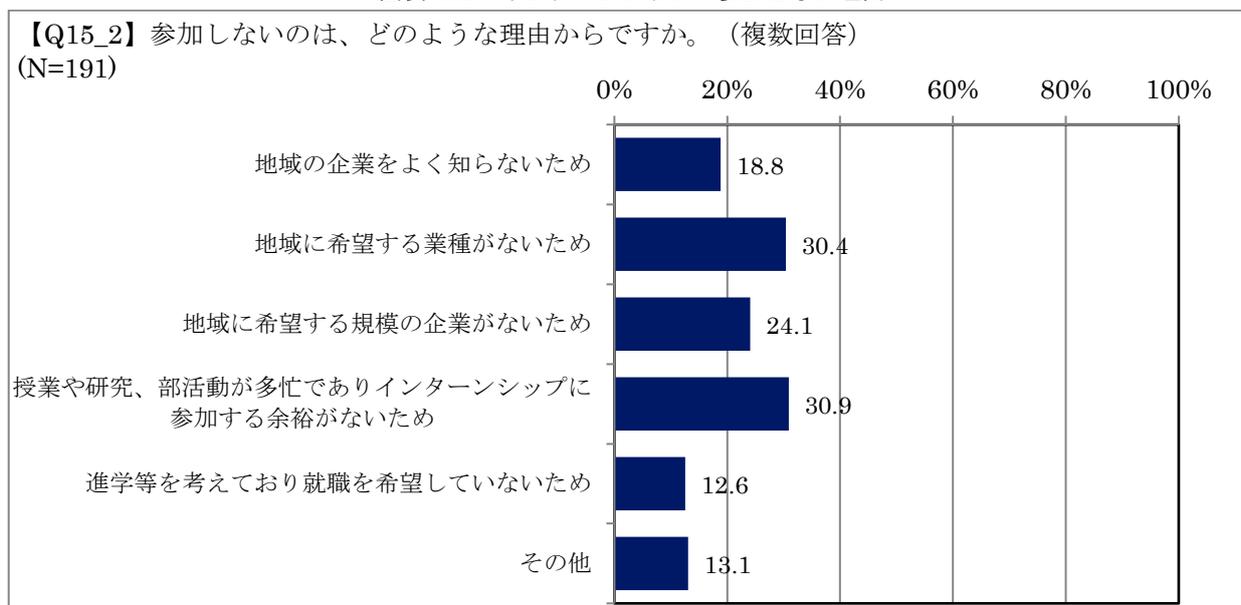
図表 175 インターンシップに参加したいと思った理由(学群・研究群別)(単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	地域の産業・企業に興味があるため	就職活動の参考になるため	近いので、他の地域におけるインターンシップよりも参加しやすいため	単位認定されるため	その他
全体	296	26.0	64.5	43.2	48.0	1.0
人文・文化学群	11	36.4	54.5	45.5	54.5	-
社会・国際学群	6	16.7	33.3	33.3	66.7	-
人間学群	22	40.9	81.8	68.2	68.2	-
生命環境学群	13	38.5	84.6	84.6	69.2	-
理工学群	16	25.0	50.0	50.0	50.0	6.3
情報学群	5	20.0	80.0	20.0	40.0	-
医学群	4	-	100.0	25.0	50.0	-
体育専門学群	108	17.6	63.0	28.7	46.3	0.9
芸術専門学群	3	-	100.0	33.3	-	-
人文社会科学研究群	4	50.0	25.0	50.0	50.0	-
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	10	40.0	70.0	60.0	50.0	-
システム情報工学研究群	30	26.7	56.7	43.3	50.0	3.3
生命地球科学研究群	23	26.1	52.2	47.8	43.5	-
人間総合科学研究群	39	33.3	74.4	48.7	35.9	-
その他	2	50.0	50.0	100.0	-	-

インターンシップに参加しない理由については、「授業や研究、部活動が多忙でありインターンシップに参加する余裕がないため」(30.9%)、「地域に希望する業種がないため」(30.4%)、「地域に希望する規模の企業がないため」(24.1%)が上位であった。

「地域の企業をよく知らないため」は18.8%であった。

図表 176 インターンシップに参加しない理由



学年別については、修士2年は「地域に希望する規模の企業がないため」(38.6%)が有意に多かった。

博士課程は「授業や研究、部活動が多忙でありインターンシップに参加する余裕がないため」(36.4%)が有意に多かった。

図表 177 インターンシップに参加しない理由(学年別)(単位:%)

Q2 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体 (N数)	地域の企業をよく知らないため	地域に希望する業種がないため	地域に希望する規模の企業がないため	授業や研究、部活動が多忙でありインターンシップに参加する余裕がないため	進学等を考えており就職を希望していないため	その他
全体	191	18.8	30.4	24.1	30.9	12.6	13.1
3年	60	20.0	30.0	20.0	30.0	16.7	8.3
4年	24	25.0	37.5	12.5	33.3	16.7	4.2
修士1年	30	16.7	33.3	30.0	33.3	10.0	16.7
修士2年	44	18.2	31.8	38.6	25.0	9.1	13.6
博士課程	33	15.2	21.2	15.2	36.4	9.1	24.2

学群・研究群別では、体育専門学群は「地域の企業をよく知らないため」(26.8%)が有意に多かった。システム情報工学研究群は「地域に希望する規模の企業がないため」(50.0%)が有意に多かった。

図表 178 インターンシップに参加しない理由(学年別) (単位:%)

Q1 あなたの所属する学群を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	地域の企業をよく知らないため	地域に希望する業種がないため	地域に希望する規模の企業がないため	授業や研究、部活動が多忙でありインターンシップに参加する余裕がないため	進学等を考えており就職を希望していないため	その他
全体	191	18.8	30.4	24.1	30.9	12.6	13.1
人文・文化学群	4	-	75.0	25.0	-	-	25.0
社会・国際学群	3	33.3	33.3	33.3	66.7	-	-
人間学群	7	-	71.4	14.3	57.1	-	-
生命環境学群	13	23.1	23.1	23.1	30.8	38.5	7.7
理工学群	6	16.7	50.0	33.3	16.7	16.7	-
情報学群	7	28.6	-	14.3	42.9	28.6	14.3
医学群	2	-	100.0	-	-	-	-
体育専門学群	41	26.8	24.4	14.6	29.3	12.2	7.3
芸術専門学群	1	-	-	-	-	100.0	-
人文社会科学研究群	9	-	55.6	11.1	33.3	-	22.2
ビジネス科学研究群	0	-	-	-	-	-	-
数理物質科学研究群	12	25.0	16.7	8.3	50.0	25.0	-
システム情報工学研究群	30	10.0	26.7	50.0	26.7	3.3	20.0
生命地球科学研究群	24	25.0	25.0	29.2	33.3	-	20.8
人間総合科学研究群	30	20.0	30.0	20.0	23.3	16.7	20.0
その他	2	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-

(2) 筑波技術大学 産業技術学部

ア 調査の概要

本調査研究では、筑波技術大学産業技術学部の学生へのアンケート調査を以下のように実施した。

- ・ 調査名：学生アンケート（筑波技術大学産業技術学部）（聴覚障害系）
- ・ 対象者⁶：学部3年、学部4年、修士1年、修士2年
- ・ 調査期間：2023年9月26日(火)～2023年11月13日(日)
- ・ 回収数：11
- ・ 回答方法：インターネットによる回答

⁶ 本アンケート調査の間の選択肢において、大学3年を「学部3年」、大学4年を「学部4年」としていることから、対象者についてこのような表記にした。筑波技術大学保健科学部についても、同様な表記にした。

イ 調査票

Q1. あなたの学年を教えてください。(単一回答)

1. 学部 3 年
2. 学部 4 年
3. 修士 1 年
4. 修士 2 年

Q2. あなたの性別を教えてください。(単一回答)

1. 男
2. 女
3. その他

Q3. あなたが高校時代に住んでいた地域を教えてください。(単一回答)

1. つくば市
2. つくば市以外の茨城県
3. 茨城県以外の関東 (東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、群馬県、栃木県、山梨県)
4. 北海道
5. 東北
6. 中部 (新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)
7. 関西 (大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県)
8. 中国・四国
9. 九州・沖縄
10. 海外
11. その他 ()

Q4. あなたは大学入学後にアルバイトをしたことがありますか。(単一回答)

1. 経験がある (Q4-1 へ)
2. 経験はない (Q5 へ)

Q4-1. あなたはどのようなアルバイトをしたことがありますか。(複数回答)

1. スーパー、コンビニなどの小売
2. 飲食店、喫茶店
3. 工場や倉庫など
4. 塾講師、家庭教師
5. その他 ()

Q4-2. あなたはどこでアルバイトをしましたか。(複数回答)

1. つくば市内
2. つくば市以外の茨城県
3. 首都圏 (東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)
4. 首都圏以外の日本の地域 ()
5. 海外
6. オンライン会議システムやメールなどで非対面で実施

Q4-3. あなたはアルバイトをした企業に就職したいですか。(単一回答)

1. 就職しても良いと思う (Q4-4 へ)
2. 就職したくない (Q5 へ)

Q4-4. あなたはどのような理由から就職しても良いと思いましたか。(複数回答)

1. 自身の障害に対する理解があり、環境が整っていると感じたから
2. 仕事にやりがいを感じたから
3. 発注や店舗管理などの経営に関することを教えてくれたから
4. 裁量を与えてくれ自主的な行動ができたから
5. 職場の雰囲気良かったから
6. 企業がアルバイトでの働きぶりを評価してくれたから
7. 企業から就職の誘いを受けたから
8. その他 ()

Q5. あなたは学部卒業後、あるいは大学院修了後の進路をどのように考えていますか。(単一回答)

1. 就職(教員・公務員を含む)を検討している(Q5-1 へ)
2. 就職(教員・公務員を含む)も進学も検討している(Q5-1 へ)
3. 進学を検討している(Q6 へ)

Q5-1. あなたはどのような業種の企業などに入社したいですか。(3つまで回答)

1. 農林漁業
2. 建設業、不動産業
3. 製造業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業
5. 情報通信業
6. 運輸業、郵便業
7. 卸売業、小売業
8. 金融業、保険業
9. 物品賃貸業
10. 学術研究、専門・技術サービス業
11. 宿泊業、飲食サービス業
12. 生活関連サービス業、娯楽業
13. 教育、学習支援業
14. 医療・福祉
15. その他のサービス業
16. 公務
17. その他の業種 ()
18. 特に決まっていない

Q5-2. あなたはどのような職種についてみたいですか。(3つまで回答)

1. 技術開発職 (システムエンジニアなどの情報系)
2. 技術開発職 (機械系)
3. 技術開発職 (建築系)
4. デザイナー
5. 事務職
6. 営業職
7. その他 ()
8. 特に決まっていない

Q5-3. あなたは、就職する際にどのような点を重視しますか。(複数回答)

1. 自身の障害に対する理解や環境が整っていること
2. 自身の障害に対する支援があること
3. 障害があってもコミュニケーションがとりやすいこと
4. やりたい仕事ができること
5. 自分の能力・専門性を活かせること
6. 有意義な経験、知識等を得ることができること
7. 報酬がよいこと
8. 会社としての成長性が期待できること
9. 規模が大きく安定性があること
10. 知名度が高いこと
11. 社風が良いこと
12. 休日・休暇が多い・とりやすいこと
13. 勤務制度、住宅等の福利厚生が良いこと
14. 転勤がないこと
15. 現在住んでいるところから通勤しやすいこと
16. 海外にも展開していること
17. その他 ()

Q5-4. あなたは、どの地域に就職したいですか。(複数回答)

1. つくば市 (Q5-5 へ)
2. 両親の居住地 (Q6 へ)
3. 東京圏 (東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県) (Q6 へ)
4. 中京圏 (愛知県、岐阜県、三重県) (Q6 へ)
5. 関西圏 (大阪府、兵庫県、京都府) (Q6 へ)
6. その他の日本の地域 (Q6 へ)
7. 海外 (Q6 へ)
8. 就職できれば特に地域の条件はない (Q6 へ)

Q5-5. あなたがつくば市に就職するとすれば、どのような理由からですか。(複数回答)

1. 大学に通い、親しんだ地域だから(慣れている地域のため生活しやすいから)
2. 知人や仲の良い人が多い地域だから
3. 自然に恵まれているから
4. 東京圏にも通いやすいから
5. 居住に関する費用が安いから
6. 研究機関などが多く、知的な地域だから
7. 親などの家族が希望するから
8. その他()

Q6. あなたは、就職活動において必要な情報をどこから入手していますか。(複数回答)

1. マイナビ、リクナビなどの就活支援サイト
2. サーナ、クローバーなどの障害者向け就職支援サイト
3. 大学内の情報(Teams、学内の説明会、教員・職員・キャリアサポーター、就職資料室など)
4. 大学の先輩(OB、OG)
5. ハローワーク
6. その他()

Q6-1. あなたは、就職支援担当の教員・職員やキャリアサポーターを活用したことがありますか。(単一回答)

1. 活用したことがある(Q6-2へ)
2. 存在は知っているが、活用したことはない(Q7へ)
3. そのような機関を知らなかった(Q7へ)

Q6-2. あなたは、就職支援担当の教員・職員やキャリアサポーターをどのように活用していますか。(複数回答)

1. 就職に関する学内のイベントの確認
2. 就職に関する学内のイベントへの参加
3. インターンシップに関する情報の取得
4. 就職の求人の確認
5. エントリーシートの作成の指導
6. 面接に関する指導
7. 進路に関する相談
8. その他()

Q7. あなたは、インターンシップに応募(教員への相談を含む)や参加したことがありますか。(単一回答)

1. 応募したことがあるが、参加したことはない(選考の結果が出ていないものも含む)(Q7-1へ)
2. 応募し、一つあるいはいくつかのインターンシップに参加したことがある(Q7-1へ)
3. 応募したことがない(Q8へ)

Q7-1. あなたが最初にインターンシップに参加した（参加予定を含む）時期はいつですか。（単一回答）

1. 学部1年、2年時にはじめて参加
2. 学部3年時にはじめて参加
3. 学部4年時にはじめて参加
4. 修士1年時にはじめて参加
5. 修士2年時にはじめて参加

Q7-2. あなたは、インターンシップにどのようなことを期待しますか。（複数回答）

1. 自身の障害が理解される職場が確認できること
2. 情報保障体制が整っていること
3. 業務内容に関する詳しい説明があること
4. 業務を実際に体験できること
5. 現役の社員・役員と接することができること
6. 採用にも関連していること
7. 参加後にフィードバックが得られること
8. 報酬が支払われること
9. 参加しやすい時期であること
10. 適切な日数であること
11. 単位をとれること
12. その他（ ）

Q7-3. あなたは、インターンシップについてはどのくらいの長さを希望しますか。（単一回答）

1. 1日
2. 2日
3. 3、4日
4. 5日
5. 6～10日
6. 11～20日
7. 21日以上

Q7-4. あなたがインターンシップに参加した（参加予定を含む）企業は何社ですか。（単一回答）

1. 0社
2. 1社
3. 2社
4. 3社
5. 4、5社
6. 6～10社
7. 11～15社
8. 16～20社
9. 21社以上

Q7-5. あなたが参加した（参加予定を含む）インターンシップを開催された場所はどこですか。（複数回答）

1. つくば市内
2. つくば市以外の茨城県
3. 首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)
4. その他の日本の地域（ ）
5. 海外
6. オンラインで参加

Q7-6. あなたがインターンシップにおいて、どのようなことに苦労していますか。（複数回答）

1. 応募しても参加できないことがあったこと
2. エントリーシートの作成に労力がかかること
3. 面接の対策に労力がかかること
4. スケジュールが合わないこと
5. インターンにおける集団討議などの対策に労力がかかること
6. 職場でのコミュニケーションの取り方
7. その他（ ）
8. 特にない

Q8. あなたの就職活動の現状を教えてください。（単一回答）

1. 就職に関する活動は特に何も行っていない（Q8-1へ）
2. 来年度以降の就職に向け情報収集等を行っている（インターンシップへの参加を含む）（Q8-1へ）
3. 筆記試験の受験や面接などの就職活動やその準備を行っている（Q8-1へ）
4. 民間企業に就職でき、就職活動を終了した（Q8-1へ）
5. 自治体や中央官庁などに就職でき、就職活動を終了した（Q8-1へ）
6. 内定はあるが、まだ就職活動を行っている（Q8-1へ）
7. 内定をとれずまだ就職活動を行っている（Q9へ）
8. 内定をとれなかったが就職活動を中止した（Q9へ）
9. その他（ ）

Q8-1. あなたが就職する際には、その企業にどのくらい勤めたいですか。（単一回答）

1. 定年まで勤めたい
2. できるだけ長く勤めたい
3. 3年などある程度経験を積んだ後に、良い機会があれば転職したい
4. より条件の良い企業があればすぐに転職したい
5. その他（ ）
6. 特に決めていない

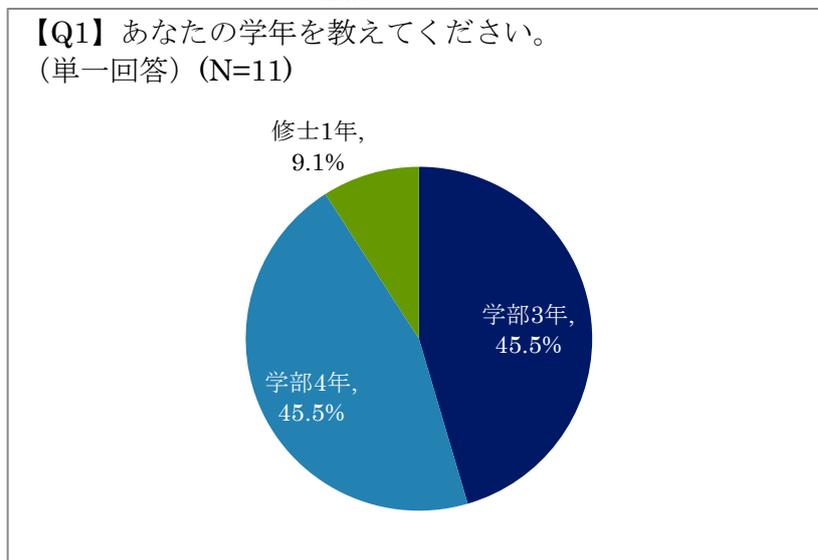
Q9. あなたが就職活動全般においてどのようなことに苦労していますか（苦労しそうですか）。（複数回答）

1. 就職したい業種、職種、企業をなかなか決めることができなかったこと
2. 採用に応募しても面談などに参加できないことがあったこと
3. エントリーシートの作成に労力がかかること
4. 面接の対策に労力がかかること
5. スケジュールが合わないこと
6. 集団討議などの対策に労力がかかること
7. 就職先、勤務地などについて、家族との意見の違いに対応すること
8. その他（ ）
9. 特にない
10. 大学院等への進学を考えているため就職活動を行っていない

ウ 回答者の属性

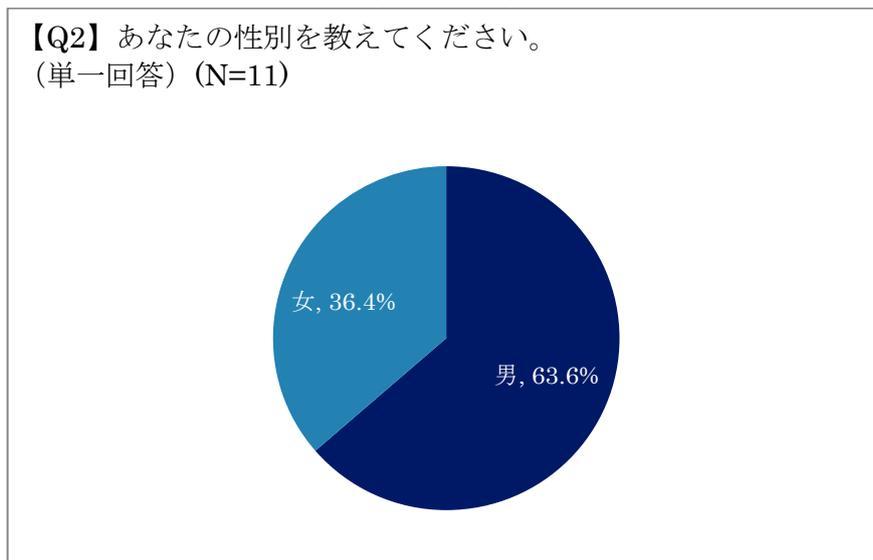
回答者の属性は、学年別にみると「学部3年」が45.5%、「学部4年」が45.5%、「修士1年」が9.1%であった。「修士2年」からの回答は得られなかった。

図表 179 学年



性別では、「男」が63.6%、「女」が36.4%となっていた。

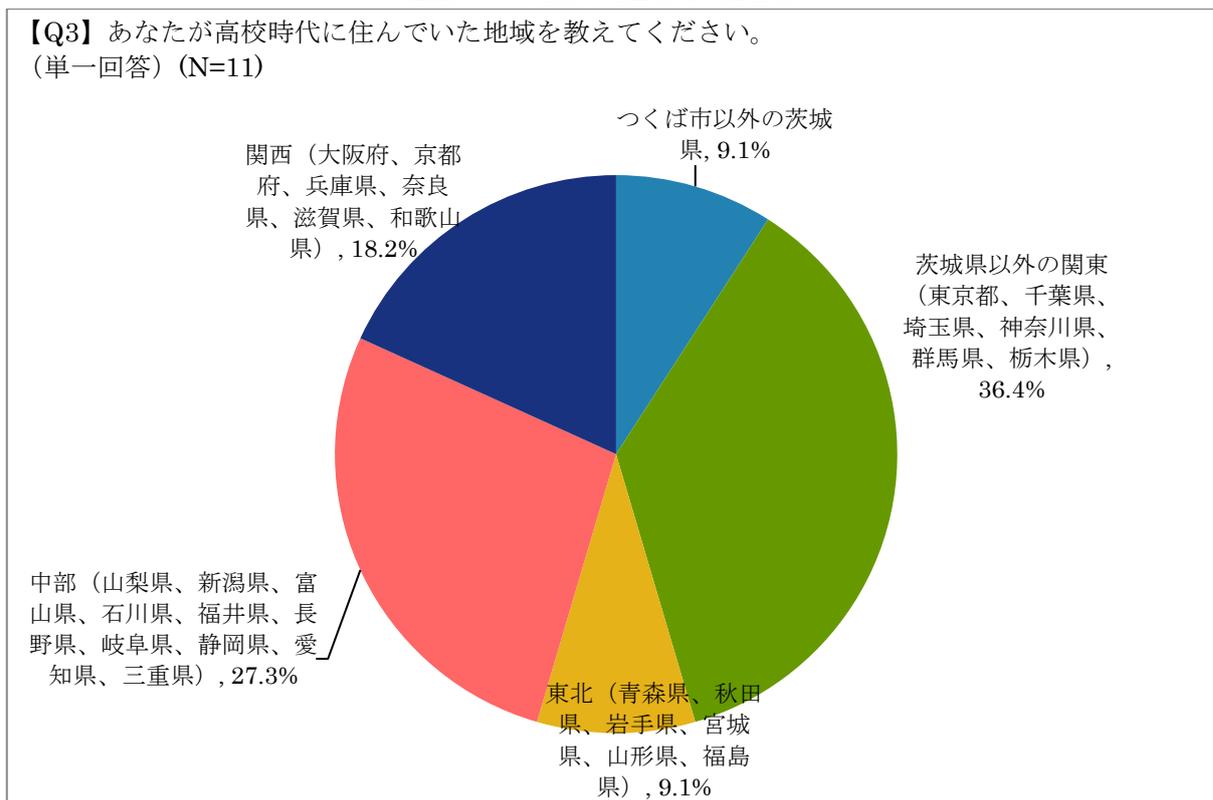
図表 180 性別



高校時代に住んでいた地域については、「茨城県以外の関東（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、群馬県、栃木県）」（36.4%）が最も多く、「中部（山梨県、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）」（27.3%）、「関西（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県）」（18.2%）が10%以上であった。

なお、高校時代に「つくば市」に住んでいた学生の回答はなかった。

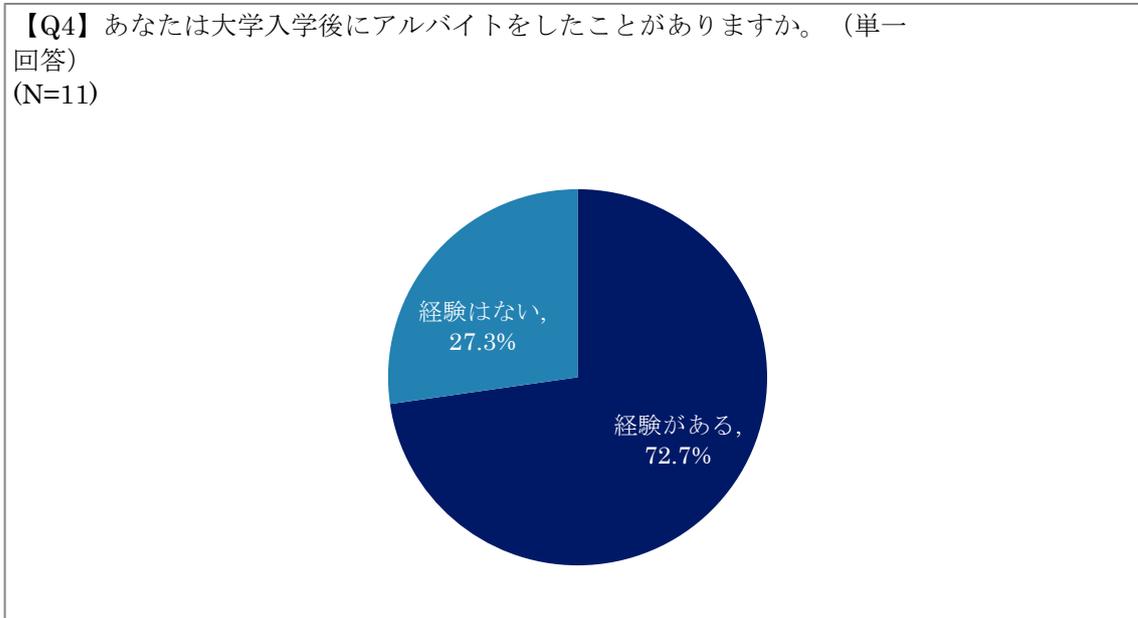
図表 181 高校の時住んでいた地域



エ 調査の結果

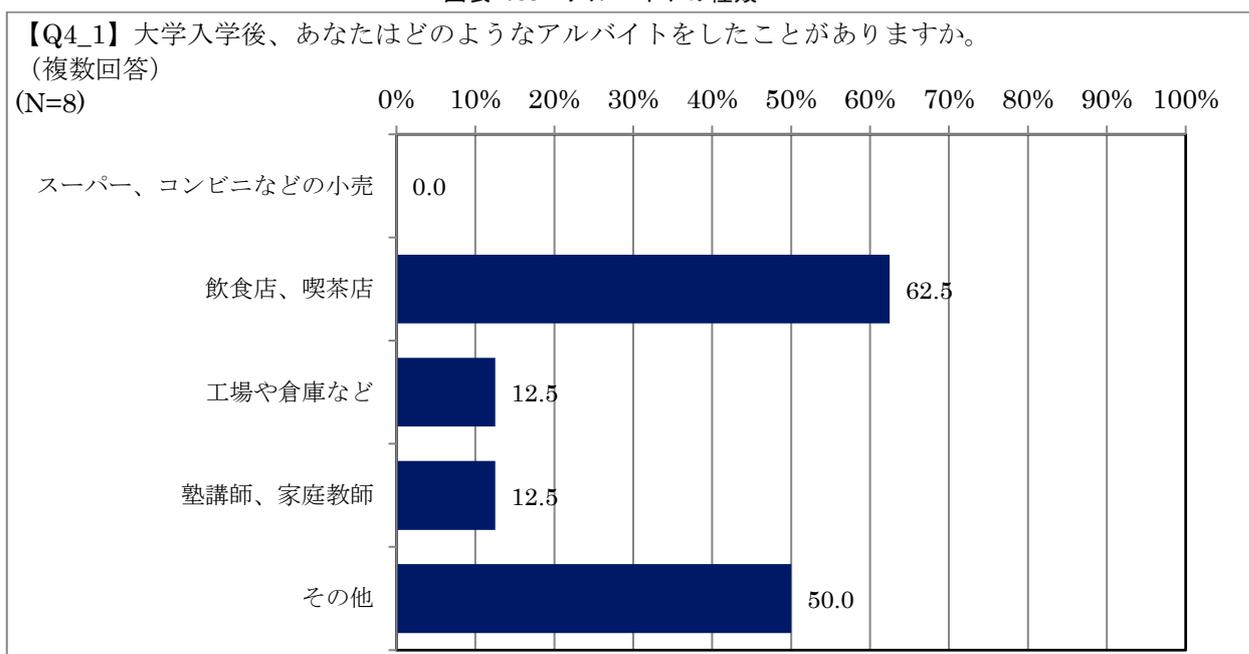
アルバイトの経験については、「経験がある」が72.7%で、多くの学生がアルバイトを通して市内事業者との接点を持っていることが分かった。

図表 182 アルバイトの経験



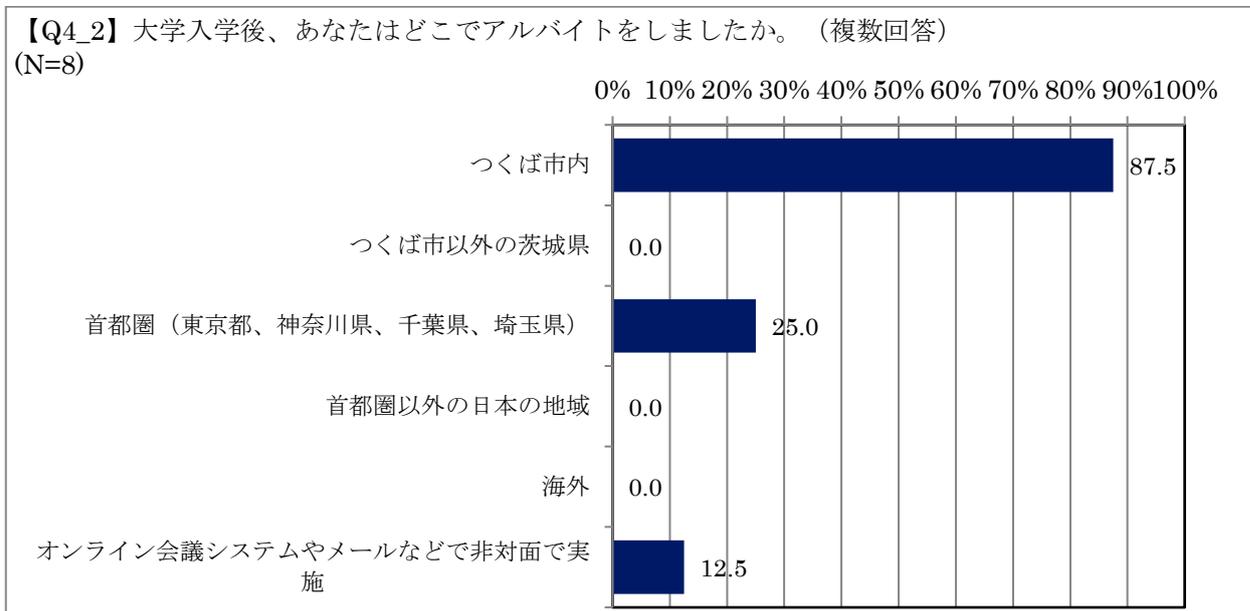
アルバイトの種類については、「飲食店、喫茶店」(62.5%)が最も多かった。

図表 183 アルバイトの種類



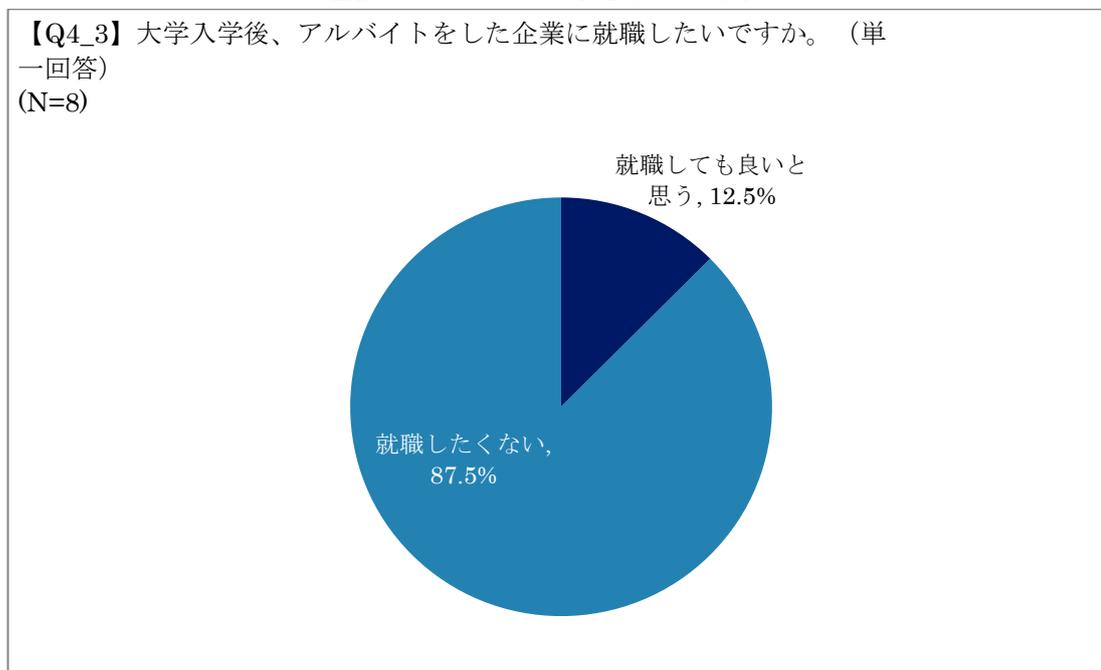
アルバイトをした地域については、「つくば市」(87.5%)と最も多く、多くの学生が市内事業者との接点を持っていることが分かった。

図表 184 アルバイトをした地域



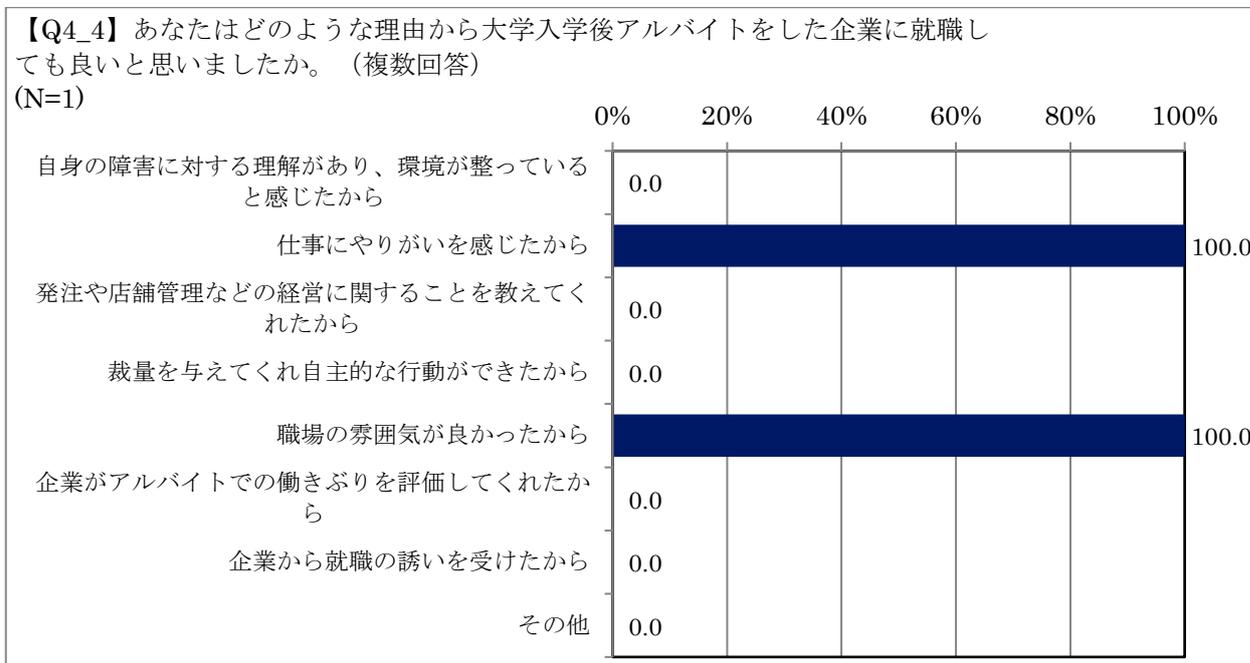
アルバイト先への就職については「就職してもよい」(12.5%)という回答は1件にとどまった。

図表 185 アルバイトした企業への就職



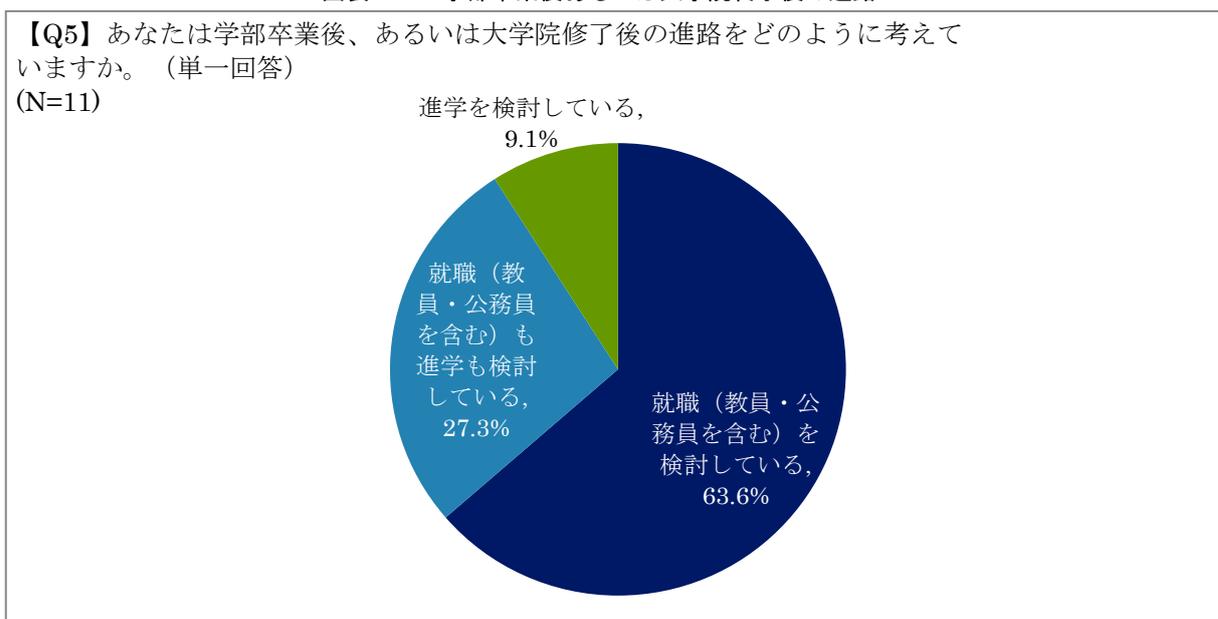
大学入学後アルバイトをした企業に就職しても良いと思った理由は「仕事にやりがいを感じたから」「職場の雰囲気が良かったから」という回答であった。

図表 186 アルバイトした企業へ就職してもよいと思う理由



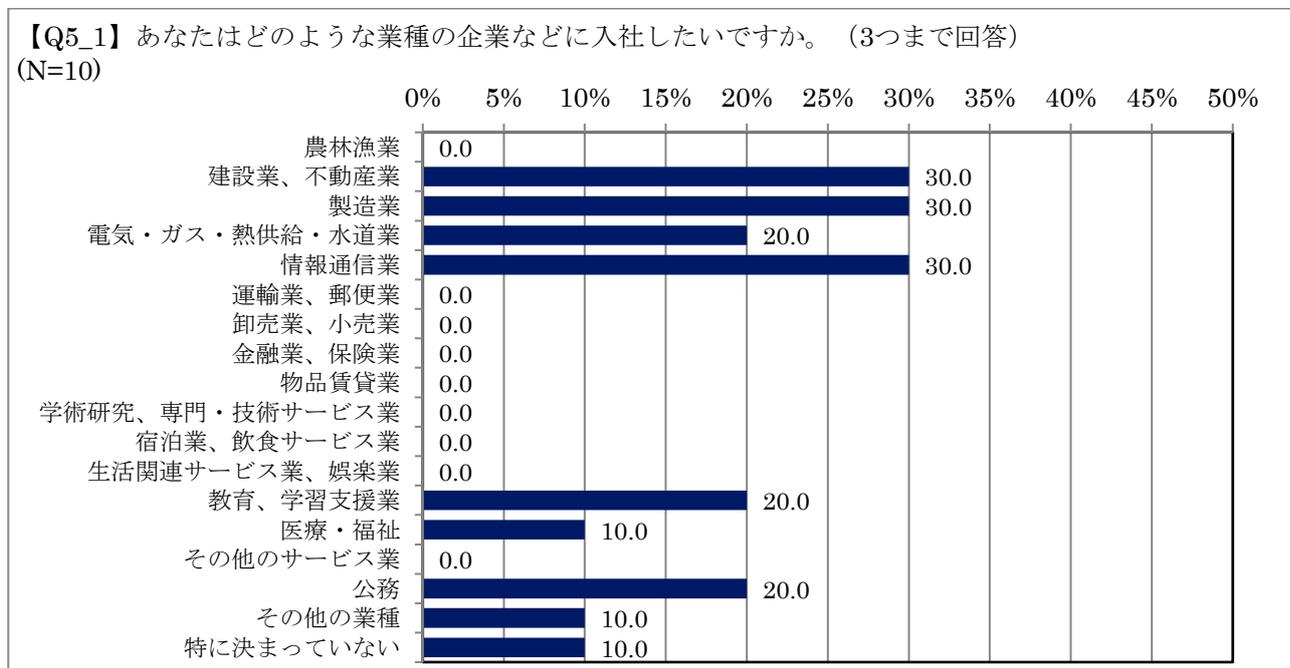
学部卒業後あるいは大学院終了後の進路については、「就職（教員・公務員を含む）を検討している」（63.6%）が最も多かった。「就職（教員・公務員を含む）も進学も検討している」（27.3%）、「進学を検討している」（9.1%）が続いていた。

図表 187 学部卒業後あるいは大学院終了後の進路



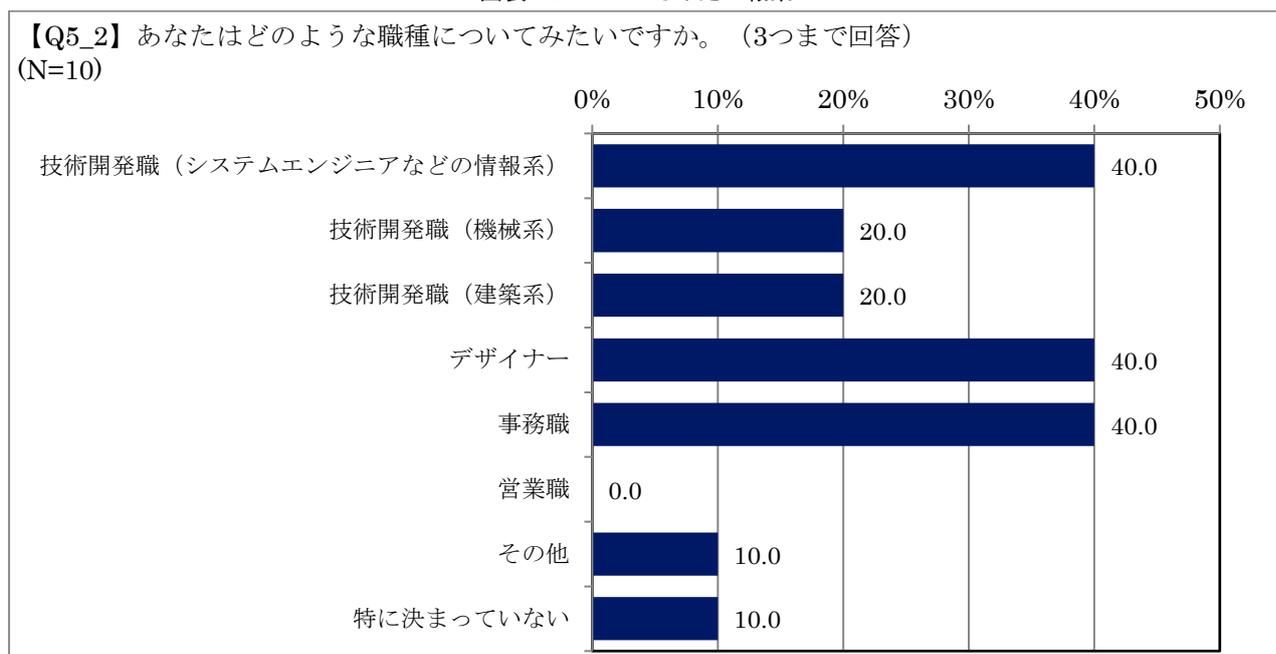
入社したい業種の種類については、「建設業、不動産業」(30.0%)、「製造業」(30.0%)、「情報通信業」(30.0%)が同率で最も多かった。

図表 188 入社したい企業の種類



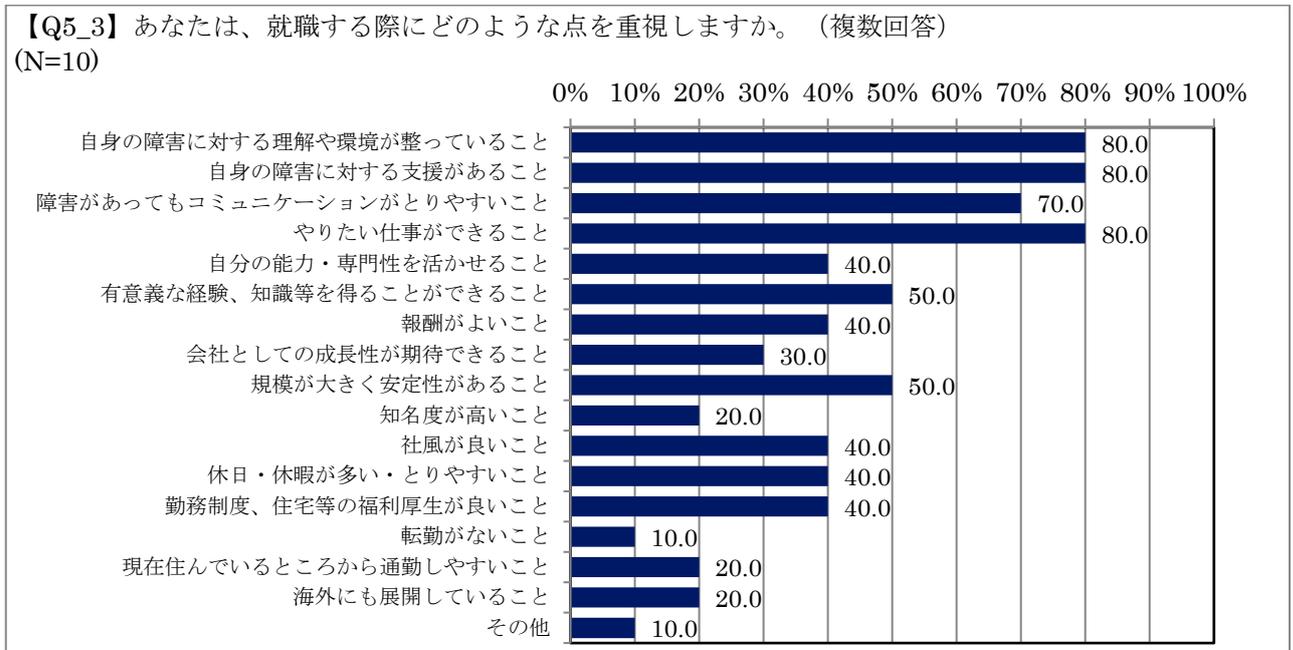
ついてみたい職業については、「技術開発職 (システムエンジニアなどの情報系)」(40.0%)、「デザイナー」(40.0%)、「事務職」(40.0%)が同率で最も多かった。

図表 189 ついてみたい職業



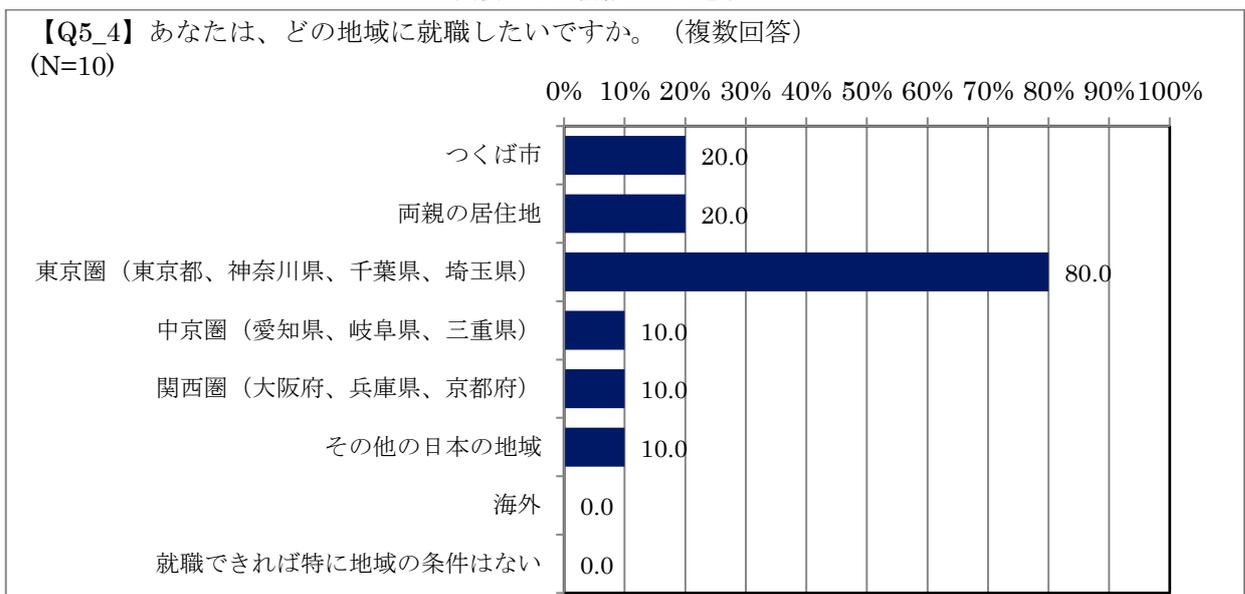
就職する際に重視する点については、「自身の障害に対する理解や環境が整っていること」(80.0%)、「自身の障害に対する支援があること」(80.0%)、「やりたい仕事ができること」(80.0%)、「障害があってもコミュニケーションがとりやすいこと」(70.0%)がいずれも70%以上であり、自身の障害への理解等が重視されていた。

図表 190 就職する際に重視する点



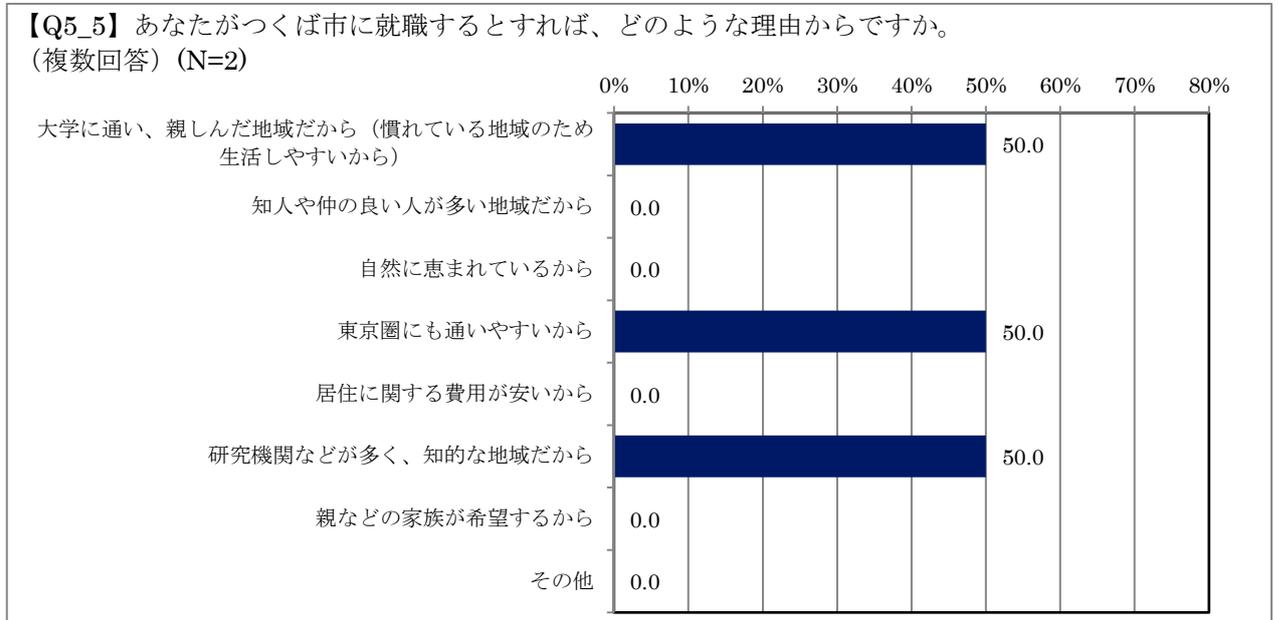
就職したい地域については、「東京圏」(80%)が最も多く、「つくば市」(20.0%)、「両親の居住地」(20.0%)が続いていた。

図表 191 就職したい地域



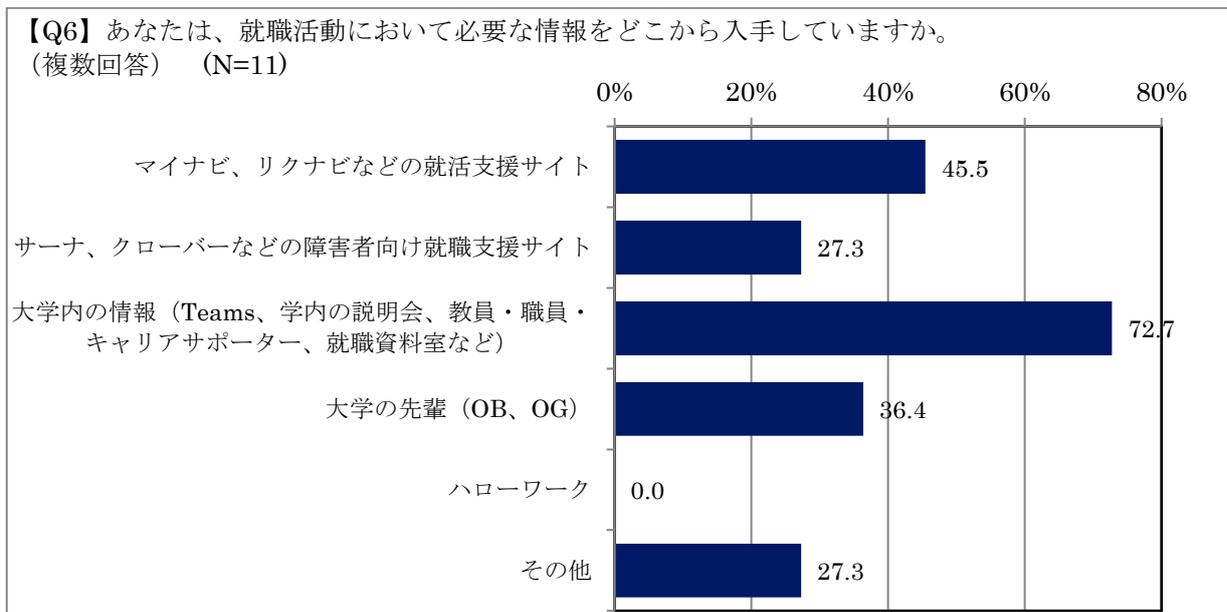
つくば市内で就職する理由については、「大学に通い、親しんだ地域だから」(50.0%)、「東京圏にも通いやすいから」(50.0%)、「研究機関などが多く、知的な地域だから」(50.0%)が同率で最も多かった。

図表 192 つくば市内で就職する理由



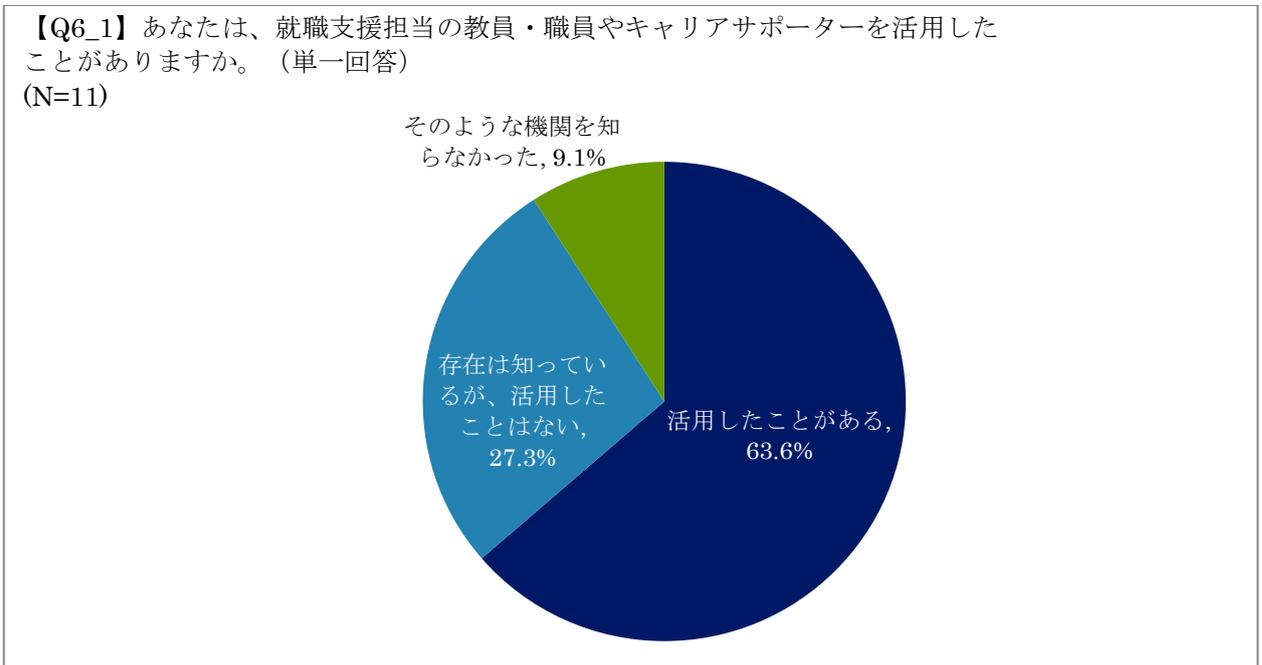
就職活動に必要な情報の入手先については、「大学内の情報 (teams、学内の説明会、教員・職員・キャリアサポーター、就職資料室など)」(72.7%)が最も多かった。「マイナビ、リクナビなどの就職支援サイト」(45.5%)、「大学の先輩 (OB、OG)」(36.4%)が30%以上であった。

図表 193 必要な情報の入手先



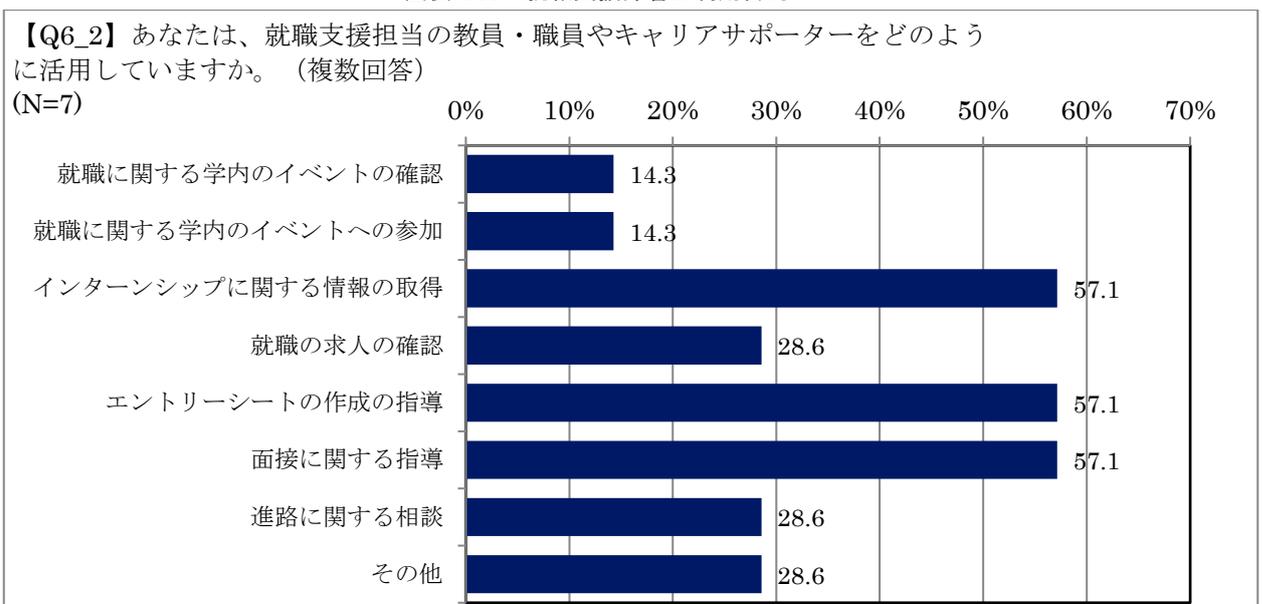
就職支援部署の活用状況については、「利用したことがある」(63.6%)が最も多かった。

図表 194 就職支援部署の活用状況



就職支援部署の利用目的については、「インターンシップに関する情報の取得」(57.1%)、「エントリーシート作成の指導」(57.1%)、「面接に関する指導」(57.1%)が同率で最も多かった。

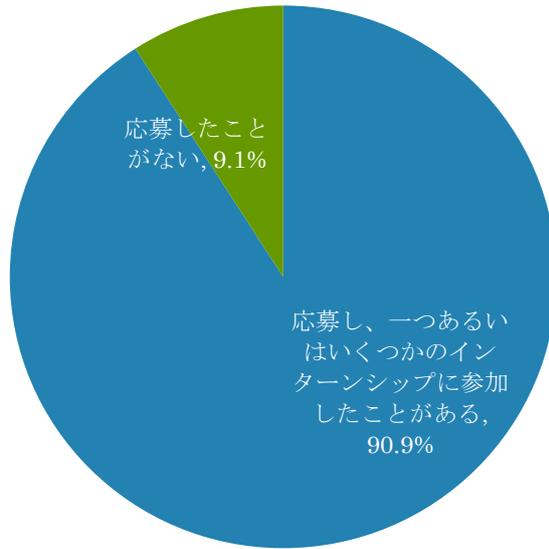
図表 195 就職支援部署の利用目的



インターンシップへの参加状況では、インターンシップに応募や参加したことがある学生は90.9%であった。

図表 196 インターンシップへの応募・参加

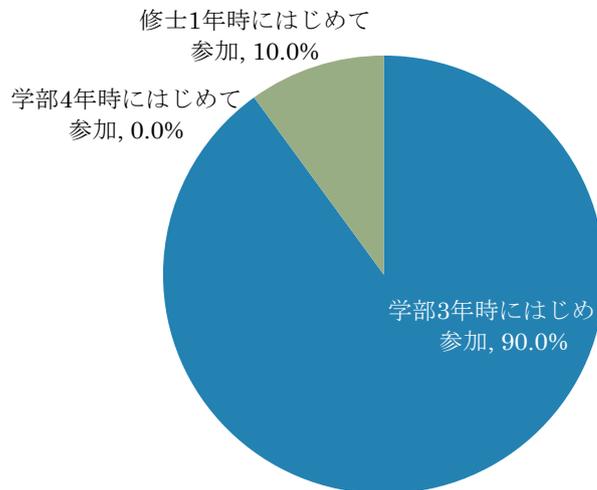
【Q7】 あなたは、インターンシップに応募や参加したことがありますか。（単一回答）
(N=11)



最初にインターンシップに参加した学生は「学部3年時に初めて参加」(90.0%)が最も多かった。

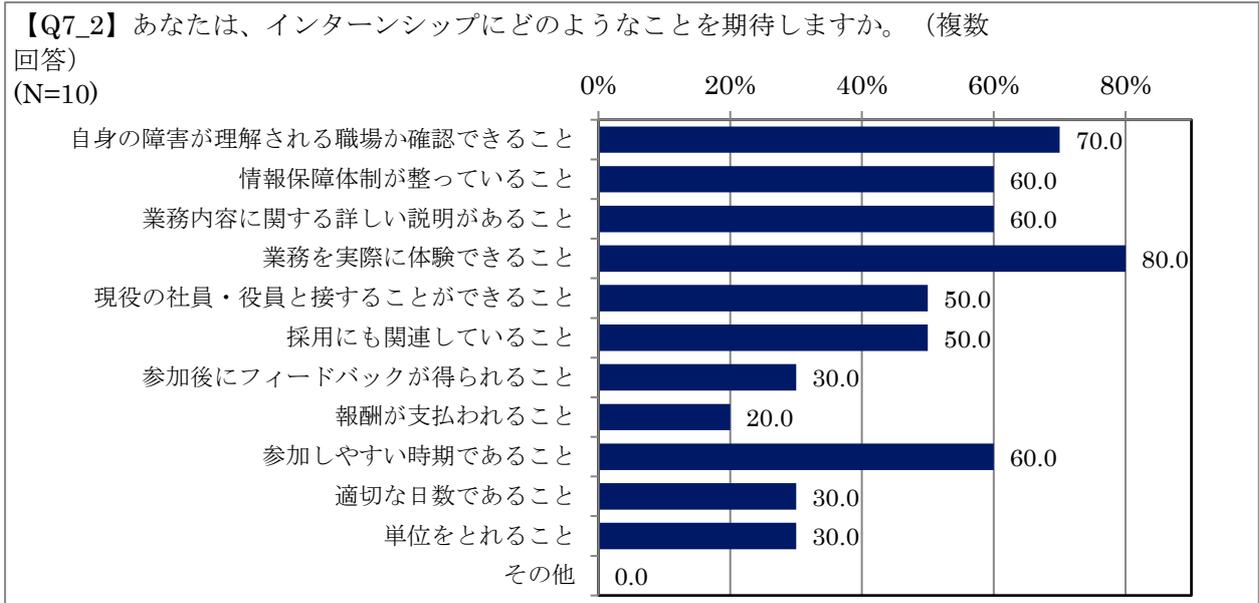
図表 197 インターンシップにはじめて参加した学年

【Q7_1】 あなたが最初にインターンシップに参加した（参加予定を含む）時期はいつですか。（単一回答）
(N=10)



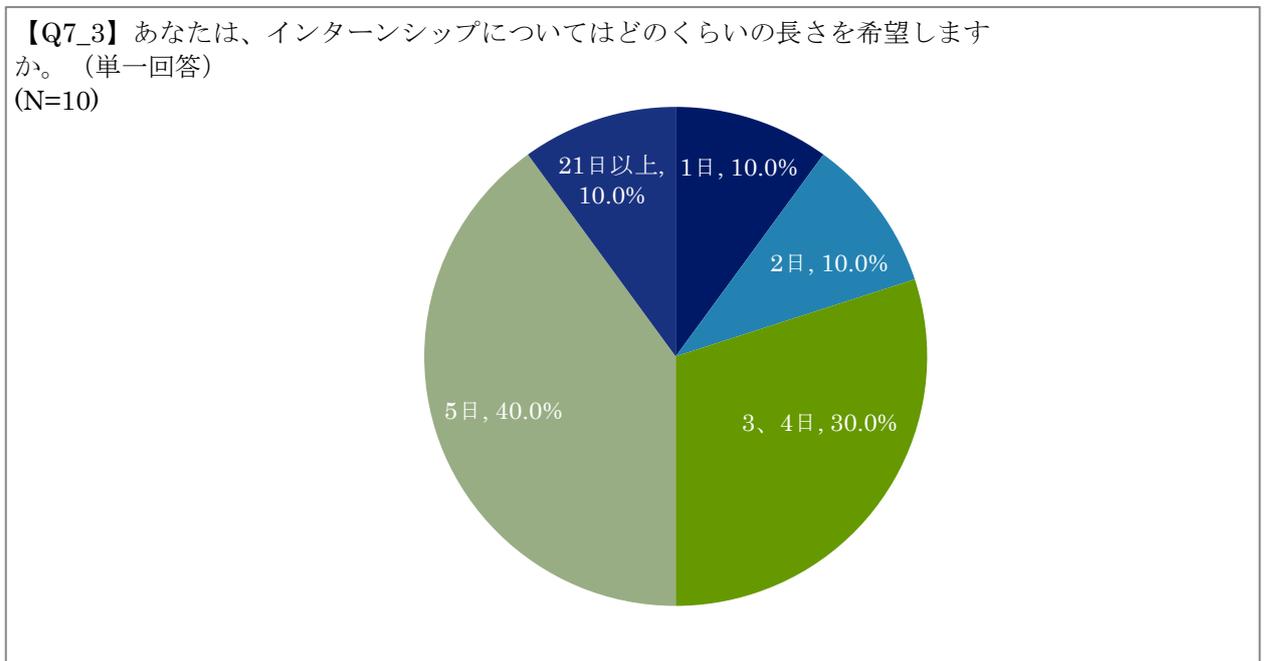
インターンシップに期待することとしては、「業務を実際に体験できること」(80.0%)、「自身の障害が理解される職場か確認できること」(70.0%)が上位であり、実際の職場に接して自身と職場とのマッチング度合いを確かめようとする様子が見えられた。

図表 198 インターンシップに対する期待



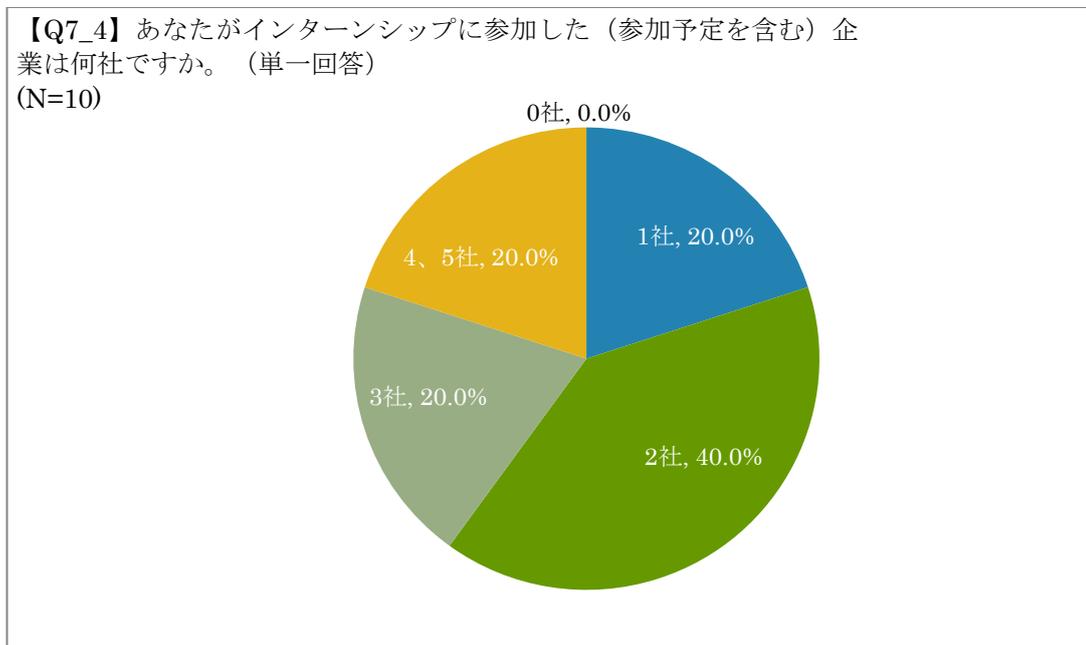
希望するインターンシップの期間としては、「5日」(40%)、「3日、4日」(30%)が多く、ワンデーインターンよりも多少長めの期間が希望されていた。

図表 199 インターンシップの期間の希望



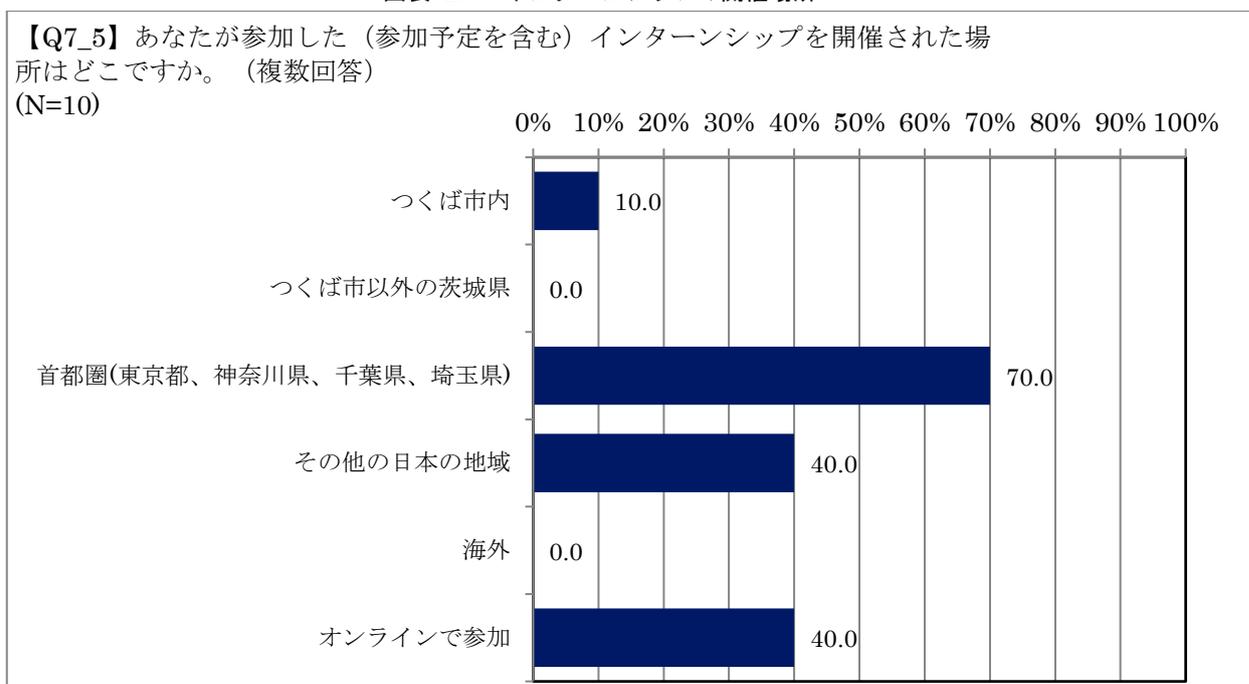
インターンシップに参加した（参加予定を含む）企業数は、「2社」（40.0%）が最も多かった。

図表 200 インターンシップに参加した企業数



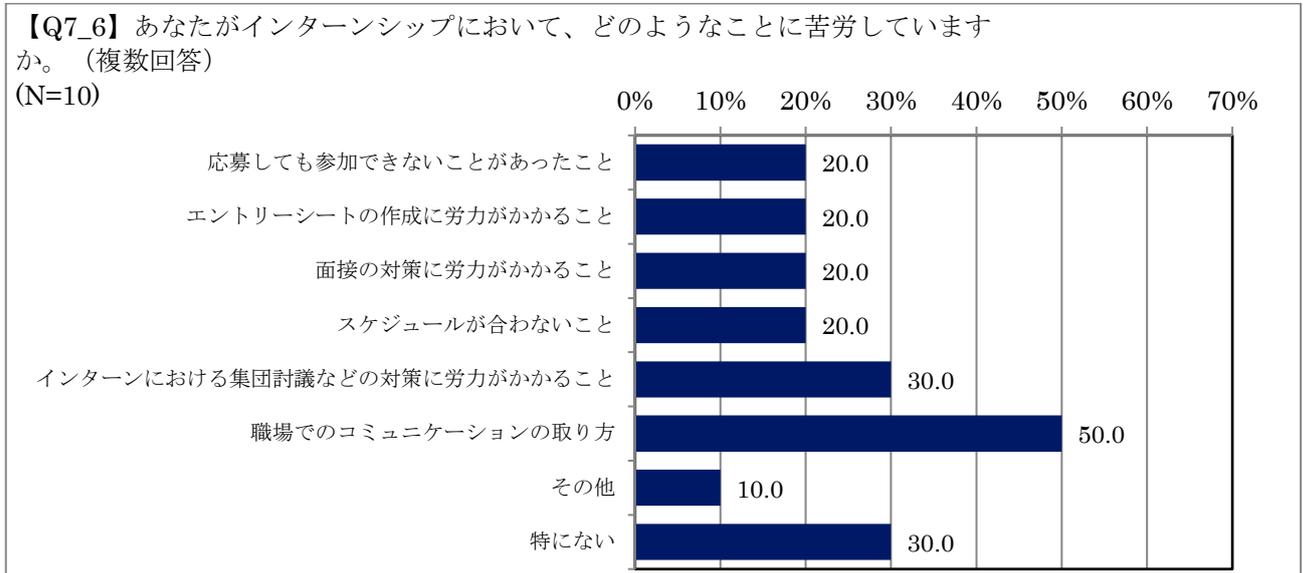
参加したことがあるインターンシップが開催された場所は「首都圏」（70%）が最も多く、「つくば市内」は10%であった。

図表 201 インターンシップの開催場所



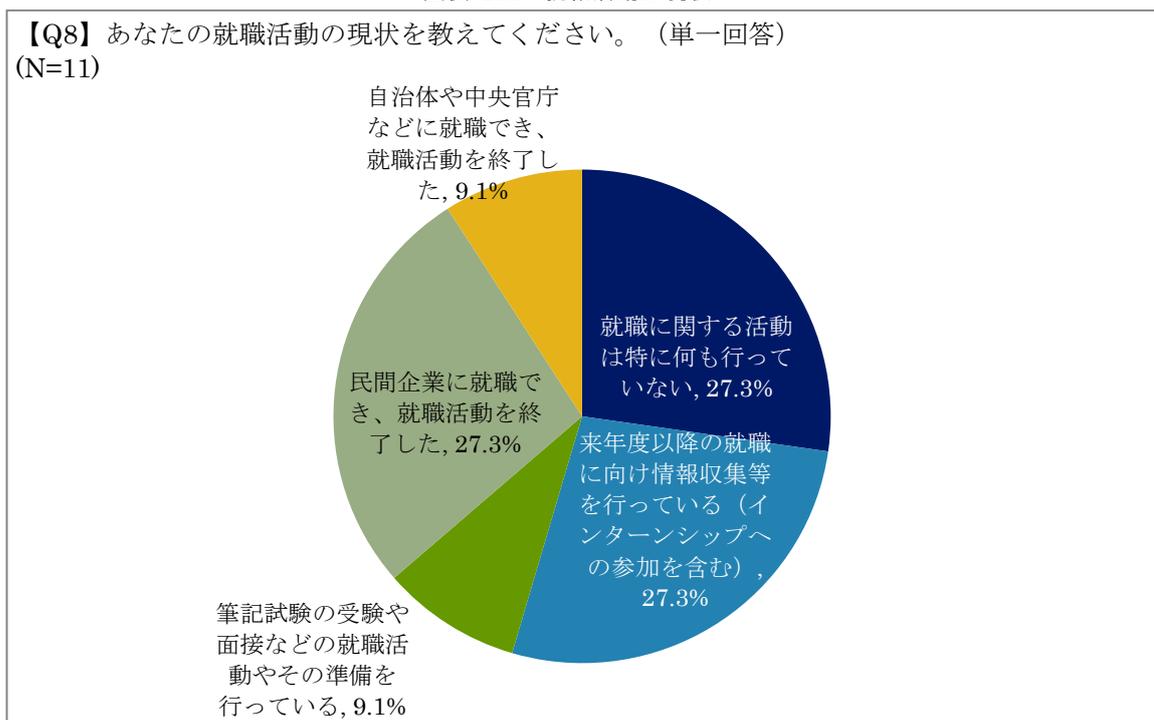
インターンシップにおける苦勞については、「職場でのコミュニケーションの取り方」(50.0%)が最も多かった。

図表 202 インターンシップにおける苦勞



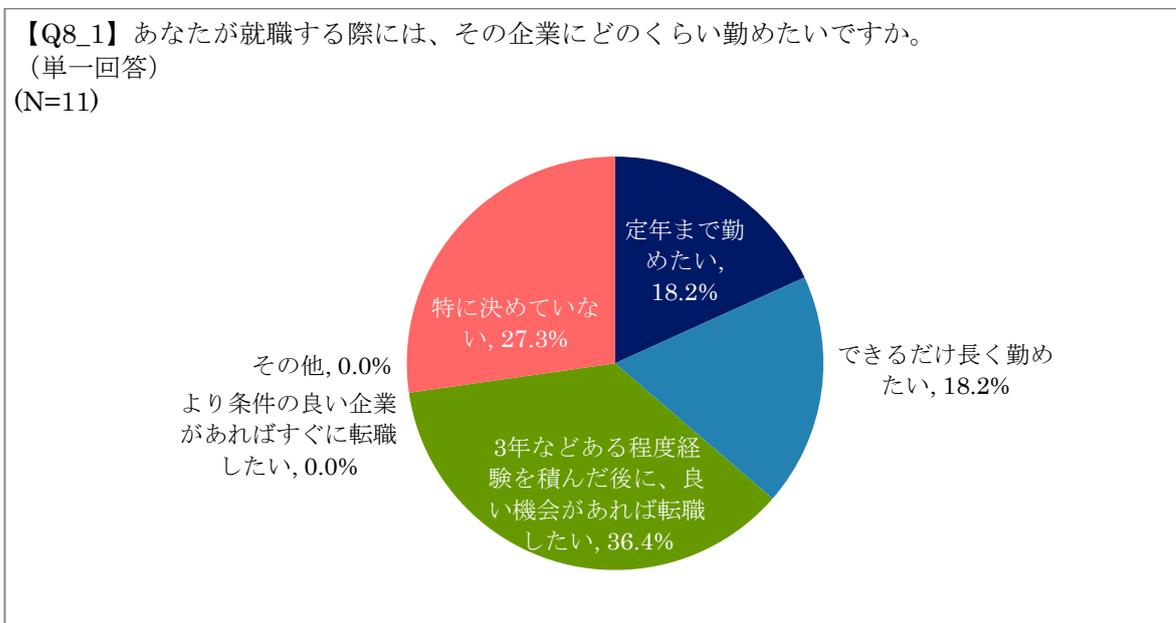
就職活動の現状については、「就職に関する活動は特に何も行っていない」(27.3%)、「来年度以降の就職に向け情報収集等を行っている(インターンシップへの参加を含む)」(27.3%)、「民間企業に就職でき、就職活動を終了した」(27.3%)が同率で最も多かった。

図表 203 就職活動の現状



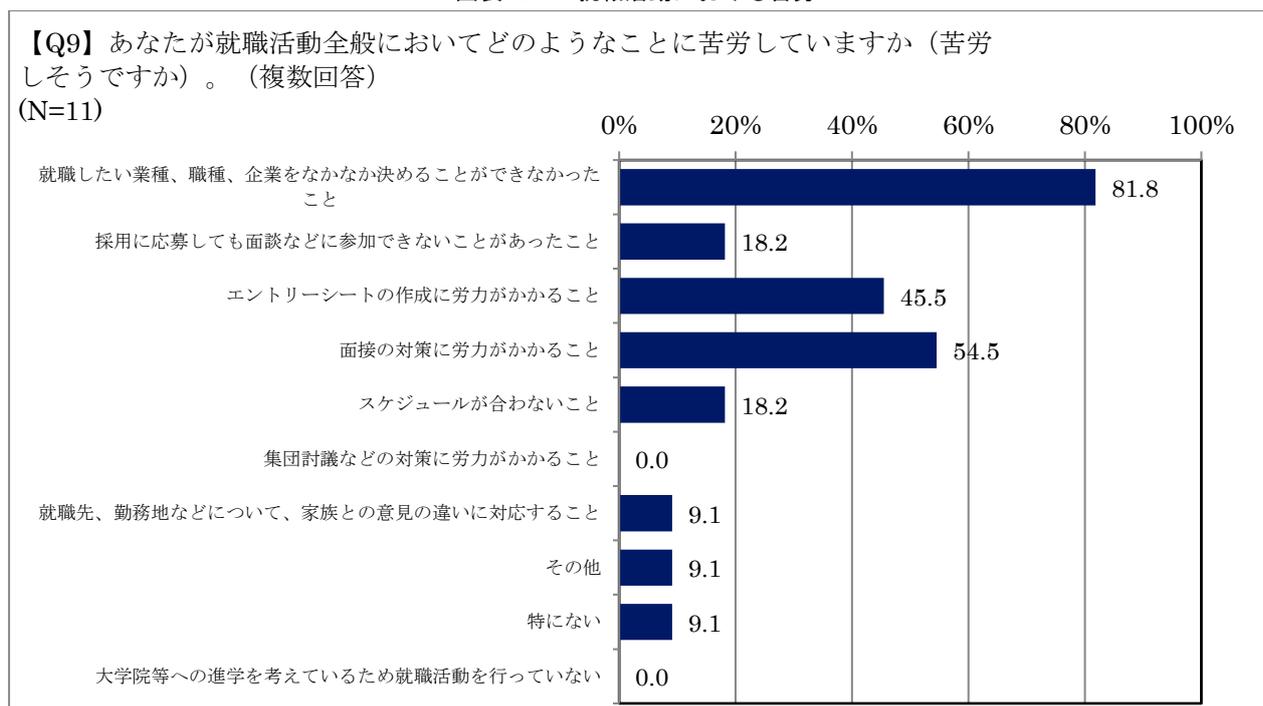
就職したい企業における勤務期間については、「3年などある程度経験を積んだ後に、良い機会があれば転職したい」(36.4%)が最も多かった。「特に決めていない」(27.3%)が続いていた。

図表 204 就職したい企業における勤務期間



就職活動における苦労については、「就職したい業種、職種、企業をなかなか決めることができなかつたこと」(81.8%)が最も多く、「面接の対策に労力がかかること」(54.5%)、「エントリーシートの作成に労力がかかること」(45.5%)が40%以上で続いていた。

図表 205 就職活動における苦労



(3) 筑波技術大学 保健科学部

ア 調査の概要

本調査研究では、筑波技術大学保健科学部の学生へのアンケート調査を以下のように実施した。

- ・ 調査名：学生アンケート（筑波技術大学保健科学部）（視覚障害系）
- ・ 対象者：学部3年、学部4年、修士1年、修士2年
- ・ 調査期間：2023年9月26日(火)～2023年10月26日(日)
- ・ 回収数：28
- ・ 回答方法：インターネットによる回答

イ 調査票

Q1. あなたの学年を教えてください。(単一回答)

1. 学部 3 年
2. 学部 4 年
3. 修士 1 年
4. 修士 2 年

Q2. あなたの性別を教えてください。(単一回答)

1. 男
2. 女
3. その他

Q3. あなたが高校時代に住んでいた地域を教えてください。(単一回答)

1. つくば市
2. つくば市以外の北関東
3. 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県
4. 関東以外の地域

Q4. あなたは大学入学後にアルバイトをしたことがありますか。(単一回答)

1. 経験がある (Q4-1 へ)
2. 経験はない (Q5 へ)

Q4-1. あなたはどのようなアルバイトをしたことがありますか。(複数回答)

1. スーパー、コンビニなどの小売
2. 飲食店、喫茶店
3. 工場や倉庫など
4. 塾講師、家庭教師
5. 研究協力や実験協力
6. その他 ()

Q4-2. あなたはどこでアルバイトをしたことがありますか。(複数回答)

1. つくば市内
2. つくば市以外の北関東
3. 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県
4. 関東以外の地域

Q4-3. あなたはアルバイトをした企業に就職したいですか。(単一回答)

1. 就職しても良いと思う (Q4-4 へ)
2. 就職したくない (Q5 へ)

Q4-4. あなたはどのような理由から就職しても良いと思いましたか。(複数回答)

1. 自身の障害に対する理解があり、環境が整っていると感じたから
2. 仕事にやりがいを感じたから
3. 自分の働きぶりを評価してくれているから
4. 職場の雰囲気良かったから
5. 企業から就職の誘いを受けたから
6. その他 ()

Q5. あなたは学部卒業後、あるいは大学院修了後の進路をどのように考えていますか。(単一回答)

1. 就職を検討している(就職には教員・公務員も含まれます) (Q5-1 へ)
2. 進学も就職も検討している(就職には教員・公務員も含まれます) (Q5-1 へ)
3. 進学を検討している (Q6 へ)

Q5-1. あなたはどのような職種についてみたいですか。(複数回答)

1. ヘルスキーパー
2. 鍼灸師
3. 理学療法士
4. システムエンジニア
5. 教員・公務員
6. その他 ()

Q5-2. あなたは、就職する際にどのような点を重視しますか。(複数回答)

1. 自身の障害に対する理解や環境が整っている
2. 自身の障害に対する支援がある
3. 自分の能力・専門性を活かせる
4. コミュニケーションをとりやすい社風がある
5. 休暇制度、勤務制度、住宅等の福利厚生が良い
6. 現在住んでいるところから通勤しやすい
7. その他 ()

Q5-3. あなたが就職先を検討する場合、就職先の地域として、つくば市は候補に入りますか。選択肢は2個です。(単一回答)

1. 入る (Q5-4 へ)
2. 入らない (Q5-5 へ)

Q5-4. あなたは、つくば市に就職するとすれば、どのような理由からですか。(複数回答)

1. 大学に通い、親しんだ地域だから(慣れている地域のため生活しやすいから)
2. 東京圏にも通いやすいから
3. 居住に関する費用が安いから
4. 家族が希望するから
5. その他 ()

Q5-5. あなたは、どのような地域に就職したいですか。(複数回答)

1. 家族の居住地
2. 過去に住んだ経験のある地域
3. 過去に住んでいないが、憧れや住んでみたい関心がある地域
4. その他 ()

Q6. あなたは、就職活動において必要な情報をどこから入手していますか。(複数回答)

1. マイナビ、リクナビなどの就活支援サイト
2. サーナ、クローバーなどの障害者向け就職支援サイト
3. 大学の就職関連の部署(就職委員会)
4. 大学の先輩(OB、OG)
5. ハローワーク
6. その他 ()

Q6-1. あなたは、教職員やキャリアサポーターによる就職支援を利用したことがありますか。(単一回答)

1. 利用したことがある (Q6-2 へ)
2. 支援の存在は知っているが、利用したことはない (Q7 へ)
3. そのような機関を知らなかった (Q7 へ)

Q6-2. あなたは、教職員やキャリアサポーターによる就職支援をどのように利用していますか。(複数回答)

1. 進路に関する相談
2. 就職に関する学内の就活イベント、インターシップの連絡の確認
3. エントリーシートの作成や面接に関する指導
4. その他 ()

Q7. あなたは、インターンシップに応募や参加したことが(参加予定を含む)ありますか。(単一回答)

1. 応募したことがあるが、参加したことはない(選考の結果が出ていない場合も含む) (Q7-1 へ)
2. 応募し、一つあるはいくつかのインターンシップに参加したことがある (Q7-1 へ)
3. 応募したことがない (Q8 へ)

Q7-1. あなたが最初にインターンシップに参加した時期はいつですか。(単一回答)

1. 学部1年、2年時
2. 学部3年時
3. 学部4年時
4. 修士の時

Q7-2. あなたがインターンシップに参加した企業は何社ですか。(単一回答)

1. 1社
2. 2社
3. 3社
4. 4社
5. 5社以上

Q7-3. あなたが参加したインターンシップが開催された場所はどこですか。(複数回答)

1. (大学を含む) つくば市内
2. つくば市以外の茨城県
3. 首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)
4. その他の日本の地域 ()
5. 海外
6. オンラインで参加

Q7-4. あなたは、インターンシップにどのようなことを期待しますか。(複数回答)

1. 参加しやすい時期・日数であること
2. 業務を実際に体験できること
3. 現役の社員・役員と接することができること
4. 参加後にフィードバックが得られること
5. その他 ()

Q7-5. あなたは、インターンシップについてはどのくらいの長さを希望しますか。(単一回答)

1. 1日
2. 2日
3. 3~5日
4. 6~10日
5. 11日以上

Q8. あなたの就職活動の現状を教えてください。(単一回答)

1. 就職に関する活動は特に何も行っていない (Q8-1へ)
2. 企業などの情報収集を行っている (Q8-1へ)
3. インターンシップへの参加や筆記試験、面接などを受けている (Q8-1へ)
4. 内定をもらったので、就職活動を終了した (Q8-1へ)
5. その他 ()

Q8-1. あなたが就職した企業、あるいは就職しようとしている企業には、どのくらい勤めたいですか。(単一回答)

1. 定年まで勤めたい
2. より条件の良い企業があれば転職したい
3. その他 ()
4. 特に決めていない

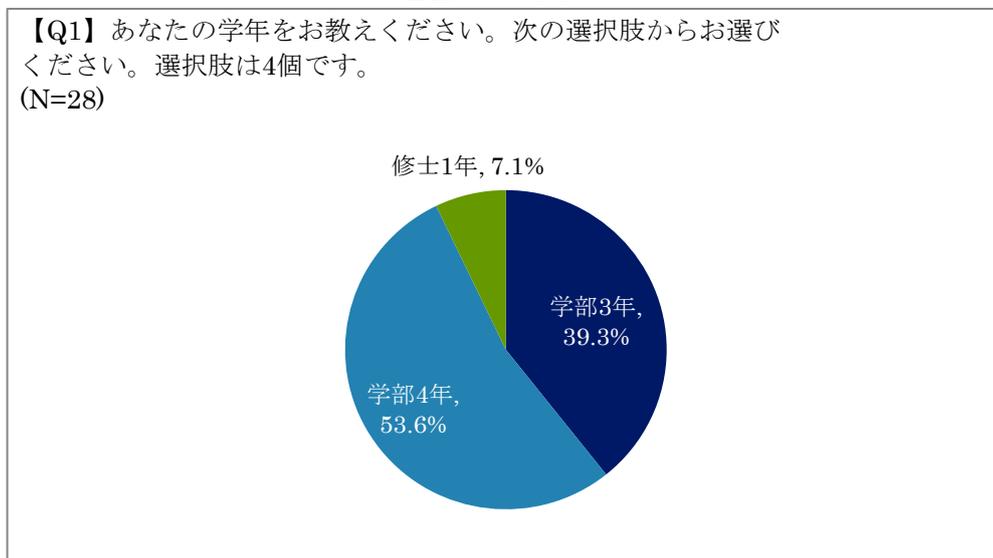
Q9. あなたが就職活動全般においてどのようなことに苦労していますか。(複数回答)

1. 就職したい業種、職種、企業をなかなか決めることができなかったこと
2. 自分合った就職先を見つけにくかったこと
3. エントリーシートの作成に労力がかかること
4. 面接の対策に労力がかかること
5. 就職先、勤務地などについて、家族との意見の違いに対応すること
6. その他 ()

ウ 回答者の属性

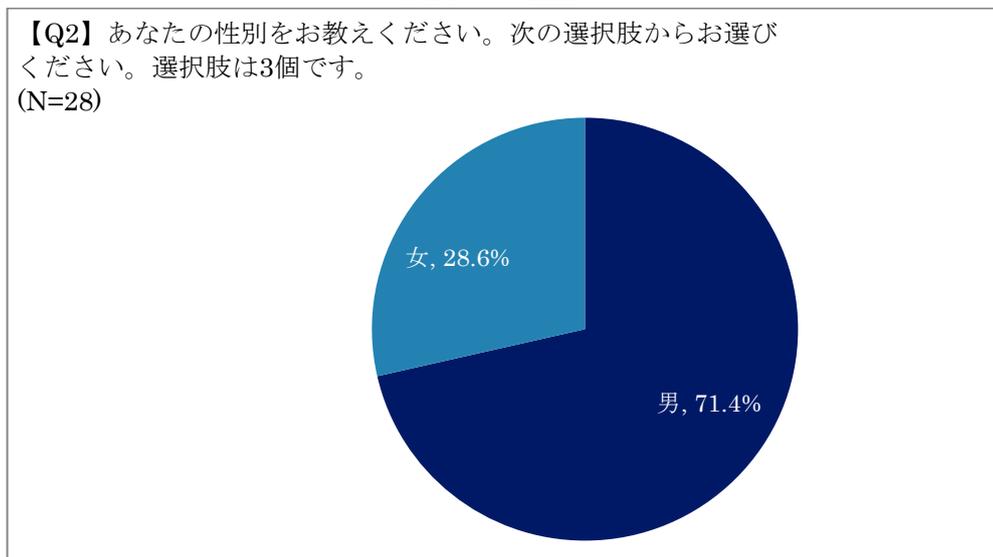
回答者の属性は、学年別にみると「学部3年」が39.3%、「学部4年」が53.6%、「修士1年」が7.1%であった。修士2年からの回答は得られなかった。

図表 206 学年



性別では、「男」が71.4%、「女」が28.6%であった。

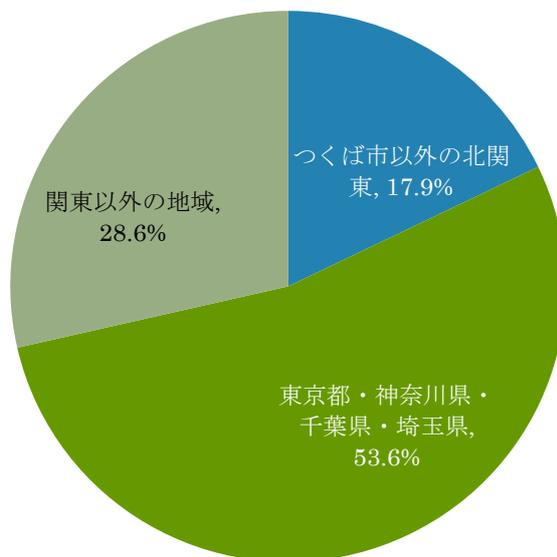
図表 207 性別



高校時代に住んでいた地域については、「東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県」(53.6%)、「関東以外の地域」(28.6%)、「つくば市以外の北関東」(17.9%)の順になっていた。

図表 208 高校の時住んでいた地域

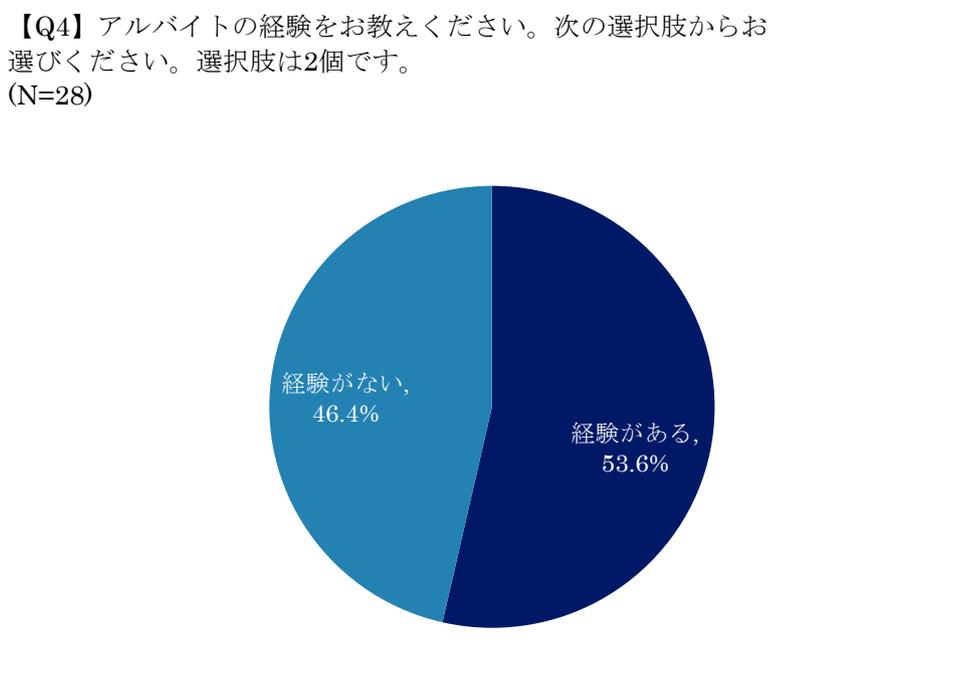
【Q3】あなたが高校の時に住んでいた地域をお教えてください。次の選択肢からお選びください。選択肢は4個です。
(N=28)



エ 調査の結果

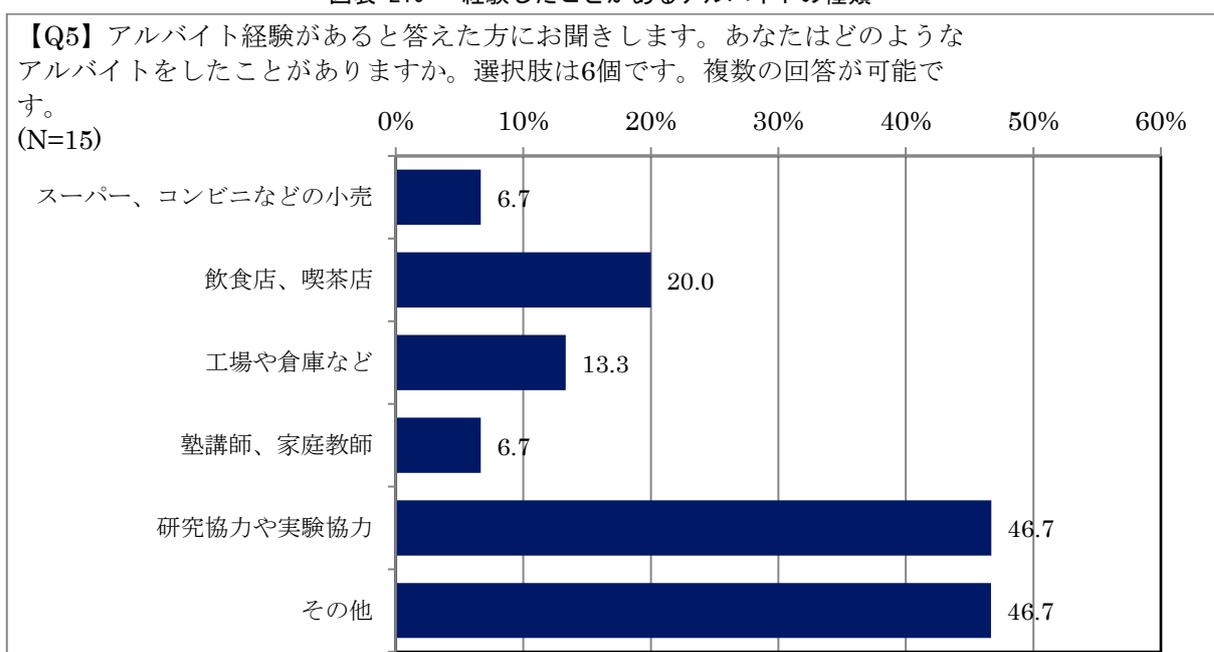
アルバイトの経験については、「経験がある」が53.6%で、多くの学生がアルバイトを通して市内事業者との接点を持っていることが分かった。

図表 209 アルバイトの経験



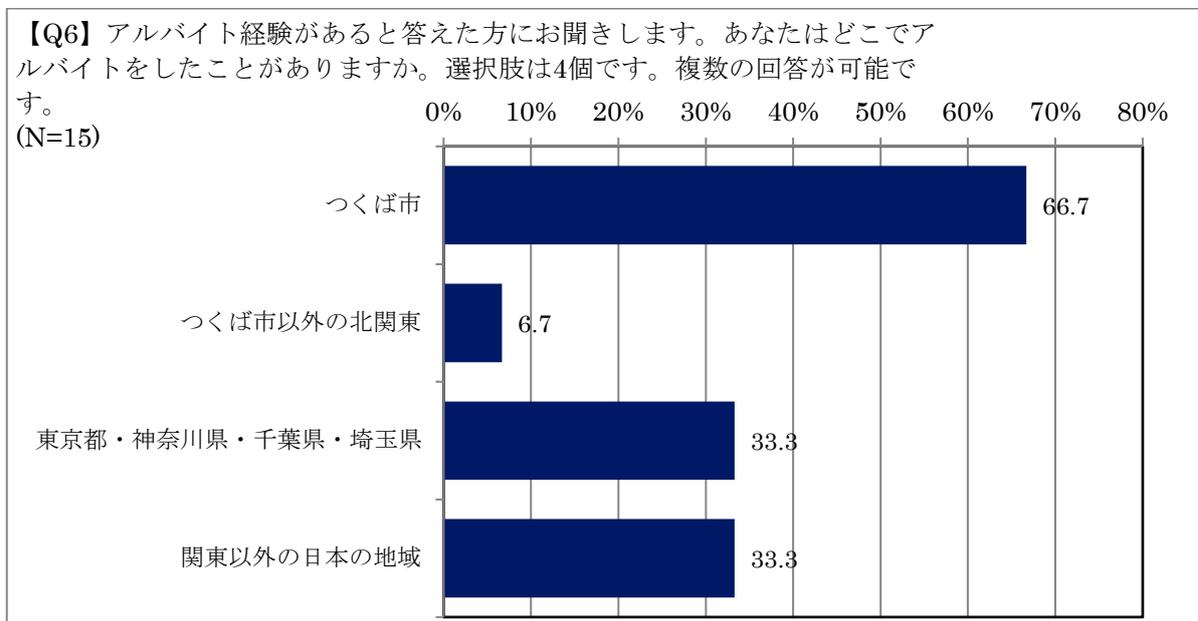
経験したことがあるアルバイトの種類については、「研究協力や実験協力」が46.7%で最も多かった。

図表 210 経験したことがあるアルバイトの種類



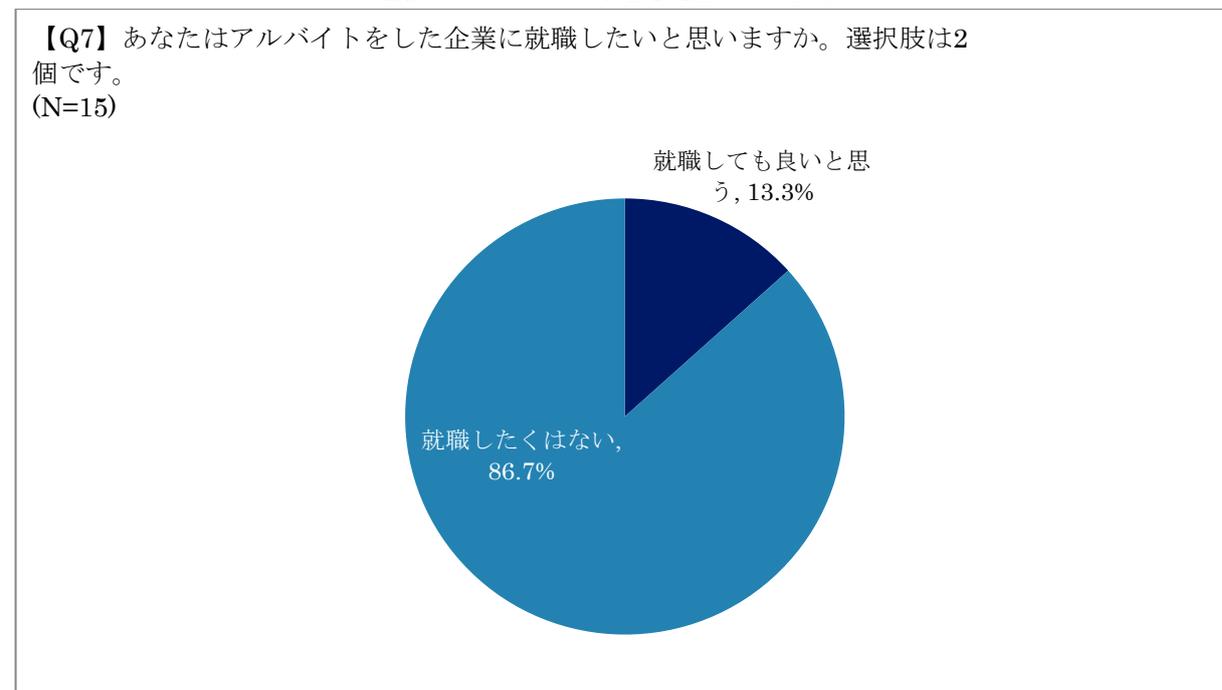
アルバイトをした場所については、「つくば市」が66.7%で最も多く、多くの学生が市内事業者との接点を持っていることが分かった。

図表 211 アルバイトをした場所



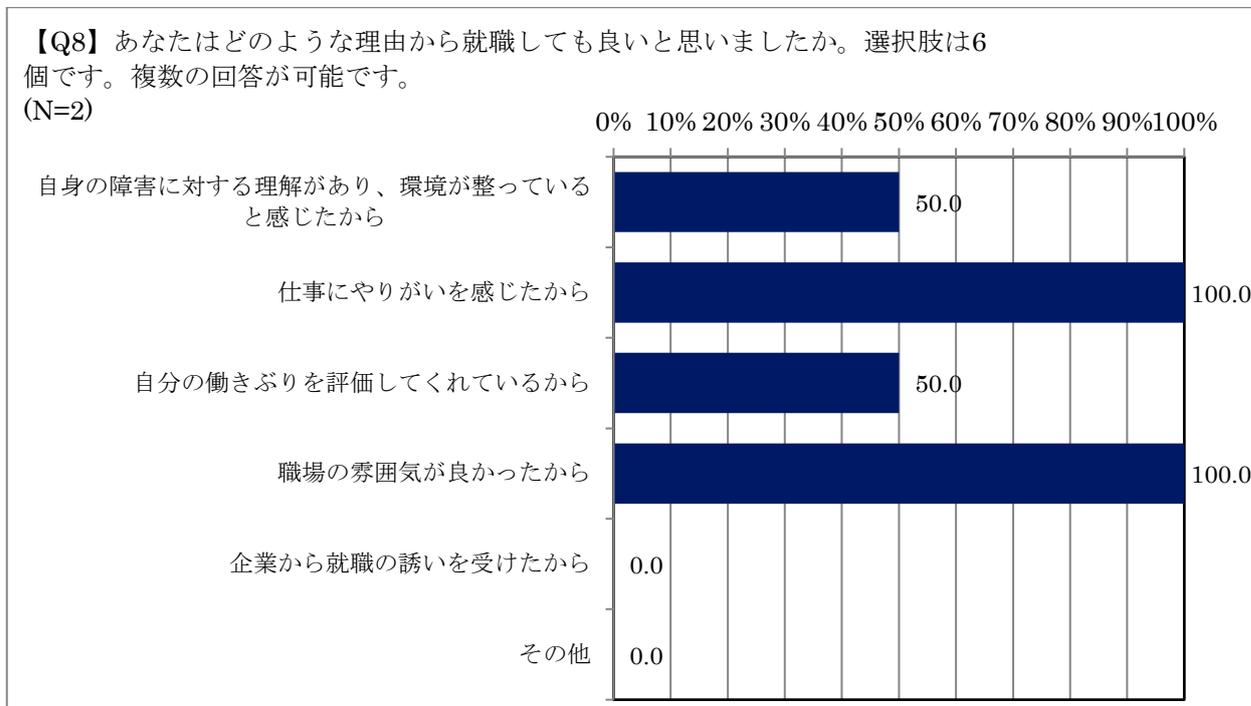
アルバイトした企業への就職については、「就職してもよい」という回答は13.3%にとどまった。

図表 212 アルバイトをした企業への就職



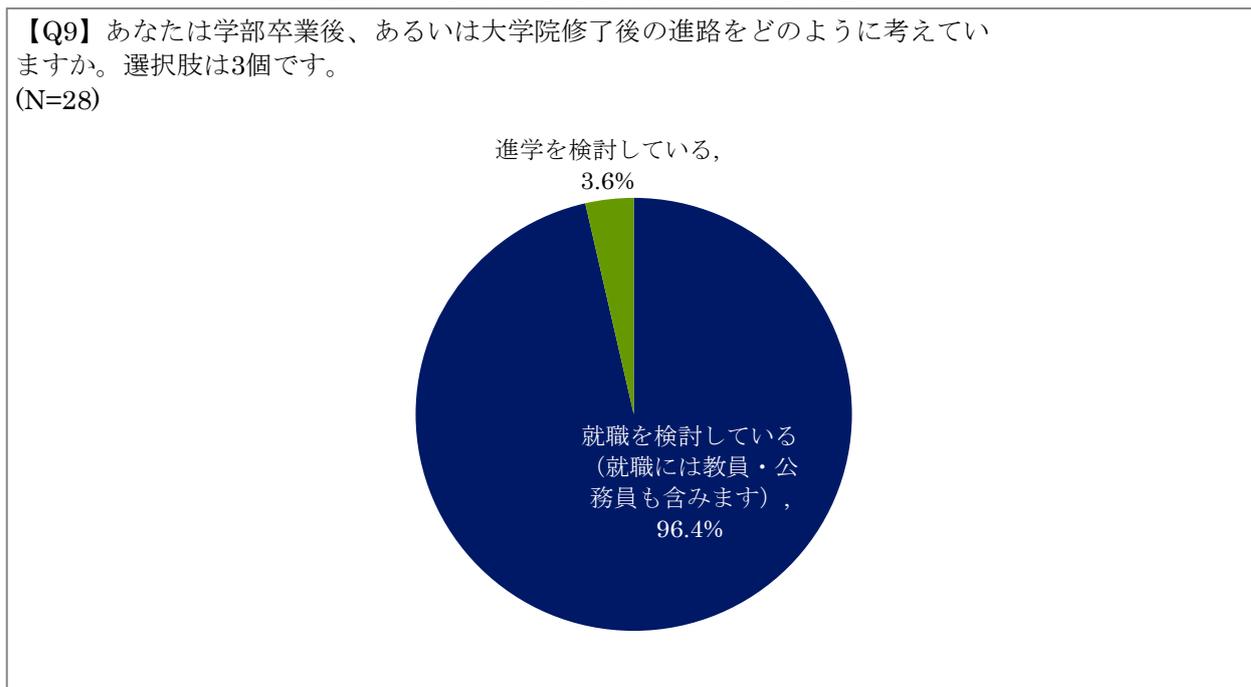
アルバイトをした企業に就職してもよいと思う理由としては、「仕事にやりがいを感じたから」(100.0%)、「職場の雰囲気が良かったから」(100.0%)が同率で最も多かった。

図表 213 アルバイトをした企業に就職してもよいと思う理由



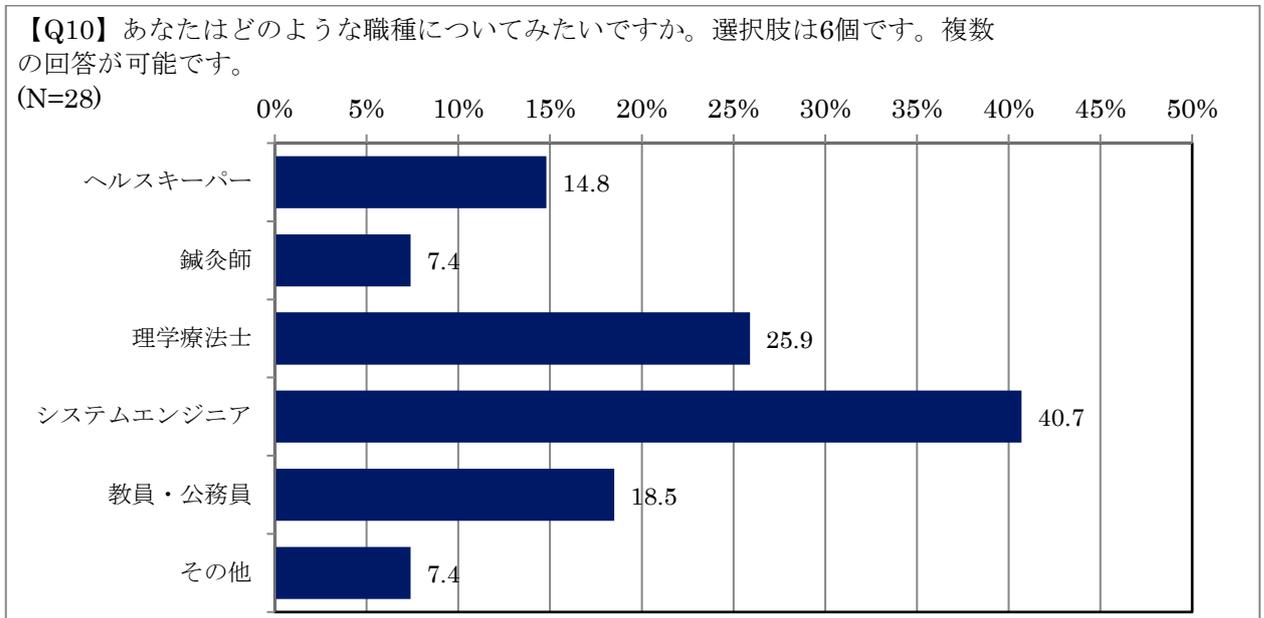
卒業後に希望する進路としては、「就職（教員・公務員を含む）を検討している」(96.4%)が最も多かった。

図表 214 学部卒業後あるいは大学院終了後の進路



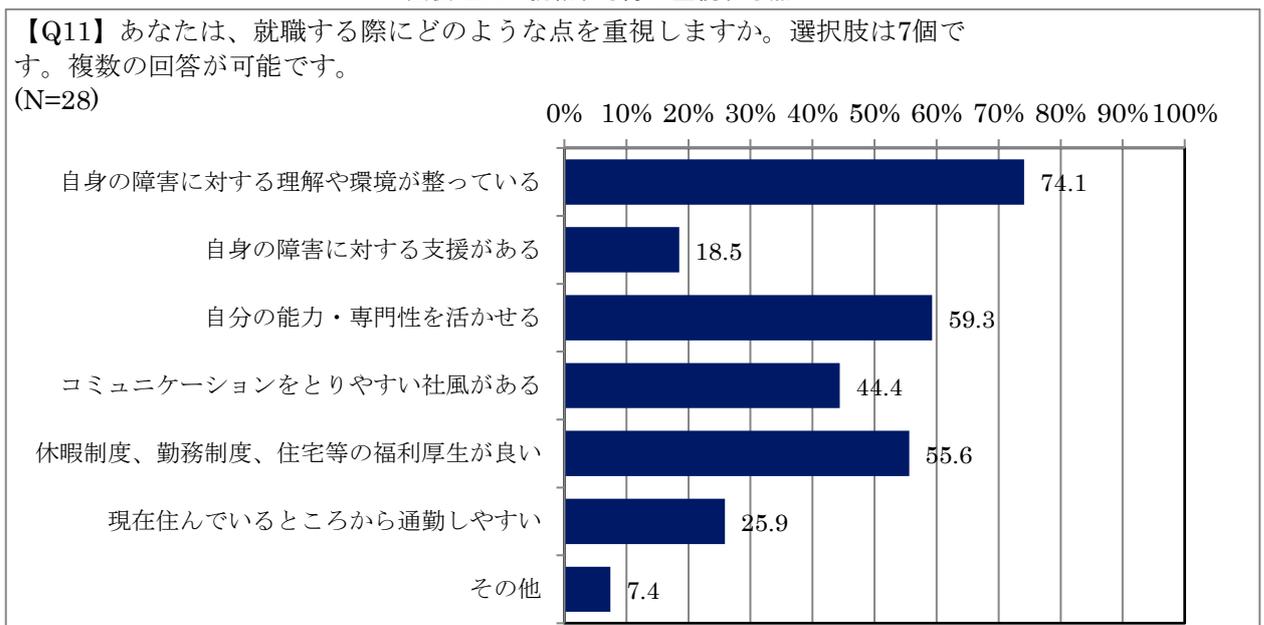
ついてみたい業種としては、「システムエンジニア」(40.7%)が最も多く、「理学療法士」(25.9%)、「教員・公務員」(18.5%)が続いていた。

図表 215 ついてみたい職業



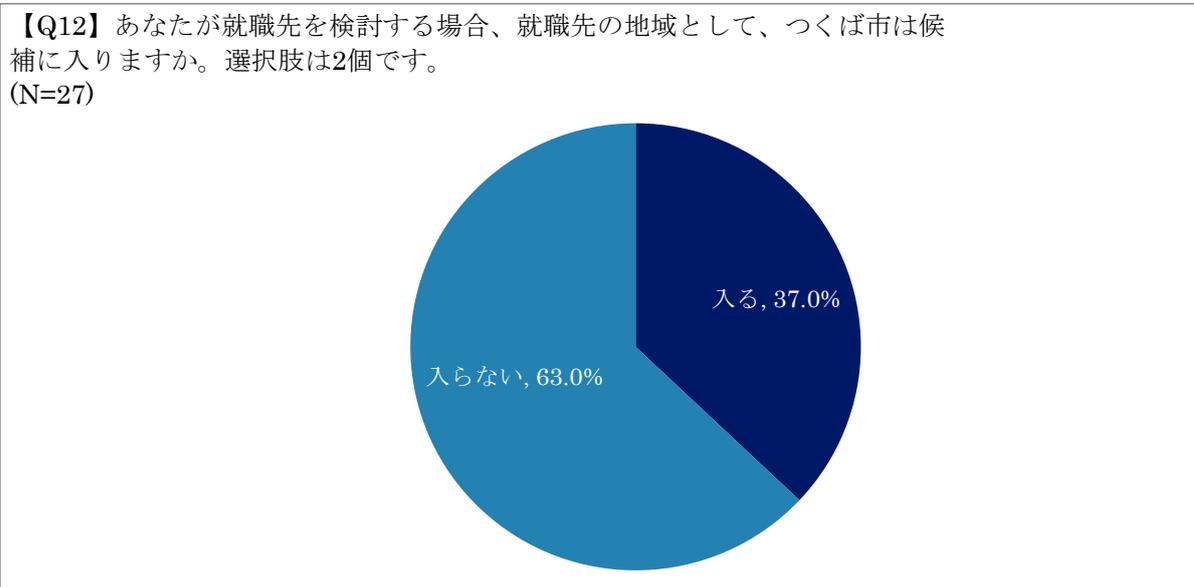
就職する際に重視する点については、「自身の障害に対する理解や環境が整っていること」(74.1%)が最も多く、「自分の能力・専門性を活かせる」(59.3%)、「休暇制度、勤務制度、住宅等の福利厚生が良い」(55.6%)が50%以上で続いていた。

図表 216 就職する際に重視する点



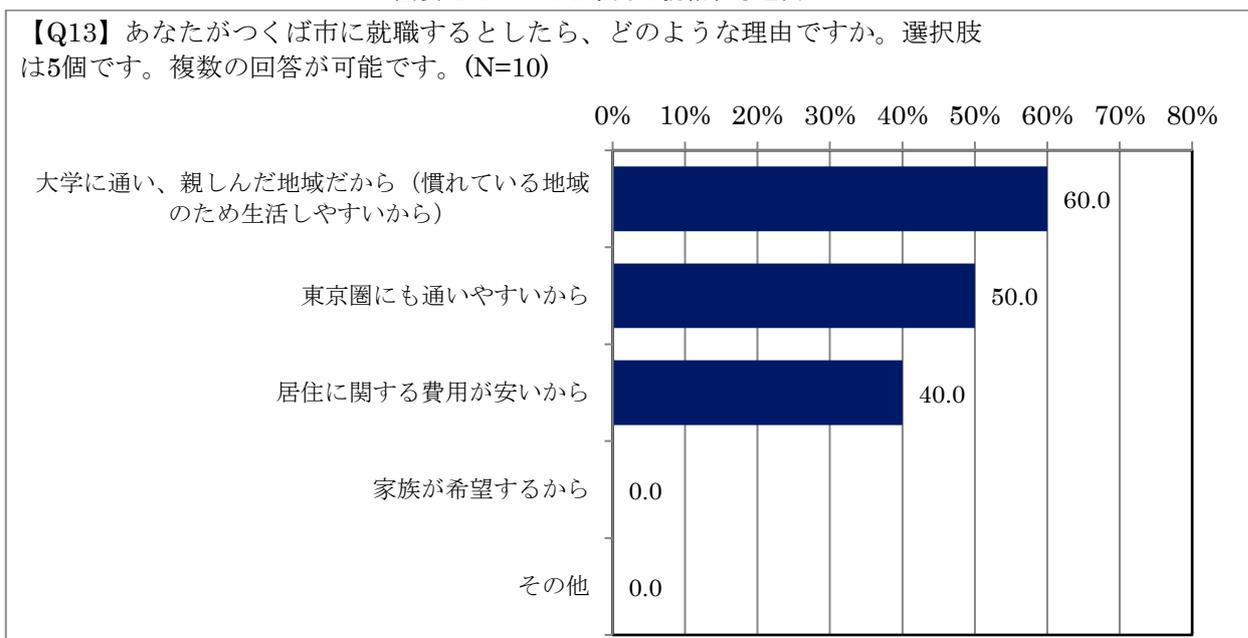
就職先を検討する場合、つくば市は候補に入るかという問いでは、「つくば市が就職先の候補に入る」が37.0%であった。

図表 217 就職先につくば市は候補に入るか



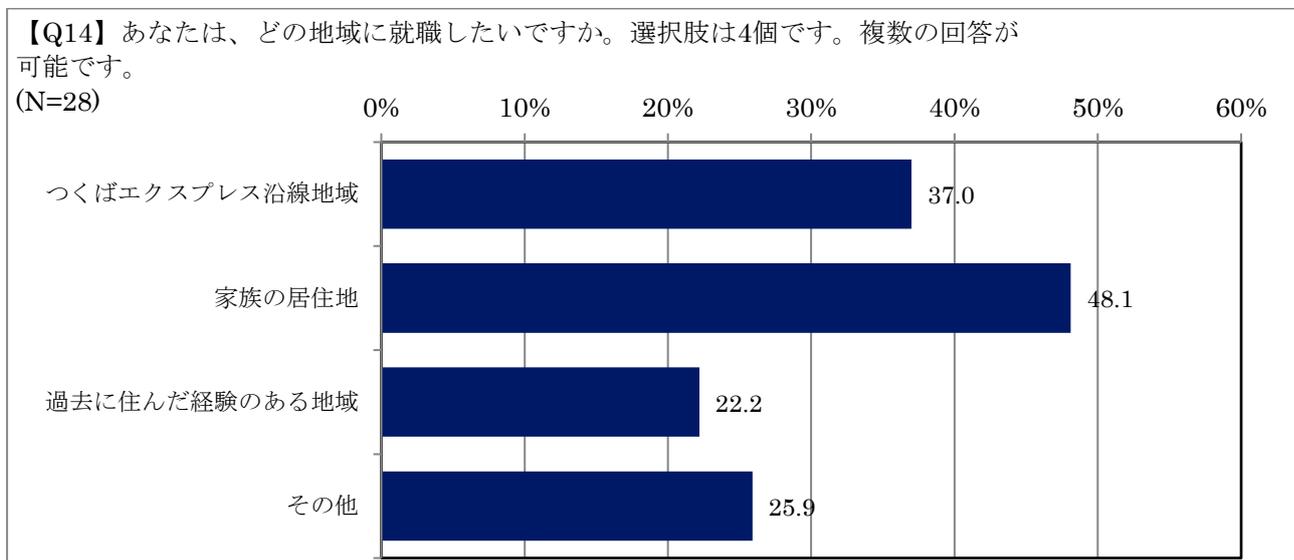
つくば市に就職する理由としては「大学に通い、親しんだ地域だから」(60.0%)が最も多く、「東京圏にも通いやすいから」(50.0%)、「居住に関する費用が安いから」(40.0%)といった理由が続いていた。

図表 218 つくば市内で就職する理由



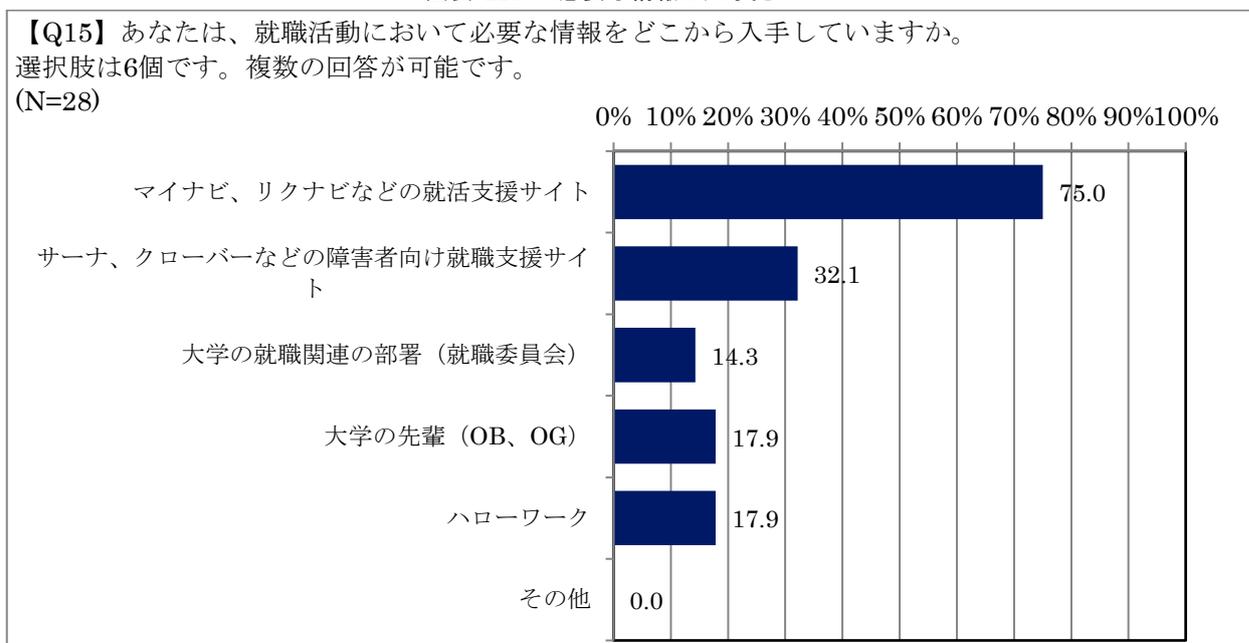
就職したい地域としては、「家族の居住地」(48.1%)が最も多く、「つくばエクスプレス沿線地域」(37.0%)、「過去に住んだ経験のある地域」(22.2%)が続いていた。

図表 219 就職したい地域



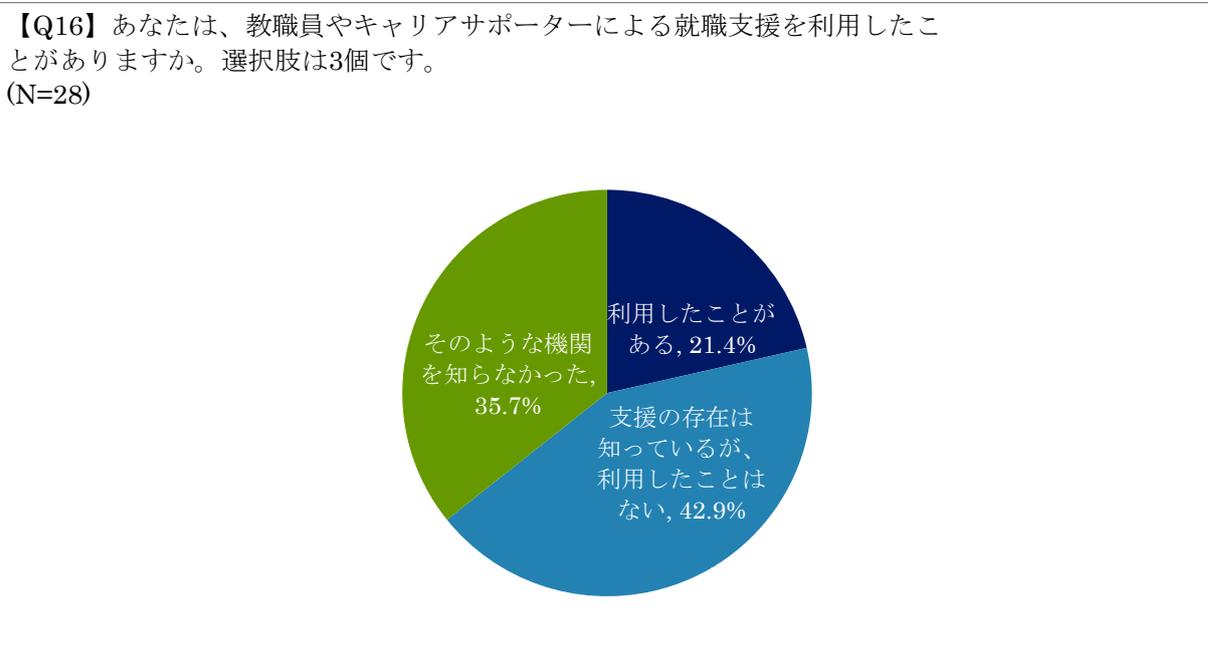
就職活動に必要な情報の入手先としては、「マイナビ、リクナビなどの就職支援サイト」(75.0%)と最も多く、「サーナ、クローバーなどの障害者向け就職支援サイト」(32.1%)が続いていた。

図表 220 必要な情報の入手先



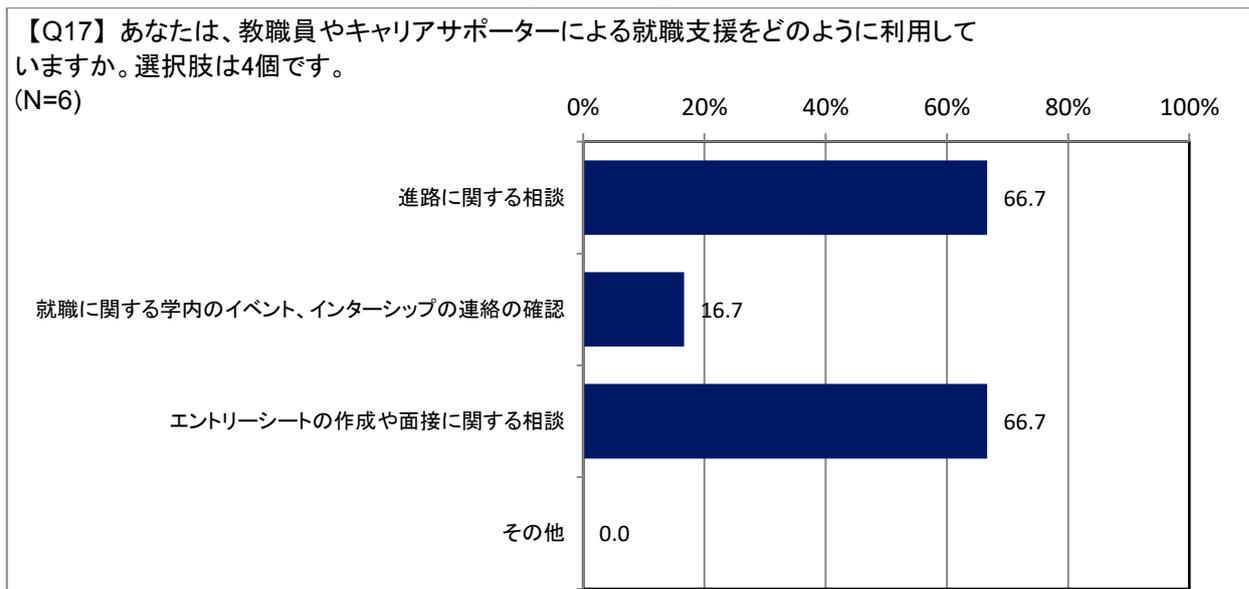
就職支援部署の利用状況については、「存在は知っているが、利用したことはない」(42.9%)が最も多く、「利用したことがある」と回答した学生は21.4%に留まった。

図表 221 就職支援部署の利用状況



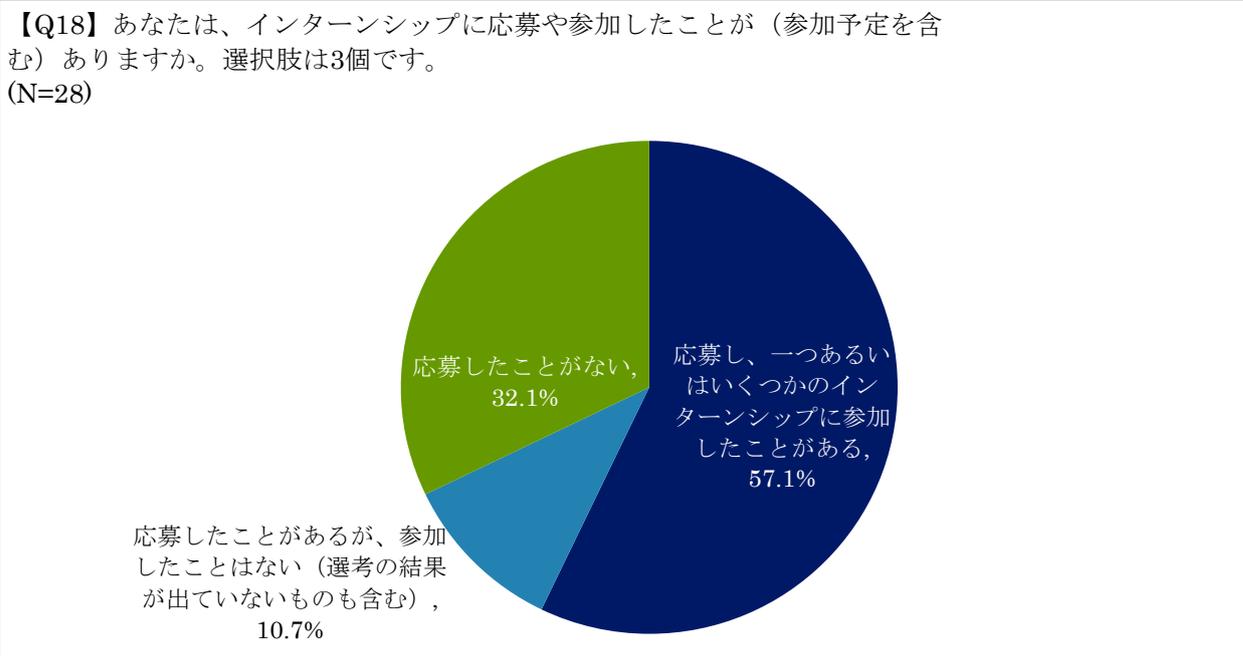
就職支援部署の利用目的については、「進路に関する相談」(66.7%)、「エントリーシート作成の指導」(66.7%)が同率で最も多かった。

図表 222 就職支援部署の利用目的



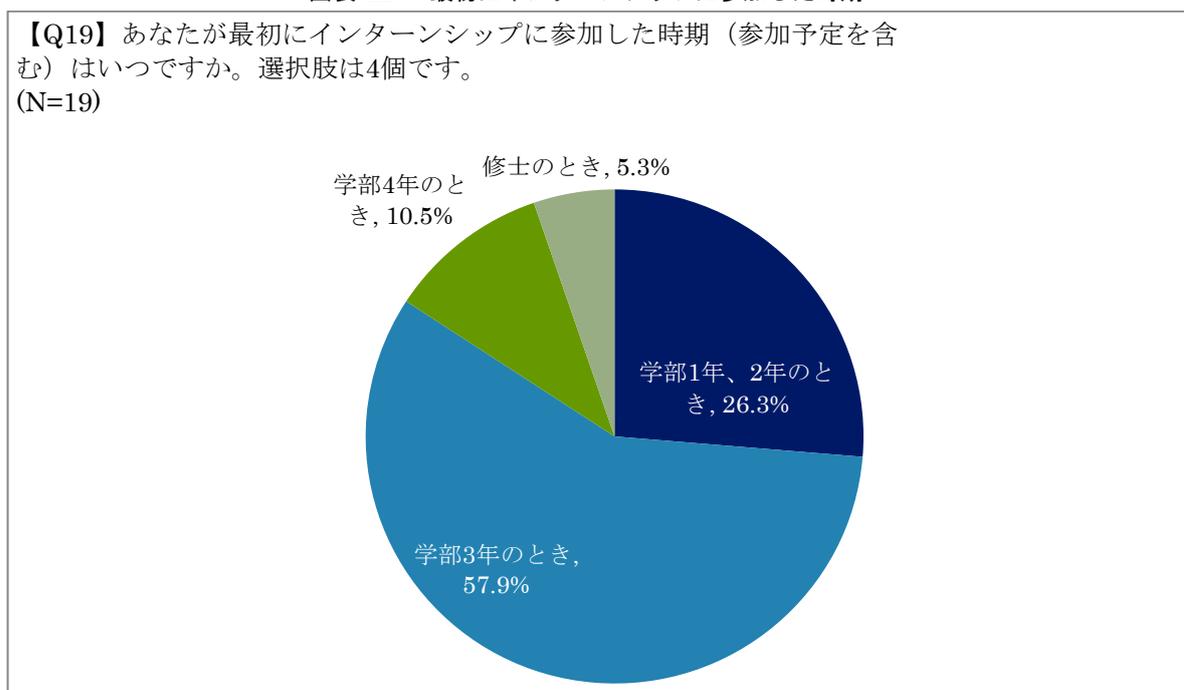
インターンシップについては、「応募し、一つあるいはいくつかのインターンシップに参加したことがある」(57.1%)が最も多かった。

図表 223 インターンシップへの応募・参加



最初にインターンシップに参加した時期については、「学部3年のとき」(57.9%)が最も多かった。

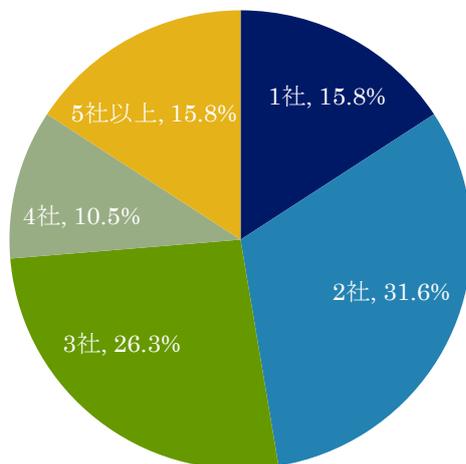
図表 224 最初にインターンシップに参加した時期



インターンシップに参加した、又は参加する予定の企業数は、「2社」(31.6%)が最も多かった。

図表 225 インターンシップに参加した、又は参加する予定の企業数

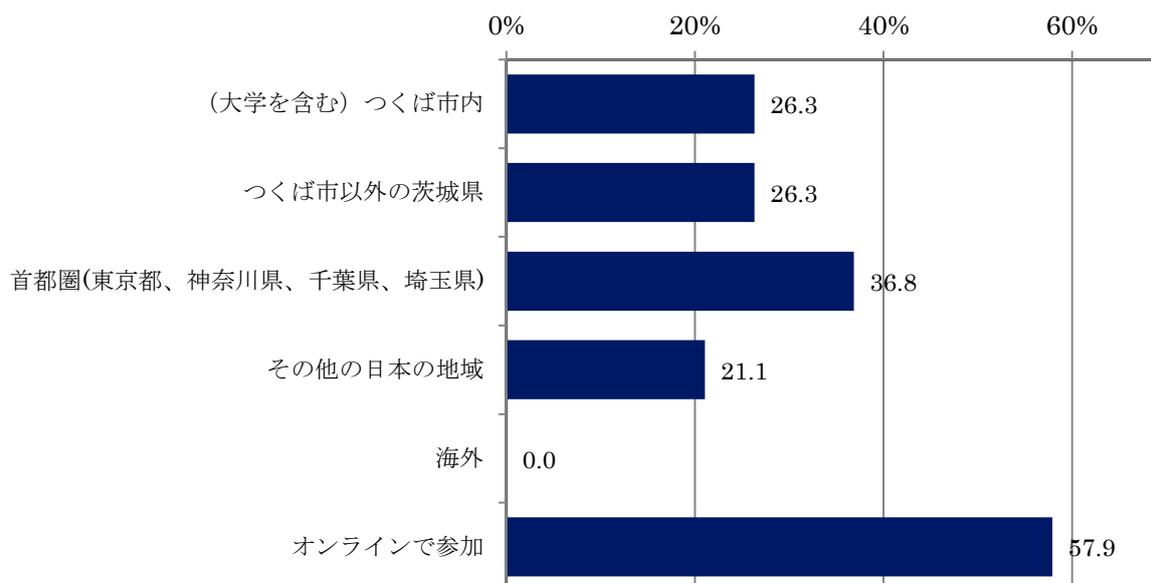
【Q20】あなたがインターンシップに参加した、又は参加する予定の企業は何社ですか。選択肢は5個です。
(N=19)



参加したことがあるインターンシップが開催された場所については、「オンライン」(57.9%)が最も多かった。

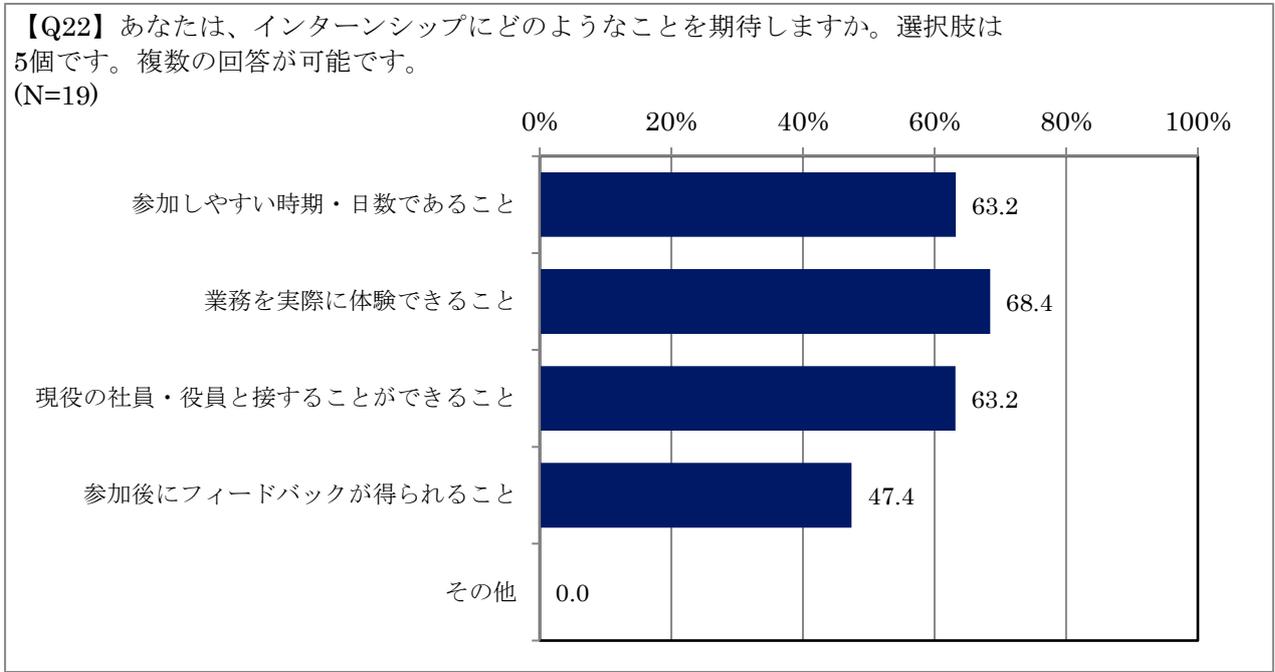
図表 226 インターンシップの開催場所

【Q21】あなたが参加した、又は参加する予定のインターンシップが開催された場所はどこですか。選択肢は6個です。複数の回答が可能です。
(N=19)



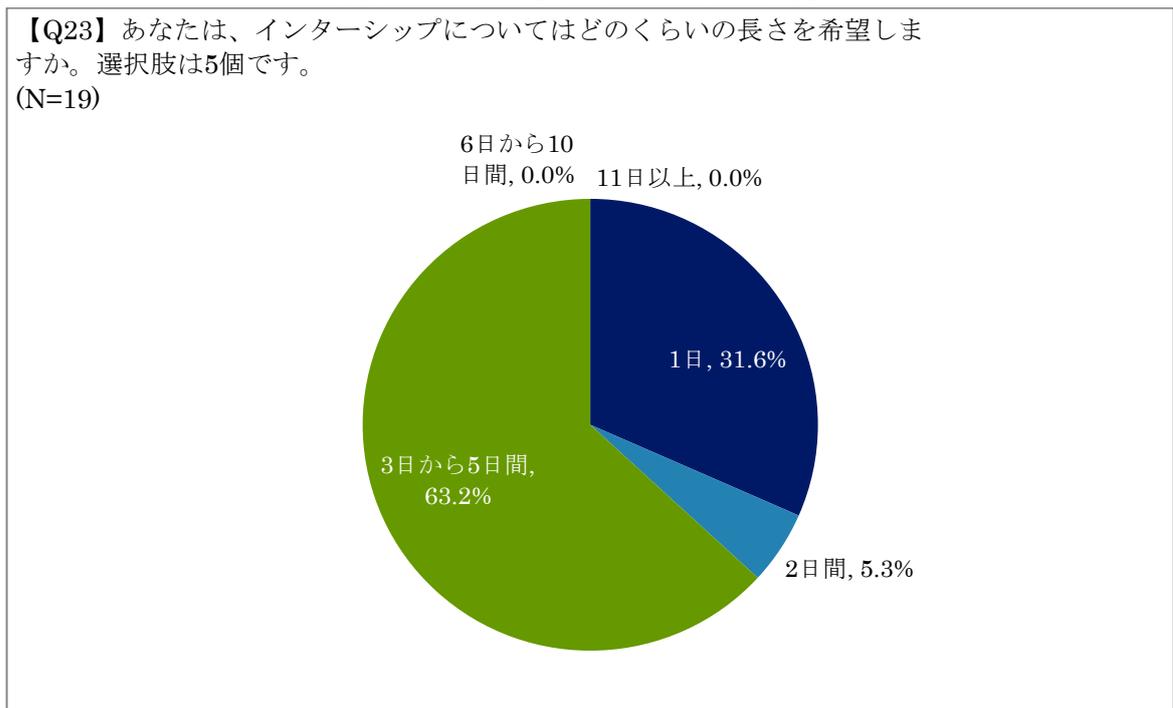
インターンシップに期待することについては、「業務を実際に体験できること」(68.4%)、「現役の社員・役員と接することができること」(63.2%)、「参加しやすい時期・日数であること」(63.2%)が上位であった。

図表 227 インターンシップに対する期待



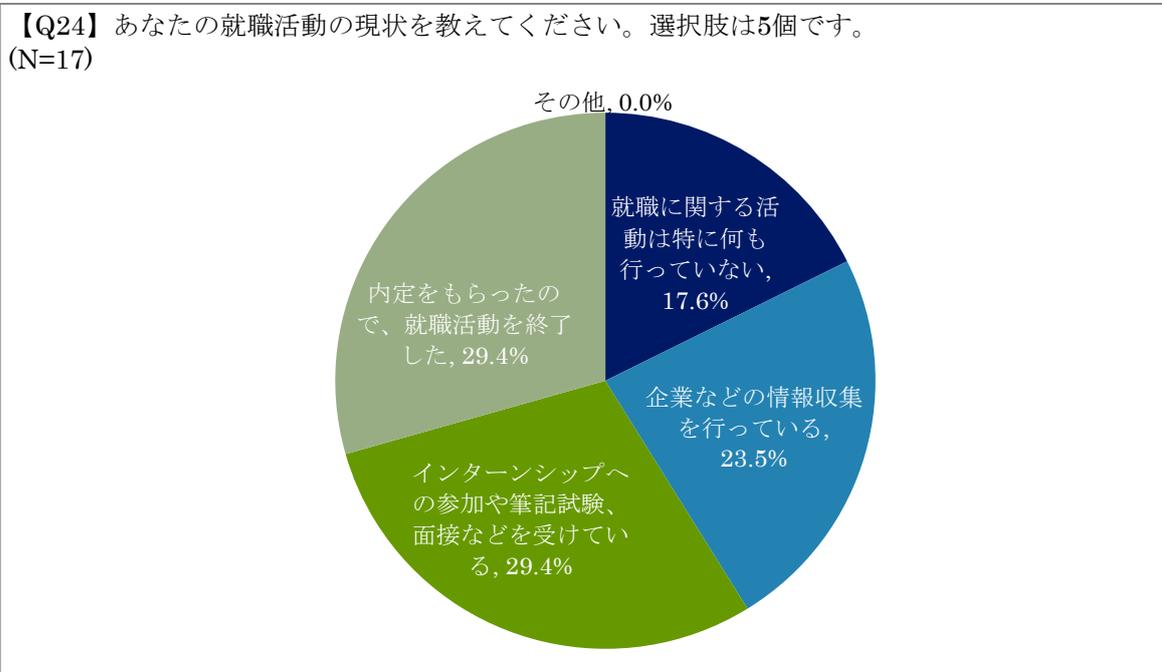
希望するインターンシップ期間については、「3日から5日間」(63.2%)が最も多かった。

図表 228 希望するインターンシップの期間



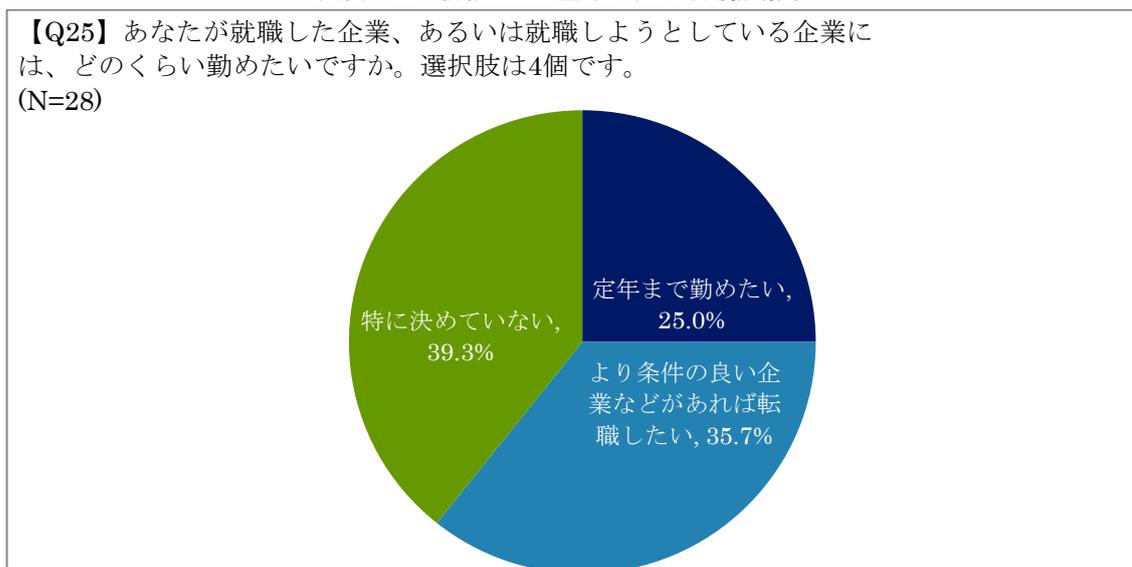
就職活動の現状については、「企業などの情報収集を行っている」(35.7%)が最も多かった。「インターンシップへの参加や筆記試験、面接などを受けている」(21.4%)、「内定をもらったので、就職活動を終了した」(21.4%)、「就職に関する活動は特に何も行ってない」(21.4%)が同率で続いていた。

図表 229 就職活動の現状



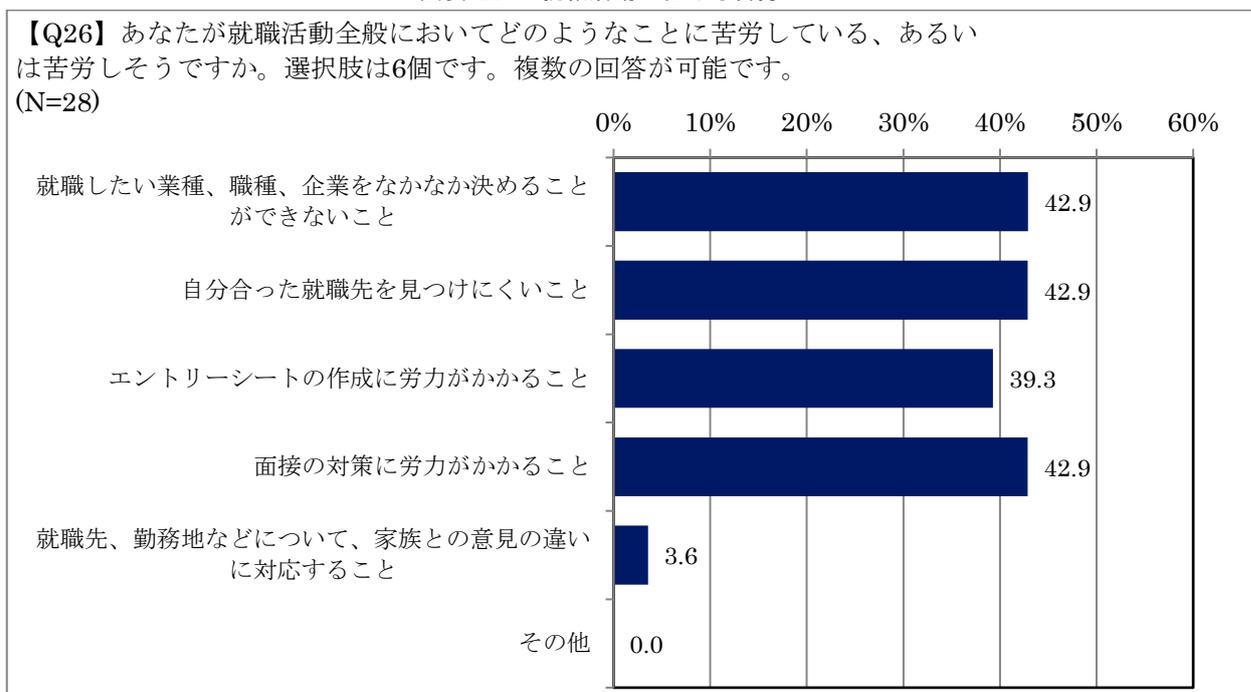
就職したい企業における勤務期間については、「特に決めていない」(39.3%)が最も多かった。「より条件の良い企業などがあれば転職したい」(35.7%)が続いていた。

図表 230 就職したい企業における勤務期間



就職活動における苦勞については、「就職したい業種、職種、企業をなかなか決めることができないこと」(42.9%)、「自分に合った就職先を見つけにくいこと」(42.9%)、「面接の対策に勞力がかかること」(42.9%)が同率で最も多かった。「エントリーシートの作成に勞力がかかること」(39.3%)が続いていた。

図表 231 就職活動における苦勞



(4) 筑波学院大学

ア 調査の概要

本調査研究では、筑波学院大学の学生へのアンケート調査を以下のように実施した。

- ・ 調査名：学生アンケート（筑波学院大学）
- ・ 対象者⁷：3年、4年
- ・ 調査期間：2023年9月26日(火)～2023年10月26日(木)
- ・ 回収数：125
- ・ 回答方法：インターネットによる回答

⁷ 本アンケート調査の問の選択肢において、大学3年を「3年」、大学4年を「4年」としていることから、対象者についてこのような表記にした。

イ 調査票

Q1. あなたの学年を教えてください。(単一回答)

1. 3年
2. 4年

Q2. あなたの性別を教えてください。(単一回答)

1. 男
2. 女
3. その他

Q3. あなたは、日本人学生ですか？ それとも外国人留学生ですか？ (単一回答)

1. 日本人学生
2. 外国人留学生

Q4. あなたが高校時代に住んでいた地域を教えてください。(単一回答)

1. つくば市
2. つくば市以外の茨城県
3. 茨城県以外の関東 (東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、群馬県、栃木県、山梨県)
4. 北海道
5. 東北
6. 中部 (新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)
7. 関西 (大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県)
8. 中国・四国
9. 九州・沖縄
10. 海外
11. その他 ()

Q5. あなたは大学入学後にアルバイトをしたことがありますか。(単一回答)

1. 経験がある (Q5-1 へ)
2. 経験はない (Q6 へ)

Q5-1. あなたはどのようなアルバイトをしたことがありますか。(複数回答)

1. スーパー、コンビニなどの小売
2. 飲食店、喫茶店
3. 工場や倉庫など
4. 塾講師、家庭教師
5. その他 ()

Q5-2. あなたはどこでアルバイトをしましたか。(複数回答)

1. つくば市内
2. つくば市以外の茨城県
3. 首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)
4. 首都圏以外の日本の地域 ()
5. 海外
6. オンライン会議システムやメールなどで非対面で実施

Q5-3. あなたはアルバイトをした企業に就職したいですか。(単一回答)

1. 就職しても良いと思う (Q5-4 へ)
2. 就職したくない (Q6 へ)

Q5-4. あなたはどのような理由から就職しても良いと思いましたか。(複数回答)

1. 仕事にやりがいを感じたから
2. 発注や店舗管理などの経営に関することを教えてくれたから
3. 裁量を与えてくれ自主的な行動ができたから
4. 職場の雰囲気良かったから
5. 企業がアルバイトでの働きぶりを評価してくれたから
6. 企業から就職の誘いを受けたから
7. 将来起業・独立する際に役に立つから
8. その他 ()

Q6. あなたは学部卒業後の進路をどのように考えていますか。(単一回答)

1. 就職(教員・公務員を含む)を検討している (Q6-1 へ)
2. 就職(教員・公務員を含む)も進学も検討している (Q6-1 へ)
3. 進学を検討している (Q12 へ)
4. 特に決まっていない (Q12 へ)

Q6-1. あなたはどのような業種の企業などに入社したいですか。(3つまで回答)

1. 農林漁業
2. 建設業、不動産業
3. 製造業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業
5. 情報通信業
6. 運輸業、郵便業
7. 卸売業、小売業
8. 金融業、保険業
9. 物品賃貸業
10. 学術研究、専門・技術サービス業
11. 宿泊業、飲食サービス業
12. 生活関連サービス業、娯楽業
13. 教育、学習支援業
14. 医療・福祉
15. その他のサービス業
16. 公務
17. その他の業種 ()
18. 特に決まっていない

Q6-2. あなたはどのような職種についてみたいですか。(3つまで回答)

1. 管理的職種
2. 研究・技術の職種
3. 法務・経営等の専門的職業
4. 文化芸術等の専門的職業
5. 医療・看護・保健の職業
6. 保育・教育の職業
7. 事務的職業
8. 販売・営業の職業
9. 福祉・介護の職業
10. サービスの職業
11. 警備・保安の職業
12. 農林漁業の職業
13. 製造・修理・塗装・製図等の職業
14. 配送・輸送・機械運転の職業
15. 建設・土木・電気工事の職業
16. 運搬・清掃・包装・選別等の職業
17. その他の業種 ()
18. 特に決まっていない

Q6-3. あなたは、就職する際にどのような点を重視しますか。(複数答)

1. やりたい仕事ができること
2. 自分の能力・専門性を活かせること
3. 有意義な経験、知識等を得ることができること
4. 報酬がよいこと
5. 会社としての成長性が期待できること
6. 規模が大きく安定性があること
7. 知名度が高いこと
8. 社風が良いこと
9. 休日・休暇が多い・とりやすいこと
10. 勤務制度、住宅等の福利厚生が良いこと
11. 転勤がないこと
12. 現在住んでいるところから通勤しやすいこと
13. 海外にも展開していること
14. 親などの家族の期待に沿っていること
14. その他 ()

Q6-4. あなたは、どの地域に就職したいですか。(複数回答)

(1. を選択した人は Q6-5 へ。しなかった人は Q6-6 へ。)

1. つくば市 (Q6-5 へ)
2. 両親の居住地
3. 東京圏 (東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)
4. 中京圏 (愛知県、岐阜県、三重県)
5. 関西圏 (大阪府、兵庫県、京都府)
6. その他の日本の地域
7. 海外
8. 就職できれば特に地域の条件はない

Q6-5. あなたがつくば市に就職するとすれば、どのような理由からですか。(複数回答)

1. 就職したいと思う企業がつくば市にあるから
2. 大学に通い、親しんだ地域だから
3. 知人や仲の良い人が多い地域だから
4. 自然に恵まれているから
5. 東京圏にも通いやすいから
6. 居住に関する費用が安いから
7. 研究機関などが多く、知的な地域だから
8. 親などの家族が希望するから
9. その他 ()

Q6-6. あなたは、どのような理由からつくば市内に就職しないのですか。(複数回答)

1. 正規社員として採用してくれそうなくつくば市内にある企業を知らないから
2. どのような企業があるか知っているが、自身の希望とは合わないから
3. 他の地域で就職したいから
4. その他 ()

Q7. あなたの就職活動の現状を教えてください。(単一回答)

1. 就職に関する活動は特に何も行ってない (Q7-1 へ)
2. 来年度以降の就職に向け情報収集等を行っている(インターンシップへの参加を含む) (Q7-1 へ)
3. 筆記試験の受験や面接などの就職活動やその準備を行っている (Q7-1 へ)
4. 民間企業に就職でき、就職活動を終了した (Q7-1 へ)
5. 自治体や中央官庁などに就職でき、就職活動を終了した (Q7-1 へ)
6. 内定はあるが、まだ就職活動を行っている (Q7-1 へ)
7. 内定をとれずまだ就職活動を行っている (Q7-1 へ)
8. 内定をとれなかったため、就職活動を中止した (Q8 へ)
9. その他 ()

Q7-1. あなたが就職した企業、あるいは就職しようとしている企業には、どのくらい勤めたいですか。(単一回答)

1. 定年まで勤めたい
2. できるだけ長く勤めたい
3. 3年後くらいまでに機会があれば積極的に転職したい
4. より条件の良い企業があればすぐに転職したい
5. その他 ()
6. 特に決めていない

Q9. あなたは、就職活動において必要な情報をどこから入手していますか。(複数回答)

1. リクナビ
2. マイナビ
3. キャリタス就活
4. doda キャンパス
5. あさがくナビ
6. ONE CAREER
7. En-courage
8. Offer Box
9. キミスカ
10. ハローワーク
11. 大学に寄せられた求人票
12. 大学の先輩 (OB、OG)
13. 就職部、キャリアセンター14 などの大学の就職支援部署 (Q9-1 へ)
15. その他 ()

Q9-1. あなたは、就職部やキャリアセンターや就職支援などの就職支援部署を活用したことがありますか。(単一回答)

1. 利用したことがある (Q9-2 へ)
2. 存在は知っているが、利用したことはない (Q10 へ)
3. そのような機関を知らなかった (Q10 へ)

Q9-2. あなたは、キャリアセンターや就職支援の部署をどのように活用していますか。(複数回答)

1. 就職に関する学内のイベントの確認
2. 就職に関する学内のイベントへの参加
3. インターシップの連絡の確認
4. アルバイトの求人の確認
5. 就職の求人の確認
6. エントリーシートの作成の指導
7. 面接に関する指導
8. 進路に関する相談
9. その他 ()

Q10. あなたは、就職に関して、誰の意見を参考にしますか。（各対象への参考の度合いについて単一回答）
 なお、就職に関連した事柄での接触が無く、意見を聞いたことがない属性の方については、「参考にしない」を選択してください。

	参考に する	どちらか と 言えば 参考に する	どちらか と 言えば 参考に しない	参考に しない
就職関連のメンター、コンサルタントなど	1	2	3	4
大学の教員（ゼミの担当教員など）	1	2	3	4
キャリアセンターの職員	1	2	3	4
大学の先輩（OB、OG）	1	2	3	4
大学のゼミ、部活、サークルなどの友人	1	2	3	4
兄や姉などの年上の兄弟、年上のいとこなど	1	2	3	4
父親、母親	1	2	3	4
SNS における知り合い	1	2	3	4

Q11. あなたは、インターンシップに応募や参加したことがありますか。（単一回答）

1. 応募したことがあるが、参加したことはない（選考の結果が出ていないものも含む）（Q11-1 へ）
2. 応募し、一つあるいはいくつかのインターンシップに参加したことがある（Q11-1 へ）
3. 応募したことがない（Q12 へ）

Q11-1. あなたが最初にインターンシップに参加した（参加予定を含む）時期はいつですか。（単一回答）

1. 学部 1 年、2 年時にはじめて参加
2. 学部 3 年時にはじめて参加
3. 学部 4 年時にはじめて参加

Q11-2. あなたは、インターンシップにどのようなことを期待しますか。(複数回答)

1. 業務内容に関する詳しい説明があること
2. 業務を実際に体験できること
3. 現役の社員・役員と接することができること
4. 採用にも関連していること
5. 参加後にフィードバックが得られること
6. 報酬が支払われること
7. 参加しやすい時期であること
8. 適切な日数であること
9. 単位をとれること
10. その他 ()

Q11-3. あなたは、インターンシップについてはどのくらいの長さを希望しますか。(単一回答)

1. 1日
2. 2日
3. 3、4日
4. 5日
5. 6～10日
6. 11～20日
7. 21日以上

Q11-4. あなたがインターンシップに参加した(参加予定を含む)企業は何社ですか。(単一回答)

1. 0社
2. 1社
3. 2社
4. 3社
5. 4、5社
6. 6～10社
7. 11～15社
8. 16～20社
9. 21社以上

Q11-5. あなたが参加した(参加予定を含む)インターンシップを開催された場所はどこですか。(複数回答)

1. つくば市内
2. つくば市以外の茨城県
3. 首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)
4. その他の日本の地域 ()
5. 海外
6. オンラインで参加

Q11-6. あなたはインターンシップにおいてどのようなことに苦労していますか。(複数回答)

1. 応募しても参加できないことがあったこと
2. エントリーシートの作成に労力がかかること
3. 面接の対策に労力がかかること
4. スケジュールが合わないこと
5. インターンにおける集団討議などの対策に労力がかかること
6. 毎日、業務日誌の記入などが必要なこと
7. 大学に実施報告書などの提出が必要なこと
8. その他 ()
9. 特にない

Q12. あなたはつくば市内の企業を知っていますか。(単一回答)

1. 知っている (Q12-1 へ)
2. 知らない (Q13 へ)

Q12-1. つくば市内企業を知っている方は、正社員で働いてみようと思う企業名を1つ以上3つ以内記入してください。ない場合は、企業名1のところに「なし」と記入してください。

正社員：
企業名1：
企業名2：
企業名3：

Q13. もし、必修科目に「つくば市内の産業・企業について学ぶ」授業があったら履修したいですか。(単一回答)

1. 履修したい (Q13-1 へ)
2. 履修しない (Q13-2 へ)

Q13-1. 履修してみたいと思った理由はなんですか。(複数回答)

1. つくば市内の産業・企業に興味があるため
2. 就職活動の参考になるため
3. 単位認定されるため
4. その他 ()

Q13-2. 履修しない理由はなんですか。(複数回答)

1. 他に魅力的な授業があるので履修しない
2. 興味がないので履修しない
3. その他 ()

Q14. つくば市内の企業へのインターンシップに参加することで単位認定される制度があったら参加したいですか。
(単一回答)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 参加したい (Q14-1 へ)2. 参加しない (Q14-2 へ) |
|---|

Q14-1. 参加したいと思った理由はなんですか。(複数回答)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. つくば市内の産業・企業に興味があるため2. 就職活動の参考になるため3. 近いので、他の地域におけるインターンシップよりも参加しやすいため4. 単位認定されるため5. その他 () |
|--|

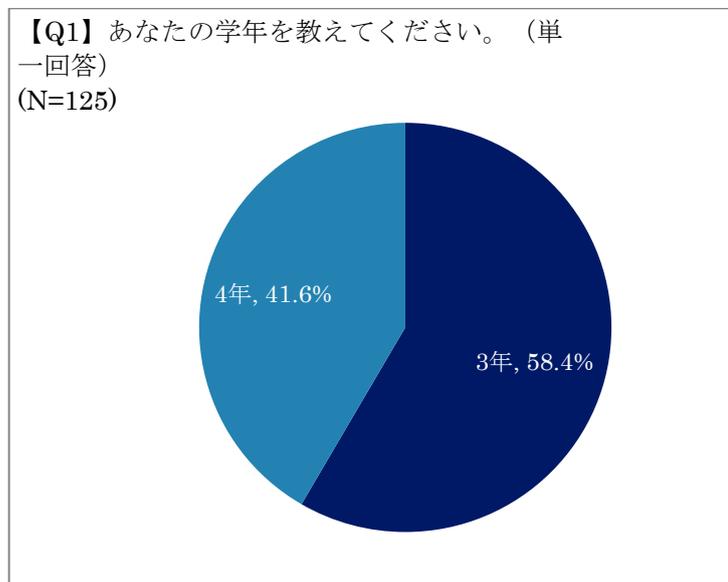
Q14-2. 参加しない理由はなんですか。(複数回答)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. つくば市以外の地域への就職を考えているため2. つくば市内の企業をよく知らないため3. つくば市内に希望する業種がないため4. つくば市内に希望する規模の企業がないため5. 授業や研究、部活動が多忙でありインターンシップに参加する余裕がないため6. 進学等を考えており就職を希望していないため7. その他 () |
|---|

ウ 回答者の属性

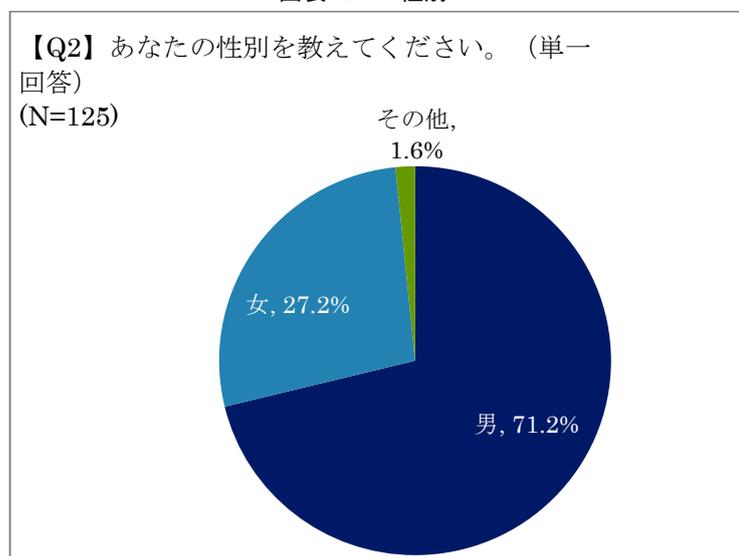
学年別については、「3年」が58.4%、「4年」が41.6%であった。

図表 232 学年



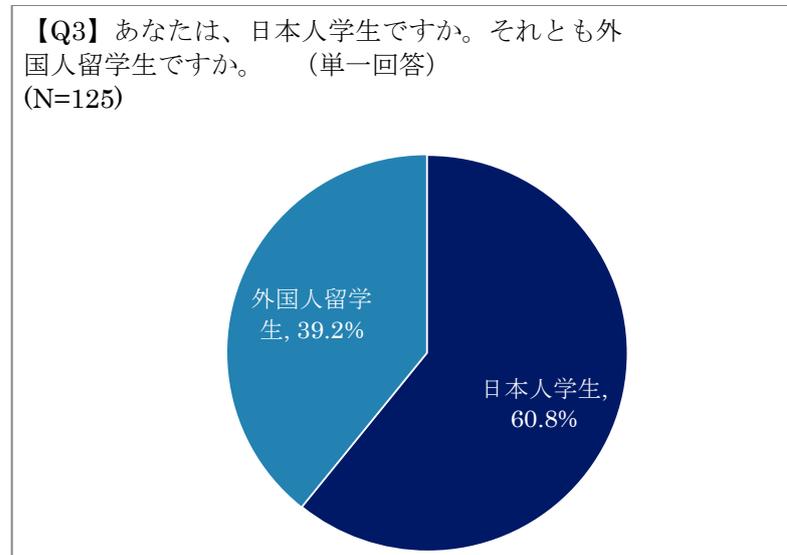
男女別では、「男」が71.2%、「女」が27.2%、「その他」が1.6%であった。

図表 233 性別



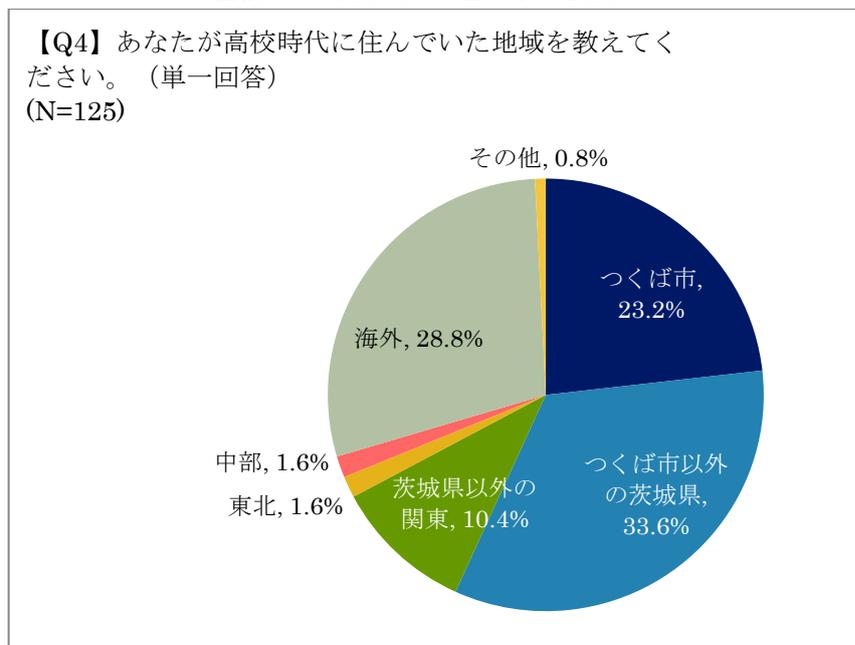
日本人学生と外国人留学生の割合は、「日本人学生」が60.8%、「外国人留学生」が39.2%であった。

図表 234 日本人学生と外国人留学生の割合



高校時代に住んでいた地域は、「つくば市以外の茨城県」(33.6%)が最も多く、次が「つくば市」(23.2%)であった。他の国内では、「茨城県以外の関東」(10.4%)が最も多かった。外国人留学生が多いことから、「海外」は28.8%であった。

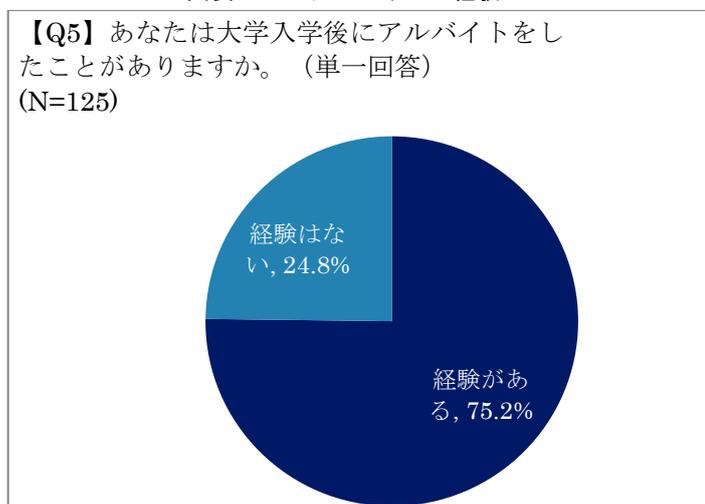
図表 235 高校時代に住んでいた地域



エ 調査の結果

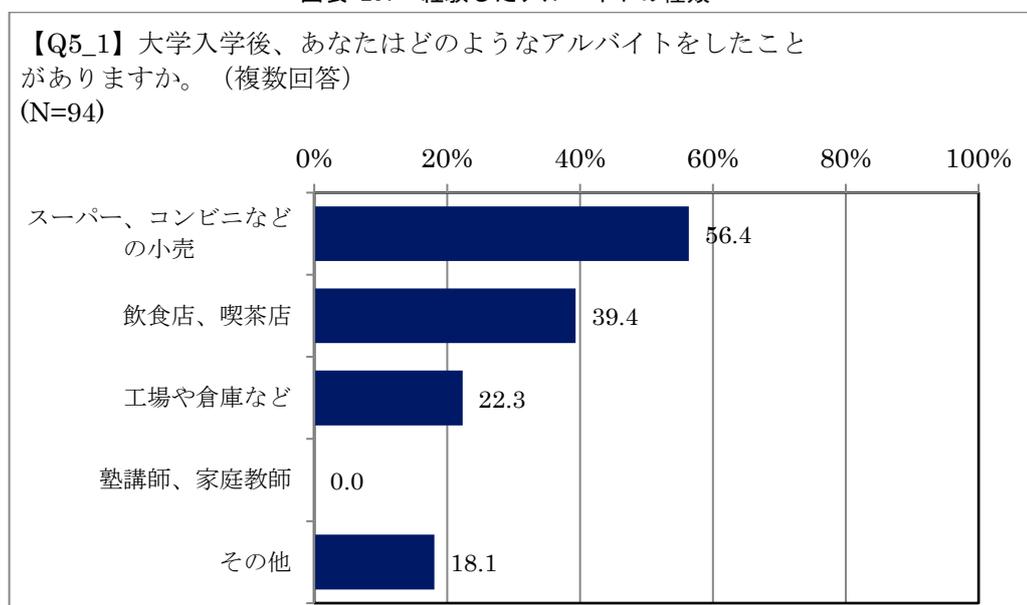
大学入学後にアルバイトの経験がある学生の割合は75.2%であった。

図表 236 アルバイトの経験



経験したことがあるアルバイトの種類は、「スーパー、コンビニなどの小売」(56.4%)が最も多かった。「飲食店、喫茶店」(39.4%)、「工場や倉庫など」(22.3%)が続いていた。

図表 237 経験したアルバイトの種類



学年別では、3年は「飲食店、喫茶店」(46.4%)が有意に多かった。

図表 238 経験したアルバイトの種類(学年別)(単位:%)

Q1 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	スーパー、コンビニなどの小売	飲食店、喫茶店	工場や倉庫など	塾講師、家庭教師	その他
全体	94	56.4	39.4	22.3	-	18.1
3年	56	55.4	46.4	23.2	-	12.5
4年	38	57.9	28.9	21.1	-	26.3

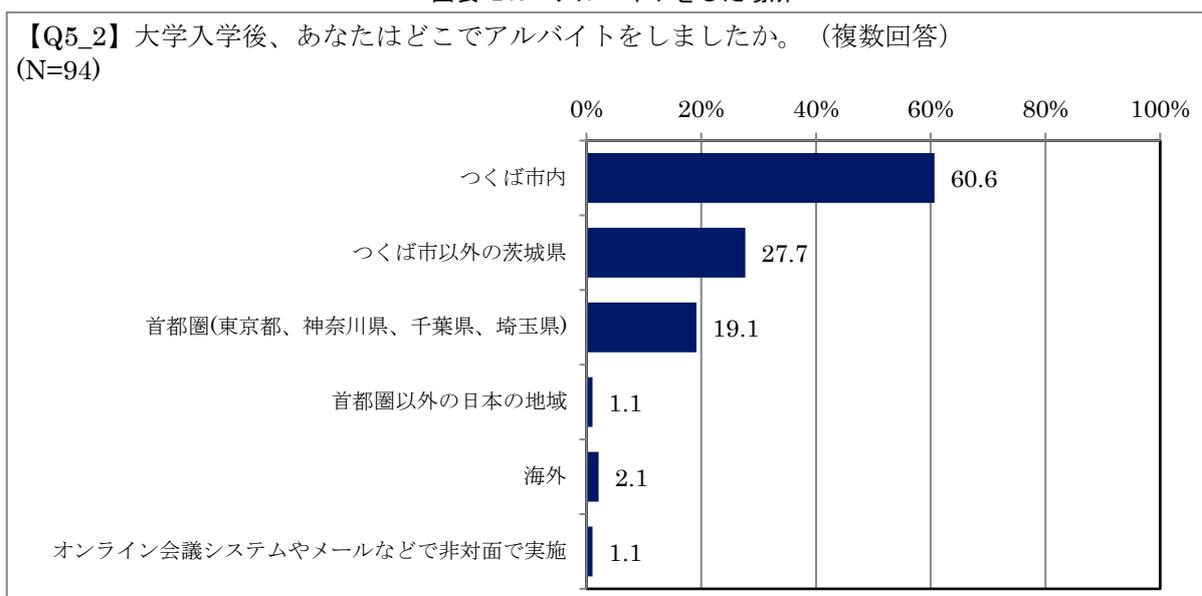
日本人・外国人別では、外国人留学生は「スーパー、コンビニなどの小売」(78.9%)が有意に多かった。

図表 239 経験したアルバイトの種類(日本人学生/外国人留学生)(単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	スーパー、コンビニなどの小売	飲食店、喫茶店	工場や倉庫など	塾講師、家庭教師	その他
全体	94	56.4	39.4	22.3	-	18.1
日本人学生	56	41.1	41.1	25.0	-	23.2
外国人留学生	38	78.9	36.8	18.4	-	10.5

アルバイトをした場所は、「つくば市内」(60.6%)が最も多かった。「つくば市外の茨城県」(27.7%)、「首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)」(19.1%)が続いていた。

図表 240 アルバイトをした場所



学年別では、3年は「つくば市内」(67.9%)が有意に多く、4年は「つくば市以外の茨城県」(39.5%)が有意に多かった。

図表 241 アルバイトをした場所(学年別)(単位:%)

Q1 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	つくば市内	つくば市以外の茨城県	首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)	首都圏以外の日本の地域	海外	オンライン会議システムやメールなどで非対面で実施
全体	94	60.6	27.7	19.1	1.1	2.1	1.1
3年	56	67.9	19.6	17.9	1.8	3.6	1.8
4年	38	50.0	39.5	21.1	-	-	-

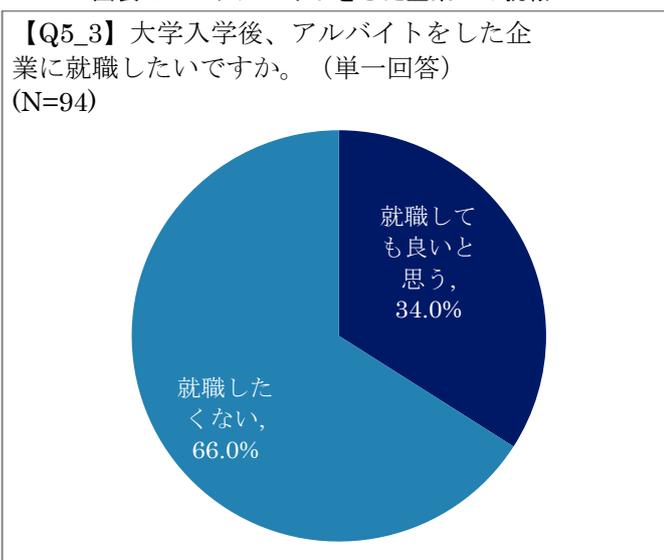
外国人留学生については、「つくば市内」(81.6%)が有意に多かった。

図表 242 アルバイトをした場所(日本人・外国人別)(単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	つくば市内	つくば市以外の茨城県	首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)	首都圏以外の日本の地域	海外	オンライン会議システムやメールなど、非対面で実施
全体	94	60.6	27.7	19.1	1.1	2.1	1.1
日本人学生	56	46.4	41.1	16.1	-	-	1.8
外国人留学生	38	81.6	7.9	23.7	2.6	5.3	-

大学入学後にアルバイトをした企業に「就職しても良いと思う」割合は34.0%であった。

図表 243 アルバイトをした企業への就職



学年別では、「就職しても良いと思う」は4年が50.0%であるのに対し、3年は23.2%であった。

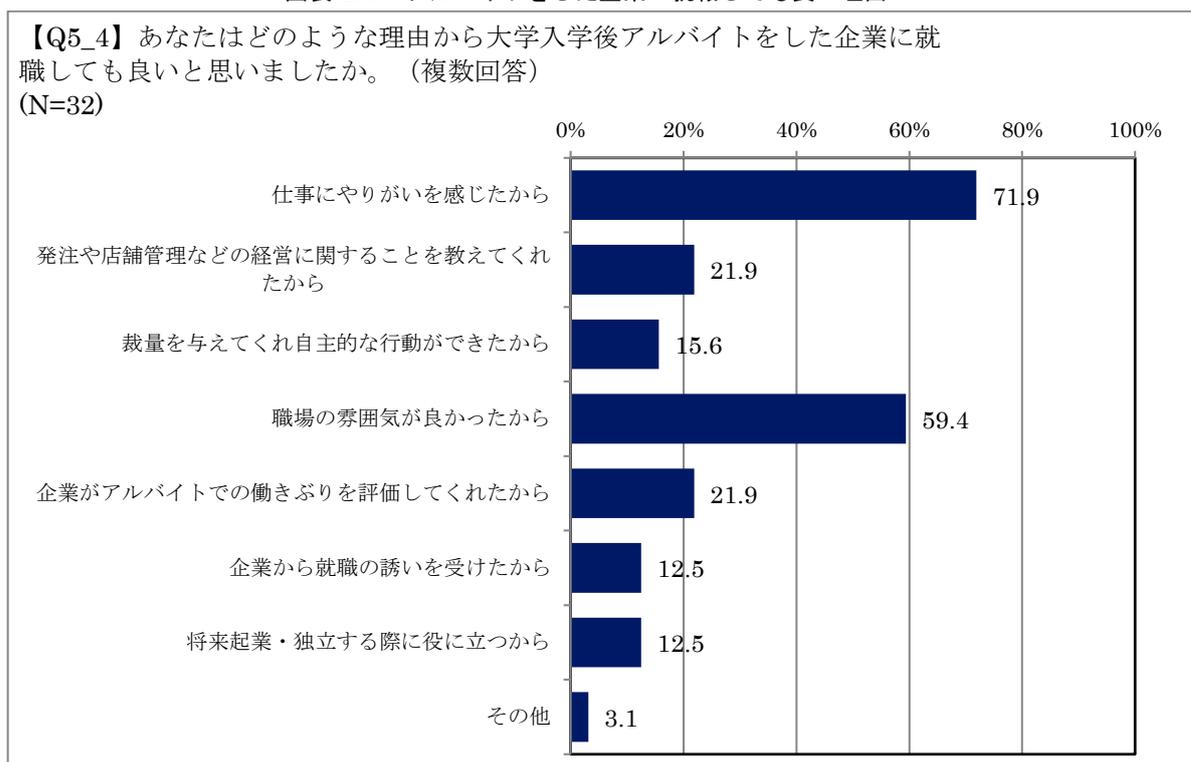
図表 244 アルバイトをした企業への就職(学年別) (単位:%)

Q1 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体 (N数)	就職しても良いと思う	就職したくない
全体	94	34.0	66.0
3年	56	23.2	76.8
4年	38	50.0	50.0

就職しても良いと思った理由については、「仕事にやりがいを感じたから」(71.9%)、「職場の雰囲気良かったから」(59.4%)が半数を超えていた。

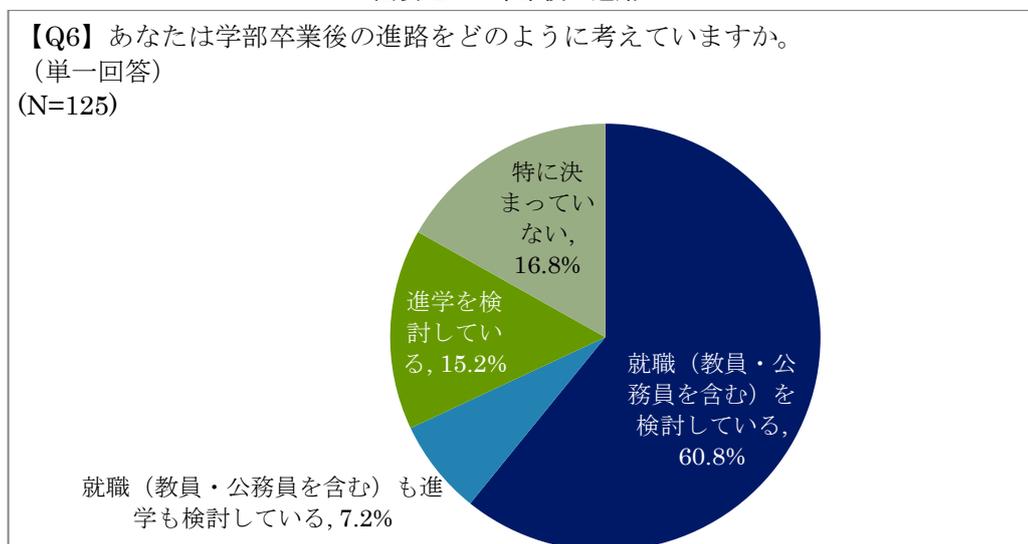
「発注や店舗管理などの経営に関することを教えてくれたから」(21.9%)、「企業がアルバイトでの働きぶりを評価してくれたから」(21.9%)も20%以上であった。

図表 245 アルバイトをした企業へ就職しても良い理由



学部卒業後の進路については、「就職（教員・公務員を含む）を検討している」（60.8%）が最も多かった。「特に決まっていない」（16.8%）であった。「進学を検討している」（15.2%）、「就職（教員・公務員を含む）も進学も検討している」（7.2%）が続いていた。

図表 246 卒業後の進路



日本人・外国人別では、外国人留学生については「就職（教員・公務員を含む）を検討している」（32.7%）が有意に少なかった。その一方で、「進学を検討している」（32.7%）、「特に決まっていない」（24.5%）が有意に多かった。

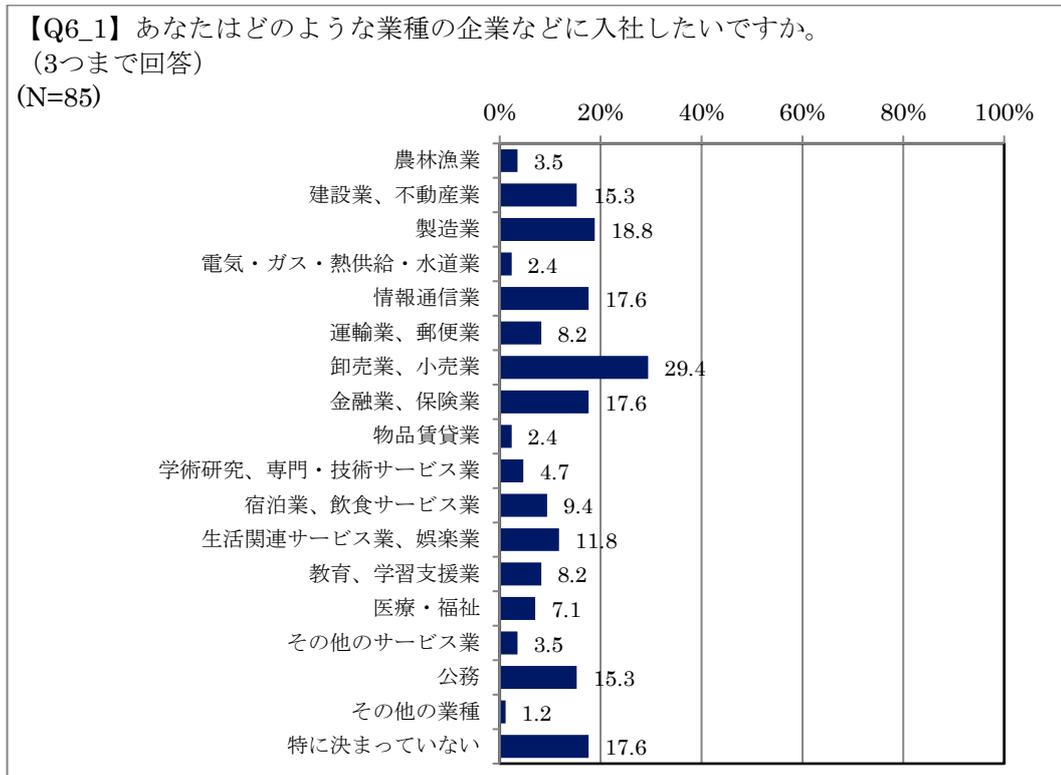
図表 247 卒業後の進路(日本人・外国人別) (単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。 (単一回答)	全体 (N数)	就職（教員・公務員を含む）を検討している	就職（教員・公務員を含む）も進学も検討している	進学を検討している	特に決まっていない
全体	125	60.8	7.2	15.2	16.8
日本人学生	76	78.9	5.3	3.9	11.8
外国人留学生	49	32.7	10.2	32.7	24.5

入社したい企業の業種については、「卸売業、小売業」(29.4%)が最も多く、「製造業」(18.8%)、「情報通信業」(17.6%)、「金融業、保険業」(17.6%)、「建設業、保険業」(15.3%)、「公務」(15.3%)が10%台後半で続いていた。

「特に決まっていない」は17.6%であった。

図表 248 入社したい企業の業種



学年別では、3年は「特に決まっていない」(27.7%)が有意に多かった。4年は「情報通信業」(28.3%)、「建設業」(21.1%)が有意に多かった。

図表 249 入社したい業種(学年別) (単位:%)

Q1 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体	農林漁業	建設業、不動産業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業、娯楽業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療・福祉	その他のサービス業	公務	その他の業種	特に決まっていない
全体	85	3.5	15.3	18.8	2.4	17.6	8.2	29.4	17.6	2.4	4.7	9.4	11.8	8.2	7.1	3.5	15.3	1.2	17.6
3年	47	2.1	10.6	14.9	2.1	10.6	8.5	29.8	17.0	2.1	-	10.6	12.8	10.6	4.3	4.3	14.9	-	27.7
4年	38	5.3	21.1	23.7	2.6	26.3	7.9	28.9	18.4	2.6	10.5	7.9	10.5	5.3	10.5	2.6	15.8	2.6	5.3

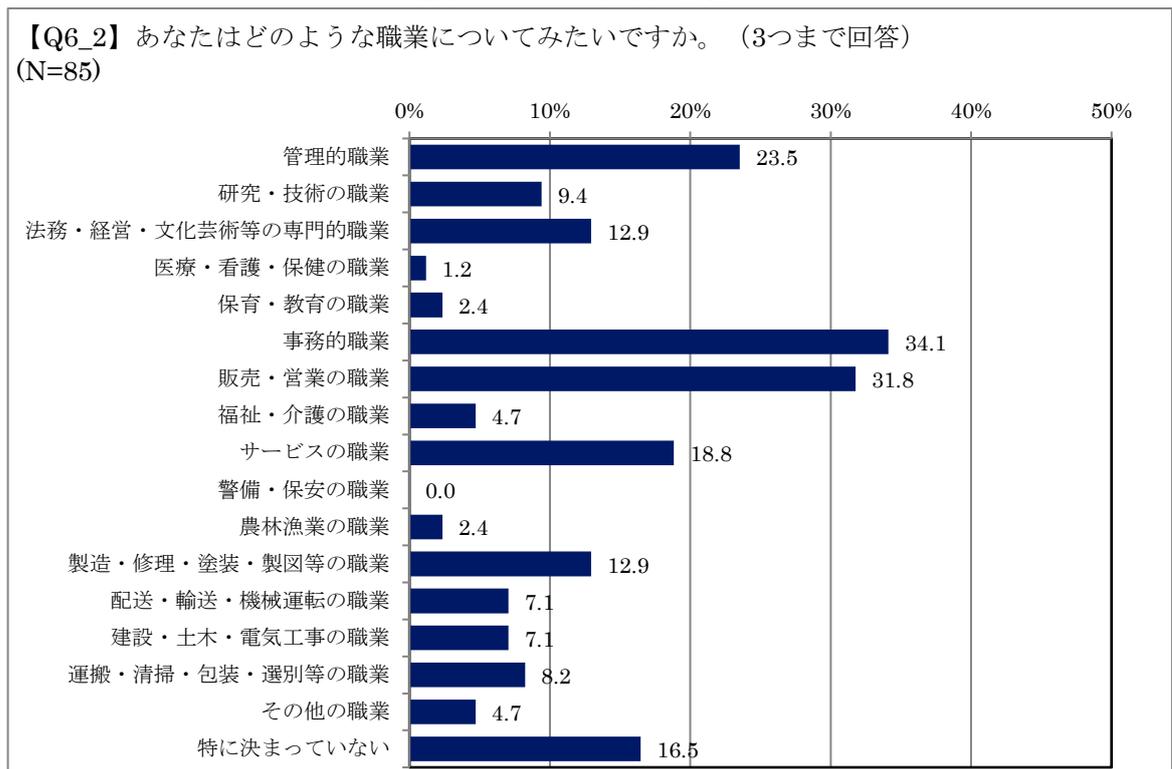
日本人・外国人別では、日本人学生は「公務」(20.3%)が有意に多かった。

図表 250 入社したい業種(日本人・外国人別) (単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	農林漁業	建設業、不動産業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療・福祉	その他のサービス業	公務	その他の業種	特に決まっていない
全体	85	3.5	15.3	18.8	2.4	17.6	8.2	29.4	17.6	2.4	4.7	9.4	11.8	8.2	7.1	3.5	15.3	1.2	17.6
日本人学生	64	3.1	14.1	20.3	3.1	12.5	7.8	31.3	15.6	1.6	4.7	6.3	9.4	4.7	9.4	1.6	20.3	1.6	20.3
外国人留学生	21	4.8	19.0	14.3	-	33.3	9.5	23.8	23.8	4.8	4.8	19.0	19.0	19.0	-	9.5	-	-	9.5

ついてみたい職種については、「事務的職業」(34.1%)、「販売・営業の職業」(31.8%)、「管理的職業」(23.5%)が20%以上であった。

図表 251 ついてみたい職種



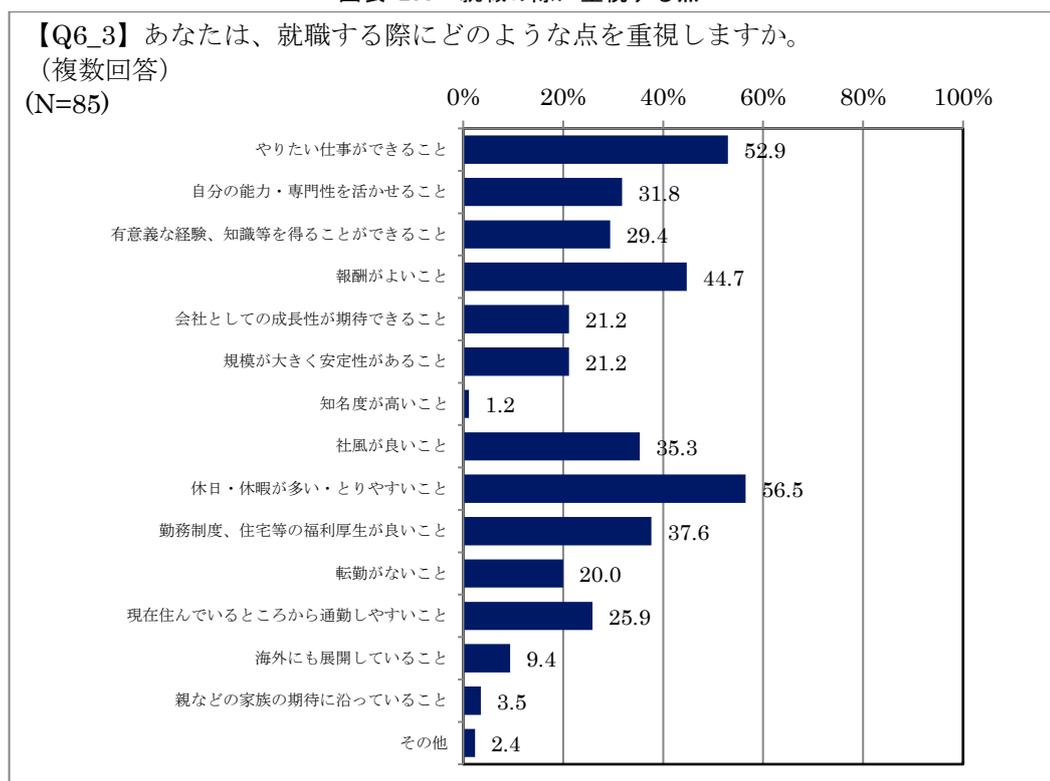
学年別では、4年は「事務的職業」(39.5%)、「販売・営業の職業」(36.8%)が有意に多かった。

図表 252 ついてみたい職種(学年別) (単位:%)

Q1 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	管理的職業	研究・技術の職業	法務・経営・文化芸術等の専門的職業	医療・看護・保健の職業	保育・教育の職業	事務的職業	販売・営業の職業	福祉・介護の職業	サービスの職業	警備・保安の職業	農林漁業の職業	製造・修理・塗装・製図等の職業	配送・輸送・機械運転の職業	建設・土木・電気工事の職業	運搬・清掃・包装・選別等の職業	その他職業	特に決まていない
全体	85	23.5	9.4	12.9	1.2	2.4	34.1	31.8	4.7	18.8	-	2.4	12.9	7.1	7.1	8.2	4.7	16.5
3年	47	23.4	8.5	17.0	2.1	2.1	29.8	27.7	2.1	17.0	-	-	14.9	4.3	6.4	10.6	6.4	19.1
4年	38	23.7	10.5	7.9	-	2.6	39.5	36.8	7.9	21.1	-	5.3	10.5	10.5	7.9	5.3	2.6	13.2

就職する際に重視する点については、「休日・休暇が多い・とりやすいこと」(56.5%)、「やりたい仕事ができること」(52.9%)が半数を超えていた。「報酬がよいこと」(44.7%)、「勤務制度、住宅等の福利厚生が良いこと」(37.6%)、「社風がよいこと」(35.3%)、「自分の能力・専門性を活かせること」(31.8%)が30%以上で続いていた。

図表 253 就職の際に重視する点



学年別では、4年は「自分の能力・専門性を活かせること」(39.5%)、「有意義な経験、知識等を得ることができること」(36.8%)が有意に多かった。

図表 254 就職の際に重視する点(学年別)(単位:%)

Q1 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	やりたい仕事ができること	自分の能力・専門性を活かせること	有意義な経験、知識等を得ることができること	報酬がよいこと	会社としての成長性が期待できること	規模が大きく安定性があること	知名度が高いこと	社風が良いこと	休日・休暇が多い・とりやすいこと	勤務制度、住宅等の福利厚生が良いこと	転動がないこと	現在住んでいるところから通勤しやすいこと	海外にも展開していること	親などの家族の期待に沿っていること	その他
全体	85	52.9	31.8	29.4	44.7	21.2	21.2	1.2	35.3	56.5	37.6	20.0	25.9	9.4	3.5	2.4
3年	47	51.1	25.5	21.3	44.7	17.0	19.1	-	29.8	57.4	36.2	17.0	27.7	14.9	2.1	4.3
4年	38	55.3	39.5	39.5	44.7	26.3	23.7	2.6	42.1	55.3	39.5	23.7	23.7	2.6	5.3	-

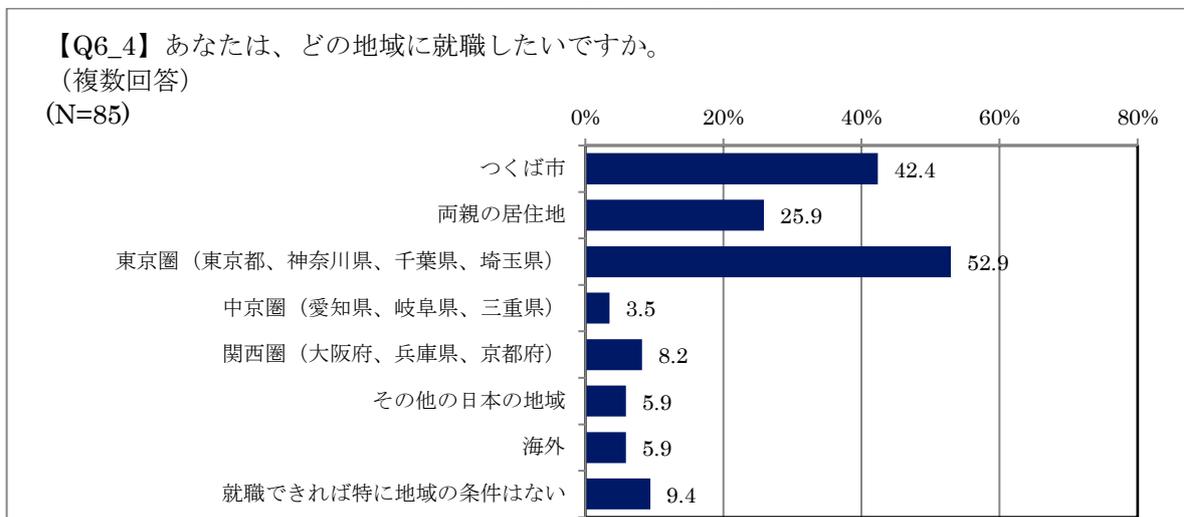
日本人・外国人別では、日本人学生は「休日・休暇が多い・とりやすいこと」(64.1%)が有意に多かった。また、「現在住んでいるところから通勤しやすいこと」(31.3%)が有意に多かった。

図表 255 就職の際に重視する点(日本人・外国人別)(単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	やりたい仕事ができること	自分の能力・専門性を活かせること	有意義な経験、知識等を得ることができること	報酬がよいこと	会社としての成長性が期待できること	規模が大きく安定性があること	知名度が高いこと	社風が良いこと	休日・休暇が多い・とりやすいこと	勤務制度、住宅等の福利厚生が良いこと	転動がないこと	現在住んでいるところから通勤しやすいこと	海外にも展開していること	親などの家族の期待に沿っていること	その他
全体	85	52.9	31.8	29.4	44.7	21.2	21.2	1.2	35.3	56.5	37.6	20.0	25.9	9.4	3.5	2.4
日本人学生	64	54.7	25.0	26.6	42.2	14.1	20.3	1.6	39.1	64.1	42.2	23.4	31.3	3.1	4.7	3.1
外国人留学生	21	47.6	52.4	38.1	52.4	42.9	23.8	-	23.8	33.3	23.8	9.5	9.5	28.6	-	-

就職したい地域については、「東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）」（52.9%）が最も多かった。次は「つくば市」（42.4%）で、両親の居住地」（25.9%）が続いていた。

図表 256 就職したい地域



学年別では、4年は「つくば市」（50.0%）が有意に多かった。

図表 257 就職したい地域（学年別）（単位：%）

Q1 あなたの学年を教えてください。（単一回答）	全体（N数）	つくば市	両親の居住地	東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）	中京圏（愛知県、岐阜県、三重県）	関西圏（大阪府、兵庫県、京都府）	その他の日本の地域	海外	就職できれば特に地域の条件はない
全体	85	42.4	25.9	52.9	3.5	8.2	5.9	5.9	9.4
3年	47	36.2	23.4	51.1	4.3	12.8	6.4	10.6	10.6
4年	38	50.0	28.9	55.3	2.6	2.6	5.3	-	7.9

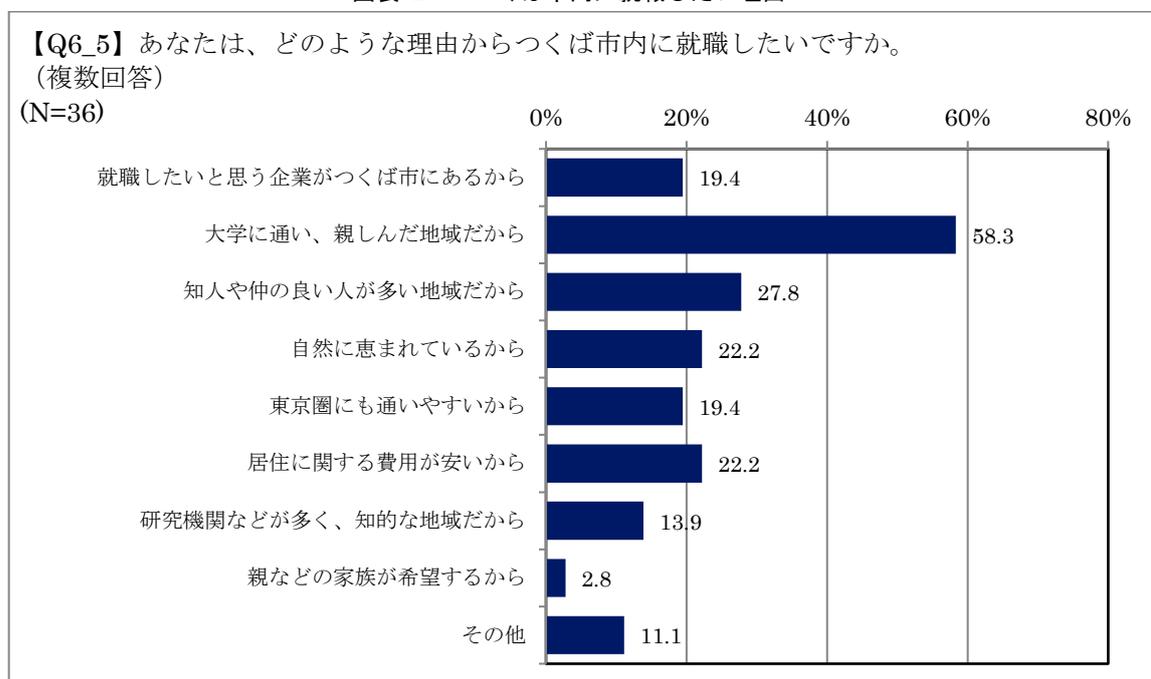
日本人・外国人別では、日本人学生は「東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）」（45.3%）が有意に少なかった。これに対し、外国人留学生はサンプルサイズが小さいが「東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）」が76.2%であった。

図表 258 就職したい地域(日本人・外国人別) (単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	つくば市	両親の居住地	東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)	中京圏(愛知県、岐阜県、三重県)	関西圏(大阪府、兵庫県、京都府)	その他の日本の地域	海外	就職できれば特に地域の条件はない
全体	85	42.4	25.9	52.9	3.5	8.2	5.9	5.9	9.4
日本人学生	64	43.8	29.7	45.3	3.1	4.7	6.3	1.6	12.5
外国人留学生	21	38.1	14.3	76.2	4.8	19.0	4.8	19.0	-

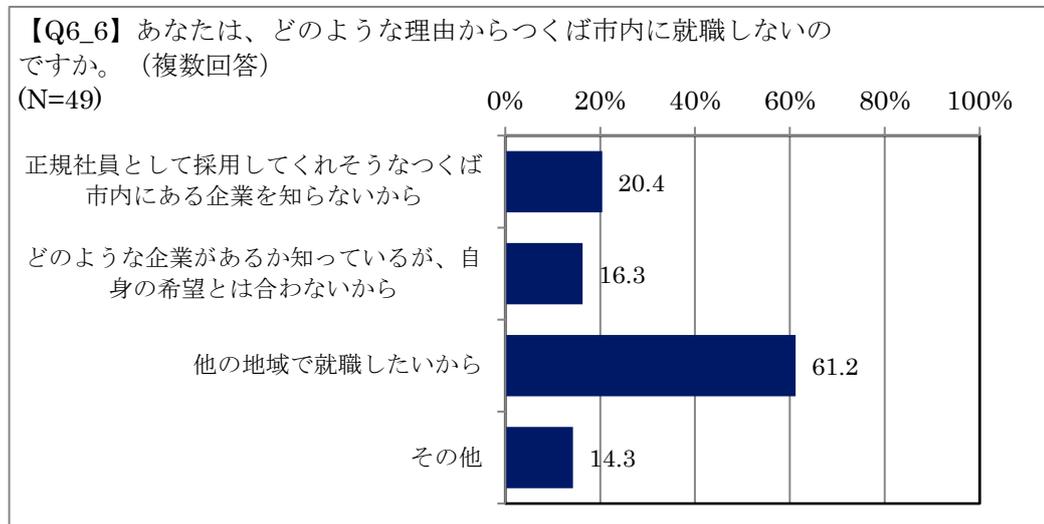
つくば市内に就職したい理由については、「大学に通い、親しんだ地域だから」(58.3%)が最も多かった。「知人や仲の良い人が多い地域だから」(27.8%)、「自然に恵まれているから」(22.2%)、「居住に関する費用が安いから」(22.2%)が20%台で続いていた。

図表 259 つくば市内に就職したい理由



つくば市内に就職しない理由については、「他の地域で就職したいから」(61.2%)が最も多かった。「正規社員として採用してくれそうなつくば市内にある企業を知らないから」(20.4%)、「どのような企業があるか知っているが、自身の希望とは合わないから」(16.3%)が続いていた。

図表 260 つくば市内に就職しない理由



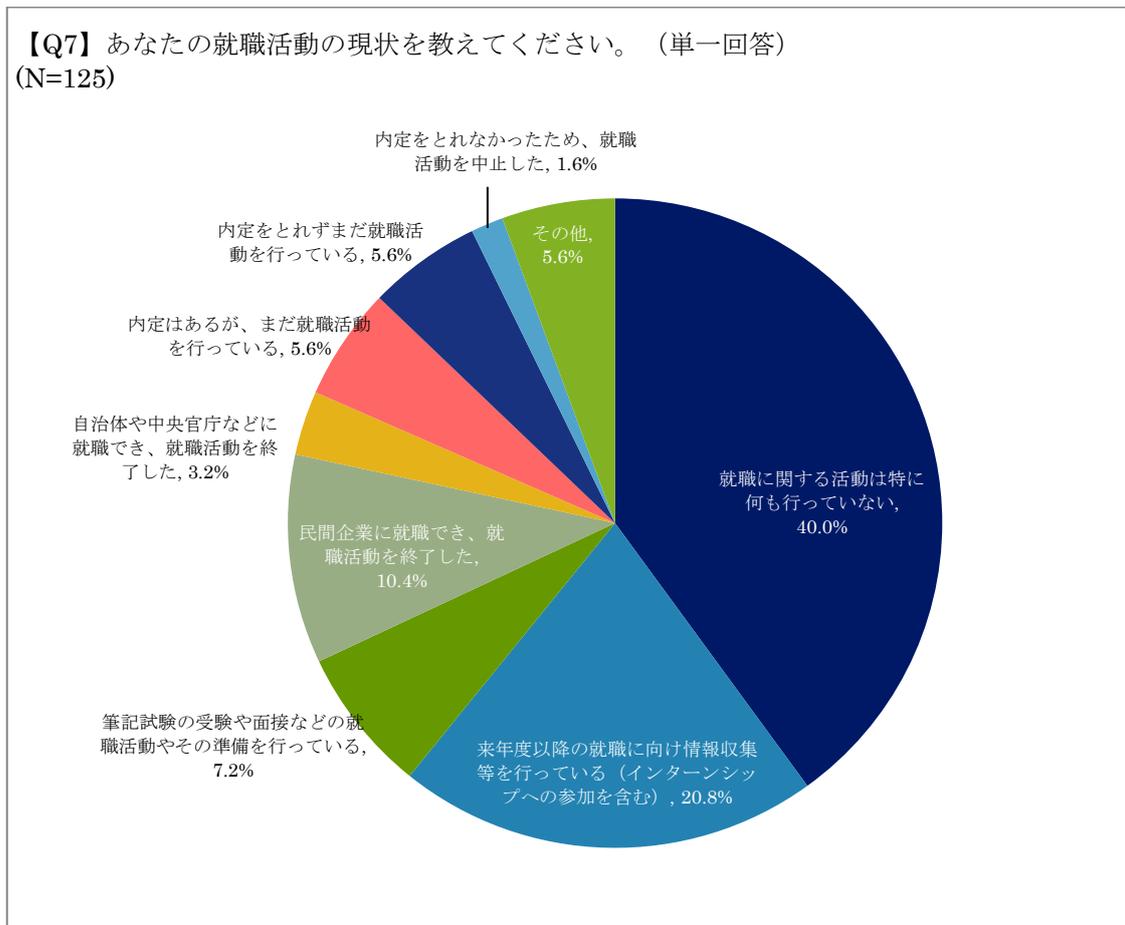
日本人・外国人別では、日本人学生は「どのような企業があるか知っているが、自身の希望とは合わないから」(22.2%)が20%台であった。

図表 261 つくば市内に就職したい理由(日本人・外国人別)(単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	正規社員として採用してくれそうなつくば市内にある企業を知らないから	どのような企業があるか知っているが、自身の希望とは合わないから	他の地域で就職したいから	その他
全体	49	20.4	16.3	61.2	14.3
日本人学生	36	22.2	22.2	50.0	19.4
外国人留学生	13	15.4	-	92.3	-

就職活動の現状についてたずねたところ、「就職に関する活動は特に何も行っていない」(40.0%)が最も多かった。次は、「来年度以降の就職に向け情報収集等を行っている(インターンシップへの参加を含む)」(20.8%)であった。さらに、「民間企業に就職でき、就職活動を終了した」(10.4%)が続いていた。

図表 262 就職活動の現状



学年別では、3年は「就職に関する活動は特に何も行ってない」(52.1%)、「来年度以降の就職に向け情報収集等を行っている(インターンシップへの参加を含む)」(34.2%)が有意に多かった。

4年は「民間企業に就職でき、就職活動を終了した」(25.0%)が有意に多かった。なお、「内定はあるが、まだ就職活動を行っている」(13.5%)、「内定をとれずまだ就職活動を行っている」(13.5%)はいずれも10%台であった。

図表 263 就職活動の現状(学年別)(単位:%)

Q1 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	就職に関する活動は特に何も行ってない	来年度以降の就職に向け情報収集等を行っている(インターンシップへの参加を含む)	筆記試験の受験や面接などの就職活動やその準備を行っている	民間企業に就職でき、就職活動を終了した	自治体や中央官庁などに就職でき、就職活動を終了した	内定はあるが、まだ就職活動を行っている	内定をとれずまだ就職活動を行っている	内定をとれなかったため、就職活動を中止した	その他
全体	125	40.0	20.8	7.2	10.4	3.2	5.6	5.6	1.6	5.6
3年	73	52.1	34.2	6.8	-	1.4	-	-	1.4	4.1
4年	52	23.1	1.9	7.7	25.0	5.8	13.5	13.5	1.9	7.7

日本人・外国人別では、外国人留学生は「就職に関する活動は特に何も行ってない」(51.0%)が有意に多かった。

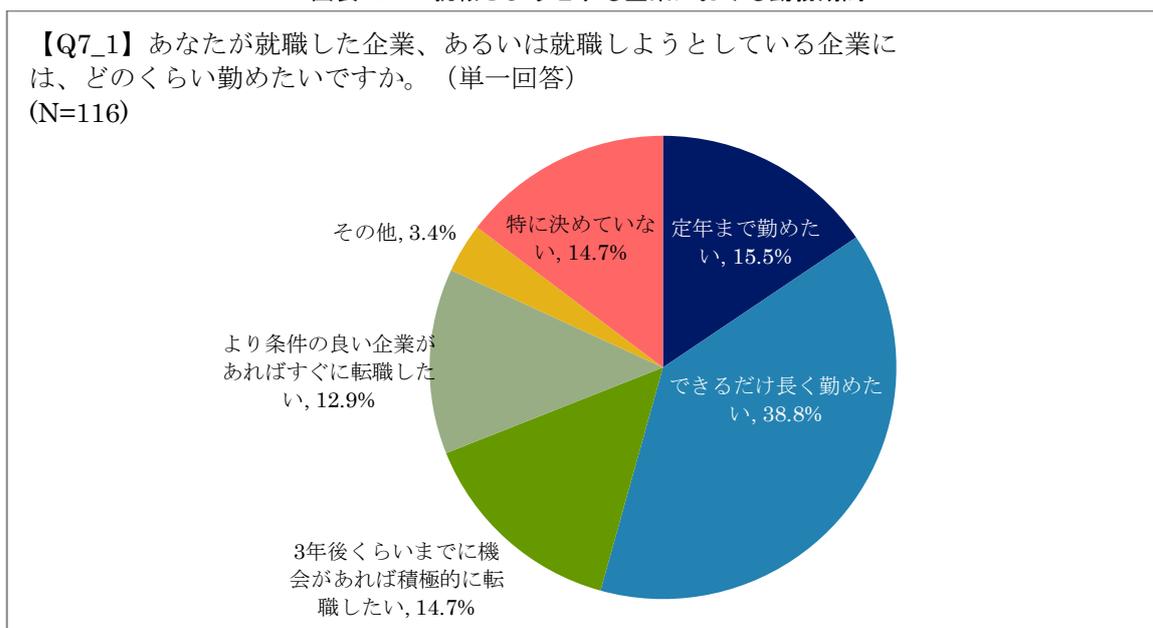
図表 264 就職活動の現状(日本人学生/外国人留学生)(単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	就職に関する活動は特に何も行ってない	来年度以降の就職に向け情報収集等を行っている(インターンシップへの参加を含む)	筆記試験の受験や面接などの就職活動やその準備を行っている	民間企業に就職でき、就職活動を終了した	自治体や中央官庁などに就職でき、就職活動を終了した	内定はあるが、まだ就職活動を行っている	内定をとれずまだ就職活動を行っている	内定をとれなかったため、就職活動を中止した	その他
全体	125	40.0	20.8	7.2	10.4	3.2	5.6	5.6	1.6	5.6
日本人学生	76	32.9	23.7	5.3	15.8	2.6	5.3	9.2	1.3	3.9
外国人留学生	49	51.0	16.3	10.2	2.0	4.1	6.1	-	2.0	8.2

就職したい企業においてどれくらい勤めたいかについては、「できるだけ長く勤めたい」(38.8%)が最も多く、次に「定年まで勤めたい」(15.5%)であり、半数以上が長く務めたいという希望を持っている。

これに対し、「3年後くらいまでに機会があれば積極的に転職したい」(14.7%)、「特に決めていない」(14.7%)、「より条件の良い企業があればすぐに転職したい」(12.9%)が10%台で続いていた。

図表 265 就職しようとする企業における勤務期間



学年別では、4年は「できるだけ長く勤めたい」(46.8%)が有意に多かった。

図表 266 就職しようとする企業における勤務期間(学年別)(単位:%)

Q1 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体 (N数)	定年まで勤めたい	できるだけ長く勤めたい	3年後くらいまでに機会があれば積極的に転職したい	より条件の良い企業があればすぐに転職したい	その他	特に決めていない
全体	116	15.5	38.8	14.7	12.9	3.4	14.7
3年	69	14.5	33.3	15.9	17.4	2.9	15.9
4年	47	17.0	46.8	12.8	6.4	4.3	12.8

日本人・外国人別では、外国人留学生は「できるだけ長く勤めたい」(31.3%)が有意に少なかった。また、「特に決めていない」(22.7%)は有意に多かった。

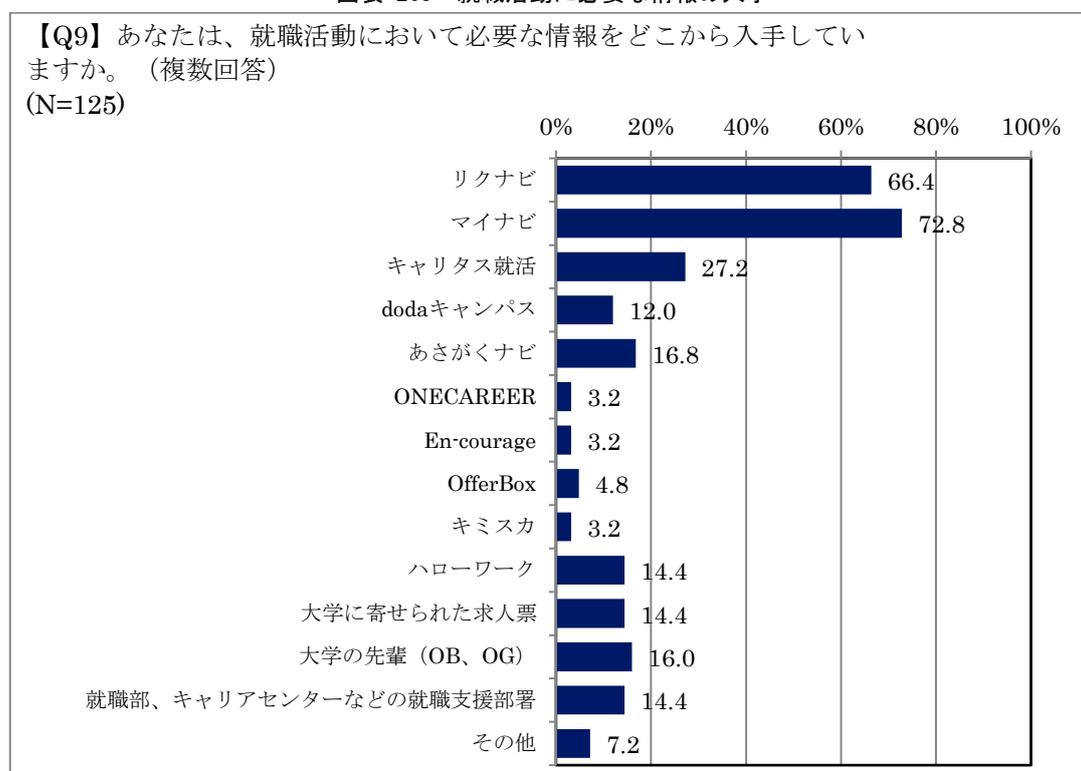
図表 267 就職しようとする企業における勤務期間(日本人・外国人別) (単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	定年まで勤めたい	できるだけ長く勤めたい	3年後くらいまでに機会があれば積極的に転職したい	より条件の良い企業があればすぐに転職したい	その他	特に決めていない
全体	116	15.5	38.8	14.7	12.9	3.4	14.7
日本人学生	72	18.1	43.1	12.5	11.1	5.6	9.7
外国人留学生	44	11.4	31.8	18.2	15.9	-	22.7

必要な情報の入手先としては、就活サイトの「マイナビ」(72.8%)、「リクナビ」(66.4%)が半数を超えている。さらに、就活サイトの「キャリアタス就活」(27.2%)、「あさがくナビ」(16.8%)が続いていた。

「大学の先輩(OB、OG)」(16.0%)のコネクションを活用している割合は10%台であった。

図表 268 就職活動に必要な情報の入手



学年別では、3年は「あさがくナビ」(24.7%)が有意に多かった。

図表 269 就職活動に必要な情報の入手(学年別) (単位:%)

Q1 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	リクナビ	マイナビ	キャリアタス就活	dodaキャンパス	あさがくナビ	ONE CAREER	En-courage	OfferBox	キミスカ	ハローワーク	大学に寄せられた求人票	大学の先輩(OB、OG)	就職部、キャリアセンターなどの就職支援部署	その他
全体	125	66.4	72.8	27.2	12.0	16.8	3.2	3.2	4.8	3.2	14.4	14.4	16.0	14.4	7.2
3年	73	69.9	69.9	28.8	15.1	24.7	5.5	5.5	5.5	4.1	11.0	15.1	19.2	16.4	4.1
4年	52	61.5	76.9	25.0	7.7	5.8	-	-	3.8	1.9	19.2	13.5	11.5	11.5	11.5

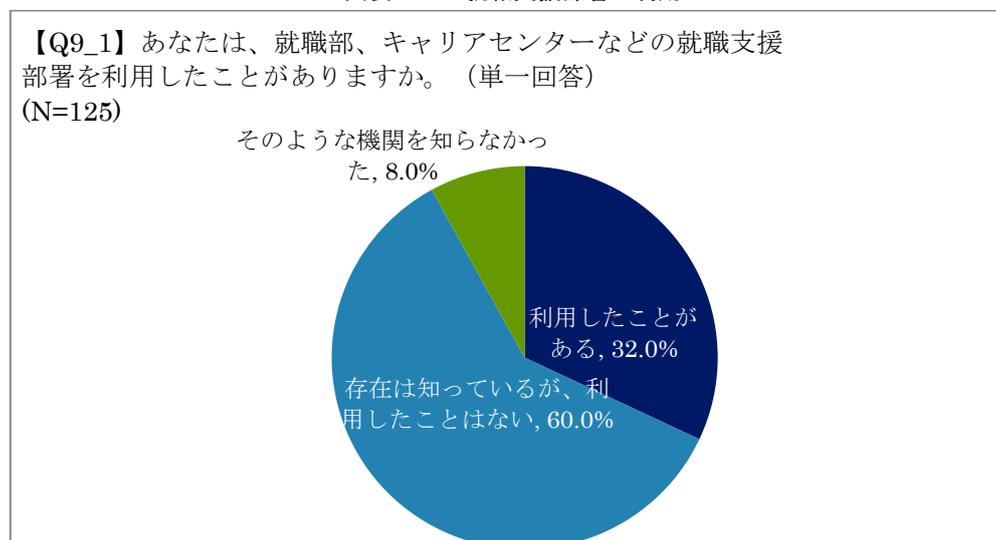
日本人・外国人別では、外国人留学生は「大学の先輩(OB、OG)」(38.8%)、「就職部、キャリアセンターなどの就職支援部署」(24.5%)、「大学に寄せられた求人票」(20.4%)の大学関連の情報源が有意に多かった。

図表 270 就職活動に必要な情報の入手(日本人・外国人別) (単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	リクナビ	マイナビ	キャリアタス就活	Dodaキャンパス	あさがくナビ	ONE CAREER	En-courage	OfferBox	キミスカ	ハローワーク	大学に寄せられた求人票	大学の先輩(OB、OG)	就職部、キャリアセンターなどの就職支援部署	その他
全体	125	66.4	72.8	27.2	12.0	16.8	3.2	3.2	4.8	3.2	14.4	14.4	16.0	14.4	7.2
日本人学生	76	75.0	80.3	34.2	13.2	18.4	-	1.3	1.3	1.3	11.8	10.5	1.3	7.9	9.2
外国人留学生	49	53.1	61.2	16.3	10.2	14.3	8.2	6.1	10.2	6.1	18.4	20.4	38.8	24.5	4.1

就職部、キャリアセンターなどの就職支援部署を「利用したことがある」は32.0%であった。「存在は知っているが、利用したことはない」は60.0%であった。

図表 271 就職支援部署の利用



学年別では、4年は「利用したことがある」(42.3%)が有意に多かった。

図表 272 就職支援部署の利用(学年別) (単位:%)

Q1 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	利用したことがある	存在は知っているが、利用したことはない	そのような機関を知らなかった
全体	125	32.0	60.0	8.0
3年	73	24.7	65.8	9.6
4年	52	42.3	51.9	5.8

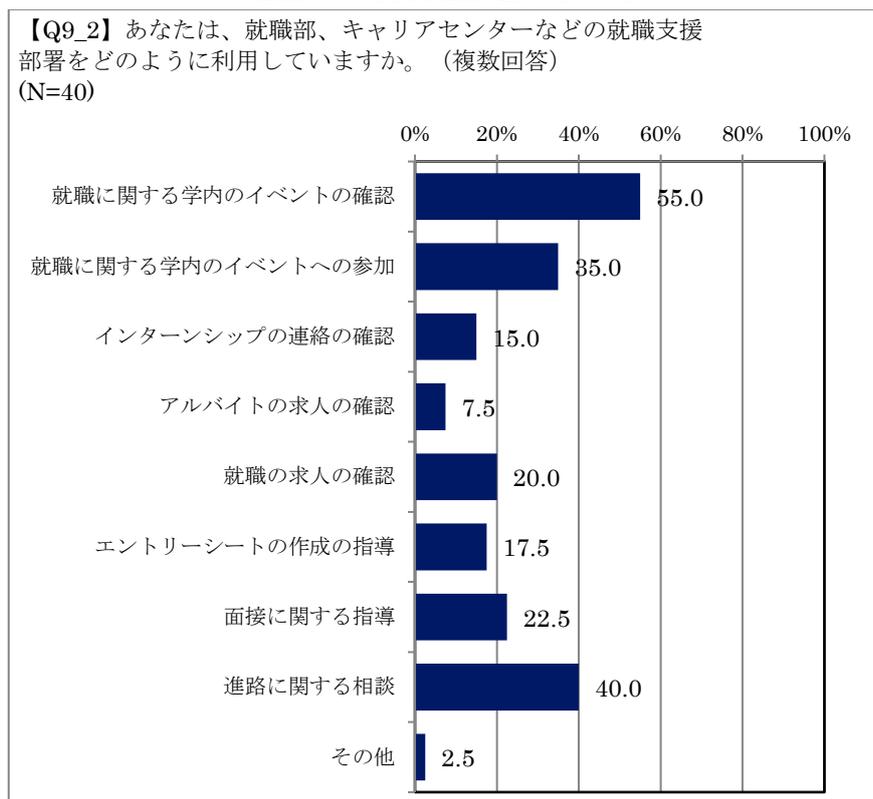
日本人・外国人別では、外国人留学生は「存在は知っているが、利用したことはない」(65.3%)が有意に多かった。

図表 273 就職支援部署の利用(日本人・外国人別) (単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	利用したことがある	存在は知っているが、利用したことはない	そのような機関を知らなかった
全体	125	32.0	60.0	8.0
日本人学生	76	38.2	56.6	5.3
外国人留学生	49	22.4	65.3	12.2

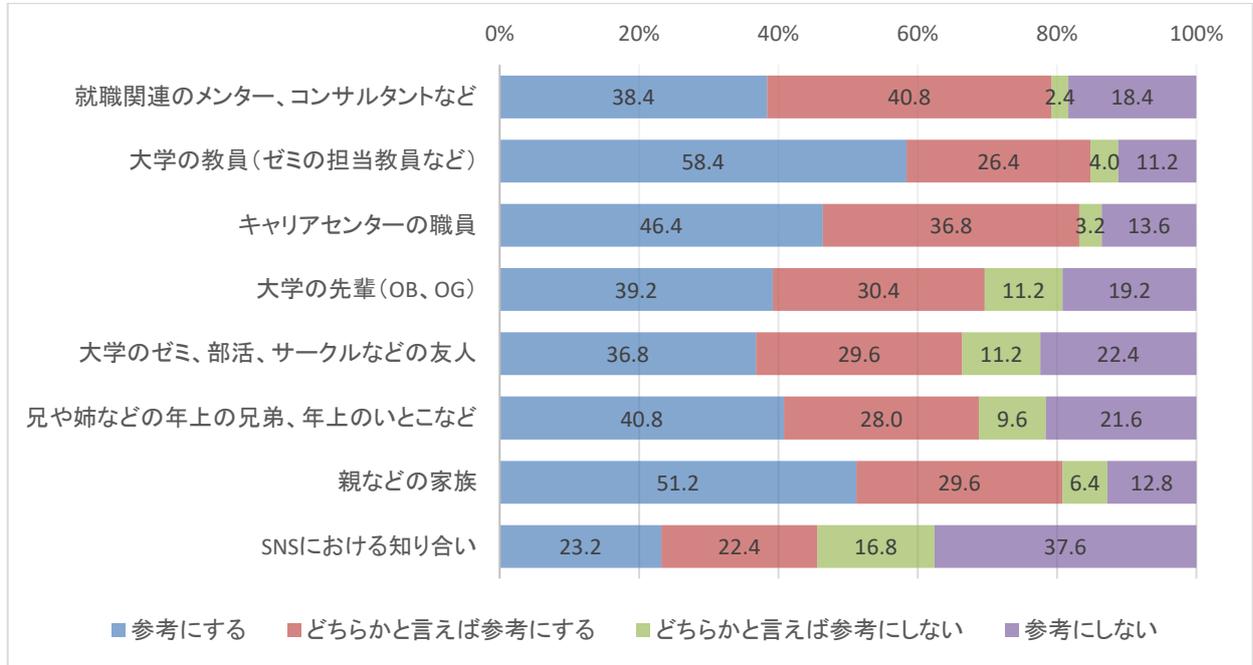
就職部、キャリアセンターなどの支援部署の利用については、「就職に関する学内のイベントの確認」(55.0%)が最も多かった。「進路に関する相談」(40.0%)、「就職に関する学内のイベントへの参加」(35.0%)が続いていた。

図表 274 就職支援部署の利用内容



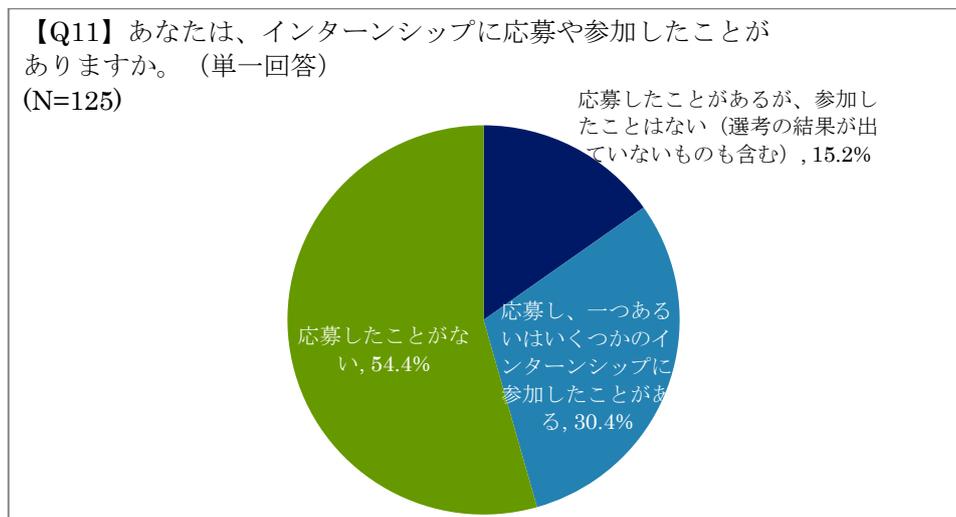
就職活動において参考にする人については、「大学の教員（ゼミの担当教員など）」（58.4%）、「親などの家族」（51.2%）が半数を超えていた。「キャリアセンターの職員」（46.4%）、「兄や姉などの年上の兄弟、年上のいとこなど」（40.8%）が続いていた。

図表 275 就職活動において意見を参考にする人(単位:%)



インターンシップの応募・参加の状況については、「応募し、一つあるいはいくつかのインターンシップに参加したことがある」が30.4%、「応募したことがあるが、参加したことはない（選考の結果が出ていないものも含む）」が15.2%であった。一方で、「応募したことがない」が54.4%であった。

図表 276 インターンシップへの応募・参加



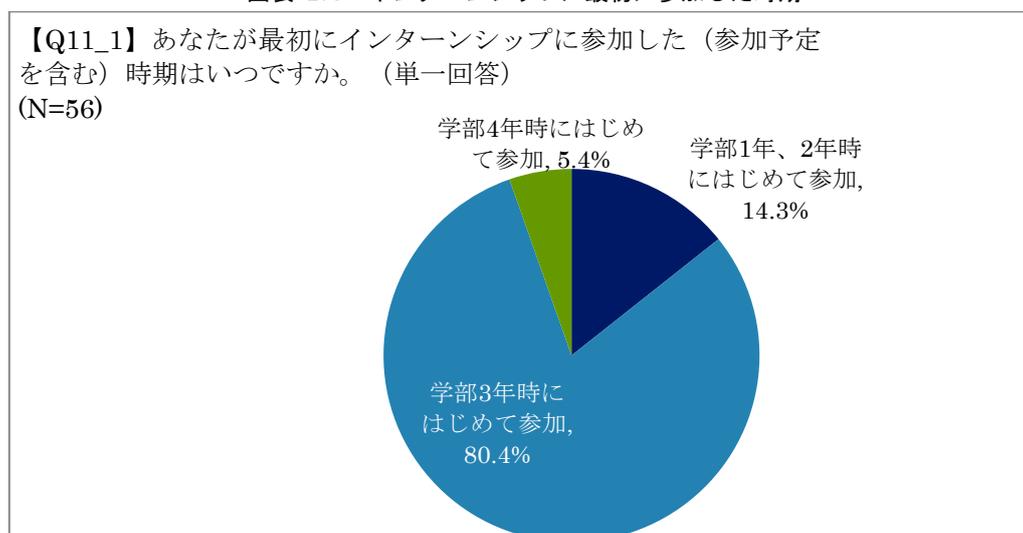
日本人・外国人別では、日本人学生は「応募し、一つあるいはいくつかのインターンシップに参加したことがある」(43.4%)が有意に多かった。これに対し、外国人留学生は「応募したことがない」(73.5%)が有意に多かった。

図表 277 インターンシップへの応募・参加(日本人・外国人別) (単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体 (N数)	応募したことがあるが、参加したことはない(選考の結果が出ていないものも含む)	応募し、一つあるいはいくつかのインターンシップに参加したことがある	応募したことがない
全体	125	15.2	30.4	54.4
日本人学生	76	14.5	43.4	42.1
外国人留学生	49	16.3	10.2	73.5

インターンシップに最初に参加した時期については、「学部3年時にはじめて参加」(80.4%)が最も多かった。「学部1年、2年時にはじめて参加」(14.3%)、「学部4年時にはじめて参加」(5.4%)が続いていた。

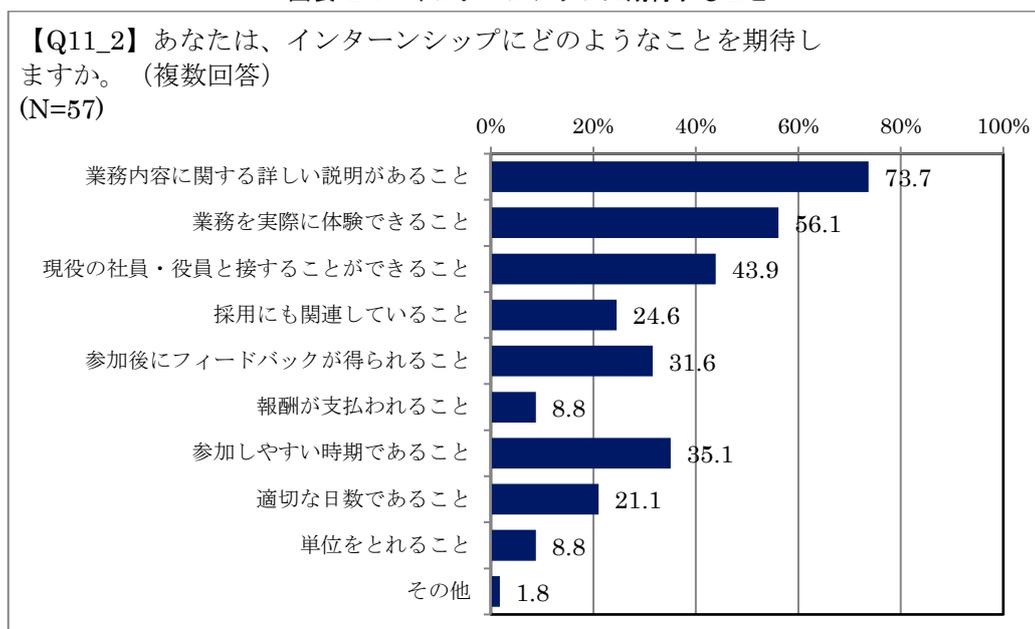
図表 278 インターンシップに最初に参加した時期



インターンシップに期待することについては、「業務内容に関する詳しい説明があること」(73.7%)が最も多かった。「業務を実際に体験できること」(56.1%)も半数を超えていた。

さらに、「現役の社員・役員と接することができること」(43.9%)、「参加しやすい時期であること」(35.1%)、「参加後にフィードバックが得られること」(31.6%)が30%以上であった。

図表 279 インターンシップに期待すること



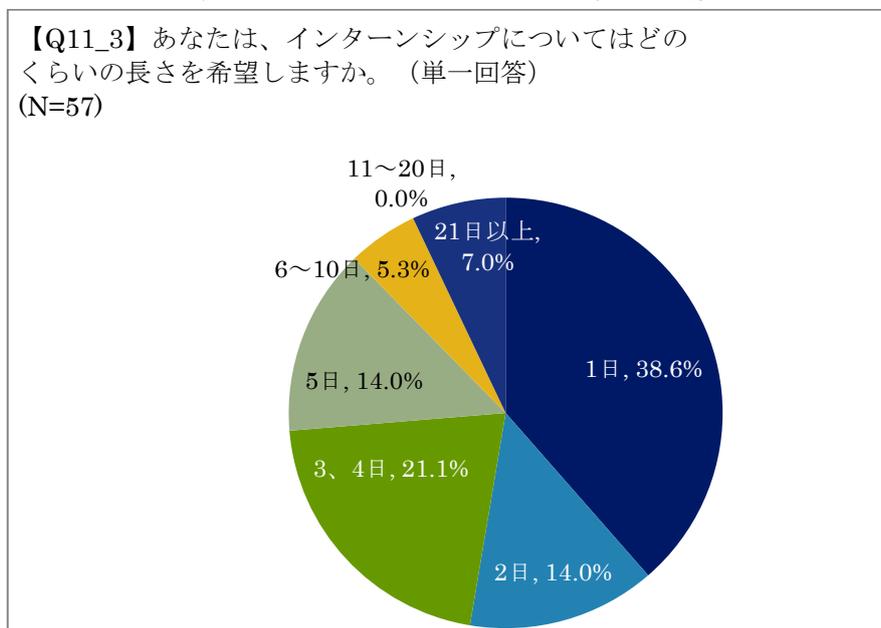
日本人・外国人別では、日本人学生は「業務を実際に体験できること」(61.4%)「現役の社員・役員と接することができること」(50.0%)が有意に多かった。

図表 280 インターンシップに期待すること(日本人・外国人別) (単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体 (N数)	業務内容に関する詳しい説明があること	業務を実際に体験できること	現役の社員・役員と接することができること	採用にも関連していること	参加後にフィードバックが得られること	報酬が支払われること	参加しやすい時期であること	適切な日数であること	単位をとれること	その他
全体	57	73.7	56.1	43.9	24.6	31.6	8.8	35.1	21.1	8.8	1.8
日本人学生	44	72.7	61.4	50.0	29.5	36.4	4.5	43.2	27.3	11.4	2.3
外国人留学生	13	76.9	38.5	23.1	7.7	15.4	23.1	7.7	-	-	-

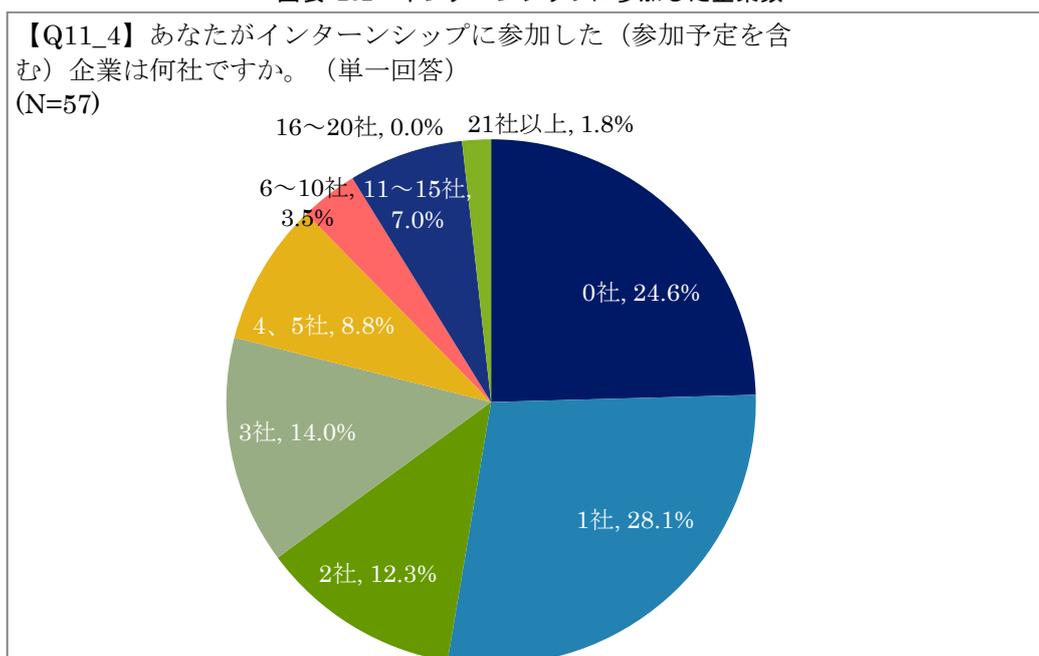
希望するインターンシップの期間については、「1日」(38.6%)が最も多かった。「3日、4日」(21.1%)、「2日」(14.0%)、「5日」(14.0%)が続いていた。

図表 281 インターンシップについて希望する期間



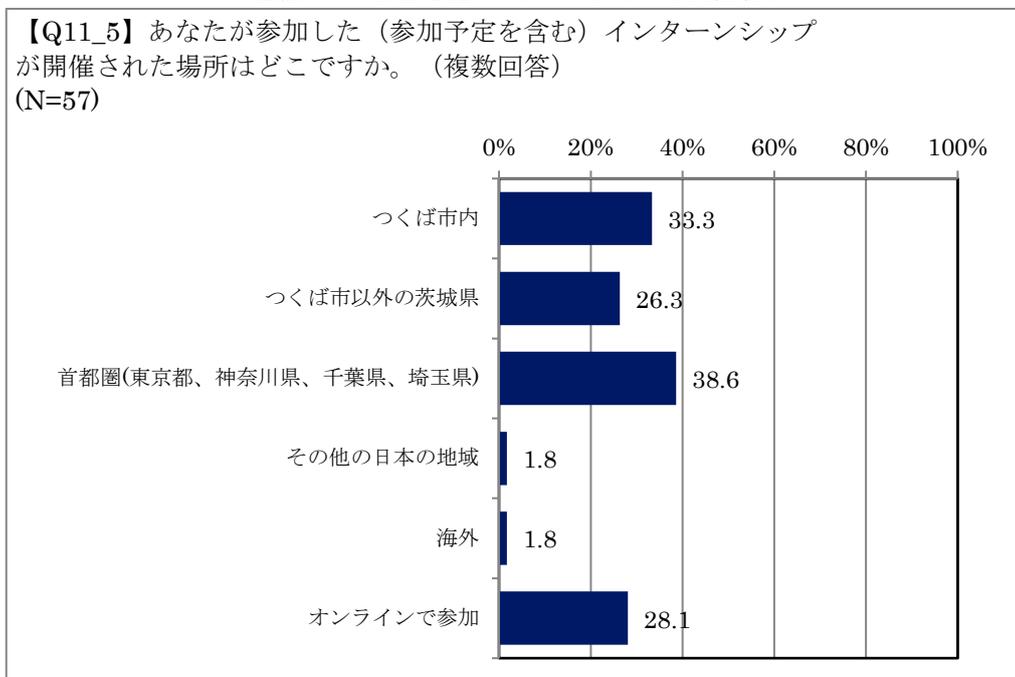
インターンシップに参加した企業数については、「1社」(28.1%)、「0社」(24.6%)が20%以上であった。「3社」(14.0%)、「2社」(12.3%)が10%台で続いていた。

図表 282 インターンシップに参加した企業数



参加したインターンシップの開催された場所については、「首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)」(38.6%)、「つくば市内」(33.3%)が30%以上であった。「オンラインで参加」(28.1%)、「つくば市以外の茨城県」(26.3%)が20%台で続いていた。

図表 283 参加したインターンシップの開催場所



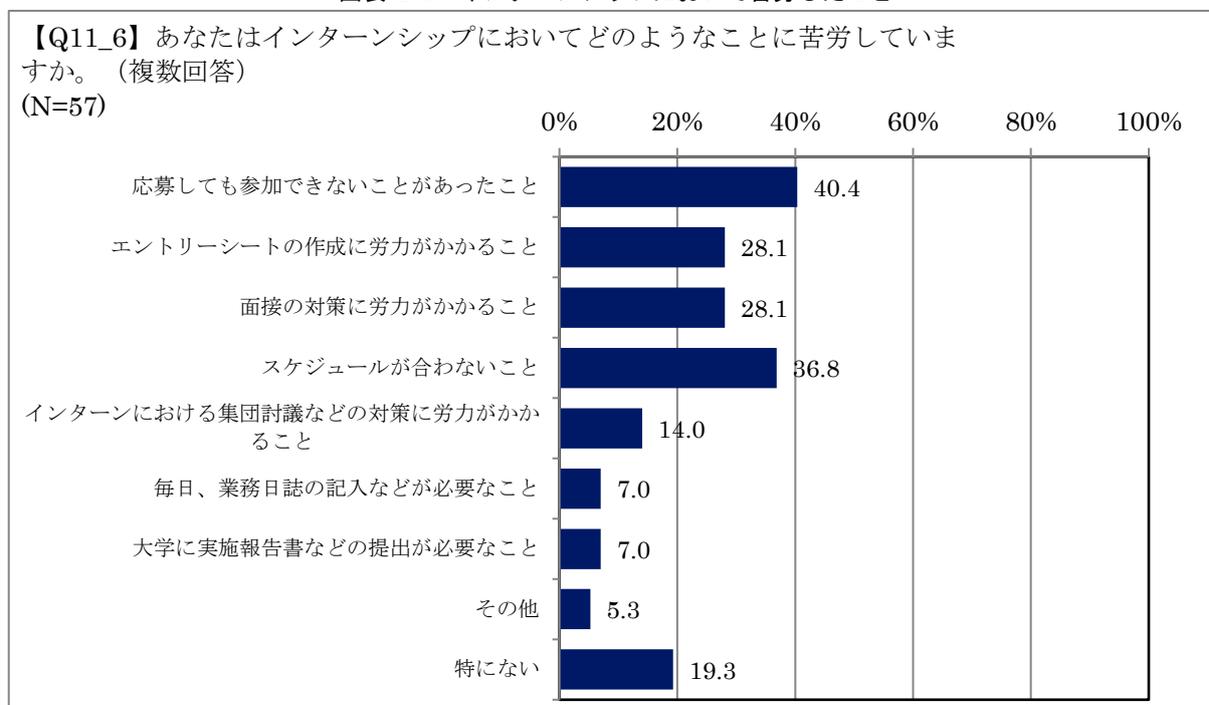
日本人学生では、「オンラインで参加」(36.4%)が有意に多かった。

図表 284 参加したインターンシップの開催場所(日本人学生・外国人留学生別)(単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	つくば市内	つくば市以外の茨城県	首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)	その他の日本の地域	海外	オンラインで参加
全体	57	33.3	26.3	38.6	1.8	1.8	28.1
日本人学生	44	34.1	29.5	31.8	-	-	36.4
外国人留学生	13	30.8	15.4	61.5	7.7	7.7	-

インターンシップにおいて苦勞したことについては、「応募しても参加できないことがあったこと」(40.4%)、「スケジュールが合わないこと」(36.8%)が30%以上であった。「エントリーシートの作成に労力がかかること」(28.1%)、「面接の対策に労力がかかること」(28.1%)が続いていた。

図表 285 インターンシップにおいて苦勞したこと



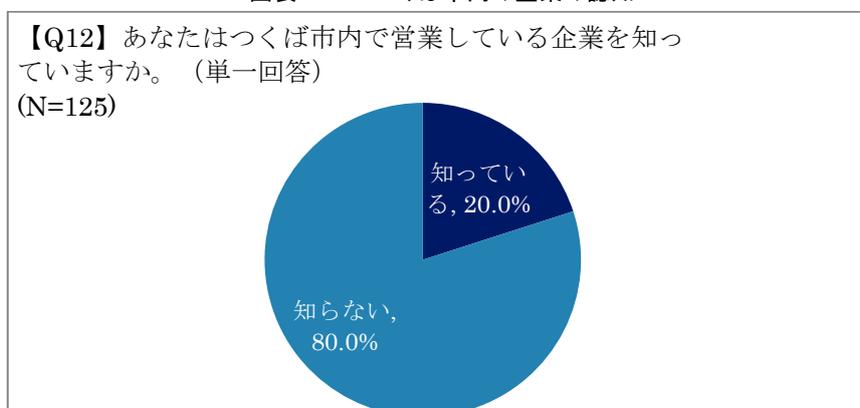
日本人・外国人別では、日本人学生は「スケジュールが合わないこと」(45.5%)、「エントリーシートの作成に労力がかかること」(34.1%)が有意に多かった。

図表 286 インターンシップにおいて苦勞したこと(日本人・外国人別)(単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体 (N数)	応募しても参加できないことがあったこと	エントリーシートの作成に労力がかかること	面接の対策に労力がかかること	スケジュールが合わないこと	インターンにおける集団討議などの対策に労力がかかること	毎日、業務日誌の記入などが必要なこと	大学に実施報告書などの提出が必要なこと	その他	特になし
全体	57	40.4	28.1	28.1	36.8	14.0	7.0	7.0	5.3	19.3
日本人学生	44	40.9	34.1	27.3	45.5	18.2	6.8	9.1	4.5	13.6
外国人留学生	13	38.5	7.7	30.8	7.7	-	7.7	-	7.7	38.5

つくば市内の企業について「知っている」割合は 20.0%である。なお、市内本店の事業者を記載した割合は 4.8%であった。

図表 287 つくば市内の企業の認知



学年別では、3年は「知っている」が 17.8%で、知っている市内企業として市内本店の事業者を記載した割合は 5.5%であった。4年は「知っている」が 23.1%であるが、知っている市内企業として市内本店の事業者を記載した割合は 3.8%であった。

図表 288 つくば市内の企業の認知(学年別) (単位:%)

Q1 あなたの学年を教えてください。（単一回答）	全体 (N数)	知っている		知らない
			市内本店の事業者を記載した割合	
全体	125	20.0	4.8	80.0
3年	73	17.8	5.5	82.2
4年	52	23.1	3.8	76.9

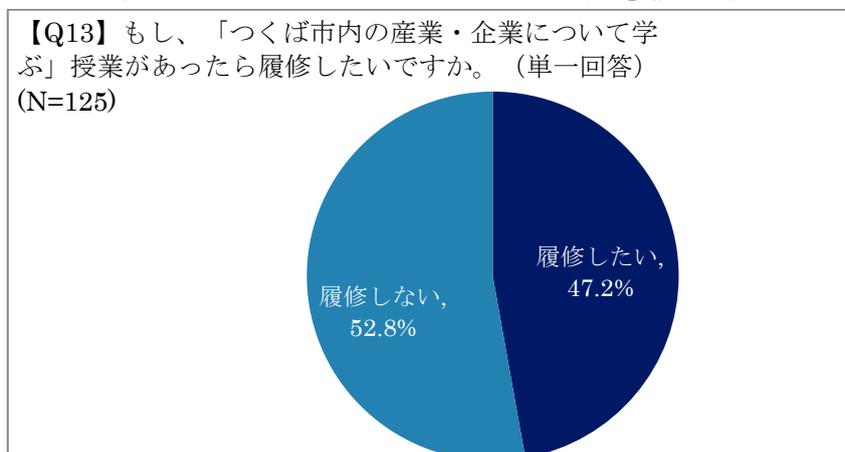
日本人・外国人別では、日本人学生は「知っている」が 22.4%であるが、知っている市内企業として市内本店の事業者を記載した割合は 2.6% (N=76) であった。外国人留学生は「知っている」が 16.3%であるが、知っている市内企業として市内本店の事業者を記載した割合は 8.2% (N=49) であった。

図表 289 つくば市内の企業の認知(日本人・外国人別) (単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。（単一回答）	全体 (N数)	知っている		知らない
			市内本店の事業者を記載した割合	
全体	125	20.0	4.8	80.0
日本人学生	76	22.4	2.6	77.6
外国人留学生	49	16.3	8.2	83.7

「つくば市内の産業・企業について学ぶ」授業があったら、「履修したい」と回答した割合は47.2%であった。

図表 290 「つくば市の産業・企業について学ぶ」授業の履修



学年別では、「履修したい」と回答した割合は3年（46.6%）、4年（48.1%）との間に有意な差がなかった。

図表 291 「つくば市の産業・企業について学ぶ」授業の履修(学年別) (単位:%)

Q1 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体 (N数)	履修したい	履修しない
全体	125	47.2	52.8
3年	73	46.6	53.4
4年	52	48.1	51.9

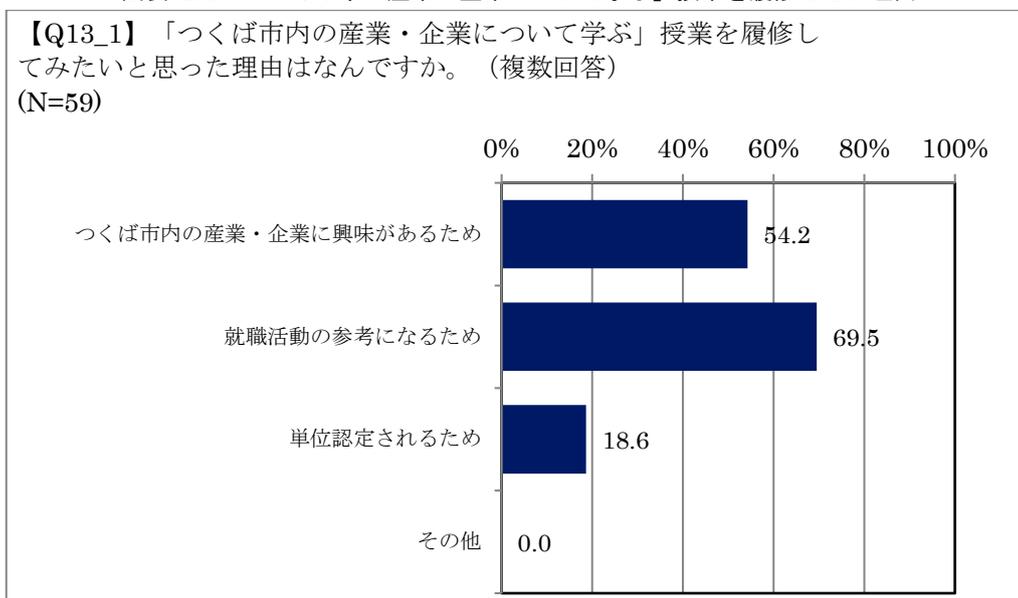
日本人・外国人別では、「履修したい」割合は日本人学生（46.1%）、外国人留学生（49.0%）との間に有意な差がなかった。

図表 292 「つくば市の産業・企業について学ぶ」授業の履修(日本人・外国人別) (単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体 (N数)	履修したい	履修しない
全体	125	47.2	52.8
日本人学生	76	46.1	53.9
外国人留学生	49	49.0	51.0

「つくば市の産業・企業について学ぶ」授業を履修したい理由については、「就職活動の参考になるため」(69.5%)が最も多かった。次いで「つくば市内の産業・企業に興味があるため」(54.2%)が続いていた。「単位認定されるため」(18.6%)は、20%未満であった。

図表 293 「つくば市の産業・企業について学ぶ」授業を履修したい理由



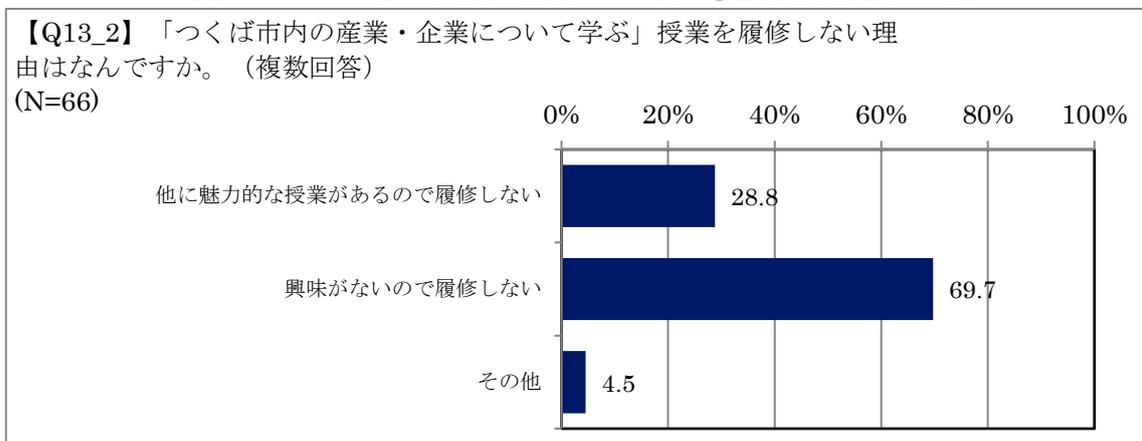
日本人・外国人別では、日本人学生は「就職活動の参考になるため」(77.1%)が有意に多かった。

図表 294 「つくば市の産業・企業について学ぶ」授業を履修したい理由(日本人・外国人別)(単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体 (N数)	つくば市内の産業・企業に興味があるため	就職活動の参考になるため	単位認定されるため	その他
全体	59	54.2	69.5	18.6	-
日本人学生	35	48.6	77.1	17.1	-
外国人留学生	24	62.5	58.3	20.8	-

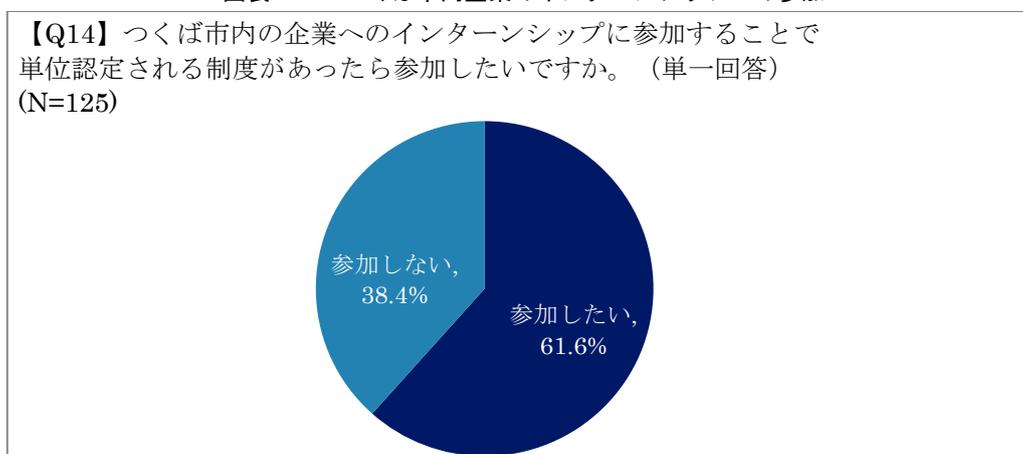
「つくば市の産業・企業について学ぶ」授業を履修しない理由については、「興味が無いので履修しない」(69.7%)が最も多かった。「他に魅力的な授業があるので履修しない」(28.8%)が続いていた。

図表 295 「つくば市の産業・企業について学ぶ」授業を履修しない理由



つくば市内の企業へのインターンシップについては、「参加したい」が61.6%であった。

図表 296 つくば市内企業のインターンシップへの参加



学年別では、「参加したい」割合は3年(60.3%)、4年(63.5%)の間に有意な差がなかった。

図表 297 つくば市内企業のインターンシップへの参加(学年別)(単位:%)

Q1 あなたの学年を教えてください。(単一回答)	全体(N数)	参加したい	参加しない
全体	125	61.6	38.4
3年	73	60.3	39.7
4年	52	63.5	36.5

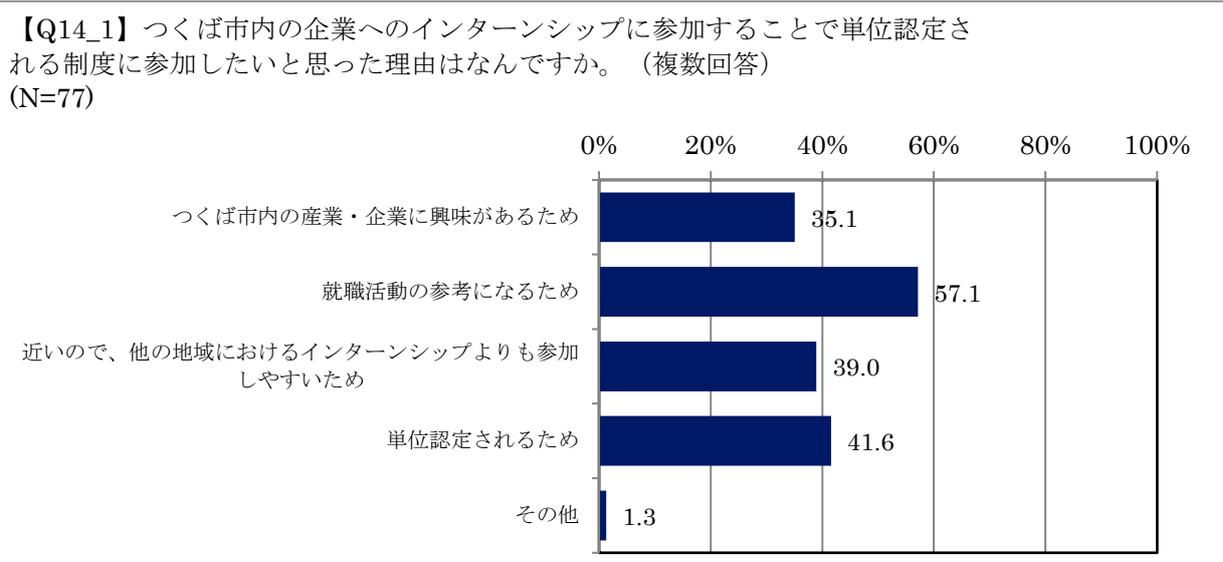
日本人・外国人別では、日本人学生は「参加したい」(69.7%)が有意に多かった。

図表 298 つくば市内企業のインターンシップへの参加(日本人・外国人別) (単位:%)

Q3 あなたは、日本人学生ですか。それとも外国人留学生ですか。(単一回答)	全体(N数)	参加したい	参加しない
全体	125	61.6	38.4
日本人学生	76	69.7	30.3
外国人留学生	49	49.0	51.0

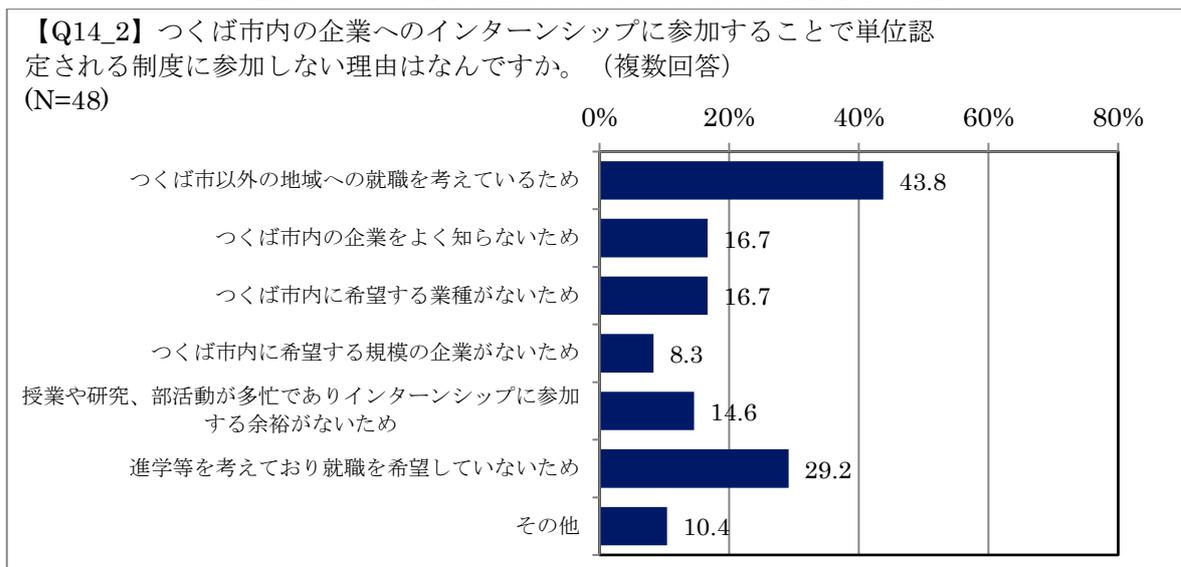
つくば市内の企業へのインターンシップ制度に参加したい理由としては、「就職活動の参考になるため」(57.1%)が最も多かった。次いで、「単位認定されるため」(41.6%)であった。さらに、「近いので、他の地域におけるインターンシップよりも参加しやすいため」(39.0%)、「つくば市内の産業・企業に興味があるため」(35.1%)が30%台であった。

図表 299 つくば市内企業のインターンシップに参加したい理由



つくば市内の企業へのインターンシップ制度に参加しない理由としては、「つくば市以外の地域への就職を考えているため」(43.8%)で最も多かった。次は、「進学等を考えており就職を希望していないため」(29.2%)であった。さらに、「つくば市内の企業をよく知らないため」(16.7%)、「つくば市内に希望する業種がないため」(16.7%)、「授業や研究、部活動が多忙でありインターンシップに参加する余裕がないため」(14.6%)が10%台で続いていた。

図表 300 つくば市内企業のインターンシップに参加しない理由



市内学生と地域事業者の就業マッチングをはじめとした
雇用施策等に関する調査研究 資料編

－令和6年3月発行－

茨城県つくば市 経済部 産業振興課

〒305-8555

茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

電話 029(883)1111 (代表)

一般財団法人 地方自治研究機構

〒104-0061

東京都中央区銀座7-14-16 太陽銀座ビル2階

電話 03-5148-0661 (代表)

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。